

ODIHR.GAL / 26/22 / Rev.1

2022年4月13日

欧州安全保障協力機構

民主的制度と人権のためのオフィス

132/2022

口上書

OSCEの民主的機関と人権のためのオフィス（ODIHR）はその賛辞を提示しますOSCE参加国の代表団に、そして1991年のパラグラフ7に従って
モスクワ文書は、専門家の使命の観察をここに送信することを光栄に思っていますモスクワメカニズムの下で
設立され、以下の45のOSCE参加国によって呼び出された
ウクライナとの二国間協議、およびウクライナがとった行動の説明または意図するそれを引き受ける。

ODIHRは、この機会を利用して、OSCE参加国の代表団に更新します。
その最高の対価の保証。

ワルシャワ、2022年4月12日
に

OSCE参加国の代表団 ウィーン

住所：Miodowa 10 tel：+ 48-22-520 06 00 e-mail：office@odihhr.pl

00-251ポーランド、ワルシャワファックス：+ 48-22-520 06 05ウェブサイト：www.osce.org/odihhr

国際的な違反に関する報告

人道主義者および人権法、戦争犯罪そして人道に対する罪

2022年2月24日以来ウクライナでコミット

ヴォルフガング・ベネデク教授、ヴェロニカ・ビルコヴァ教授、マルコ・サソリ教授

I.一般的な観察とエグゼクティブサマリー

2022年3月3日、組織の人間の側面のモスクワメカニズム

欧州安全保障協力機構（OSCE）は、45によってサポートされているウクライナによって呼び出されました
参加国。その結果、2022年3月14日に3人の専門家の任務が任命されました。

モスクワメカニズムの規則によれば、これは3年以内にその作業を完了することでした。

そのため、2022年4月5日に、その報告書を招待国としてウクライナに提出しました。

マンデートは次のように定義されました

•OSCEの違反の可能性を取り巻く事実と状況を確認する

公約、および国際人権法の違反と虐待および

国際人道法;

•戦争犯罪および犯罪の可能性のある事件の事実と状況を確認する

人道に対する罪、意図的かつ無差別な攻撃によるものを含む

民間人および民間インフラ;これを収集、統合、分析する

関連する説明責任メカニズムに情報を提示することを目的とした情報

国内、地域、または国際的な裁判所または裁判所として、または将来的に

管轄権があります。

幅広い任務を考慮して、ミッションはすべての潜在的な情報源に証拠を提供し、

多くの側面から、特に地上のNGOやそれらからの支援を受けました

特定の調査能力を備えています。残念ながら、常駐代表

ロシア連邦は、要求に応じて、モスクワを検討することをミッションに通知しました

メカニズムは主に時代遅れで冗長です。常駐代表も辞退しました

連絡担当者を指名するが、ミッションに公式声明とブリーフィングを紹介した

ロシア連邦政府は、ミッションが取るのを不可能にしました

公式のオープンソースに基づくものを除いて、すべての関連する事件に関するロシアの立場の説明とウェブサイト。

国際人道法（IHL）違反のほとんどの申し立ての詳細な評価

また、特定の事件に関する戦争犯罪の特定は不可能でした。

それにもかかわらず、任務は彼らの中でロシア軍によるIHL違反の明確なパターンを発見しました

敵対行為。彼らが区別の観点からIHLの義務を尊重していた場合、

攻撃における比例と注意、および次のような特別に保護されたオブジェクトに関する注意

病院では、殺害または負傷した民間人の数ははるかに少ないままだったでしょう。同様に、

かなり少ない家、病院、文化財、学校、高層住宅

建物、給水所、電気システムは損傷または破壊されていたでしょう。

さらに、ウクライナの一部で表示されたロシア軍の行動の多くはそれ

2022年2月24日の前後に占領され、その代理人を通じて、自称

ドネツクとルハンシクの「共和国」は、

軍事占領。

私

ウクライナに起因する慣行に関しても、いくつかの違反と問題が特定されました。

ミッションは、もともと捕虜の扱いに特に関心があります。

犯罪者と見なされ、ジュネーブ条約と互換性のない方法で扱われました

III。一般的に、ロシア連邦によってなされた主張は、ウクライナが

ロシア軍ではなく、ロシアに起因する死、負傷または破壊の一部を引き起こした

メディア、ウクライナ当局、NGOによる。

ミッションはまた、現在の紛争が人権に与える影響についても検討しました。それが

インターナショナルの違反を含む報告されたすべての事件を検証することができませんでした
人権法（IHRL）、それはそのような違反を示唆する信頼できる証拠を発見しました
最も基本的な人権（生存権、拷問の禁止、
他の非人道的で品位を傷つける扱いと罰）は、主に
ロシアの効果的な管理下にある地域またはロシアの全体的な管理下にある事業体。The
ミッションはまた、紛争が人権の享受に与える影響についても結論付けています。
これらの権利の直接の侵害を超えています。高レベルの破壊を引き起こすことによって
重要なサービス（教育、医療）の提供を妨害することにより、紛争は
ロシアによる違法な攻撃は、ウクライナが効果的に尊重することを非常に困難にしました、
住民の人権を保護し、履行します。さらに、ミッションはそれを見つけた
紛争はウクライナのすべての住民に影響を及ぼしましたが、
次のような脆弱なグループに属する個人に特に悪影響を及ぼします。
女性、子供、高齢者または障害者。

ミッションは、ウクライナに対するロシアの攻撃自体が適格であるかどうかを結論付けることができません
民間人に対する広範囲にわたるまたは体系的な攻撃として。しかしそれは成り立つ
IHRLに違反する暴力行為のいくつかのパターンは、
標的殺害、強制失踪、拉致などの紛争の過程
ジャーナリストや地方公務員を含む民間人は、この資格を満たす可能性があります。どれでも
この種の単一の暴力行為は、そのような攻撃の一部として、
それは、人道に対する罪を構成します。

このレポートのいくつかの調査結果は、短期間のために必然的に予備的なものですが
多数の国際的な武力紛争が進行中である状況での調査
国際法違反、さらには国際法違反を構成する可能性のある毎日発生するイベント
国際犯罪の場合、報告書は他の機関の法務に関するより詳細な調査に情報を提供することができます
説明責任。調査結果はまた、政治的説明責任の確立に貢献する可能性があります。と
IHLとIHRLの違反に関しては、責任はロシア連邦の両方にあります
とウクライナは、それぞれの義務を遵守します。このレポートが示すように、違反が発生しました
ウクライナ側とロシア側で。ロシア人による違反
ただし、フェデレーションは、性質と規模がはるかに大きくなります。

最後に、レポートは、さまざまな関連する説明責任メカニズムを強調しています
関連する裁判所を含むレベル。そのうちのいくつかはすでに機能しています。いろいろな
メカニズムは存在し、新しいメカニズムが作成される可能性があります
違反に対する免責を防ぐため、
特定された犯罪。

ii

コンテンツ

I. 一般的な見解とエグゼクティブサマリー-i

II. はじめにと義務I

III. 方法論2

A.時間枠と制限2

B.主な情報源2

C.OSCEのコミットメントおよび使用されたその他の義務のソース3

IV. 国際人道法違反の疑い4

A.戦争のための法は、戦争のための法（攻撃性）とは独立しており、両当事者とも同じです4

B.状況の分類と適用法：国際的な武力紛争5

C.適用法5

1.紛争に適用可能な手段5

2.占領法7

D.国際人道法の違反と戦争犯罪8

E.敵の力での人の扱い9

1.負傷、病気、難破、および医療関係者9

死者の尊重9

捕虜（POW）10

4.民間人16

a。人道支援16

b。ロシアに同情すると信じられているウクライナ人の扱い17

c。被拘禁者の処遇18

5.軍事占領のIHL18

a。占領地の管理18

b。強制失踪20

c。即決処刑の申し立て22

d。公共財産の管理22

e。私有財産の尊重22

f. 強制送還23

g. ウクライナ国民の徴兵24

h. 入隊と労働24

私。救済の提供25

F.敵対行為の実施25

敵対行為に関する規則の違反を確認するための特定の困難
25

2.ターゲティング25に関するIHL規則違反の一般的な評価

a. 区別27

b. 比例性28

iii

c. 注意事項29

d. オープンソース情報に基づいて、違反を分離することは不可能
区別、比例および予防措置の規則31

3.包囲戦と人道回廊31

4.個々の民間人に対する標的型攻撃34

5.民間人の武装34

6.人間の盾35

7.防御側がとるべき受動的予防策35

8.特別に保護されたオブジェクト36

a. 医療ユニットと輸送36

b. 原子力発電所37

c. 文化遺産と礼拝所39

d. 学校40

9.武器の使用41

a. クラスター爆弾41

b. 他の物議を醸す武器、特に焼夷兵器42

10.違法な戦争方法43

11.海戦44

a. 密輸品リストの公開44

b. 中立船の破壊44

c. 敵商船への対策45

d. ブロックされた45

e. 中立船とその乗組員が46を離れる可能性

12.特定の攻撃46

a. マリウポリマタニティハウスアンドチルドレンズホスピタル46

b. マリウポリシアター47

G.結論48

V.国際人権法の違反および虐待の申し立て49

A.一般的な問題49

1.適用される法的基準49

2.人権文書に基づく義務からの逸脱50

3.武力紛争におけるIHRLの適用50

4.IHRLとIHL53の関係

5.IHRLの違反と人道に対する罪との関係53

B.紛争が公民権および政治的権利に与える影響54

1.生存権55

2.拷問および非人道的で品位を傷つける扱いの禁止57

3.自由と安全に対する権利58

iv

4.公正な裁判を受ける権利61

5.言論の自由の権利62

6.その他の公民権および政治的権利65

C.紛争が経済的、社会的および文化的権利に与える影響68

1.教育を受ける権利69

2.健康への権利71

3.社会保障の権利72

4.食糧と水に対する権利73

5.健康的な環境への権利74

D.脆弱なグループに対する紛争の影響75

1.女性75

2.子供77

3.高齢者79

4.障害者80

5.少数民族および少数民族81

6.LGBTQの人82

7.ウォッチドッグス（人権擁護家およびその他の活動家）84

8.国内避難民（IDP）85

E.結論87

VI. IHLおよび人権侵害、戦争犯罪、および
人道に対する罪87

A.説明責任に関連する義務87

1.調査する義務87

2.戦争犯罪および人道に対する罪を抑圧する義務88

修理88

4. IHL 89を尊重し、尊重することを保証する国の義務

5.IHL89の違反を調査する必要性

B.説明責任メカニズムの概要89

グローバルレベル90

2.ヨーロッパレベル91

全国レベル92

VII。一般的な結論93

附属書：OSCEおよびロシア連邦常駐代表への書簡
受信した応答

v

II。はじめにと委任

2022年2月24日、ロシア連邦はウクライナを侵略しました。すでに前に、2月21日に2022年、ウラジーミルプーチン大統領は、ドネツクとウクライナ東部の州を承認しました。独立国家としてのルハンシク¹認識はこれらの地域を指すと理解されています行政の境界であり、下の地域ではありません

いわゆる共和国の効果的な管理

当時のドネツクとルハンシク。2022年2月24日、テレビで放映されたスピーチで、プーチン大統領ウクライナに対する武力攻撃を、自力で行われる特別軍事作戦として正当化した。

防衛。²国連総会は、2022年3月2日の決議で、ロシア人を認定しました。

国連憲章第2条（4）に違反する攻撃行為としてのウクライナへの攻撃。

2022年3月24日の総会の決議、特別緊急事態で再び会合

セッションは、「ロシア連邦による敵対行為の即時停止を要求した

ウクライナ、特に民間人および民間人に対する攻撃について」、⁴

これについては詳細に説明します。

2022年3月3日、ウクライナは45の参加国の支援を受けて第8項に訴えました。

OSCEの人間の側面のモスクワメカニズム。このフレームワーク内で、1つまたはより多くの参加国は、OSCEに別の参加国に問い合わせるよう要求することができます

明確に定義された特定の問題に取り組むために専門家の使命を招待することに同意するかどうかウクライナが持っているOSCEの人間の側面に関連するその領土に関する質問

同意しました。手順は、モスクワメカニズムのパラグラフ4-7に概説されています。パラ4の予見モスクワメカニズムの演壇からの最大3人の専門家からなるミッション

OSCEに通知しなければならない招待国によって確立されなければなりません。

そのような使命への適切な支援。ミッションのレポートは、招待状に提出されます

州。したがって、2022年3月14日、ウクライナはOSCE民主局に通知しました。

機関と人権（ODIHR）、この問題でOSCEに代わって担当

Veronika Bílková、Marco Sassòli、Wolfgang Benedekを任命したこと、⁵後者は

彼の同僚によってミッションの議長に選出されました。⁶

ミッションの任務は次のとおりです。

- OSCEの違反の可能性を取り巻く事実と状況を確認する
公約、および国際人権法の違反と虐待および
国際人道法;

- 戦争犯罪および犯罪の可能性のある事件の事実と状況を確認する
人道に対する罪、意図的かつ無差別な攻撃によるものを含む
民間人および民間インフラ;これを収集、統合、分析する

¹ロシア連邦大統領の演説、2022年2月21日、大統領のプレゼンテーション
ロシア

FEDERALS、2022年2月21日、<https://glasnarod.ru/oficzialno/obrashhenie-prezidenta-rossijskoj-federacii-polnyj-tekst/>

²ロシア連邦大統領の演説、2022年2月24日、大統領発表
ロシア

連邦、2022年2月24日、<https://ria.ru/20220224/obraschenie-1774658619.html>

³国連文書。A/ES-11/L.1、ウクライナに対する攻撃、2022年3月1日。決議はGAで採択されました
国連安保理決議2623（2022）により、国連安保理決議により緊急会合が要請された。
平和のために
安全保障理事会が平和のための主要な責任を行使することを妨げられたための決議
とセキュリティ。

⁴国連文書。A/ES-11/L.2、ウクライナに対する攻撃の人的影響、2022年3月21日。
ユナイテッド

国連総会は、ロシアから生じる人道的苦痛の規模を認識するテキストを採用しています
連邦のウクライナ攻勢は、2022年3月24日、国連、何十年にもわたって見られなかった。
<https://www.un.org/press/en/2022/ga12411.doc.htm>。

⁵教授ret。博士 ヴォルフガングベネデク、国際法と国際関係研究所
とヨーロッパ

グラーツ大学人権と民主主義のためのトレーニングと研究センター。仲間、同僚
教授博士

VeronikaBílková、法学部、プラハのチャールズ大学、および国際研究所
関係、プラハ;
ジュネーブ大学のMarcoSassòli教授。

専門家専門家は彼らのチーム、特にSvitlana Andreichenko、Federicaに感謝します
クリスティアーニ、ユージェニー

Duss、Gregor Fischer-Lessiak、Alba Grembi、NelaLaryšová、IngaZelenaの貴重な
サポート。

関連する説明責任メカニズムに情報を提示することを目的とした情報
国内、地域、または国際的な裁判所または裁判所として、または将来的に
管轄権があります。

ミッションは翌日作業を開始しました。モスクワのパラ6で予見されたように
メカニズムレポートは3週間以内、つまり2022年4月5日までに完了する予定でした。
ミッションの一時的な任務は、紛争の最初の5週間をカバーします。地域的には、
ミッションは、発生した国際規格の潜在的な違反を調査しました
ウクライナの全領土で、その国際的に認められた国境内（
クリミア自治区、セヴァストポリ市、ドネツク、ルハンシク
地域）。個人的な範囲に関して、ミッションは潜在的な違反を調査しました
紛争の当事者またはその他の当事者によってコミットされた、またはそれに起因する国際規格の
ウクライナの領土内で活動している公的または私的な俳優。

III. 方法論

A. 時間枠と制限

専門家ミッションによって調査されたイベントは、2月24日から1日までの期間をカバーしています。
レポートを完成させなければならなかった2022年4月。これは、の開始からの期間です
この報告書の完成の時点で、残念ながらまだ残っているウクライナとの戦争
進行中の新しい開発は、情報の流れと同じくらい動的に展開されます。特に、
ミッションは、要約の調査が正式に終了した後を受け取った申し立てに注意します
ロシアの村の占領中の多数の民間人の処刑
キーウ、特にブチャの近く、そしてロシア軍の撤退の際に。
路上で手を縛られて殺された民間人の写真やビデオがあります
1つまたは複数の集団墓地について報告します。⁷この証拠は、大規模な戦争犯罪と犯罪を示しています。
ロシア軍によって犯された人道に対する罪。このようなイベントは、それに値するものであり、
法医学の専門家による、その場での真剣な国際調査。期間が
ミッションの処分が長引いていたので、そのような調査を行うことはできなかったでしょう。

モスクワメカニズムの規則によると、報告書の作成の時間
3週間に制限されていました。

このミッションは3月15日から4月4日までを意味しました。

この期間中、関連するインシデントの新しいレポートが毎日公開され、アクティブになりました
敵対行為はウクライナの全領土内で発生しました。OSCE/ODIHRは
潜在的な違反の場所への安全なアクセスができなかったため、専門家はウクライナを訪問しない
提供された。ミッションは、

高く評価されたOSCE/ODIHR。しかし、OSCEは

レポートのトピックに関する実質的な情報または専門知識を提供します。場合によっては、
記述された時間の制約により、特定の情報や

分析は時間の経過とともにのみ利用可能になります。したがって、すべてを調査することはできませんでした
議論の余地のない発見に到達するのに十分なほど徹底的に関連する事件。そのような場合、このレポート
そのような制限を明確に指摘します。

B. 主な情報源

これらの制限にもかかわらず、ミッションは多種多様な情報源にアクセスすることができました。一般的な状況と特定の問題の概要を把握することができます。
レビュー。これは、ウクライナの協力により、いくつかの点で可能になりました。

⁷「彼らはすべて撃たれた」：ブチャが侵略の恐怖を明らかにしたとき、ロシアは戦争犯罪で告発された、ガーディアン、4月3日

2022年：

<https://www.theguardian.com/world/2022/apr/03/they-were-all-shot-russia-accused-of-war-crimes-as-bucha-reveals-horror-of-invasion>; ウクライナ：ロシアの見かけの戦争犯罪-管理区域、HRW、3月4日

2022年：

<https://www.hrw.org/news/2022/04/03/ukraine-apparent-war-crimes-russia-driven-areas>

2

要求国は、しかし、進行中の戦争のために、もちろん、制限されていました。The ミッションは、特に、ウクライナ人との接触に成功しなかったことを後悔している軍隊、これは国際的な特定の違反を評価するために重要だったでしょう。敵対行為の実施に関する人道法（IHL）。

ODIHRは、関連情報を共有できるチャンネルを開設しました。加えて、ウクライナ当局に関しては、ミッションはウェブサイト上の情報に従いました。検察庁のような政府機関の

ウクライナ議会の人権委員からの情報。ミッション

また、関連するメディアの報道を積極的にフォローし、多数の連絡先に連絡を取りました。

特に、次のような状況についての知識を持つ国際機関内

ウクライナの国連人権監視ミッション（HRMMU）、ユネスコ、WHO、

FAO、IOM、UNHCR、ユニセフ、欧州評議会。また、から情報を受け取りました。

調査のためのプラットフォームのような専門の非政府組織（NGO）

ウクライナの戦争犯罪（ウクライナ午前5時の連立）、20以上のNGO⁸で構成され、一部はそのうちの特定のレポート、オポラやハリコフのような他のウクライナのNGOも提供しました。人権保護グループだけでなく、のような専門の国際調査NGO

Truth Hounds、Bellingcat、Amnesty International、Human Rights Watch、OMCT、Human

Rights House、Insecurity Insight and DIGNITY-拷問に対するデンマーク研究所。軍隊

利用可能なロシアの公的情報源と同様に、第三国の専門家にも相談した。貴重

情報と分析は、イエール大学の人道研究所からも提供されました。

元OSCEのステイーブンダグラスのような経験豊富な個人による公衆衛生の

ウクライナへの特別監視ミッションとジャーナリストによる個人へのインタビュー

地面。明らかに、セキュリティ上の理由から、すべてのソースを開示できるわけではありません。さらに、面接の数は、特定の知識を持っている人に行われた案件。

ミッションの開始直後に、ミッションはOSCEのロシア常駐代表に連絡しました。

関連情報を提供することにより、ミッションへの支援を要請する。しかし

代表は、ロシアがモスクワメカニズムを時代遅れと見なし、

廃止されたため、連絡担当者の指名も拒否されました。それはミッションをロシア国防省のウェブサイト（付録の手紙の交換を参照）。

この協力の欠如にもかかわらず、専門家の使命はロシア人も連れて行くために最善を尽くしましたポジションを考慮に入れます。

明らかに、戦争、偽情報、プロパガンダの状況で一般的に起こるように、ウクライナの状況も調査期間内に広まった。ミッション専門家の多くはこの事実を非常に認識しています。ただし、収集、分析、および利用可能な多種多様な情報源を比較し、情報源の品質を注意深く評価し、正確な全体的な評価といくつかの特定のイベントの評価が可能になりました。

C.OSCEのコミットメントおよび使用されたその他の義務の情報源

人権の分野には多くの関連するOSCEのコミットメントがあります。特に1990年のコペンハーゲン文書とその後の大臣に祀られています評議会の決定。いくつかのプレスリリースで、OSCE機関は当事者に

Rights Human Rights Center ZMINA、Ukrainian Helsinki Human Rights Union、Ukrainian Legal Advisory Group、人権地域センター、人権メディアイニシアチブ、平和研究所、

一般

グラウンド（IPCG）、市民教育センター「アルメンダ」、クリミアSOS、クリミア人権グループ、ポストーク

SOS、

社会行動センター、アドボカシー諮問委員会、ハリコフ社会調査研究所、DEJURE

財団、

Truth Hounds、教育人権ハウスチエルニーヒウ、人権センター「Diya」、協会

ウクライナの法執行機関の活動における人権の遵守の監視者、

ウクライナ

拷問なし、人権プラットフォーム、司法開発協会

自治、

ウクライナヘルスケアセンター（UHC）、Frankivtsyの公的協会プログレッシブグループ。

3

メディアの安全性など、関連するコミットメントの現在の対立も

紛争の状況で確保される⁹、紛争においてもマイノリティの権利を保護する必要があること

テーマ別の推奨事項とガイドラインに基づく状況¹⁰¹¹または

平和的な集会とデモの権利を尊重する義務（コペンハーゲン1990）、

ウクライナへの攻撃または特定の部分の占領に対する抗議に関して。¹²尊重

IHLとその違反に対する個人的な説明責任は、ヘルシンキ1992で採用された基準です。

そして最近、特別な補足的な人間の次元の会議で思い出されました

ウィーン、¹³

進行中の戦争の状況では、関連性の主な義務はIHLにあります。

ただし、国際人権法（IHRL）の基準も適用されます。該当する

OSCEのコミットメントを含む法律は、報告書の第IV章と第V章で紹介されています。それぞれIHLとIHRLの違反の申し立て。IHLとIHRLに加えて、法務戦争犯罪と人道に対する罪に関する枠組みは、国際的な状況に適用されます武力紛争。これらの犯罪に関する法規範は、個々の犯罪の説明責任を規定しています武力紛争中に残虐行為を犯した人の数。

人道に対する罪と戦争犯罪の最も包括的なカタログは、国際刑事裁判所（ICC）の1998年ローマ法令（RS）。ウクライナとロシアはRSの締約国ではなく、ウクライナが持っているように、現在の武力紛争に適用されます戦争犯罪および人道に対する罪に対するICCの管轄権を認めたその領土で。人道に対する罪と戦争犯罪のカテゴリーは完全ではありません選言的。したがって、個人は1つの行為によって両方のカテゴリーの犯罪を犯す可能性があります。

第IV章と第V章のIHLとIHRLの違反の疑いの分析では、提示された事実に関するいくつかの重複または重複、ただし、受け入れられているこのレポートの単一のセクションがスタンドアロンで読みやすいという理由で。

IV. 国際人道主義者の違反の疑い 法

A. JUS IN BELLOは、JUS AD BELLUM（AGGRESSION）から独立しており、両方の当事者が同じ

ロシアとウクライナはどちらもIHLの同じ規則に従わなければなりません。この完全な分離jus contra bellum（伝統的にjusadと呼ばれる戦争を行うことを禁止する法律bellum）とbelloのjus（戦争に適用される法律）はいくつかの結果をもたらしますが、多くの場合、理解し、受け入れるために自国を守るために戦っている人々のための世論。まず、分離により、IHLの下で交戦者が平等になります。¹⁴次に、IHLの時期を決定します。適用には、たとえば、現場での実際の状況の評価が必要です。

⁹OSCE、「紛争の状況ではジャーナリストの安全を確保する必要がある」とOSCE Media Freedomは述べています

代表、

2022年2月27日：<https://www.osce.org/representative-on-freedom-of-media/513067>。

¹⁰OSCE、「少数民族問題高等弁務官は、ウクライナでの暴力の終結を求め、次のように警告している長期

少数民族への広範な影響」、2022年3月30日、<https://www.osce.org/hcnm/514859>

¹¹OSCE、少数民族問題高等弁務官、テーマ別の推奨事項およびガイドライン、以下：
<https://www.osce.org/hcnm/thematic-recommendations-and-guidelines>

¹²OSCE、「ウクライナへの攻撃に抗議するための平和的なデモは妨げられずに許可されなければならない、OSCE
人権

オフィスによると、2022年3月1日、<https://www.osce.org/odihr/513187>; およびコペンハーゲン文書、次の場所に
にあります。

¹³参照： <https://www.osce.org/odihr/514789>

1949年ジュネーブ条約[GC (s)]、アート。1、「[t]彼は高締約国が引き受ける尊重する

そして、あらゆる状況において現在の条約を尊重することを確実にするために」（強調を追加）。この記事はテキストを提供します

交戦者の平等の原則に基づいて、JS Pictet (ed.)、Commentary on the ジュネーブ条約

1949年8月12日、第1巻、ICRC、1952年、p. 27。

4

2つ以上の国家の軍隊の間に武力による暴力があり、それが引き金となるかどうか

国際的な武力紛争（IAC）。¹⁵暴力への訴えの根底にある正当化は

まったく無関係です。第三に、戦争のための法に関する議論は、IHLの解釈には使用できません。

したがって、たとえば、攻撃を開始する前に必要な比例分析は同じです

不利な党の領土の町を占領しようとしている軍の司令官のために

町を守る司令官のために。両方の交戦者へのIHLのこの同等の適用は

ロシアが侵略者であり、

したがって、それが原因であるかどうかにかかわらず、ウクライナでのすべての人間の苦しみに責任があります

IHLの違反、そしてそれが直接である場合でも

ウクライナによって引き起こされた、それでもそうではないので

ウクライナがロシアの侵略から身を守る必要がなかった場合に発生しました。

B.状況および適用法の分類：

国際的な武力紛争

ロシアとウクライナはどちらも国家であるため、両者間の武力紛争はIHLによって統治されています¹⁶

特に4つのジュネーブ条約で予見される国際的な武力紛争（IAC）の

そして、彼らが両方の当事者である追加の議定書I、および慣習の大部分

そのような紛争に適用される国際法の規則。

ベラルーシはその領土を使用してウクライナにロシアの攻撃を仕掛けることを許可していますが、

ミッションは、4月1日の時点で、それ自体がIACの当事者でない限り、IACの当事者ではないと見なしていません。

暴力行為または敵対行為への直接参加を構成するその他の行為を行う

ベラルーシに帰属する者による。¹⁷同様に、NATO加盟国はIACの締約国ではない

彼らが武器を供給したり、一般的な情報を共有したりするという単なる事実によって。

それにもかかわらず、ベラルーシとNATO加盟国の両方が

支援する当事者によるIHLの「尊重の確保」¹⁸

ルハンシクとドネツクの「共和国」はロシアの全体的な支配下にあります。¹⁹後者は

したがって、彼らの行動に責任があり、国際武力紛争（IAC）のIHLが適用されます

彼らの行動。これらの「共和国」が実際にあった場合、これはとにかく当てはまります
ロシアが主張するように、独立国、そして単にロシアの共同参戦国。この概念の
エンティティの全体的な制御。これにより、IACのIHLの適用性が高まり、
ロシアの国家責任への使命は、効果的な概念とは区別されなければなりません
領土の管理（ロシアに帰属する代理人を含む）、これは
人権に関連する軍事占領および管轄のIHLの適用可能性
債券。これについては、このレポートの後半で説明します。

C.適用法

1.紛争に適用される機器

ロシアとウクライナはどちらも、1977年の1949年の4つのジュネーブ条約の締約国です。
1907年ハーグ条約IVの追加議定書Iとその付属規則
陸戦時国際法（ハーグ規則）。ロシアが政党ではないという事実

¹⁵ICRC、捕虜の扱いに関するGC IIIの解説、2020年、第2条
一般的な、パラ
243-245。

¹⁶GC、アート。2（1）。

¹⁷ICRC、捕虜の扱いに関するジュネーブ条約IIIの解説、2020年、
第2条
共通、パラ278。

¹⁸ICRC、捕虜の扱いに関するジュネーブ条約IIIの解説、2020年、
第1条
一般的な、パラグラフ186-206。

¹⁹目的のための全体的な制御テストの使用をサポートする議論について
紛争の分類

およびその要素については、ICTY、検察官vを参照してください。DuskoTadić、IT-94-1-A、控訴院、判決、15
1999年7月、
ペア116-144; ICRC、囚人の処遇に関するジュネーブ条約IIIの解説
戦争、2020年、
第3条共通、パラ443。

5

ジュネーブ条約の2005年追加議定書IIIには、人道的関連性はありません。
この議定書は追加の保護エンブレムを導入するだけなので、この紛争では。について
文化遺産、ロシアとウクライナの両方が1954年のハーグ文化条約の締約国です
財産とその1954年の文化財に関するハーグ条約の議定書I（
職業の場合の文化財とに預けられた文化財を特に扱う
他の州との武力紛争の場合）。ハーグ条約に関する1999年議定書II

文化財（敵対行為の実施における保護の強化された規則を予見し、
ウクライナのみが当事者であり、
当事者間でのみ適用されます。

特定の武器に関して、国際法は特定の武器の使用を完全に禁止しています

（この場合、関連する条約は、IHLと軍縮の間のスライディングスケールに位置しています。
法律）または少なくとも、一般的な規則を超える特定の制限にそれらの使用を適用します
民間人への偶発的な影響を避けるために、ほとんどの場合、IHLの。それらのルールの多く
慣習法²⁰に対応していますが、そうでないものもあります。後者の場合、人は決定する必要があります
武器を使用する国が締約国である条約。1980年条約の議定書
特定通常兵器使用禁止令（CCW）には、武器に関する規則の多くが含まれています。CCW
それ自体は単なるフレームワークの慣習であり、
特定の禁止事項または制限を予測する
むしろ、そうするプロトコルのための法的枠組みを提供するだけです。特定の条約²¹
ウクライナのIACに両当事者を拘束する武器は次のとおりです。

1. IHLの一般規則を超えて、特定の武器の使用を規制する条約：

a. 鉱山、ブービートラップおよびその他の装置の使用に関するCCWプロトコルII、1980年、
これは地雷の使用を制限し、特定のブービートラップを禁止します。

b. 焼夷兵器に関するCCWプロトコルIII、1980年

c. 2003年の不発弾に関するCCWプロトコルV

2. 特定の武器の使用を禁止する条約：

a. 検出不可能なフラグメントに関するCCWプロトコルI、1980年

b. 目隠しレーザー兵器に関するCCWプロトコルIV、1995年

3. 特定の武器の製造、所持、譲渡、使用を禁止する条約：

a. 生物兵器禁止条約、1972年

b. 化学兵器の禁止に関する条約、1993年

対人地雷に関する1997年のオタワ条約は、ウクライナのみを拘束します。
政党ではないロシアと戦うときでも、それを遵守しなさい。

クラスター爆弾に関する2008年のオスロ条約と2017年のクラスター爆弾の禁止に関する条約
核兵器はロシアにもウクライナにも受け入れられていませんが、両方とも従わなければなりません
使用する際の武器の使用に適用される一般条約および慣習規則
それら（以下を参照：区別、比例、および注意に関する規則）²²

国際刑事法（ICL）は、IHLの執行だけでなく、その執行にも貢献しています。

明確化と、間違いなく、その開発へ。制定法の規定

戦争犯罪に関する国際刑事裁判所（ICC）は、条約に基づく情報源と見なすことができます

戦争犯罪は必然的に前提となるため、IHLの-そして慣習的なIHLの規則の確認-
その犯罪行為もIHLの違反を構成します。ロシアもウクライナもそうではありません
ICC法令の当事者。しかし、2015年9月8日、ウクライナは

²⁰ICRC IHLデータベース、ICRC、「IHLデータベース：慣習的なIHL」、規則<https://ihl-databases.icrc.org/customary-ihl/eng/docs/home>>、ルール72-86。
を参照してください。

完全なこれらすべての条約の完全なタイトルとテキストは、ICRC条約データベースにあります。

「条約、締約国

および解説」、<https://ihl-databases.icrc.org/ihl>

²²以下のIV.F.2を参照してください。

6

美術。ICCが戦争犯罪および犯罪を管轄することを可能にする法令の12（3）

その領土で犯された人道に対する罪。²³さらに、ロシアと

ウクライナ、ジュネーブ条約と議定書の規定私は

重大な違反としてこれらの文書に記載されている特定のIHL違反、第3国によるものを含む²⁴

普遍的な原則に基づいて

管轄。²⁵

最後に、言及された適用可能な条約規則は、慣習的なIHLの規則によって補足されます。

IAC。実践の幅広い調査に基づいて2005²⁶に発表された研究では、

専門家による相談であり、現在はデータベースとして絶えず更新されています。²⁷国際赤十字委員会（ICRC）は、慣習的なIHLの161の規則を特定し、そのうち158は

IACに（また）適用することを検討します。

2.職業法

軍事占領のIHLは、特に1949年ジュネーブの第47条から第78条に成文化されています。

条約IVおよび1907年ハーグ規則の第42条から第56条。この法律はすでに適用されています

2月24日以前にロシアが占領したクリミアとセヴァストポリ、そしてウクライナの領土へ

ロシアが全体的に持っている範囲で、ルハンシクとドネツクの「共和国」によって支配されている

それらの実体を支配し、彼らはウクライナの領土を効果的に支配しました。²⁸そのような

占領地としての分類は、によって支配されている領土にとってさらに疑わしくないものになっています

ロシア軍が地上に存在し、

コントロールの行使に直接貢献します。

ウクライナの一部への侵略段階での軍事占領のIHLの適用性

2月24日以降、ロシアが支配権を握った地域については、より議論の余地があります。²⁹

ミッションは、このレポートで、占領の機能的概念を下の侵略段階に適用します

軍事占領のIHLの特定の規則は、次のように特定の問題に徐々に適用され始めます。

すぐにロシアはこれらの問題の支配権を獲得しましたが、他の規則はまだ適用されていません。³⁰体系的
条約IVの目的と目的を考慮に入れた解釈は、

²³2015年9月8日、ICC法第12条（3）に基づいて提出されたウクライナの宣言を参照してください。

で：

https://www.icc-cpi.int/iccdocs/other/Ukraine_Art_12-3_declaration_08092015.pdf

²⁴GCI、アート。50; GC II、アート。51; GC III、アート。130; GC IV、アート。147; AP I、アート。85。

²⁵GCI、アート。49; GC II、アート。50; GC III、アート。129; GC IV、アート。146; AP I、アート。85（1）。

²⁶Jean-Marie HenckaertsとLouise Doswald-Beck、慣習的な国際人道法を参照-
音量

1：ルール（CUP 2005）。

²⁷ICRCCIHLデータベース、<https://ihl-databases>を参照してください。icrc.org/customary-ihl/eng/docs/home

²⁸ICTY、検察官vブラシュキッチ、裁判室、判決、IT-95-14-T、2000年3月3日、パラ149。

²⁹以下の当局は、IHLの軍事占領の適用に反対しています。

侵略段階：ICJ、

コンゴ領土での武力活動に関する事件（コンゴ民主共和国v.

ウガンダ）、

判決、2005年12月19日、パラグラフ172-173および219; エリトリア-エチオピアクレーム委員会、部分的
アワード

中央戦線、エリトリアの主張2、4、6、7、8、22（エリトリアと連邦の間

民主主義

エチオピア共和国）、2004年4月28日、パラ57; 米国国防総省、戦時国際法マニュアル、6月

2015年

（2016年12月更新）、11.1.3.1の場合。Yoram Dinstein、交戦者の国際法

職業（CUP

2009）、pp. 41-42; Maarten Zwanenburg、「ピクテ理論への挑戦」（2012）94 IRRC 30; マイケル

両方、

'侵略中の効果的な管理：法の適用閾値に関する実際的な見解

職業'（2012）

94 IRRC 37、pp. 37-39; Vaïos Koutroulis、デビューと権利の適用の終了

職業（ペドン

2010）、47-69; Georg Schwarzenberger、「好戦的な占領の法則：基本的な問題」、30 Nordic J

国際Lの

（1960）、18-21。より微妙だが不明確な見方については、ICRC、ジュネーブ条約Iの解説を参照してくださ
い。

に関連して

野外での軍隊の負傷者と病人、2016年、第2条、パラ300。

³⁰Jean S. Pictet（ed.）、1949年8月12日のジュネーブ条約に関する解説、Vol. IV、ICRC、
1952年、p. 60;

ICRC専門家会議、「外国領土の占領およびその他の形態の管理」（報告書
準備

トリスタン・フェラーロ編集、ICRC 2012）、pp. 24-26; ICRC、'国際人道法と

課題

現代の武力紛争の」、2011年、文書番号3IIC/11/5.1.2; ロバート・コルブとシルヴァン・ヴィテ、*Le droit de*

軍事占領：歴史的展望と現在の法的問題（Bruylant 2009）、pp.

65-86; ICTY、

検察官vナレティリッチとマルティノヴィッチ、裁判室、判決、IT-98-34-T、2003年3月31日、パラグラフ 219-222;

マルコ・サッソリ、「ピクテと侵略下の領土の住民を守るための罪状認否：

の場合

侵略段階中の条約IVの適用性」、94 IRRC（2012）、42-50。

7

占領地に関する規則は、敵がその瞬間から適用されなければならないという結論

侵略された領域内の人またはオブジェクトに対する制御を想定しています。例を挙げると、

侵略段階で民間人の強制送還が許可されるのはばかげているが

侵入が職業に変わったら絶対に禁止されます。³¹確かに、

侵略された領土は、敵の国民が自分の領土で交戦者に遭遇したことです。

まさに、軍事占領に関するIHLの規則が対処するために作られた状況です。スライドの下で

管理の程度に応じて適用される義務の規模、棄権する負の債券

彼らが禁止する行為が実質的に可能であるとすぐに適用する（人が

禁止の恩恵を受けることは侵略軍の手に渡ります）

提供および保証する義務は、後の段階でのみ適用されます。このスライディングスケールは

また、現代の戦争の流動的な現実と最前線の欠如に、

従来の「オールオアナッシング」アプローチ。このアプローチはまた、決定の難しさを回避します

侵略段階が占領段階に変わるとき。³²

いずれにせよ、ここで提案されているように、軍事占領のIHLが適用されることを否定する人々でさえ

侵略段階は、ロシアがその間にそのような支配を獲得したことを認識するだろう

1907年のハーグ規則の下で占領国である多くの町や村と

したがって、人と物に関して軍事占領のIHLを適用することは完全に義務付けられています

そこに見つかりました。

D. 国際人道法および戦争の違反

犯罪

法的に、IHLの違反は、国家およびその他の当事者によって武力紛争に関与しています。の

現実には、彼らは人間によってコミットされています。国家はそのような違反を抑制しなければなりません。

いくつかの

IHLおよびICL条約および慣習で定義されているIHLの特に重大な違反

国際法は、彼らの加害者の国際的な刑事責任に直接関与します

必要な知識と意図を持ってそれらをコミットします。これにはコマンドが含まれます

責任。³³上司は、必要な情報を知っているか持っていれば、責任を負うことができます。

状況と当時、部下は

違反を犯す、または犯そうとする; 上司は実行可能なすべての措置を講じなかった違反を防止または抑圧する権限の範囲内で。³⁴ジュネーブ条約および追加プロトコルIは、IHLの特定の違反は、「重大な違反」と見なされることを確立します。それらは、以下の原則に基づいて、高締約国によって起訴されなければなりません。普遍的管轄権。³⁶IHLの他の重大な違反に対する個人の刑事責任は慣習国際法および国際刑事法条約によって設立されました。そのようなIHLの重大な違反は、重大な違反とともに、戦争犯罪を構成します。戦争犯罪は個々の実行者を決定でき、裁判所だけがそのようなものを見つけることができる場合にのみ見つけられます戦争犯罪で有罪となった実行者。ミッションはそのような個人を特定することができませんでした実行者または指揮官の責任に必要な条件を満たす人。これ報告書は、責任がある場合、どの違反が戦争犯罪を構成するかについて単に言及しています個人を見つけることができます。

³¹GCIV、アート。49（1）は占領地にのみ適用されます。

³²ミヒヤエル・ボーテ、「効果的な管理」：次の法律の適用をトリガーする状況好戦的な職業、外国人の職業およびその他の形態の管理に関するICRCプロジェクトの背景文書地域、外国領土の占領およびその他の形態の管理の専門家の最初の会議、作成したレポートトリストン・フェラーロ編集、ICRC、ジュネーブ、2012年4月、pp. 39-40。

³³指揮官の責任は慣習法の一部です。ICRC、CIHLデータベース、規則153を参照してください。に設立されました

AP I、Arts 86および87、および法学で確認された、例えばICTY、検察官vを参照してください。Zejnil Delalic et al.、Trial商工会議所、判決、IT-96-21-T、1998年11月16日、パラ383。

³⁴ICRC、CIHLデータベース、規則153を参照してください。

³⁵GCI、アート。50; GC II、アート。51; GC III、アート。130; GC IV、アート。147; AP I、アート。85。

³⁶GCI、アート。49; GC II、アート。50; GC III、アート。129; GC IV、アート。146; AP I、アート。85（1）。

8

殺人、絶滅、国外追放などの戦争犯罪を含む、IHLに違反する特定の行為人道に対する罪を構成する可能性もあります。または、攻撃の知識を持った、一般市民を対象とした体系的な攻撃」。³⁷

E.敵の力での人の扱い

1.負傷し、病気になり、医療と同様に難破しましたスタッフ

ミッションは、負傷した軍隊と病気の軍隊を示す情報を受け取っていません。民間人は、不利な区別なしに集められ、世話をされていません。同じことが当てはまります医療関係者の治療に。しかし、病院や一部への多数の攻撃報告された救急車への攻撃は、以下で説明しますが、負傷者や病人、および回復または勤務している医療関係者を尊重し、保護するそれらの病院と救急車。³⁸

2. 死者の尊重

ミッションはソーシャルメディア上で、死んだ兵士や民間人の多くの画像を検出しました³⁹ 彼らの遺体がきちんと扱われておらず、敬意を持って埋葬されていないことを示します⁴⁰ オンラインで死んだ兵士の写真を投稿することは、それらを特定し、関係する家族に通知するための容認できる方法。⁴¹ 当事者はICRCを介して、彼らが依存している州に彼らが特定できる死者に通知する。⁴² ウクライナによる顔認識ソフトウェアの報告された使用⁴³ は、一部の識別を可能にする可能性があります死者の尊厳を維持するために、結果を公表したり、宣伝目的で悪用されます。ソーシャルネットワークを介した家族への伝達は絵画的証拠なしで、そしてロシアに通知するためにIHLによってすべての手段が予見される場合にのみ想定される。そして家族は機能しません。今後のお問い合わせを考慮して記録を残すために、ICRCの中央追跡機関にも、すべての場合に通知する必要があります。⁴⁴ ウクライナ当局は、ミッションとの会話の中で、これはまだ行われていないことを認めました。彼らがなんとか特定したロシアの兵士の遺体。

ウクライナは、ロシアの遺体を返還することを考慮して、ICRCに接近したことを示していますロシアへの兵士とロシアが彼らを受け入れることを拒否したこと。⁴⁵ そのような合意の必要性IHLで予見されています。⁴⁶ ICRC会長は、最近、「理解」があると報告しています。軍と死者の両方の死体を交換することの重要性についての当事者間民間人、そして「これが起こることへの意欲」が、特定のメカニズムと

³⁷ ICC法令、アート。7。

³⁸ 以下のIV.F.8.aを参照してください。

³⁹ あなたの[親戚]を探してください (翻訳)、電報チャネル (匿名で管理)、で:

https://t.me/rf200_noow; 「ウクライナ: 捕虜の権利を尊重する」、HRW、2022年3月16日、ベルリン、で:

<https://www.hrw.org/news/2022/03/16/ukraine-respect-rights-prisoners-war>。

⁴⁰ GCI、アート。17; AP I、アート。34 (1)。

⁴¹ GCI、Arts 16および17; GC II、Arts 19および20; AP I、アート。33 (2)。

⁴² GCI、アート。16; GC II、アート。19。

⁴³ Johana Bhuiyan と代理店、'ウクライナは顔認識ソフトウェアを使用してロシア語を識別します

で殺された兵士

戦闘」、ガーディアン、2022年3月24日、で：

<https://www.theguardian.com/technology/2022/mar/24/ukraine-顔認識-識別-ロシア-兵士>。

⁴⁴GCI、アート。16.16。

ウクライナ「ウクライナは国際赤十字にロシア兵の遺体の撤去を支援するよう要請している」
(翻訳)、RFI、26

2022年2月：

<https://www.rfi.fr/ru/украина/20220226-украина-просит-международный-красный-крест-help-see-teles-russian-soldier>

⁴⁶API、アート。34 (2) (c)。

9

彼らの帰国の時期についてはまだ話し合う必要があります。⁴⁷そのような合意がなくても、IHL
紛争の当事者は、死者がいるのを防ぐために可能なすべての措置を講じることを要求します
甘やかされて育った。⁴⁸ロシアがその遺体を受け取ることを拒否したために報告されている
兵士だけでなく、死体を保管するのに十分な量の冷蔵設備が不足している
ウクライナの所有、死体は分解し始めました。⁴⁹ウクライナ当局
ロシアの兵士の1,000体以上の死体が望んでいないことをミッションに通知しました
受け入れることは、深刻な公衆衛生と環境問題を引き起こします。

占領地では、オレシュキー市の市長は、ロシア軍が
誰もが上に横たわっているウクライナの民間人や兵士の遺体を集めるのを防ぐ
ドニエプル川に架かる橋(100体以上)。⁵⁰IHLによると、紛争の当事者
同意することを含め、死者を探し、収集し、避難させるために可能なすべての措置を講じる必要があります⁵¹
検索チームを設定する。⁵²確認され、状況が許せば、収集に失敗し、
死者を避難させ、地元住民がそうすることを防ぐために、ロシアはIHLに違反しました。

3. 捕虜 (POWS)

敵対者の権力に陥る戦闘員は捕虜です。⁵³一部のカテゴリーの人々
戦闘員の地位が争われている人は、誰が合法であるかという問題の下で扱われます
今後の敵対行為の標的。

双方が保持していると認められた捕虜の数⁵⁴は比較的少ないようです
死傷者の数と比較して(いくつかの情報源によると5,000-10,000ロシア語
兵士)。⁵⁵これらの数字は、どちらかの兵士が
敵には四分の一が与えられていない、⁵⁶これは戦争犯罪になるだろう、⁵⁷または彼らが密かにいること
拘束された。⁵⁸さん Tatiana Moskalkova、ロシア人権委員
連邦は2022年3月21日に、ウクライナの捕虜からの500枚の捕獲カードが持っていると言いました
ICRCに引き渡されました。⁵⁹ウクライナの副首相イリーナ Vereshchuk はで話しました
2022年3月19日のメディアインタビューウクライナの手にある562人のロシア人捕虜と

大統領ICRCの大統領は、ロシア連邦とウクライナが開始する準備ができていると述べた
の交換

死者の遺体' (transl.)、Interfax、2022年3月24日、<https://www.interfax.ru/world/831189>

⁴⁸ICRCCIHLデータベース、規則113。

⁴⁹ViktoryaYasnopolskaya、'彼らは分解し、死体の毒を放出します：死者の放棄された体
ロシア

兵士たちは生態学的災害を脅かしている」、Fakty、2022年3月24日、次の場所で。

[https://fakty.com.ua/ru/ukraine/20220324-](https://fakty.com.ua/ru/ukraine/20220324-rozkladayutsya-i-vydilyayut-trupnu-otrutu-kynuti-tila-vbytyh-rosijskyh-soldativ-zagrozhuyut-ekologic)

[rozkladayutsya-i-vydilyayut-trupnu-otrutu-kynuti-tila-vbytyh-rosijskyh-soldativ-zagrozhuyut-ekologic](https://fakty.com.ua/ru/ukraine/20220324-rozkladayutsya-i-vydilyayut-trupnu-otrutu-kynuti-tila-vbytyh-rosijskyh-soldativ-zagrozhuyut-ekologic)
hnoyu-
katastrofoyu/。

⁵⁰LiliaRzheutka、「ウクライナ、ヘルソン：ロシア占領下の生活」、DW、2022年3月11日、
で：<https://www.dw.com/en/kherson-ukraine-life-under-russian-occupation/a-61090151>。

⁵¹ICRCCIHLデータベース、規則112。GCI、Artも参照してください。1; GC II、アート。18.18。

⁵²API、アート。33 (4) 。

⁵³GCIII、アート。4 (1) - (6) 。

⁵⁴JanKallberg、「捕虜の厄介な沈黙」、CEPA、2022年3月22日、次の場所で。

[https://cepa.org/a-troubling-](https://cepa.org/a-troubling-captivity-silence/)
捕虜の沈黙/。

⁵⁵メイソンビサダ、'500または10,000の死？ロシアのメディアはついに悲惨な軍隊の犠牲者を報告するよう
です

数字—そしてそれらを削除する'、フォーブス、2022年3月21日、：

<https://www.forbes.com/sites/masonbissada/>

2022/03/21/500-または-10000-deaths-russian-media-finally-seems-to-report-dire-troop-casualty-numbers-and
-それから-

削除-それら/; Yaroslav Trofimov (@yarotrof)、Twitter、2022年3月21日、次の場所にあります。

[https://twitter.com/yarotrof/status/](https://twitter.com/yarotrof/status/1505972650786672648)

1505972650786672648; Patrick Reeve (@Reevell)、Twitter、2022年3月21日、[https://twitter.com/](https://twitter.com/Reevell/status/1505985597210566660)
Reevell / status / 1505985597210566660 ? S = 20 & t=xDr_BKTywHoyQEi3Jwk86g。

⁵⁶API、アート。41 (1) - (2) 。

⁵⁷GCIII、アート。130; API、アート。85 (3) (e)

⁵⁸GCIII、アート。69。

ロシア「ロシアはロシアの捕虜になっている500人のウクライナ人のデータをICRCに引き渡す」(翻訳)、
Interfax、21

2022年3月：

<https://www.interfax.ru/world/830455>。

ロシアの手にある270人のウクライナ人捕虜⁶⁰それにもかかわらず、彼女はロシアの捕虜は、ウクライナ大統領からICC検察官は、囚人の追跡と釈放のための合同センターが設立されたことに留意し、2022年2月28日に、2022年3月18日にのみ運用可能になりました。⁶¹ミッションに通知されました2022年3月28日にウクライナ議会の人権オンブズパーソンによって約279ロシアからの捕虜と自称「共和国」からの46人。しかし、彼女は次のように述べました多くの捕虜はまだ軍隊の手にあるに違いありません（彼らはIHL⁶²の下にあるべきです）。彼女はそれらのいくつかを訪問し、19家族に個人的に電話をかけて、彼らの関係。彼女はなぜすべての家族と捕虜の力を説明できませんでした扶養家族、ロシアは、IHLによって規定されているように、ICRCを通じて通知を受けることができませんでした。⁶³さらに、彼女は、捕虜はIHLの下で、裁判前のセンターに（別々のセクションで）いたと述べた彼らは刑務所ではなく、収容所で開催されるべきです。⁶⁴最近では、ウクライナの一時的に占領された領土の再統合は、ミッションに次のように説明しました副首相だけが権力のあるロシア人捕虜の数を与えることを許可されたウクライナとロシアの権力のウクライナ捕虜のウクライナが受け取ったことを認めるICRCおよびキャプチャカードを介した情報。しかし、それはすべての使命を安心させました捕虜は刑務所から軍によって守られている収容所に移送されています。最終ただし、法務省の責任は残っています。

紛争の初めに、双方は取り扱いを組織化するのに困難を抱えていたようでした捕虜の数であるが、GCIII⁶⁵に準拠する意思を表明した。とりあえずありますIHL⁶⁶の要求に応じて、ICRCが捕虜を訪問することを許可されていることはまだ確認されていませんが、ICRCと双方の間で交渉が進行中です。2022年3月24日、ICRC大統領は、双方がICRCが捕虜を訪問し始める準備ができていると報告した。しかし彼は、そのような訪問はまだ始まっておらず、特定の時間について話していることを明らかにしましたメカニズムは進行中です。⁶⁷ICRCが1か月間、ロシアの捕虜を訪問することを許可しないことによってウクライナはIHLに違反しました。⁶⁸

⁶⁰ロシアの手にあるウクライナ人捕虜の数が明らかになり、なぜ待つことができないのか捕虜

勝利までの交換権'（翻訳）、TCN、2022年3月19日、次の場所で。
<https://tsn.ua/ru/exclusive/stalo-izvestno-o-kolichestve-plennyh-ukraincev-u-rossiyan-i-pochemu-nelzya-zhdat-obmena-azh-do-pobedy-2013550.html>;
 国連、

人権高等弁務官事務所、「ウクライナの人権状況に関する最新情報」、
 報告期間：2022年2月24日から3月26日、2022年3月28日：
<https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022->

03 / HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf、パラグラフ46、50。

⁶¹国連人権高等弁務官事務所、'人権状況に関する最新情報ウクライナ'、
 報告期間：2022年2月24日から3月26日、2022年3月28日：

[https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-](https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-03/HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf)

03 / HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf、パラグラフ46、50。

⁶²GCIII、アート。39。

⁶³GCIII、Arts 70、122、123。

⁶⁴GCIII、アート。21。

⁶⁵デニス・カルロフスキー、大統領顧問：ロシアの捕虜と民間人に対する暴力は

容認できない」、ウクライナ・ブラウダ、2022年3月21日、次の場所で。

[https://www.pravda.com.ua/rus/news/2022/03/](https://www.pravda.com.ua/rus/news/2022/03/21/7333375/)

21/7333375 /; 「ウクライナ：捕虜の権利を尊重する」、HRW、2022年3月16日、ベルリン、次の場所で。

<https://www.hrw.org/news/2022/03/16/ukraine-respect-rights-prisoners-war>; 国防省

ロシア

連邦、ロシア国防省のスポークスパーソンによるブリーフィング、2022年2月24日、次の場所で。

[https://z.mil.ru/](https://z.mil.ru/spec_mil_oper/news/more.htm?id=12410638)

spec_mil_oper / news / more.htm ? id = 12410638; ロシア国防省、ブリーフィング

ロシア

国防省のスポークスパーソン、2022年2月27日、[https : //eng.mil.ru/en/special_operation/](https://eng.mil.ru/en/special_operation/news/more.htm?id=12410963)

news / more.htm ? id = 12410963; ロシア国防省、ロシア国防によるブリーフィング

省

広報担当者、2022年2月27日、次の場所で。

https://eng.mil.ru/en/special_operation/news/more.htm?id=12411057。

⁶⁶GCIII、アート。126（1）。

大統領ICRCの大統領は、ロシア連邦とウクライナが開始する準備ができていると述べた
の交換

死者の遺体'（transl.））、Interfax、2022年3月24日、[https : //www.interfax.ru/world/831189](https://www.interfax.ru/world/831189);

マリアンナ

Belenkaya、「ICRCのペーター・マウラー大統領へのインタビュー」（翻訳）、コメルサント、2022年3月28
日、

で：[https : //www.kommersant.ru/doc/5280597](https://www.kommersant.ru/doc/5280597)。

⁶⁸GCIII、アート。126（4）。

11

ICRC会長はまた、同じ機会に両当事者が

ICRCが保持している捕虜の名前をICRCに提供し、ICRCが捕虜を

不利な当事者とその家族と一部の親戚はすでに知らされています。⁶⁹ウクライナは

確かに、IHLによって規定されているように、国家情報局を設立し、⁷⁰そして全国的に採用されました

捕虜をIHLに準拠して取り扱うことが必要であると考えられた法律。最近では、

ウクライナの一時的占領地域の再統合省は、

彼らが記入した捕獲カードを含む、捕獲されたロシア人捕虜に関する情報が
国家情報局を通じて彼らを拘留する軍隊によって
ICRC。

ウクライナ側では、IACの初めに特定の傾向が見られました
すべての捕虜を（潜在的な）犯罪者と見なしてください。2022年4月3日でさえ、ウクライナの将軍
検察庁は、捕虜に関して検察官が「仕事を組織する」とミッションに通知しました。
拘留条件の監督と国際人道法の遵守について、
の参加を得て行われた戦争犯罪の調査のための基準の開発
捕虜。」⁷¹いくつかのケースでは戦争犯罪の罪が提起されたが
ロシアの捕虜、検察庁もロシアの捕虜を違反したとして起訴しました
ウクライナの領土保全、殺害、およびウクライナ国境の違法な横断。⁷²Under
IHL、戦闘員は敵対行為に直接参加する権利があります（戦闘員特権）⁷³、
つまり、たとえそのようなものであっても、敵対行為への単なる参加で罰せられることはありません。
参加は、敵の国内法の下での刑事犯罪を構成します。さらに、
戦争犯罪の疑いがある人でさえ、GCIII⁷⁴の保護の恩恵を受けていますが、捕虜はそうしなければなりません。
戦争犯罪の拘留権によって起訴される。⁷⁵しかし、これはに基づくことはできない
ユニットまたはサービス（空軍、砲兵）に属する。上記に反して、省
ウクライナの一時的に占領された領土の再統合のために、ミッションを保証しました
ロシアの捕虜は戦争犯罪でのみ起訴され、
検察官はIHLの誤解によって引き起こされていました。

ウクライナ側の国民皆兵の本物の参加者、ウクライナ人の⁷⁶メンバー
ウクライナ軍に組み込まれた国際軍団または他のボランティア⁷⁷は

大統領ICRCの大統領は、ロシア連邦とウクライナが開始する準備ができていると述べた
の交換

死者の遺体' (transl.)、Interfax、2022年3月24日、<https://www.interfax.ru/world/831189>。

⁷⁰GCIII、アート。122。

⁷¹2022年4月3日に受け取った検察庁による情報。
ミッション。

ウクライナ国防省、諜報部、発表：戦争犯罪者-軍人
566番目の

セシャ村の独立した軍事輸送航空連隊（軍事ユニット41495）、
ブリャンスク地方、

2022年3月16日、ウクライナの人々に対する戦争犯罪の委員会に参加しました。

<https://gur.gov.ua/content/voennosluzhashchye-566-otdelnoho-voennotransportnoho-avyatsyonnoho-polka.html>;

タチアナ・サマルク、「諜報機関はウクライナを爆撃したロシアのパイロットの名前を公表した」
（翻訳）、

RBKウクライナ、2022年3月16日、次の場所で。

<https://www.rbc.ua/rus/news/razvedka-opublikovala-imena-rossiyskih-pilotov-1647435327.html>; 国連、人権高等弁務官事務所、'人権に関する最新情報

ウクライナの状況'、報告期間：2022年2月24日から3月26日、2022年3月28日：

https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-03/HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf、パラ49。

⁷³API、アート。43（2）。

⁷⁴GCI-III、アート。85; API、アート。44（2）。

⁷⁵GCI-IV、アート。49/50/129/146; API、アート。86。

⁷⁶ジェームズ・マーソンとドリュー・ヒンショウ、「ロシアから祖国を守るための通常のウクライナ人集会」、ウォール

街

ジャーナル、2022年2月26日、at：

<https://www.wsj.com/articles/ordinary-ukrainians-rally-to-defend-homeland-from-ロシア-11645900464>。

⁷⁷ウクライナ大統領の公式ウェブサイト、ウクライナを支援するために外国人市民に訴える
と戦う

ロシアの侵略、2022年2月27日、次の場所で。

<https://www.president.gov.ua/en/news/zvernennya-do-gromadyan-inozemnih-derzhav-yaki-pragnut-dopom-73213>; <https://www.theguardian.com/world/2022/feb/27/ukraine-ロシアとの戦いに参加するための外国人ボランティアのためのアピール>。

12

捕虜がロシアの権力に陥った場合⁷⁸ロシアが主張するように、彼らは傭兵ではありません⁷⁹

それらがウクライナ軍に組み込まれている限り。シリアの場合も同じです

とリビアのボランティアはロシアの軍隊で戦っています、用語は主に定義されているので⁸⁰

IHLによる。⁸¹「ワグナーグループ」などの民間軍事および警備会社のメンバー⁸²

傭兵が両方ともロシア人でない場合にのみ、傭兵の非常に限定的な定義に該当します

国民であり、ロシア軍の一部ではありません。⁸³IACに参加する場合

ウクライナ、彼らは指揮下の武装グループのメンバーと見なされることさえあります

ロシアに責任があるので、彼らがウクライナの権力に陥った場合、彼らは捕虜になります。⁸⁴

そうでなければ、彼らは保護された民間人になります（そのようなものとして、直接の罰を受ける可能性があります）

敵対行為への参加）。⁸⁵

ルハンシクとドネツクの「共和国」の軍隊のメンバーは、考慮されるかもしれませんが

これらの共和国を全体的に支配しているロシアに属するものとして。⁸⁶したがって、彼らは

彼らがウクライナの権力に陥った場合は捕虜になります。⁸⁷それにもかかわらず、彼らがウクライナ国民である場合、

彼らになるというウクライナの発表⁸⁸

反逆罪と単なる事実のために起訴された

敵対行為に参加することは、必ずしもIHLに違反するわけではありません。逆の状況では、多くのウクライナの捕虜は、ドネツクとルハンシクの「共和国」によって抑留されているようです。

彼らは彼らの親戚を呼びます。⁸⁹これは、

囚人は2022年2月24日以前にそこで扱われました。⁹⁰それはまた、ウクライナの捕虜は、これらの代理人によって保持されている可能性があります。IHLは捕虜収容所を要求していますが
に属する責任ある任命された将校の直接の権限の下にある
拘束力の通常の軍隊、⁹¹これはそのような実体による抑留を排除することはできません。

⁷⁸GCIII、アート。4 (A) (1) - (3) および (6) ; AP I、Arts 43 (1) および44 (1) 。

⁷⁹ロシア国防省、ロシア国防省スポークスパーソンによるブリーフィング、3
2022年3月、
で : https://eng.mil.ru/en/news_page/country/more.htm?id=12411468。

⁸⁰ゴードン・ルボルト、ナンシー・A・ユセフ、アラン・カリソン、「市街戦のためにシリア人を募集するロシア」
ウクライナで、

米国当局は言う、ウォールストリートジャーナル、2022年3月6日、で :
<https://www.wsj.com/articles/russia-recruiting-syrians-for-urban-combat-in-ukraine-us-officials-say-11646606234>。

⁸¹アートを参照してください。43API。

⁸²エリック・シュミット、「戦争でより大きな役割を果たすためにウクライナに配備するより多くのロシアの傭兵」、
ニューヨーク
Times、25 March 2022、at :
<https://www.nytimes.com/2022/03/25/us/politics/russian-mercenaries-ukraine-wagner-group.html>。

⁸³API、アート。47。

⁸⁴API、Artを参照してください。43; GC III、アート。4 (A) (2) 。

⁸⁵GCIV、アート。4 (1) ; AP I、アート。43 (2) それどころか。

⁸⁶GCIII、アート。4 (A) (2) ; ICTY、検察官v. Dusko Tadić、IT-94-I-A、控訴院、判決、15
1999年7月、
パラグラフ92、122および137。

⁸⁷ICRC、捕虜の扱いに関するジュネーブ条約IIIの解説、2020年、
第4条
1008の場合。

⁸⁸「SBUは、ロシア軍の一部としてウクライナに戻った裏切り者をまとめて拘束する」(翻訳)、
チャンネル24、3月8日
2022年 :
https://24tv.ua/ru/sbu-massovo-zaderzhivaet-predatelej-vernuvshih-sja-ukrainu-sostave_n1896886。

アレクサンドル・スラドコフ、「壊れた精神：ウクライナの兵士が降伏する」（翻訳）、Vesti.ru、3月20日2022年、

で：<https://www.vesti.ru/article/2691937>; "ドンバスはロシアです、私たちは自分たちで武器を手渡します
主導権'：

ウクライナの囚人の啓示（翻訳）、Ukraina.ru、2022年2月27日、次の場所で。

<https://ukraina.ru/youtube/>

20220227 / 1033390613.html; 'LPRでウクライナ軍の捕らえられた兵士はどのように語った
彼らは横たわった

彼らの腕を下ろす」（翻訳）、Ren.tv、2022年2月26日、：

[https://ren.tv/news/v-mire/944443-plennye-voennye-vsu-](https://ren.tv/news/v-mire/944443-plennye-voennye-vsu-v-lnr-rasskazali-kak-slozhili-oruzhie)

[v-lnr-rasskazali-kak-slozhili-oruzhie](https://ren.tv/news/v-mire/944443-plennye-voennye-vsu-v-lnr-rasskazali-kak-slozhili-oruzhie); Daria Kuznetsova、'LPRのオンブズマン：誰も
に興味がある

捕らえられたウクライナ軍の運命（翻訳）、OTR、2022年2月28日、次の場所で。

<https://otr-online.ru/news/>

オンブズマン-lnr-sudboy-plennyh-ukrainskih-voennyh-nikto-ne-interesovalsya-193559.html; リディア・ミスニツ
ク、

「
捕虜は天使の路地に連れて行かれました」：DPRデニスの頭へのインタビュー
プシーリン'

（transl.）、Gazeta.ru、2022年3月23日、<https://www.gazeta.ru/politics/2022/03/23/14659093.shtml>。

⁹⁰国連、人権高等弁務官事務所、'恣意的拘禁、拷問および

での虐待

ウクライナ東部における武力紛争の状況（2014-2021）'、2021年7月2日：

<https://www.ohchr.org/sites/default/>

ファイル/ドキュメント/国/UA/ウクライナArbDetTorture_EN.pdf; 'ウクライナ：拷問、病気-武装による治療
東部のグループ'、HRW、2021年7月5日、キーウ、：

[https://www.hrw.org/news/2021/07/05/ukraine-torture-ill-treatment-](https://www.hrw.org/news/2021/07/05/ukraine-torture-ill-treatment-武装グループ-東)
武装グループ-東。

⁹¹GCIII、アート。39。

13

ミッションが共有するICRCの見解では、「通常の軍隊」への言及は次のようになります。

紛争当事者の全体的な管理下にあるグループを対象と解釈されます。⁹²

紛争の初期段階では、ウクライナ当局から多くの宣言がありました

これが実施された場合、IHLおよび戦争犯罪の違反を構成します。2022年3月2日、

ロシアの砲兵に四分の一は与えられないという宣言が公式に現れた

ウクライナ軍の特殊作戦部隊の司令部のページ。⁹³オン

2022年3月27日、ウクライナ軍を示す非常に不穏なビデオがインターネットに登場しました

ロシアの捕虜の足を撃ちます。⁹⁴ミッションは、

このビデオ。BBCはビデオ映像を分析しており、まだできていませんが

映像を独自に検証するために、その最初の発見は、

ビデオ。⁹⁵それが本物であるならば、この戦争犯罪⁹⁶はウクライナによって起訴されやすいはずで、そして

伝えられるところによると、ウクライナ当局は事件を調査している。⁹⁷

ウクライナは、キャプチャされた検索のために「Ищисвоих」（あなたの[親戚]を探してください）と呼ばれるサービスを作成しました

またはテレグラムでロシア軍の兵士を殺害、⁹⁸捕虜の家族がニュースを入手できるようにする彼らの関係。これは家族と彼らが依存している力がどのように知らされるべきかではありません POWの運命について⁹⁹そしてそれは彼らを一般の好奇心にさらします。これはIHLとは反対です。¹⁰⁰ ヒューマン・ライツ・ウォッチ（HRW）によると、「[o]言及されたプラットフォームでは、省は捕らえられたロシアの兵士の何百もの写真とビデオを、しばしばパスポートとともに投稿しました および身分証明書。一部の兵士は目隠し、猿轡、またはマスクされています。」¹⁰¹これ違反は、捕獲されたロシア人の通信のスクリーンショットを含む投稿によって悪化しました 家族や友人と一緒に兵士がインターネットに登場¹⁰²、捕虜を報道機関に連れて行く 侵略における彼らの役割を議論するための会議。¹⁰³彼らの発言が

⁹²ICRC、捕虜の扱いに関するジュネーブ条約IIIの解説、2020年、第39条、2483まで。

⁹³ViolettaOrlova、'最後にあなたのお母さんに電話してください：特殊作戦部隊は罰することを約束します ロシアの砲兵

民間人の死のために（翻訳）、UNIAN、2022年3月2日、で：

<https://www.unian.net/war/pozvonite-mame-v-posledniy-raz-sso-obeshchayut-nakazat-artilleriyu-rf-za-smerti-mirnyh-lyudey-novosti-donbassa-11726446.html>。

⁹⁴「ウクライナの兵士が捕虜を撃つ（2.38）」、Reddit.com、投稿者Oboroten54（匿名のReddit ユーザー）、27

2022年3月：

https://www.reddit.com/r/UkraineWarVideoReport/comments/tpalss/ukrainian_soldiers_shoot_at_pow_238/

⁹⁵リアリティチェックとBBCモニタリング、「ビデオはロシアの囚人が射殺されていることを示しています か？」、BBC.com、30

2022年3月、

で：<https://www.bbc.com/news/60907259>。

⁹⁶GCIII、アート。130。

⁹⁷リアリティチェックとBBCモニタリング、「ビデオはロシアの囚人が射殺されていることを示しています か？」、BBC.com、30

2022年3月、

で：<https://www.bbc.com/news/60907259>。

⁹⁸'あなたの[親戚]を探してください'（翻訳）、ウェブサイト、<https://200rf.com/>；'あなたのものを探してください

[親戚]'（翻訳）、

テレグラムチャンネル（匿名で管理）、https://t.me/rf200_noow。

⁹⁹GCIH、Arts69-71および122-123。

¹⁰⁰GCIH、アート。13（2）。

ウクライナ'ウクライナ：捕虜の権利を尊重しますか？、HRW、2022年3月16日、次の場所で。
<https://www.hrw.org/news/2022/03/16/ukraine-respect-rights-prisoners-war>

¹⁰²オレグ・コノネンコ、「そこで彼らを気の毒に思わないでください」：親戚との通信が見つかりました
の電話

キーウの近くで殺されたロシアの兵士-写真'（transl。） 、nv.ua、2022年3月1日：

<https://nv.ua/ukraine/events/rodneye-ubitogo-pod-kievom-voennogo-rf-zhelali-chtoby-on-ne-zhalel-ukraincev-novosti-ukrainy-50221275.html>;
アンナ

Paskevich、「*****[「狙いを定める」を意味する言葉を誓う]みんな」：SBUは
the

亡くなったロシア軍と母親'（transl。） 、Obozrevatel、2022年2月28日、次の場所で。

<https://news.obozrevatel.com/society/hachim-po-vsem-podryad-sbu-pokazala-perepisku-pogibshogo-voennoy-rf-s-materyu.htm>。
行く-

ロシア/ウクライナ：捕虜はジュネーブの下で国民の好奇心から保護されなければならない
コンベンション'、アムネスティ

インターナショナル、2022年3月7日：

<https://www.amnesty.org/en/latest/news/2022/03/russia-ukraine-prisoners-of-war-protected-from-curious-public-june-treaty/>; イザベル・フルシュディアンとサミー
Westfall、'ウクライナは捕らえられたロシア人を舞台に置く。これは強力な宣伝ツールですが、
捕虜の違反

権利？」、ワシントンポスト、2022年3月9日、at：

<https://www.washingtonpost.com/world/2022/03/09/ukraine-russia-prisoners-of-war/>。
捕虜-捕虜/。

14

強制されると、そのような慣行はIHL¹⁰⁴に違反し、兵士とその家族を危険にさらす可能性があります。
同様に、ロシアの捕虜が尋問され、謝罪させられている公開されているビデオ
ウクライナの人々に、ウクライナの軍隊を称賛し、彼らの命令を軽蔑するか、
戦争を終わらせるための親戚について¹⁰⁵はIHLに違反しています¹⁰⁶IHLの下では、捕虜は
基本的な個人情報を提供し、あらゆる形態の強制から保護されます
尋問。¹⁰⁷捕虜は働く必要があるかもしれませんが、¹⁰⁸は捕虜になると発表します
国を再建する¹⁰⁹は、活動の終わりに彼らが帰国しないことを意味する可能性があります
IHLが要求する敵意。¹¹⁰幸いなことに、最近では、ウクライナ人の上級顧問
大統領および他の高官は、囚人を治療することの重要性を公に想起した。
の違反とは関係なく、IHLへの準拠
IHLはロシアによってコミットされました。¹¹¹

ロシア側では、ウクライナの国連人権監視ミッション
(HRMMU) は、ウクライナの捕虜が侮辱され、

IHLの違反を構成する彼らの捕獲に脅迫されました。¹¹²さらに、それは収集しました捕虜の捕獲直後の捕虜の尋問を示すいくつかのビデオが実施されたロシア軍または自称に所属する武装グループのメンバーのいずれかによる「共和国」。これらのビデオでは、ウクライナの捕虜はウクライナの武装勢力を中傷することを余儀なくされました

軍隊、ロシア軍を称賛する歌を唱え、ウクライナ政府に次のように呼びかけるロシア連邦との和平交渉を開始し、ウクライナの兵士に彼らを置くように頼む兵器。いくつかは打撲傷の目に見える兆候を示しました。¹¹³

ロシアはまた、しばしば「捕虜交換」の計画に言及している。¹¹⁴そのような用語は交換の観点からロシアが民間人を人質にすることを助長する可能性があるため危険彼らはロシアの捕虜に対して。¹¹⁵公式声明¹¹⁶は、「ウクライナ軍人」と仮釈放での釈放。これは、ウクライナ人の場合、IHLのオプションです。

¹⁰⁴GCIH、アート。13（2）。

¹⁰⁵国連人権高等弁務官事務所、'人権状況に関する最新情報ウクライナ'、

報告期間：2022年2月24日から3月26日、2022年3月28日：
<https://www.ohchr.org/sites/default/files/>

2022-03 / HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf、パラ48。

¹⁰⁶GCIH、Arts 13（2）および17（1）および（4）。

¹⁰⁷GCIH、アート。17（1）および（4）。

¹⁰⁸GCIH、アート。49（1）。

¹⁰⁹KaterinaTischenko、'捕獲された占領者はウクライナの経済のために働くでしょう-省内務省'、

ウクライナプラウダ、2022年3月8日、<https://www.pravda.com.ua/rus/news/2022/03/8/7329543/>。

¹¹⁰GCIH、アート。118（1）

¹¹¹デニス・カルロフスキー、大統領顧問：ロシアの捕虜に対する暴力と民間人は

unacceptable'、Ukrainska Pravda、2022年3月21日、<https://www.pravda.com.ua/rus/news/2022/03/21/7333375/>；「ウクライナ：捕虜の権利を尊重する」、HRW、2022年3月16日、次の場所で。
<https://www.hrw.org/news/2022/03/16/ukraine-respect-rights-prisoners-war>。

¹¹²GCIH、アート。13（2）。

¹¹³国連人権高等弁務官事務所、'人権状況に関する最新情報ウクライナ'、

報告期間：2022年2月24日から3月26日、2022年3月28日：

[https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-](https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-03/HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf)

03 / HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf、パラ51。

¹¹⁴'Moskalkovaは、ロシアとウクライナの間の捕虜の新しい交換を確認した' (transl.)、イズベスチヤ、24歳

2022年3月、<https://rutube.ru/video/87cb95c667165dd194ef6a9c768516ac/>; タチアナ・ジキナ、'Moskalkova

3月21日、メリトポリ市長との9人の囚人の交換を発表した。

2022年：

<https://www.rbc.ru/politics/21/03/2022/6238d5c59a79478c1341d282>。

¹¹⁵API、アート。75 (2) (c)

¹¹⁶ロシア国防省、ロシア国防省のスポークスマンによるブリーフィング、

2月24日

2022年：https://z.mil.ru/spec_mil_oper/news/more.htm?id=12410638; ロシア国防省

連邦、ロシア国防省のスポークスパーソンによるブリーフィング、2022年2月27日、次の場所で。

[https://eng.mil.ru/en/](https://eng.mil.ru/en/special_operation/news/more.htm?id=12410963)

[special_operation/news/more.htm?id=12410963](https://eng.mil.ru/en/special_operation/news/more.htm?id=12410963); ロシア国防省、ブリーフィング

ロシア

国防省のスポークスパーソン、2022年2月27日、次の場所で。

[https://eng.mil.ru/en/special_operation/news/](https://eng.mil.ru/en/special_operation/news/more.htm?id=12411057)

[more.htm?id=12411057](https://eng.mil.ru/en/special_operation/news/more.htm?id=12411057); ロシア国防省、国家首脳のスピーチ

センター

ロシア連邦大佐ミハイル・ミジンツェフの防衛統制、2022年3月25日、次の場所で。

https://eng.mil.ru/en/special_operation/news/more.htm?id=12414738。

15

法律はウクライナの兵士がそれを受け入れることを許可しています、¹¹⁷しかし彼らは例外を作ったようです「ナショナリスト」。

4. 民間人

本質的に、ウクライナ人と外国人の扱いに関するIHL規則のほぼすべてのロシアの違反

民間人はロシアによって支配されている場所で発生したため、機能によると

占領の概念、そのような違反はロシアの占領地で発生しました。彼らです

したがって、以下の軍事占領のIHLに特化したセクションで扱います。それにもかかわらず、いくつかの違反は、ロシアの手に渡らなかった、または単に陥った民間人に関するものでした

違反のためにその手。それらは、このセクションで扱われます。ミッション

特に、次のような特に脆弱なカテゴリーの民間人の運命に懸念を抱いています。

女性、子供、避難民、障害者。ただし、避けるために

重複、これらの脆弱な人々に関する調査結果は、これの人権の部分に現れます

レポート、¹¹⁸これらの人々はまた、IHLと彼らの

報告された治療はまた、IHLの違反を構成し、時には戦争犯罪に相当します。

最後に、彼らが支配するウクライナの領土に対するウクライナ軍による申し立てられた違反はすべて処理され

ます
現在のセクションで。

a. 人道支援

民間人の基本的なニーズが、人口自体またはその人口を管理する当事者、公平な人道組織または第三国によって領土を管理する当事者の同意を得て人道支援を提供する場合があります。援助が分配される場所、または援助が通過しなければならない場所¹¹⁹占領中権力はそのような同意を与える義務があります、¹²⁰他のすべての状況では、少なくとも同意はIHLの下で恣意的に差し控えられない。特に違反する場合、同意の拒否は恣意的ですIHLまたはIHRLに基づく拒否国の義務のいずれか。そのような否定の目的が同意または人道支援の提供を効果的に妨げることは、民間人にとって、これは戦争犯罪を構成します。¹²¹ウクライナでは、人道回廊は多くの場合、そのような支援の提供を容易にするために提案されます。¹²²ロシア¹²³とウクライナ¹²⁴は、そのような回廊に同意することもあるれば、その作成を拒否することもあります。時には、当事者間の合意は、効率的なものを可能にするほど具体的ではありませんでした。そしてそのような援助の安全な提供。多くの場合、合意が存在する場合でも、人道的護送船団は、内の暴力行為によって攻撃されたか、義務付けられています。

¹¹⁷GCIII、アート。21 (2)。

¹¹⁸以下を参照、VD

¹¹⁹API、アート。70。

¹²⁰GCIV、アート。59; AP I、アート。69。

¹²¹ICC法令、アート。8 (2) (b) (xxv)。

ウクライナ：ロシアの攻撃から逃れる民間人のための人道回廊は安全を提供しなければなりません-新しい証言」、

アムネスティ・インターナショナル、2022年3月10日、<https://www.amnesty.org/en/latest/news/2022/03/ukraine-humanitarian-corridors-civilians-escape-russian-attacks-provide-safety-new-testimony/>。

¹²³ブレンナ・スミスとマーシャ・フロリアック、「ロシアの兵士が彼らの街を占領し、次に彼らの家を占領した」、ニューヨーク

タイムズ、20

2022年3月：

<https://www.nytimes.com/2022/03/20/world/europe/russian-soldiers-video-kyiv-invasion.html>;

「ロシアはウクライナの人道回廊を許可するために部分的な停戦を宣言する」、ロイター、3月5日

2022年：

<https://www.reuters.com/world/europe/russia-allow-humanitarian-corridors-ukraine-defence-ministry-says-2022-03-05/>;

2022-03-05 /; 「ロシアは、人道回廊が民間人をホットスポットから避難させることに同意している。ウクライナ副首相

言う」、ABC News AU、2022年3月26日、<https://www.abc.net.au/news/2022-03-26/russia-agrees-to-humanitarian-corridor-ukraine-says/100942362>。

¹²⁴ジョン・ヘンレイ、ピーター・ボームンティン、ジュリアン・ボーガー、ロシアにつながる「人道回廊」またはベラルーシは拒否しました

Kyiv、The Guardian、2022年3月7日、<https://www.theguardian.com/world/2022/mar/07/russia-humanitarian-corridor-ukraine-war-mariupol-key-uk-russia-defense>、
の会議

2022年3月7日、ウクライナの人道的対応のための合同調整本部。

https://eng.mil.ru/en/special_operation/news/more.htm?id=12412041。

16

セキュリティ上の理由で撤退する回廊。¹²⁵ロシアは、そのような攻撃はしばしばウクライナまたは未知の制御されていない力。¹²⁶

ミッションは、ウクライナが人道支援の提供を妨げる可能性は低いと考えています
自国の人口に、そしてその真っ只中に行動する当事者によって制御されていない力に気づいていません
戦いの。

b. 同情すると信じられているウクライナ人の治療

ロシア。

ミッションは、多数のレポートとビデオ映像に注目しています。¹²⁷は、
泥棒、海賊版、親ロシア人と思われる民間人に関するHRMMUの報告
政府が管理する領土で殴打された支持者または夜間外出禁止令違反者
ウクライナ。HRMMUは、このような45件以上の信頼できる病気の申し立てについて言及しています。
警察官、ボランティアの防衛軍隊員などによる治療¹²⁸ IHLが規定
すべての人が人道的に扱われるべきであり、暴力や怒りを禁じること
個人の尊厳。HR HRMMUは、ウクライナ当局による逮捕を報告しました。
ロシアを支援している疑いのある約300人の個人。3つのケースでは、それらの家族
ウクライナの国家安全保障局（SBU）によって逮捕され、彼らは知らされていなかったと主張した
公式の逮捕、拘留場所、親戚の運命¹³⁰

ウクライナ：ロシアの攻撃から逃れる民間人のための人道回廊は安全を提供しなければなりません-
新しい証言」、

アムネスティ・インターナショナル、2022年3月10日、<https://www.amnesty.org/en/latest/news/2022/03/ukraine-humanitarian-corridor-civilians-escape-russia-attack-provide-safety-new-testimony/>;

ウクライナ：

イジュームにおける人道的大惨事'、アムネスティインターナショナル、2022年3月22日、

で：[https://www.amnesty.org/en/wp-](https://www.amnesty.org/en/wp-content/uploads/2022/03/EUR5053822022ENGLISH.pdf)

コンテンツ/アップロード/2022/03/EUR5053822022ENGLISH.pdf; 「ウクライナの避難列車ががれきに見舞われ
た

の間に

ロシアの砲撃」、EMPRメディア、2022年3月13日、次の場所で。

<https://empr.media/news/conflict-zone/ukrainian-evacuation->

列車はロシアの砲撃中に破片にぶつかった/; 「ロシア軍が難民避難列車を攻撃
ウクライナで、

デイリーオブザーバー、2022年3月13日、<https://www.observerbd.com/news.php?id=357131>;

'ウクライナは7と言います

ロシアが避難護送船団に発砲した後、子供を含めて殺害された'、Swissinfo.ch、2022年3月12日、
で:

<https://www.swissinfo.ch/eng/ukraine-says-seven-killed--include-a-child--after-russia-fired-at-eva>

キュレーション-

コンボイ/47426972。

¹²⁶ 「国防省は、ウクライナ軍が難民と護送船団を砲撃したとして非難した」

(transl.)、Lenta.ru、

2022年3月16日、<https://lenta.ru/news/2022/03/16/kolonna/>; ロシア国防省

フェデレーション、

2022年3月7日、ウクライナでの人道的対応のための合同調整本部の会合、

で:

https://eng.mil.ru/en/special_operation/news/more.htm?id=12412041; ロシア国防省

フェデレーション、

2022年3月9日、ウクライナでの人道的対応のための合同調整本部の会合、

で:

https://eng.mil.ru/en/special_operation/news/more.htm?id=12412325; ロシア外務省

事務、

外務省のスポークスウーマン、マリア・ザハロワによるブリーフィング、モスクワ、2022年3月9日、次の場所
で。

https://mid.ru/ru/foreign_policy/news/1803456/?lang=en。

¹²⁷ Lutsk、Telegramチャネル(匿名で管理)、<https://t.me/Lutsk/5509>; 「略奪者は

に拘束

ルーツク。ビデオ'(transl.)、Volyn24、2022年3月4日、at:

<https://www.volyn24.com/news/184775-u-lucku-zatrymaly->

マロデラビデオ; '彼らはパンツを下ろし、ポールに固定しました: 略奪者は罰せられました

イルピンで'

(翻訳)、TSN、2022年3月12日、at:

[https://tsn.ua/ato/spustili-trusi-i-primotali-do-stovpa-v-irpeni-pokarali-](https://tsn.ua/ato/spustili-trusi-i-primotali-do-stovpa-v-irpeni-pokarali-maroderiv-2007481.html)

maroderiv-2007481.html; 「男は谷のポールに縛られていました-彼らは彼が略奪者だったと言います

(写真) '

(transl.)、Galka.if.ua、2022年3月4日、at:

<https://galka.if.ua/u-dolyni-do-stovpa-pryvyazaly-cholovika-kazhut-buv->

マロデロム-写真/; 複数のYouTube動画、https://www.youtube.com/watch?v=qO7X_kzgzzI (3月10日)

2022); <https://www.youtube.com/watch?v=3njCd36RD4g> (2022年3月1日);

<https://www.youtube.com/watch?v=uCOlzQtQCgM> (2022年2月27日)。

¹²⁸ 国連人権高等弁務官事務所、'人権状況に関する最新情報

ウクライナ、

報告期間：2022年2月24日から3月26日、2022年3月28日：

<https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022->

03 / HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf、パラ41。

¹²⁹API、アート。75 (1) - (2) (a) - (b)。

¹³⁰国連人権高等弁務官事務所、'人権状況に関する最新情報

ウクライナ、

報告期間：2022年2月24日から3月26日、2022年3月28日：

<https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022->

03 / HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf、パラ40。

17

c. 被拘禁者の治療

IHLの下では、保護された民間人は、裁判の観点から、または
必須のセキュリティ上の理由。¹³¹どちらの場合も、通常の手順が規定されています。¹³²いずれにしても、
逮捕され拘留された人は人道的に扱われなければなりません。ミッションはいくつかの信頼できるものを受け
取りました

ロシア軍がジャーナリストを含む民間人を何もせずに逮捕したという報告

手順、そして拷問に相当する方法でそれらを虐待しました。¹³³これは戦争を構成します

犯罪。¹³⁴特に十分に文書化され、記者なしで検証されたそのようなケースの1つ

Borders (RSF) は、ロシア人が撮影したラジオフランスのウクライナ語通訳者および修正者に関するもので
す。

3月5日に中央ウクライナで軍隊を編成し、9日間拘束された。氷の地下室に残され、

彼は鉄の棒とライフルの尻で繰り返し殴打され、電気で拷問され、奪われた

48時間の食事と模擬死刑執行。¹³⁵

5. 軍事占領のIHL

クリミア半島とセヴァストポリ、およびドネツクとルハンシク地域の一部

ドネツクとルハンシクの自称「共和国」によって支配され、占領された

2022年2月24日より前にすでに領土：クリミア半島、ロシアによる直接、および他の2人

領土-主にロシアが全体的に持っている「共和国」の当局を通じて

コントロール。ミッションには、進行中のIHL違反を示す情報がありません。

これらの地域の軍事占領は、2022年2月24日以降、連絡先を除いて変更されました。

ウクライナの他の地域ではさらに困難になり、強制採用が増加しました

以下に述べるように。¹³⁶したがって、レポートのこのセクションは、来た分野に焦点を当てています。

2022年2月24日以降ロシアの支配下にある。

a. 占領地の管理

新たに占領された領土の管理に関しては、そこに位置する公有財産

該当する法律が関係している場合、ロシアはこれらの地域を区別します
ウクライナのルハンシクとドネツクの地域と他の新しく占領された地域に。

ウクライナのルハンシクとドネツク地域に位置するこれらの地域は、すぐに対象となります
ロシアがそれらの支配権を獲得した後、政権、「法律」および
それぞれの「共和国」。これはArtによって禁止されています。GCIVの47。また、アート。ハーグの43
占領者による新しい法律の完全な導入によって規則に違反している
権力（またはその代理人）および刑法および刑事裁判所の導入
「共和国」はアートに違反しています。GCIVの64。そのような変化は、地元の人々を奪うことはできません
軍事占領のIHLの利点は、実際にはそうですが、これは
関連するすべてのIHL条項の違反。

他の新たに占領された地域では、ロシアは「Komendaturas」（一種の市民
占領軍による管理）、それはそれが考慮する規則のみを採用し、施行する

¹³¹GCIV、第42条（1）（党自身の領土内）；GC IV、第78条（1）（占領地）。

¹³²GCIV、アート。78（2）。

¹³³国連、人権高等弁務官事務所、「ウクライナ：重大な懸念」、記者会見
注、12

2022年3月、<https://www.ohchr.org/en/press-briefing-notes/2022/03/ukraine-grave-concerns>;

「七日間

彼女の頭に鞆をかぶった-メリトポリオルガゲイスモワの活動家は彼女の時間について話しました
捕われの身'（transl。） 、

RIA.ua、2022年3月21日、場所：

https://ria-m.tv/news/280976/sem_dney_s_meshkom_na_golove_aktivistka_iz_melitopolya_olga_gaysumova_rasskazala_o_svoem_prebyivanii_v_plenu.html; 'フォトジャーナリストマックス
レビン

2022年3月22日、ZMINAのKyiv'（transl。）の近くで姿を消しました。

<https://zmina.info/news/pid-kyevom-znyk-fotozhurnalist-max-levin/>。

¹³⁴ICC法令。美術。8（1）（a）（ii）-（iii）、（vi）および（viii）。

¹³⁵ロシアの兵士に誘拐され拷問されたラジオフランスのフィクサーの身も凍るような話
ウクライナ、RSF、

2022年3月21日：

<https://rsf.org/en/news/chilling-account-radio-france-fixer-who-was-kidnapped-and-tortured-rosia-battle-ukraine>。
ロシア-兵士-ウクライナ。

¹³⁶以下を参照、IV.E.5.g

その部隊の安全を守るために必要（夜間外出禁止令、あらゆる種類の流通、移動、使用）
武器の; 公の集会の禁止; 軍隊に関する情報の収集の禁止および

軍事政権)または法と秩序を維持するために、IHLの下で行う可能性のある¹³⁷。¹³⁸As
IHLが要求する、¹³⁹の公的生活は、ウクライナ法律と既存の法律に準拠したままです。
ウクライナの地方自治体、特に地方自治体は、
ロシア軍とそれらの地方自治体との間の相互作用はほとんどありません。¹⁴⁰しかし、それは主張されています
いくつかの場所で、ロシアは置き換えようとしています
ロシアルーブルとウクライナの通貨
支払い方法。¹⁴¹

IHLの下では、占領軍は占領下の法と秩序を維持することができ、また維持しなければなりません。
地域。¹⁴²ただし、法律に適用されるIHL規則を尊重しながらそうする必要があります
執行。占領下の町の住民がこれを行ったのかどうかは疑わしい
スカドフスクは2022年3月16日に平和的な集会を開き、都市の解放を要求した
ロシア軍によって捕らえられたリーダーシップ。確かに、ロシア軍は発砲しました
集会の参加者。¹⁴³同様の主張が、
ロシア軍がスタングレナードを投げ、出席している人々を撃ったとされるヘルソン
親ウクライナの集会。¹⁴⁴

ミッションノートは、新たに占領された地方自治体の交代に関する報告です
領土。メリトポリでは、2022年3月11日に選出された市長が拉致された後、イワン
新しい親ロシア市長であるフェドロフが市内に設置されました。¹⁴⁵他の地方自治体
最近占領されたウクライナの都市も、地元を設立するために削除されたと伝えられています
ロシアの利益のためにより有利な政権。¹⁴⁶占領法が規定している間

¹³⁷LiliaRzheutka、「ロシア軍が占領しているヘルソン地域の住民は何と言っていますか？」
DW、3月9日
2022年：
[https://www.dw.com/ru/chto-rasskazyvajut-zhiteli-hersonskoj-oblasti-zanjatoj-rossijskimi-vojskami/a-](https://www.dw.com/ru/chto-rasskazyvajut-zhiteli-hersonskoj-oblasti-zanjatoj-rossijskimi-vojskami/a-61073198)

61073198; Ludmila Vasilyeva、2022年3月18日、Facebook、次の場所：
https://www.facebook.com/permalink.php?story_fbid=5067611169962766&id=100001417987122。

¹³⁸HR、アート。43。

¹³⁹HR、アート。43。

¹⁴⁰LiliaRzheutka、「ロシア軍が占領しているカーソン地域の住民は何と言っていますか？」
DW、3月9日
2022年：
[https://www.dw.com/ru/chto-rasskazyvajut-zhiteli-hersonskoj-oblasti-zanjatoj-rossijskimi-vojskami/a-](https://www.dw.com/ru/chto-rasskazyvajut-zhiteli-hersonskoj-oblasti-zanjatoj-rossijskimi-vojskami/a-61073198)

61073198。

¹⁴¹ウクライナ検察庁グリブナの代わりにルーブルの流通
占領
テリトリー-調査が開始されました(翻訳)：
<https://gp.gov.ua/ua/posts/obig-rublya-zamist-grivni->

¹⁴²HR、アート。43。

¹⁴³ValentinaRomanenko、'スカドフスクの住民は占領者に対して集会に行きました：ロシア人軍隊

発砲' (翻訳)、ウクライナ・プラウダ、2022年3月16日、次の場所で。

<https://www.pravda.com.ua/news/2022/03/16/7331879/>; Dmytro Kuleba (@DmytroKuleba)、Twitter、3月16日2022年：<https://twitter.com/DmytroKuleba/status/1504049697601867779>。

¹⁴⁴以下のVB5も参照してください。国連、人権高等弁務官事務所、'最新情報人権

ウクライナの状況'、報告期間：2022年2月24日から3月26日、2022年3月28日：

https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-03/HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf、パラ53; フラナック Viačorka (@franakviacorka)、Twitter、2022年3月21日、次の場所にあります。

<https://twitter.com/franakviacorka/status/1505879575636684803>; Viktoria Girko、'ヘルソンでは、人々のために集結

ウクライナ、侵略者は発煙弾でそれらを分散させます' (transl。)、Fakty、2022年3月27日、で：

<https://fakty.com.ua/ua/ukraine/20220327-u-hersoni-lyudy-vyjshly-na-mityng-za-ukrayinu-zagarbnyky-rozganyayut-yih-dymovymy-shashkamy/>; Youtube、Fakty ICTV、2022年3月27日、次の場所で。

<https://www.youtube.com/watch?v=T65OgYGLhVY&feature=youtu.be>。

新しい誘拐後、ロシアが支配するメリトポリに新市長が就任。これが私たちが知っていることです、CNN、3月12日

2022年：

[https://edition.cnn.com/europe/live-news/ukraine-russia-putin-news-03-13-22/h_4c5f1055aacea067](https://edition.cnn.com/europe/live-news/ukraine-russia-putin-news-03-13-22/h_4c5f1055aacea067dd1ea3778b6e9c26)

dd1ea3778b6e9c26; ElizaMackintoshとYuliiaPresniakova、'彼らは人生がどのようなものであったかを明らかにしようとしてました

下

ロシアの職業。その後、彼らは姿を消した'、CNN、2022年3月29日、次の場所で。

<https://edition.cnn.com/2022/03/29/europe/>

ukraine-war-russia-occupation-disappearances-detention-cmd-intl/index.html。

¹⁴⁶「Energodarの占領者は、Opposition PlatformforLifeの別の代理人を配置しました市長の」

(transl。)、ZMINA、2022年3月27日、at：

19

公務員の地位を変えることはできず、公務員は持ち運びを続けることができないからではないこと過去のように彼らの任務を遂行し、¹⁴⁷それは占領軍が彼らを排除することを妨げません

¹⁴⁸ただし、そのような解雇は、個人ベースでのみ行使されるべきであり、

占領国は市民生活と公序良俗を維持する義務を果たさなければならないからです

絶対に禁止されていない限り、国内で施行されている法律を尊重しながら、したがって

その既存の機関。¹⁴⁹

ヘルソンに関して、ミッションは、ロシアが公共サービスがいつものように運営されており、市は食料や必需品の不足を経験しておらず、ロシア軍が地方自治体と調整して公序良俗を確保し、市民生活、¹⁵⁰地方市長は、地方行政が死者を集めるのに苦労していることを確認した体と電気、ガス、水、暖房を回復するために。¹⁵¹スカドヴォスクでは、地元の市長電気、ガス、水道、公共サービスが機能していると指定しましたが、略奪を防ぎ、人々が年金を受け取っていないことを防ぐために組織化する。¹⁵²公序良俗と市民生活を確保することは、占領国の手段の義務です。したがって、ロシアがそうした場合、公序良俗と民間人の生活への危害はIHLの違反を構成します客観的に可能なすべての努力をするわけではありません。ミッションは所有していませんロシアがその義務を遵守しなかったことを確認または否定する情報公序良俗と市民生活を維持します。

b. 強制失踪

ロシアの市長の何人かは、地元の親ウクライナの「活動家」、ジャーナリスト、「ボランティア」は「誘拐」されました。つまり、逮捕され、強制的に失踪させられました。自由の剥奪の場合にIHLが規定する手順のいずれかを尊重する¹⁵⁴そしてほとんどの場合

<https://zmina.info/news/okupanty-u-energodari-posadyly-na-misce-mera-chergovogo-deputata-vid-opzzh/>

;

ウクライナ検察庁、発表：組織への参加

で権力を占める

ベルジャンスク市-2022年3月21日、次の場所で訴訟が開始されました。

[https://gp.gov.ua/ua/posts/ucast-v-](https://gp.gov.ua/ua/posts/ucast-v-Organizaciyi-okupacii-noyi-vladi-u-misti-berdyansk-rozpocato-provadzennya)

Organizaciyi-okupacii-noyi-vladi-u-misti-berdyansk-rozpocato-provadzennya; Igor Burdiga、'ジャーナリストオレグ

バトゥールイン：占領者が短期間ここにいるという感じです」（翻訳）、DW、2022年3月27日、で：

<https://www.dw.com/uk/zhurnalist-oleh-baturn-vidchuttia-take-shcho-okupanty-tut-nenadovho/a-61273457> ; '20-

1日30回の「逮捕」：ルハンシク地方の最近占領された都市で人々はどうのように暮らしているのか？」、Gromadske

ラジオ、22

2022年3月：

[https://hromadske.radio/en/news/2022/03/22/20-30-arrests-a-day-how-people-live-in-recently-](https://hromadske.radio/en/news/2022/03/22/20-30-arrests-a-day-how-people-live-in-recently-luhansk地方の占領都市)

ルハンシク地方の占領都市。

¹⁴⁷GCIV、アート。54（1）。

¹⁴⁸GCIV、アート。54（2）。

¹⁴⁹HR、アート。43。

ロシア「ロシアは、ウクライナ南部の都市ヘルソンの支配権を主張している」、アルジャジーラ、2022年3月2日、次の場所で。

<https://www.aljazeera.com/news/2022/3/2/russian-military-says-has-control-of-kherson-in-southern-ukr>

aine。

ロシア「ロシアは、ウクライナ南部の都市ヘルソンの支配権を主張している」、アルジャジーラ、2022年3月2日、次の場所で。

<https://www.aljazeera.com/news/2022/3/2/russian-military-says-has-control-of-kherson-in-southern-ukraine>。

¹⁵²LiliaRzheutska、「ウクライナ、ヘルソン：ロシアの占領下での生活」、DW、2022年3月11日、次の場所

で。
<https://www.dw.com/en/kherson-ukraine-life-under-russian-occupation/a-61090151>。

Ix Felix Light、「誘拐されたウクライナの市長Ivan Fedorovが「特殊作戦」で救助された、The Times、3月17日

2022年：

<https://www.thetimes.co.uk/article/kidnapped-ukrainian-mayor-ivan-fedorov-rescued-in-special-operation-fm60qt2x9>; ElizaMackintoshとYuliiaPresniakova、「彼らは人生が何であることを明らかにしようとしていました」すぐ下

ロシアの職業。その後、彼らは姿を消した」、CNN、2022年3月29日、次の場所で。

<https://edition.cnn.com/2022/03/29/europe/ukraine-war-russia-occupation-disappearances-detention-command-intl/index.html>;

セルゲイ・ノヴィコフ、「占領者はスカドフスクの市長と彼の代理人を誘拐した」(翻訳)、RBK

ウクライナ、2022年3月16日、<https://www.rbc.ua/rus/news/okkupanty-pohitili-mera-skadovska-zama-1647425131.html>;

Dmytro Kuleba (@DmytroKuleba)、Twitter、2022年3月16日、次の場所にあります。

<https://twitter.com/DmytroKuleba/status/1504049697601867779>; 「誘拐された」：ZMINAがキャンペーンを開始
行方不明のウクライナ人について」(翻訳)、ZMINA、2022年3月28日、次の場所で。

<https://zmina.ua/event/vykradeni-zmina-zapuskaye-kampaniyu-pro-znyklyh-vid-ruk-rosiyi-ukrayincziv/>。

¹⁵⁴新しく任命された役人-メリトポリ市議会の副ガリーナ・ダニルチェンコ'(transl。)、ナニニーライブ、12

2022年3月：

<https://novyny.live/ru/safety/v-melitopole-okkupanty-naznachili-vmesto-pokhishchennogo-mera-svoiu-upolnomochennuiu-42607.html>。

20

家族に知らせずに事件。¹⁵⁵これらの人々の一部は後に釈放された¹⁵⁶またはウクライナが保有するロシア人捕虜と交換、虐待を受けたとされる¹⁵⁷

および/または脅迫。¹⁵⁸他の住民は、いくつかの疑いで逮捕されることがよくあります(多くの場合、彼らの電話で見つけた情報)。¹⁵⁹彼らは地元の「Komendatura」に運ばれ、

1~2日以内にリリースされます。IHLが次の場合に規定する手順に関する情報はありません。

自由の剥奪は尊重されます。ウクライナの地方警察が継続を許可されているかどうか

メンバーが継続する準備ができている場合、通常の法執行活動を確保するために機能する

ロシアの占領下で働くことは、はっきりしていません。

HRMMUは、恣意的拘禁と強制失踪の24件を記録しています。

ロシア軍の管理下にある地域の地方公務員、そのうち13人はその後リリースされました。¹⁶⁰また、恣意的拘禁を文書化し、強制しました侵略に声高に反対した21人のジャーナリストと市民社会活動家の失踪Kyiv、Kherson、Luhansk、およびZaporizhzhia地域。¹⁶¹現在、レポートの検証を試みています。その後、5人のジャーナリストと3人の活動家が釈放された。The他の個人の所在は不明です。¹⁶²これは、十分に文書化された29人と一致しています。NGOがミッションに報告した事例¹⁶³

¹⁵⁵国連人権高等弁務官事務所、'人権状況に関する最新情報
ウクライナ'、

報告期間：2022年2月24日から3月26日、2022年3月28日：

[https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-](https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-03/HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf)

03 / HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf、パラ39; ElizaMackintoshとYuliiaPresniakova、'彼らはロシアの占領下での生活がどのようなものであったかを明らかにする。その後、彼らは姿を消した'、CNN、29

2022年3月：

[https://edition.cnn.com/2022/03/29/europe/ukraine-war-russia-occupation-disappearances-detention-command-](https://edition.cnn.com/2022/03/29/europe/ukraine-war-russia-occupation-disappearances-detention-command-intl/index.html)

[intl / index.html](https://edition.cnn.com/2022/03/29/europe/ukraine-war-russia-occupation-disappearances-detention-command-intl/index.html); デニス・カルロフスキー、'ロシアの占領者がノヴァ・カホフカ市議会を誘拐し拷問する秘書'、

ウクライナプラウダ、2022年3月18日、<https://www.pravda.com.ua/eng/news/2022/03/18/7332570/>; ウクライナ検察庁、発表：ロシア人によるフロマドスケジャーナリストの拉致占有者

-刑事訴訟は、2022年3月19日に次の場所で開始されました。

[https://gp.gov.ua/ua/posts/vikradennya-rosiiskimi-](https://gp.gov.ua/ua/posts/vikradennya-rosiiskimi-okupantami-zurnalistki-hromadske-rozpocato-kriminalne-provadzennya)

[okupantami-zurnalistki-hromadske-rozpocato-kriminalne-provadzennya](https://gp.gov.ua/ua/posts/vikradennya-rosiiskimi-okupantami-zurnalistki-hromadske-rozpocato-kriminalne-provadzennya); 'フォトジャーナリストのマックス・レヴィン

もっている

2022年3月22日、ZMINAのKyiv' (transl.) の近くで姿を消した。

<https://zmina.info/news/pid-kyievom-znyk-fotozhurnalist-max-levin/>。

Ks Aleksandr Moroz、「誘拐されたスカドフスク市長はすでに釈放されている」、RBKウクライナ、16
2022年3月、

で：<https://www.rbc.ua/rus/news/pohishchennogo-segodnya-mera-skadovska-otpustili-1647433846.html>;

'Okhtyrka地区評議会（Sumy地域）の議長SerhiyKirichkoが1週間後に釈放された
ロシア語

捕虜」、ウクルインフォルム、2022年3月22日、次の場所で。

<https://www.ukrinform.net/rubric-society/3437254-chairman-of-okhtyrka-district-council-released-from-russian-captivity.html>。

ウクライナ「ウクライナは9人のロシア兵を解放された拘留された市長に交換した-Interfax」、ロイター、3月
16日

2022年：

<https://www.reuters.com/world/europe/russian-forces-have-released-mayor-city-melitopol-kyiv-2022-03-16/>。

¹⁵⁸「カホフカでは、ロシア人は8日間の拷問の後にジャーナリストを釈放した」、ウクライナ・ブラウダ、20歳

2022年3月：

<https://www.pravda.com.ua/eng/news/2022/03/20/7333041/>; 「彼女の頭に鞆をかぶった7日間-からの活動家

Melitopol Olga Gaysumovaは、捕われの身での彼女の時間について話しました' (transl.)、RIA.ua、2022年3月21日、次の場所で。

https://ria-m.tv/news/280976/sem_dney_s_meshkom_na_golove_aktivistka_iz_melitopolya_olga_gaysumova_rasskazala_o_svoem_prebyivanii_v_plenu.html。

¹⁵⁹ララ・ブレンス、「ロシアは拉致を利用して占領地のウクライナ人を脅迫している」、フランス3月24日、29日

2022年：

<https://www.france24.com/en/europe/20220329-russian-forces-are-abducting-ukrainians-in-occupied-territory>; 「ヘルソン地域では、占領者は民間人を止め、彼らの電話をチェックし始めました」、チャンネル24、4

2022年3月：

https://24tv.ua/hersonshini-okupanti-pochali-zupinyati-tsivilnih-pereviryati_n1890095; クリミア自治共和国におけるウクライナ大統領の代表、Facebook（公式ページ）、11

2022年3月、<https://www.facebook.com/ppu.gov.ua/posts/328851965955502>。

¹⁶⁰国連人権高等弁務官事務所、'人権状況に関する最新情報ウクライナ'、

報告期間：2022年2月24日から3月26日、2022年3月28日：

[https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-](https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-03/HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf)

03 / HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf、パラ38。

¹⁶¹国連人権高等弁務官事務所、'人権状況に関する最新情報ウクライナ'、

報告期間：2022年2月24日から3月26日、2022年3月28日：

[https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-](https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-03/HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf)

03 / HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf、パラ36。

¹⁶²国連、人権高等弁務官事務所、声明。ウクライナの状況、3月25日

2022年：

<https://www.ohchr.org/en/statements/2022/03/situation-ukraine>。

¹⁶³人権の側面については、以下のVB7も参照してください。

21

c. 即決処刑の申し立て

調査が正式に終了した後、ミッションは多数の申し立てを受けました
キーウ近郊の村のロシア占領中の民間人の処刑、
特定のブチャとロシア軍の撤退の際に。写真があり、
通りで手を縛られて殺された民間人のビデオと集団墓地についての報告¹⁶⁴
確認された場合、そのような殺害はIHLのひどい違反と戦争犯罪を構成するでしょう。彼ら
法医学の専門家による、その場での深刻な国内および国際的な調査が必要です。もしそれでも
ミッションの処分期間が延長されていたため、
そのような調査を行った。

d. 公的財産の管理

公共財産に関しては、占有者は自然のすべての動産を押収する権利があります
軍事作戦に奉仕し、以下を含むすべての不動産の公共財産を管理および使用するため
用益権の規則に従って、商店、物資、森林、農場。¹⁶⁵3月中旬、
ロシア国防相はロシアのウラジーミルプーチン大統領に許可を求めたとされている
ロシア軍がウクライナの森林と緑を削減するために、軍隊だけでなく
目的だけでなく、木材を販売すること。売却からのお金は、ロシア人によって使用されます
軍隊。¹⁶⁶この主張は、確認された場合、IHLの違反を構成します。切断
森全体を下るのは間違いなく用益権の範囲を超えています。のusufructuaryとして
公共の不動産、占有者はこの不動産の生産から利益を得るかもしれませんが、してはいけません
それを無駄にしたり、誤用したり、使いすぎたりします。さらに、公共の不動産の商業利用の場合
占領地の財産であり、占領者によって得られた利益は、カバーするためにのみ使用することができます
職業の費用とニーズを満たし、住民の利益を保護するために
領土ですが、占領者のより広い経済的利益のために使用することはできません。

e. 私有財産の尊重

ミッションは、ロシアの兵士によって行われた略奪の多数の報告に関係しています。¹⁶⁷
ソーシャルネットワークで共有されているいくつかのビデオが表示されます
食料品店を略奪するロシア軍、
スーパーマーケット、ガソリンスタンド、さらには銀行。¹⁶⁸ロシア軍も

¹⁶⁴「彼らはすべて撃たれた」：ブチャが侵略の恐怖を明らかにしたとき、ロシアは戦争犯罪で告発された、
ガーディアン、4月3日

2022年：

<https://www.theguardian.com/world/2022/apr/03/they-were-all-shot-russia-accused-of-war-crimes-as-bucha-reveals-horror-of-invasion>; ウクライナ：ロシアの見かけの戦争犯罪-管理区域、HRW、3
4月

2022年：

<https://www.hrw.org/news/2022/04/03/ukraine-apparent-war-crimes-russia-driven-areas>

¹⁶⁵HR、Arts53および55。

¹⁶⁶マイケル・スター、'ウクライナは、ロシアが森林を伐採して売却する計画を立てていると非難している
エコサイド」、エルサレム

投稿、2022年3月16日、<https://www.jpost.com/international/article-701426>; 「ウクライナの軍隊

知能：

ロシアは、2022年3月15日、ウクライナの森林の大量伐採を計画しています。

<https://kyivindependent.com/uncategorized/ukraines-military-intelligence-russia-plans-mass-logging-of->

ウクライナ語-森/; ウクライナ国防省情報局、テレグラム
チャンネル

(公式チャンネル)、<https://t.me/DIUkraine/139>。

¹⁶⁷ヤロスラフ・トロフィモフとジェームズ・マーソン、'ロシア軍が民間人を殺害、
占領下のウクライナ、

居住者は言う'、ウォールストリートジャーナル、2022年3月14日、で：

<https://www.wsj.com/articles/russian-forces-kill->

民間人-占領下の供給のための略奪-ウクライナ居住者-say-11647267560; David Averre、'ロシア語
軍隊は使用します

「道徳的な問題」の中でガソリンスタンドを略奪するための彼らの戦車は「絶望的」である

将軍は行き詰まった前進を再開しようとし、

ウクライナの大使館は、供給ラインで大混乱を引き起こします」、デイリーメール、2022年3月21日、次の場
所で。

<https://www.dailymail.co.uk/news/article-10636193/Russian-troops-use-tank-loot-gas-station-amid-morale->

issues.html; '20 -30 1日「逮捕」：ルハンシクの最近占領された都市で人々がどのように生活しているか
地域?'、Gromadske

ラジオ、2022年3月22日、場所：

<https://hromadske.radio/en/news/2022/03/22/20-30-arrests-a-day-how-people-live-in->
ルハンシク地方の最近占領された都市。

¹⁶⁸InsiderUkraine、Telegram Channel (公式ページ)、<https://t.me/insiderUKR/22316>; アレック・ルーン
(@ASLuhn)、

Twitter、2022年2月27日、

で：https://twitter.com/ASLuhn/status/1497888600146395136?ref_src=twsrc%5Etfw%7Ctwcamp%5Etweetembe

22

土地収用。¹⁶⁹あるケースでは、2022年3月20日、ロシアの兵士が上映されました。

ヘルソンのガソリンスタンドの外にあるタンクに引き上げ、基本的な商品を求めて店を略奪しました。¹⁷⁰

IHLの略奪、すなわち公的および私的動産の流用は、厳密に

¹⁷¹さらに、占領軍は私有財産を没収することはできません。つまり、それを押収することはできません。

補償なしで、しかし彼らは彼ら自身の必要性のためにまたはのためにそれを要求する権利があります

領土の管理、金銭的補償の支払いの対象。¹⁷²

問題の商品は占領軍のニーズに必要かもしれませんが、¹⁷³ミッションはそうではありません

要求手順を認識している。したがって、報告されたロシア兵の行動

略奪に相当し、これは違反を構成します

IHLと戦争犯罪。¹⁷⁴

f. 強制送還

ミッションは、ウクライナの当局者とNGOから多数の一貫した報告を受けています

占領下からの強制送還に関するソーシャルメディア上の情報源および個人からロシアへの領土。¹⁷⁵ウクライナ人の人権オンブズパーソンによると議会、50万人の民間人がウクライナからロシアに強制送還されました。¹⁷⁶彼女は次のように主張しました。それらのすべては強制的に追放され、最初に近くのロシアのいくつかのろ過キャンプに運ばれましたウクライナの国境とその一部はサハリン島まで運ばれましたが、去りましたそこに自由に。ロシアはいくつかの機会にあらゆる試みが差し迫っていることでウクライナを非難したウクライナ市民をロシアに避難させるために¹⁷⁷そして30万人近くが

d%7Ctwterm%5E1497888600146395136%7Ctwgr%5E%7Ctwcon%5Es1_&ref_url=https%3A%2F%2Fwww.n
ewsweek.com%2Fvideos-show-russian-soldiers-looting-banks-grocery-stores-ukraine-1683027。

¹⁶⁹国連人権高等弁務官事務所、'人権状況に関する最新情報
ウクライナ'、

報告期間：2022年2月24日から3月26日、2022年3月28日：
[https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-](https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-03/HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf)

03 / HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf、パラ35。

¹⁷⁰ジョン・バルガ、'プーチンの屈辱：ロシアの空挺部隊がビデオ略奪ガソリンで赤字で捕まった
駅'、

Express、2022年3月21日、次の場所で。

[https://express.co.uk/trem.media/news/world/1584106/vladimir-putin-paratroopers-](https://express.co.uk/trem.media/news/world/1584106/vladimir-putin-paratroopers-war-prizes-gasoline-stand-herson-ukraine-war-russia-news-video)

戦利品-ガソリンスタンド-ヘルソン-ウクライナ-戦争-ロシア-ニュース-ビデオ; デビッドアヴェレ、'ロシア軍
は彼らを使用します

戦車を略奪する

「絶望的な」将軍が再開しようとする「道徳的問題」の真っ只中のガソリンスタンド

停滞した前進とウクライナの待ち伏せが遊ぶ

供給ラインの大混乱」、デイリーメール、2022年3月21日、次の場所で。

[https://www.dailymail.co.uk/news/article-](https://www.dailymail.co.uk/news/article-10636193/Russian-troops-use-tank-loot-gas-station-amid-morale-issues.html)

10636193/Russian-troops-use-tank-loot-gas-station-amid-morale-issues.html。

¹⁷¹HR、Arts28および47; GC IV、アート。33 (2) 。

¹⁷²HR、Arts 46 (2) および52。

¹⁷³DavidAverre、「ロシア軍は、「道徳的問題」の中でガソリンスタンドを略奪するために戦車を使用してい
ます。

「絶望的な」将軍は試してみます

停滞した前進を再開し、ウクライナの大使館は彼らの供給ラインで大混乱を引き起こします」、デイリーメー
ル、

2022年3月21日、

で：

[https://www.dailymail.co.uk/news/article-10636193/Russian-troops-use-tank-loot-gas-station-amid-mora-](https://www.dailymail.co.uk/news/article-10636193/Russian-troops-use-tank-loot-gas-station-amid-morale-issues.html)
le-

issues.html; Khaleda Rahman、'ビデオはロシアの兵士が銀行や食料品店を略奪していることを示しています
ウクライナ'、

ニューズウィーク、2022年2月27日、次の場所で。

<https://www.newsweek.com/videos-show-russian-soldiers-looting-banks-food-stores-ukraine-1683027>。

¹⁷⁴ICC法令、アート。8 (2) (b) (xvi) 。

マリ「マリウポリは、ロシアが何千人もの人々を強制送還したと言っている」、ロイター、2022年3月20日、次の場所で。

<https://www.reuters.com/world/europe/ukraines-mariupol-says-russia-forcefully-deported-thousands-its-people-2022-03-20/> ; 「ロシア人は占領下のドネツクとルハンシク地域から女性と子供を強制送還します

に
ロシア' (transl.) 、ZMINA、2022年3月22日、at :

<https://zmina.info/news/rosiyany-prymusovo-vyvozyat-do-rf-zhinok-ta-ditej-z-tymchasovo-okupovanyh-doneczkoyi-ta-luganskoyi-oblastej/> ; Nichvydycia (@nichvydycia) 、

Twitter、2022年3月19日、<https://twitter.com/nichvydycia/status/1505257625839095813>; マリウポリ街

評議会、電報チャネル（公式チャネル） 、<https://t.me/mariupolrada/8987>。

¹⁷⁶ミッションとウクライナ議会の人権オンブズパーソンとの間の話し合い、ウィーン、

2022年3月28日。メディアによると、彼女はむしろ40万人に言及しました : Shona Murray、'続きを読むよりも

40万人のウクライナ人が「ロシアに強制的に追放された」、ウクライナのオンブズウーマンを主張する、Euronews、20

2022年3月、

で :

<https://www.euronews.com/my-europe/2022/03/30/more-than-400-000-ukrainians-forcibly-displaced-to-russia-claims-ukraine-s-ombudswoman>。

¹⁷⁷ゼレンスキーは、マリウポリの人道回廊への攻撃でロシアを非難している'、ビジネススタンダード、2022年3月11日、

で :

https://www.business-standard.com/article/international/zelenskyy-accuses-russia-of-attack-on-humanitarian-corridor-in-mariupol-122031100124_1.html。

23

3月中旬までにロシアに到着した。¹⁷⁸ロシアは、ロシア軍が

ウクライナ市民をロシアに強制送還する。¹⁷⁹これらの強制送還（の一部）が強制的（ロシアがそれらの民間人が強制的な環境を作ったためを含む¹⁸⁰

ロシアに去る以外に選択肢はありませんでした）そして彼らは必然的に占領国としてロシアの権力に陥っていた、これはいずれの場合もIHLと

戦争犯罪を構成します。¹⁸¹ただし、占領軍は安全のために地域を避難させる可能性があります人口または命令的な軍事的理由の。占領者の範囲外での避難

領土は、そのような移動を回避することが実質的に不可能な場合にのみ許可されます。¹⁸²

g. ウクライナ国民の徴兵

GC IVの下では、保護された民間人に敵対勢力の軍隊に仕えることを強制することは、戦争犯罪。¹⁸³2022年1月29日、下院議員は、ロシアの市民権を取得したドネツクとルハンシクの「共和国」は、奉仕したか、ロシア軍に仕える。彼は彼らの親戚に登録されている人はロシアでは兵役を自動的に行う必要があります。¹⁸⁴ロシアがウクライナ語を必要とする場合違法にロシア語を提供したドネツクとルハンシクの「共和国」の住民パスポートまたは2022年2月24日以降に占領された地域の人口（囚人を含む）彼らは解放し、現在のIACでウクライナと戦うために、これは戦争犯罪を構成します。それらがロシア軍または「共和国」の軍隊に組み込まれているかどうか。ミッションNGOと人権オンブズパーソンによるこれらの主張を確認することができませんでしたウクライナ議会。

h. 入隊と労働

軍事占領のIHLは、占領者が住民に義務を負わせる可能性を提供します占領軍または住民のニーズに合わせて特定の作業を実施する実行されるタスクが占領軍に仕えることを含まない限り、占領地軍隊または軍事作戦への参加を要求する。¹⁸⁶さらに、圧力または占領軍への住民の自発的な入隊を確保することを目的とした宣伝は¹⁸⁷ウクライナ検察庁は、ヘルソン地域では、ロシア軍は、ウクライナ市民とともに、地元の警察官、救助隊員、ハンターへの職業管理、彼らに呼びかける「新市警察」に参加し、あらゆる種類の優遇措置を約束する参加しました。¹⁸⁸入手可能な情報では、かどうかを特定することはできません。

¹⁷⁸リディア・ケリーとウィリアム・マラード、'マリウポリはロシアが数千人を強制送還したと言います人々'、ロイター、2022年3月、
<https://www.reuters.com/world/europe/ukraines-mariupol-says-russia-forcefully-deported-何千人もの人々-2022-03-20/>。

¹⁷⁹「モスクワはウクライナ人のロシアへの強制送還を否定している」、TeleTrader、2022年3月22日、次の場所で。
<https://www.teletrader.com/moscow-denies-deporting-ukrainians-to-ロシア/ニュース/詳細/57536310?ts=1648496942911>。

¹⁸⁰ICTY、検察官v. Krnojelac、IT-97-25-T、裁判室、判決、2002年3月15日、475項。

¹⁸¹GCIV、Arts49および147。

¹⁸²GCIV、アート。49。

¹⁸³GCIV、Arts 51（1）および147。

ハリヤ・コイナッシュ、「ドンバス」徴兵制「ロシア軍への徴兵」は、ウクライナ人と戦うために配備される可能性がある」、

ハリコフ

人権保護グループ、2022年2月17日、<https://khpg.org/en/1608810085>。

¹⁸⁵GCIV、アート。147。

¹⁸⁶HR、アート。52 (1) ; GC IV、アート。51 (1) - (2) 。

¹⁸⁷GCIV、アート。51 (1) 。

¹⁸⁸ウクライナ検察庁、職業「警察」への採用を呼びかける
ヘルソン地域-

2022年3月16日に開始されたコラボレーション活動の調査（翻訳）：

<https://gp.gov.ua/ua/posts/zakliki-do-naboru-v-okupaciinu-policiyu-na-xersonshhini-rozpocato-rozsliduvannya-za-faktom-kolaboracii-noyidiyalnosti>。

24

この警察部隊は、占領軍の武装勢力または補助部隊、あるいは正確な部隊に所属しています。
実行する機能の場合、ミッションはこれらのアクションがIHLに違反していることを確認できません。

私。救済の提供

武力紛争の他の当事者とは対照的に、占領国は同意する義務があります

占領地の人口の利益のための外部の人道支援。

それにもかかわらず、地元の基本的なニーズに関する占領国の最初の義務

人口は既存の供給システムに干渉してはなりません。¹⁸⁹その基本的なニーズが

そのシステムの下で人口を満足させることはできません、占領権は、第二に、

たとえば、そのような支援を提供します。¹⁹⁰ただし、人口が「不十分なままである場合

供給された」前述の義務にもかかわらず、占領国は「救援計画に同意しなければならない」

上記の人口に代わって、そして自由に使えるあらゆる手段で彼らを促進しなければならない」。¹⁹¹

ミッションは、これらの債券かどうかを評価するのに十分な信頼できる情報を収集できませんでした
ロシアから尊敬されています。

F. 敵対行為の実施

1. 違反を確認するための特定の難しさ

敵対行為の実施に関する規則

権力者に対して向けられたIHLの違反を確立することははるかに簡単です

紛争の当事者の（例えば、囚人が拷問されたかどうか、人は

レイプされた、または占領地の家が破壊された）違反を判断するよりも

敵対行為の実施に関するIHLの影響（例えば、人が殺されたか、学校が破壊されたか）

IHLの違反に起因する空爆による）。特に、攻撃が

IHLのその部分の下で合法であるのは、攻撃の結果に依存するのではなく、元攻撃側による事前評価。さらに、攻撃が違反したかどうかを確認する区別の原則、¹⁹²は比例関係¹⁹³ルールに準拠し、すべてが実行可能かどうか民間人を救うために予防措置が取られました¹⁹⁴には、いくつかの複雑な分析が必要です対象となる人物またはオブジェクトのステータスを含む法的要因、そのような人物またはオブジェクトかどうか

攻撃の実際の標的、標的とされたオブジェクトの実際のまたは意図された使用、軍隊でした範囲に関連して標的となる人物またはオブジェクトを排除することで攻撃者に価値を与える（どれか）

民間人への付随的影響と、攻撃者が実行可能なすべての予防措置を講じたかどうか民間人への偶発的な影響を回避または最小化するための攻撃の対策。これらの法的評価所与の攻撃の要因は、しばしば両当事者の軍事計画の知識を必要とします、ミッションでは利用できませんでした。の場合には個々の攻撃はもっともらしさだけ違反したとされる当事者の宣言に基づく場合を除いて、議論を行うことができますIHL。さらに、特定のパターンを観察することができ、それが当事者であるという結論につながります。IHLを観察しませんでした。たとえば、1つの病院が防御側によって使用された可能性があります軍事目的で、または誤って破壊された場合、これが50の場合に当てはまる可能性はほとんどありません。病院は破壊されます。

2.に関するIHL規則違反の一般的な評価 ターゲティング

ミッションは、24年以来のロシアのウクライナ侵攻という明白な事実には愕然としている2022年2月、数千人の民間人が死亡および負傷しました。UNHCHRは検証しました、独自の厳格な方法論によると、2022年3月26日の時点で、1119人の民間人が

¹⁸⁹HR、アート。43

¹⁹⁰GCIV、Arts 55 (1) および56 (1) ; AP I、アート。69。

¹⁹¹GCIV、アート。59 (1) ; AP I、アート。69。

¹⁹²API、アート。52 (2) 。

¹⁹³API、アート。51 (5) (b)

¹⁹⁴API、アート。57。

殺され、1790年に負傷しました。¹⁹⁵Officeは、これらの数字は信頼できる情報を収集するのが難しいため、必然的に保守的すぎます一部の場所 (Izium、Mariupol、Volnovakha、Popasna、Rubizhne、Trosterianetsなど)、激しい敵対行為が行われている場所であり、多くの報告がまだ保留中であるため確証。¹⁹⁶ウクライナ検察庁は、現在、ミッションに次のように通知しました。

2022年3月30日、1962年の民間人（うち232人の子供）が負傷し、1199人の民間人（そのうち148人の子供たち）が殺されました。

多くの公式および非公式の情報源の報告から、数十人が
ウクライナでは、家屋など、何千もの民間物が損傷または破壊されています。
多階建ての住宅、管理棟、刑務所、警察
駅、医療および教育施設、給水所および電気システム、¹⁹⁷
民間人に対する悲惨な直接的および間接的な影響。ウクライナ検察総長室
2022年3月30日の時点で、1869回の民間物が攻撃され、
その結果、3881の民間オブジェクトが攻撃の結果として破壊または損傷しました
民間のオブジェクト、ミッションの見解にある人物は、非常に保守的です
メディア、特にマリウポリ、ハリコフ、
イズムとイルピン。

これらすべての死、負傷、損害は当然のことながら1,000万人以上の民間人を導いてきました
ウクライナ内およびその他の敵対行為から逃れるため
国。¹⁹⁸

一方、ミッションはソーシャルメディアでウクライナの攻撃のいくつかの主張を発見しました
ルハンシクとドネツクの自称「共和国」に対して、
民間人と民間物の破壊¹⁹⁹このような主張は、

¹⁹⁵国連人権高等弁務官事務所、'人権状況に関する最新情報
ウクライナ'、

報告期間：2022年2月24日から3月26日、2022年3月28日：
[https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-](https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-03/HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf)

03 / HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf、パラ13。

¹⁹⁶国連、人権高等弁務官事務所、'人権状況に関する最新情報
ウクライナ'、

報告期間：2022年2月24日から3月26日、2022年3月28日：
[https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-](https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-03/HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf)

03 / HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf、パラ14。

¹⁹⁷国連人権高等弁務官事務所、'人権状況に関する最新情報
ウクライナ'、

報告期間：2022年2月24日から3月26日、2022年3月28日：
[https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-](https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-03/HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf)

03 / HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf、パラグラフ1および16; 国連、人間高等弁務官事務所
ウクライナの権利：住宅の権利侵害に深刻な懸念を抱いている国連の専門家、プレス
リリース、2022年3月9日、次の場所で。

<https://www.ohchr.org/en/press-releases/2022/03/ukraine-un-expert-seriously-concerned-housing-rights>

- 違反; キース・コリンズ、ダニエル・アイボリー、ジョン・ホアン、シエラ・S・クイーン、ローリン・ヒギンズ、ジェス

ルーダーマン、クリスティン

ホワイト、ボニー・G・ウォン、「ロシアの民間人標的への攻撃は、ウクライナ」、新しい

ヨークタイムズ、2022年3月23日、場所：

<https://www.nytimes.com/interactive/2022/03/23/world/europe/ukraine-civilian-Attacks.html>; Asya Zolnikova、'美術館、劇場、寺院の破壊は戦争犯罪です。

数十

ウクライナでは、砲撃により民間物が破壊されました。ロシアは責任がありますかこれ?」、メドゥーザ、27

2022年3月：

<https://meduza.io/feature/2022/03/27/razrushenie-muzeev-teatrov-i-hramov-eto-voennoe-prestuplenie>。ウクライナの民間人のオブジェクトの攻撃と死傷者のインタラクティブマップも参照してください。

<https://attacks.stopwar.team/>; "爆撃された病院と破壊されたアパート：

民間人の害

ウクライナで、ベリングキャット、2022年3月17日、で：

<https://www.bellingcat.com/news/2022/03/17/hospitals-bombed-and-apartments-destroyed-mapping-event-civilian-harm-ukraine/>。

¹⁹⁸IOM、OCHA、UNHCR、保護クラスター、リーチ、「ウクライナのIDP数値に関する最新情報」、2022年3月18日、

で：

<https://reliefweb.int/report/ukraine/update-idp-figures-ukraine-18-march-2022-enuk>; 運用データポータル、

ウクライナから逃げる難民（2022年2月24日以降）：

<https://data2.unhcr.org/en/situations/ukraine>。

¹⁹⁹AlisaRebrova、「DPRでは、ウクライナの砲弾が家にぶつかったときに2人の民間人が死亡した」（翻訳）、Lenta.ru、16

2022年3月、<https://lenta.ru/news/2022/03/16/civilians/>; https://t.me/DNR_SCKK/6863; マリーナソビナ、'49

ウクライナの治安部隊による1か月の砲撃により、DPRで民間人が殺害された'、Lenta.ru、16
2022年3月：

https://lenta.ru/news/2022/03/16/_dnr_/; '2月17日以降、LPRで12人の民間人が殺害された砲撃による

ウクライナ軍による'、RIAニュース、2022年3月24日、<https://ria.ru/20220324/donbass-1779788546.html>。

26

UNHCHR。ロシアの捜査委員会も刑事手続きを開始しました

特に自国の領土で、民間人に影響を与えるウクライナの砲撃のさまざまな事例

ルハンシクとドネツクの「共和国」を宣言した。そのプレスリリースのいくつかはに関するデータを含んでいます

場所、時間、損害/死傷者が発生しました。²⁰¹ミッションはこれらを確認できませんでした

申し立て。

a. 違い

ロシア人によって引き起こされた前述の議論の余地のない生命、健康および財産の損失にもかかわらず侵入、IHLにとって重要なのは、破壊されたもの、殺された、または負傷した人ではなく、誰が標的にされたのか。民間人または民間人を標的にすることはIHL²⁰²に違反し、戦争犯罪。²⁰³以下に述べる限られた数の事例でのみ、関係する²⁰⁴ジャーナリストを含む民間人は、建物の外で個別に撃たれましたが、ミッションは犠牲者が標的にされたという証拠。建物が破壊されたときおよび/または民間人が砲兵、ロケット弾、航空爆弾の衝撃で死亡または負傷したミッションには、それらの建物が標的であった、または場合によってはそれらの建物が標的であったという不十分な証拠防御されなかったため、軍事目標-それは完全に合法ですがすべての建物を守るためにウクライナ軍。NGOと被害者は、これらのオブジェクトのほとんどが軍事施設から遠く離れていました。これは、それにもかかわらず彼らがいたことを排除するものではありませんそれらの場所または使用による軍事目標。しかし、非常に多くの人々が民間の建物、特に地上間の実際の戦闘から遠く離れた場所にある建物軍隊は、このように軍事目標に変わったか、それらの非常に多くがによって破壊されました軍事目標が狙われている間の間違い。

特定のインストールがターゲットであることに両者が同意するのはごくわずかですが、それ

それが軍事目的を構成するかどうかについては論争が続いています。したがって、テレビまたはテレビとしてリレーセンター、キエフテレビ塔は2022年3月1日に攻撃されました²⁰⁵そしてテレビ塔は13日に攻撃されました2022年3月のRivne²⁰⁶と2022年3月16日のVinnytsya City²⁰⁷は正当な標的ではありませんでした。

国民の闘志、さらには彼らの闘志を維持する上でのメディアの重要な役割

プロパガンダへの関与は、それらを軍事目的に変えるものではありません。²⁰⁸ロシアは主張し、

ただし、キエフテレビ塔は第72回メイン情報センターと

ウクライナ軍の心理作戦、これは安全保障と一緒に

ハードウェアとソフトウェアの複合体を使用したウクライナ（SBU）サイバーオペレーションユニットのサービスと

²⁰⁰国連、人権高等弁務官事務所、声明：ウクライナの状況、3月25日

2022年：

<https://www.ohchr.org/en/statements/2022/03/situation-ukraine>。

²⁰¹ロシア捜査委員会、'ロシア捜査委員会がウクライナ語を設立ナショナリスト

DPRとLPRの新しい砲撃に関与した'、プレスリリース、2022年4月2日、次の場所で。

<https://sledcom.ru/news/item/1669970/>; ロシアの調査委員会、'刑事事件開始

DPRとLPRのウクライナ治安部隊による砲撃'、プレスリリース、2022年4月1日、次の場所で。

<https://sledcom.ru/news/item/1669952/>。

²⁰²API、アート。48。

²⁰³API、アート。85 (3) (a) ; ICC法令、アート。8 (2) (b) (i) - (ii) 。

²⁰⁴以下のIV.F.4を参照してください。

²⁰⁵ウクライナのVerkhovna Rada、Telegram Channel（公式チャンネル）、at :

<https://t.me/verkhovnaradaukrainy/6929>;

国連、人権高等弁務官事務所、ウクライナに関する記者会見、3月8日

2022年 :

<https://www.ohchr.org/en/press-briefing-notes/2022/03/press-briefing-notes-ukraine>。さらに遠く
のコレクション

この問題に関する情報は、ミッションが所有しています。

²⁰⁶リブノ州への空爆 : テレビ塔の損傷により、地元の人々はテレビ、ラジオを失いました'、NV、14

2022年3月 :

[https://english.nv.ua/nation/air-strike-on-rivne-oblast-tv-tower-damage-leaves-locals-without-television-radio-](https://english.nv.ua/nation/air-strike-on-rivne-oblast-tv-tower-damage-leaves-locals-without-television-radio-50224854.html)

[50224854.html](https://english.nv.ua/nation/air-strike-on-rivne-oblast-tv-tower-damage-leaves-locals-without-television-radio-50224854.html)。

²⁰⁷ヴィーンヌイツヤのテレビ塔の砲撃-一時的に地上波テレビはありません

市内放送'

(transl.)、Radio Svoboda、2022年3月16日、at :

[https://www.radiosvoboda.org/a/news-televezha-vinnytsia-](https://www.radiosvoboda.org/a/news-televezha-vinnytsia-obstril/31755804.html)
[obstril/31755804.html](https://www.radiosvoboda.org/a/news-televezha-vinnytsia-obstril/31755804.html)。

²⁰⁸ただし、メディアが攻撃の正当な標的である可能性があるかどうかについてのあいまいな立場については、
以下を参照してください。

ICTY、'ファイナル

NATO爆撃作戦を検討するために設立された委員会による検察官への報告

the

ユーゴスラビア連邦共和国' (2000年6月8日) (2000) 39ILM1257。

27

その通信施設は、ロシアの標的に対するサイバー攻撃を開始しました。²⁰⁹もしそうなら

サイバー攻撃は確かにロシアとロシアの軍事力に向けられた

説明は単にその宣伝の役割に言及しているのではなく、テレビ塔は軍隊を構成していました

客観的であり、殺された5人と負傷した5人が過度であったことは明らかではありません

彼らが民間人であり、彼らが期待されていたとしても、軍の優位性と比較して

影響を受けます。同様に、Vinnytsya TVタワーを攻撃するミサイル攻撃に関しては、

ロシアは、ウクライナの軍事インフラ、特に

ヴィーンヌイツヤ村の通信、インテリジェンス、中継、通勤センター。²¹⁰もし

テレビ塔は確かに軍事通信と諜報目的で使用されていました

軍事目標になります。ミッションは、の特定の使用または目的を確立することができません

攻撃時の状況でのテレビ塔。

ロシアの公式筋は、民間人または民間人の標的を標的にすることを否定し、それらを主張している

軍事目標に対してもっぱらピンポイントストライキを実施する。²¹¹確かにいくつかのことがあった
ヤーヴォリウ軍事基地など、ウクライナ西部の軍事標的に対する精密攻撃
リヴィウの近く、ウクライナ軍に参加することをいとわない多くの外国の戦闘機がいた
訓練を受けたとされる-そして攻撃によって殺された²¹²。侵略の最初の数日間、いくつかの正確な
飛行場に対する攻撃も報告されました。²¹³ただし、ロシアの情報源はできません
上記の民間物の大規模な破壊について説明してください。ほとんどの場合、攻撃
角度、使用された弾薬、およびヒットしたオブジェクトは、そのような攻撃が原因であることを明確に示して
います
ロシア、²¹⁴これは、ウクライナの攻撃の結果であるというロシアの提案には何も欠けていることを証明してい
ます
財団。

b. 比例性

ミッションが軍事目標または戦闘員が標的にされたことを排除できない場合でも、
攻撃が民間人の生命の偶発的な損失を引き起こすと予想される場合、攻撃者はIHLに違反します。
民間人への傷害、民間人への損害、またはそれらの組み合わせ。
予想される具体的かつ直接的な軍事的優位性に関連して過度である（以下：

²⁰⁹ロシア国防省、ロシア国防省スポークスパーソンによるブリーフィング、2
2022年3月、
で：https://eng.mil.ru/en/special_operation/news/more.htm?id=12411283; '国防省
ロシア人
連邦は、SBUと72番目のオブジェクトに高精度の武器でストライキを発表しました
PSOセンター
Kiev' (transl.)、TVzvezda.ru、2022年3月1日、<https://tvzvezda.ru/news/2022311557-1XRZb.html>。

²¹⁰ロシア軍はヴィーンヌィツヤの軍事施設へのストライキを報告した'（翻訳）、
インテルファクス通信、2022年3月16日、次の場所で。
<https://www.interfax.ru/world/829618>。

²¹¹「ペスコフ：ウクライナのロシア軍は住宅を攻撃しない」、TASS、3月1日
2022年：
<https://tass.ru/politika/13913567>; 「ラブロフ：ロシアはウクライナの軍隊にのみ攻撃する
インフラストラクチャ」、TASS、3月1日
2022年、<https://tass.ru/politika/13976695>。

²¹²'35ウクライナのリヴィウ近くの軍事基地でのロシアの空爆で殺害'、NDTV、2022年3月13日、
で：
[https://www.ndtv.com/world-news/russia-ukraine-war-russia-launches-air-strikes-on-ukraine-military-b
ase-near-
ポリッシュボーダー-2819968](https://www.ndtv.com/world-news/russia-ukraine-war-russia-launches-air-strikes-on-ukraine-military-base-near-polish-border-2819968); <https://www.jpost.com/breaking-news/article-701157>; Andrew Rc Marchall、
'血まみれ
しかし、ウクライナ西部でのロシアの空爆後も生きている」、ロイター、2022年3月13日、次の場所で。
[https://www.reuters.com/world/europe/air-strike-launched-ukraine-military-base-near-polish-border-lv
iv-
当局-2022-03-13/](https://www.reuters.com/world/europe/air-strike-launched-ukraine-military-base-near-polish-border-lviv-2022-03-13/)。

²¹³NadezhdaKomendantova、「ロシア軍はウクライナの6つの都市の飛行場でミサイルを発射しました」、Ukranews.com、

2022年2月24日、<https://ukranews.com/news/836239-vojska-rf-nanesli-raketno-bombovye-udary-po-aerodromam-v-shesti-gorodah-ウクライナ>; Valeria Dragomirova、「ロシア国防省は報告した

攻撃

ウクライナの軍事インフラ」、Ukranews.com、2022年2月24日、次の場所にあります。

[https://ukranews.com/news/836230-](https://ukranews.com/news/836230-minoborony-rf-soobshhilo-ob-udarah-po-voennoj-infrastrukture-ukrainy)

[minoborony-rf-soobshhilo-ob-udarah-po-voennoj-infrastrukture-ukrainy](https://ukranews.com/news/836230-minoborony-rf-soobshhilo-ob-udarah-po-voennoj-infrastrukture-ukrainy)。

ウクライナ「ウクライナ：ロシアのクラスター爆弾が病院を襲う」、HRW、2022年2月25日、場所：

[https://www.hrw.org/news/](https://www.hrw.org/news/2022/02/25/ukraine-russian-cluster-munition-hits-hospital)

2022/02/25 / [ukraine-russian-cluster-munition-hits-hospital](https://www.hrw.org/news/2022/02/25/ukraine-russian-cluster-munition-hits-hospital) #; HRW、「ウクライナ：致命的な攻撃

殺す、負傷する

民間人、Destroy Homes」、HRW、2022年3月8日、[https://www.hrw.org/news/2022/03/18/](https://www.hrw.org/news/2022/03/18/ukraine-destroy-homes)

ウクライナ-致命的-

攻撃-殺害-負傷-民間人-破壊-家; 国連、OHCHR、「人権状況に関する最新情報

ウクライナ」、

報告期間：2022年2月24日から3月26日、2022年3月28日：

[https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-](https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-03/HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf)

03 / [HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf](https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-03/HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf); 国連、ウクライナに関する記者会見-国連のスポークスパーソン

高い

人権委員、2022年3月11日、次の場所で。

[https://ukraine.un.org/en/174617-press-briefing-notes-](https://ukraine.un.org/en/174617-press-briefing-notes-ukraine-spo-sp-person-non-high-officials-human-rights)

ウクライナ-スポークスパーソン-非高等弁務官-人権。

28

比例規則)。²¹⁵そのような予想される損失が明らかに過剰である場合、これはまた、戦争犯罪。²¹⁶個々のケースで、この比例規則に違反しているかどうかを評価するには、ミッションは、攻撃する部隊が搜索する際にどのような利点があるかを知っていると想定します。いかなる場合でも、ミッションはそのような情報を持っていません。それにもかかわらず、殺害または負傷した民間人の数と、場所から遠く離れた場所で破壊された民間の建物地上部隊は実際に互いに戦っていました（したがって、すべての建物はウクライナ軍または民間人は軍事目標を構成します）、それは非常に信じ難いようです民間人が殺されたそれぞれの場合に求められた軍事的優位性はそうだったという使命それが都市部で予想されなければならなかった民間人への影響を正当化することが重要です。それ正確な兵器の（非）入手可能性は、この点で何の役割も果たさないことを強調しなければなりません比例規則の。攻撃者が準拠するのに十分な精度の武器を持っていない場合特定の攻撃の場合の比例ルールでは、攻撃は違法です。

都市部でのいくつかのロシアの攻撃が軍事目的を標的にしていたと仮定すると、比例規則は、ロシアが付随的な影響を及ぼしただけではないことを要求している対象の近くにあると予想される民間人または民間の物体だけでなく、反響する特に都市部の民間人に影響を与えている影響。ミッションは多くの人に気づきました

発火した、および/または攻撃後に消火できなかった火災の報告²¹⁷および

都市部での攻撃後の電気、ガス、暖房、水道の中断、²¹⁸

医療制度への影響を含む。²¹⁹

ウクライナの人々は、携帯電話接続の中断²²⁰も主張されるかもしれません

負傷者や病人がもはや助けを求めることができないという理由だけで、死や負傷につながる可能性があります。

c. 予防

また、正当な軍事目的を対象とし、比例原則が

尊敬されているように、攻撃者（および後で説明するように、はるかに低い程度で、防御者）は

²¹⁵API、アート。51 (5) (b)

²¹⁶ICC法令、アート。8 (2) (b) (iv)。

²¹⁷Tanya Gerasimova, 「Occupiers Shell Avdiivka Coke Plant」、Ukrainews.com、2022年3月13日、次の場所にあります。

<https://ukrainews.com/en/news/840978-occupiers-shell-avdiivka-coke-plant>; 'ロシアのメディアでの報道
告発

化学プラントを妨害するウクライナ」、エルサレムポスト、2022年3月14日、次の場所で。

<https://www.jpost.com/international/>

記事-701196; 「キエフ地方のゴゴリフ村では、魚が火事になりました。

ロケットの後に買い物をする

攻撃' (transl.)、ウクレインフォルム、2022年3月12日、at :

<https://www.ukrinform.ua/rubric-regions/3427450-na-kiivsini-v-seli-gogoliv-likviduvali-pozezu-v-ribnomu-cehu-pisla-raketnogo-obstrilu.html>;

<https://www.pravda.com.ua/news/2022/03/12/7330632/>; ウクライナの国家緊急サービス、公式

Facebookページ : <https://www.facebook.com/MNS.GOV.UA/posts/331195489048347>; オリバーミルマン、
'森

ウクライナのチェルノブイリ原子力発電所周辺で火災が発生しました」、The Guardian、2022年3月22日、
で :

<https://www.theguardian.com/world/2022/mar/22/chernobyl-forest-fires-ukraine-nuclear-plant>。

²¹⁸国連人権高等弁務官事務所、'人権状況に関する最新情報

ウクライナ'、

報告期間 : 2022年2月24日から3月26日、2022年3月28日 :

[https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-](https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-03/HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf)

03 / HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf、パラ24。参照 : '激しい戦闘により、Volnovakhaの多くが
廃墟、Euronews、2022年3月13日、at :

[https://www.euronews.com/2022/03/12/heavy-fighting-leaves-much-of-](https://www.euronews.com/2022/03/12/heavy-fighting-leaves-much-of-volnovakha-in-ruins)

volnovakha-in-ruins; ロシアが2番目のウクライナの核を押収した後、国連安全保障理事会が会合
植物'、ABC.net.au、

2022年3月4日 :

[https://www.abc.net.au/news/2022-03-05/russian-forces-seize-ukrainian-power-plant-as-](https://www.abc.net.au/news/2022-03-05/russian-forces-seize-ukrainian-power-plant-as-前進-ストール/100884702)
前進-ストール/100884702; ウクライナ検察庁、声明 : マリンカ、

Krasnohorivkaと

ドネツク地域の他の入植地は占領者から攻撃を受けました-手続きは

開始（翻訳）、

2022年3月15日：

<https://gp.gov.ua/ua/posts/pid-vognem-okupantiv-opinilisya-maryinka-krasnogorivka-ta-insi-naseleni-punkti-doneccini-rozpocato-provadžennya>。

²¹⁹国連人権高等弁務官事務所、'人権状況に関する最新情報

ウクライナ'、

報告期間：2022年2月24日から3月26日、2022年3月28日：

[https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-](https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-03/HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf)

03 / HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf、パラ25。

²²⁰CorinFaife、'テレコムの停電がウクライナ北東部を襲った。大規模な停電も報告されています'、

寸前、3月3日

2022年：

[https://www.theverge.com/2022/3/3/22960374/telecoms-blackout-northeast-ukraine-power-outage-](https://www.theverge.com/2022/3/3/22960374/telecoms-blackout-northeast-ukraine-power-outage-smi)

スムイ; 国連、人権高等弁務官事務所、'人権状況に関する最新情報

ウクライナ'、報告期間：2022年2月24日から3月26日、2022年3月28日：

https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-03/HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf、パラ24。

29

偶発的なものを回避し、いずれにせよ最小限に抑えるという観点から、実行可能な予防策を講じること

民間人の生命の喪失、民間人への傷害、および民間人の物への損害。²²¹特に、

攻撃者は次のことを行う必要があります。（1）ターゲットが実際にIHLの下で合法的なものであることを確

認し、²²²（2）警告する

民間人

可能であれば、攻撃の人口。²²³（3）攻撃が次のようになったときに、攻撃をキャンセルまたは一時停止します。

明らかそれはIHLに違反します;²²⁴と（4）ターゲットを選択します（選択が可能な場合

同様の軍事的優位性を提供するいくつかのターゲット）²²⁵および（5）手段を選択し、

民間人にとって最小のリスクを表すと予想される戦争の方法²²⁶

人口。特定の攻撃の場合に実行可能なすべての予防措置が講じられたかどうかを評価するために、

ミッションは、どのような予防策が講じられたかを知らなければならない（ただし、おそらく成功しませんでした）。

攻撃を計画または決定した人々にとって、他にどのような予防策が実行可能でしたか。The

精密誘導爆弾の入手可能性は、そのような実現可能性に影響を与える要因です。ミッション

そのような情報を持っていません。それにもかかわらず、それは、特に、

ロシアのような高度な兵器技術を持ち、攻撃を開始している国（おそらく

人口密度の高い地域では、軍事目標を目標とし、比例規則を尊重します。

武器、弾薬、戦術、タイミング以外の武器、弾薬、戦術、タイミングを選択することは不可能でした。

実際に使用しました。

人口密集地域で使用する武器や弾薬は、それを特に信じ難いものにします
予防的義務が尊重されたこと。²²⁷武器がそうでない場合でも
禁止されている（このレポートの後半で説明する問題）、その使用は、
ここで説明する区別、比例、および予防措置に関する規則に基づく義務。The
ICRCは、重い爆発物を使用しないという国家による政治的コミットメントを目的としたキャンペーンを主導
しています
人口密集地域の兵器は、その広い範囲を制限するために十分な緩和策が講じられていない限り、
地域への影響とその結果としての民間人への危害のリスク。²²⁸アイルランドは2021年に「草案
人道主義者からの民間人の保護を強化することに関する政治宣言
広域効果のある爆発性兵器の使用から生じる可能性のある結果
人口密集地域」。²²⁹この宣言はまだ採択されておらず、議論の余地があります
それが既存の法律を反映しているだけなのか、それとも新しい法的義務を含んでいるのか、あるいは含むべき
なのか。たくさんの
州は、少なくとも2022年2月24日以前は、新たな法的義務に反対し続けた。それが残っています
ウクライナでのロシアの慣行に対する彼らの現在の反応が
彼らの態度。それにもかかわらず、一部またはすべてのICRC勧告がまだ行われていないと仮定しても
既存の法律に対応し、ミッションは、議論の余地のないことは非常にありそうもないと考えています
クラスター爆弾の使用²³⁰、大規模な弾薬
大きな爆弾やミサイルなどの爆風半径、
無誘導ミサイル、大砲、迫撃砲、多連装ロケットシステム（MLRS）、ダム

²²¹API、アート。57。

²²²API、アート。57（2）（a）（i）

²²³API、アート。57（2）（c）

²²⁴API、アート。57（2）（b）

²²⁵API、アート。57（3）。

²²⁶API、アート。57（2）（a）（ii）。

²²⁷以下のIV.G.9を参照してください。

²²⁸ICRC、レポート：爆発性兵器：人口逮捕における文明は保護されなければならない、1月26日
2022年：

<https://www.icrc.org/en/document/civilians-protected-against-explosive-weapons>。

²²⁹人道的危害からの民間人の保護を強化することに関する政治宣言草案
から生じます

人口密集地域での爆発性兵器の使用：

[https://www.dfa.ie/media/dfa/ourrolepolicies/peaceandsecurity/ewipa/Draft-Political-Declaration-1703
2020.pdf](https://www.dfa.ie/media/dfa/ourrolepolicies/peaceandsecurity/ewipa/Draft-Political-Declaration-17032020.pdf)。

²³⁰国連人権高等弁務官事務所、'人権状況に関する最新情報
ウクライナ'、
報告期間：2022年2月24日から3月26日、2022年3月28日：

航空機から放出された爆弾と焼夷兵器の使用の疑い、²³¹白リン²³²

人口密集地域にある²³³の熱気化爆弾または真空爆弾は、いずれの場合も唯一のものでした。

ロシアの司令官にとって実行可能な選択。したがって、そのような使用はロシアの義務に違反しました。攻撃を開始するときは、実行可能な予防措置を講じてください。実行可能な予防措置を省略するには措置はそれ自体が戦争犯罪を構成するものではありませんが、ある程度の無謀さを証明する可能性があります。民間人に対する意図的な攻撃の知識と意図を示すのに十分であり、戦争犯罪である民間の目的または比例規則の明らかな違反。²³⁴

d. オープンソースに基づく分離の不可能性

情報、区別の違反、比例性

および注意事項の規則

理論的には、攻撃の標的（必ずしも実際にあったものではない）かどうか

破壊された）は合法であったか、違法な手段が使用されたかどうか、予想される偶発的なものかどうか。民間人への攻撃の影響は、軍事的優位性に関連して過度でした。

予想され、攻撃者と防御者の両方が回避するために実行可能な措置を講じたかどうか、そしていずれにせよ、そのような偶発的な影響を最小限に抑えることは、4つの異なるテストです。初歩的なものに基づく

ミッションの自由に使える情報と正反対の両方の物語

ウクライナの政党では、これらのステップは、しかし、ばやけて混ざり合っています。

区別に関する規則の違反を含む特に陰湿な形態の攻撃、

比例と予防策は「ダブルタップ攻撃」です。2022年3月1日、ハリコフ地域

リバティスクエアの政権は、ロシアのカリブ級巡航ミサイルに襲われたとされている。

救助隊が到着した後（5〜7分後）、同様のロケットによる2回目のストライキがありました。

建物にぶつかる。²³⁵これは、救助者と最初の攻撃で負傷した人が、いずれにせよ攻撃から保護されている人は、²³⁶が意図的に標的にされました。

3.包囲戦と人道回廊

包囲戦は、敵の軍隊を防ぐために、敵の軍隊を取り囲む戦術で構成されています

移動するか、サポートおよび供給チャネルからそれらを切り離します。目的は敵を強制することです。敵対行為を通じて包囲された地域を占領する試みを含む、降伏。でも

彼らがそうする気がない限り、町で敵の軍隊を打ち負かすことは違法ではありません

²³¹Zvezdanews、Telegramチャネル、<https://t.me/zvezdanews/71770>; Oleksiy Beloshitskiy、Facebook ページ、で：

<https://www.facebook.com/1609570575/videos/493393615709946/>; Rohit Kachroo (@RohitKachrooITV)、

Twitter、<https://twitter.com/RohitKachrooITV/status/1506702632253022213>; アルディン (@tinso_ww)、
ツイッター、で：
https://twitter.com/aldin_ww/status/1507418336904171522。

²³²「化学攻撃で告発されたロシアのドンバス傷30でのストライキ」、モスクワタイムズ、2022年3月13日、
で：

<https://www.themoscowtimes.com/2022/03/13/moscow-accused-of-phospore-gas-attacks-in-donbas-a76899>;
Christopher Miller (@ChristopherJM)、Twitter、2022年3月26日、次の場所にあります。

<https://twitter.com/ChristopherJM/status/1507852956070260741>; エマ・レイノルズ、'ロシアは非難
攻撃

ウクライナが違法なリン爆弾を使用している」、INews、2022年3月13日、次の場所で。

<https://inews.co.uk/news/world/russia->

告発された-リン-爆弾-攻撃-ウクレイン-nato-チーフ-化学-武器-戦争犯罪-1514645。

ウクライナ「ウクライナ米国大使はロシアが真空爆弾を使用したと言う」、ブルームバーク、2022年3月1日、
次の場所で。

<https://www.bloomberg.com/news/videos/2022-03-01/ukraine-us-ambassador-says-russia-used-vacuum-bomb>

-
ビデオ; ジャック・デッチ、「それは恐ろしい」：ロシアはウクライナの電撃戦に真空爆弾を準備する」、外
国人

ポリシー、1

2022年3月、<https://foreignpolicy.com/2022/03/01/russia-thermobaric-weapons-ukraine/>; 英国

省

防衛 (@DefenceHQ)、Twitter、2022年3月9日、次の場所：

<https://twitter.com/DefenceHQ/status/1501621370614173701>; 確認する詳細情報

の使用

熱気化兵器は、ロシアのチャンネルでビデオを共有するなど、ミッションに提供されました
の打ち上げ

TOS-A1ミサイル。

²³⁴API、アート。85 (3) (a) ; ICC法令、アート。8 (2) (b) (i) - (ii) および (iv)

²³⁵PravdaGerasheko、Telegram Channel、https://t.me/Pravda_Gerashchenko/1131; ニコライ
Savenko、'

ロシアの占領軍のミサイルがハリコフ地方行政を攻撃し、建物の一部は
破壊されました'

(transl.)、Ukraneews.com、2022年3月1日、at：

[https://ukranews.com/news/837749-raketa-rossijskih-okkupantov-
popala-v-harkovskuyu-obladministratsiyu-chast-zdaniya-razrushena](https://ukranews.com/news/837749-raketa-rossijskih-okkupantov-popala-v-harkovskuyu-obladministratsiyu-chast-zdaniya-razrushena)。

²³⁶API、Arts 41 (1) - (2) 、51 (2) 。

31

降伏、包囲戦は、ウクライナや他の場所で、民間人に大きな影響を与えます。彼ら

砲撃と包囲軍と包囲軍の間の激しい戦闘を伴う、

包囲された地域に閉じ込められた民間人に絶え間ない危険をもたらします。それらの民間人はしばしば

水、電気、暖房、食料、医療サービスを遮断します。年齢などの要因、性別固有の役割または障害は、不足しているリソースへのアクセスの難しさを悪化させる可能性があります。

極端なケースは、2022年3月2日から包囲されたマリウポリです。²³⁷高解像度衛星画像2022年3月22日にマリウポリのマクサー社が撮影したものは、破壊の程度を示しています。ウクライナ南部の包囲された都市で。²³⁸損傷した工場の建物に加えて、画像燃え、破壊された住宅やその他の民間施設を示します。によるとウクライナの情報源、すべての住宅の80~90%が損傷した、またはロシアの砲撃により破壊された。²³⁹HRMMUは、3月26日の時点で、少なくとも126のマルチストーリー住宅の建物が損傷し、包囲されたマリウポリで65が破壊されました。²⁴⁰さまざまな情報源によると、マリウポリの住民は30万人から15万人と報告されています。街に閉じ込められた²⁴¹そして4月1日までに数千人しか出国できなかった。²⁴²試み立ち去りたい人全員を避難させることは失敗し、各当事者は不利な当事者を非難します。そのような失敗の責任を負います。残っている人は絶え間ない砲撃を受け、暖房はなく、水と食べ物はほとんどないと報告されています。²⁴³

もう1つの例は、ウクライナ東部のハルキウ地方にあるイジュームの町です。によるとアムネスティ・インターナショナルが発行し、他の情報源によって裏付けられた、その町の詳細なレポート。絶え間ないロシアの砲撃によってほぼ完全に破壊されました。²⁴⁴住民は2022年2月28日以来、常に包囲のような状況にあり、残りの民間人は隠れています。彼らの地下室、食料と水の供給は絶えず減少しており、それらのほとんどは削減されています。攻撃の結果として、電気、ガス、暖房、およびモバイル通信から離れます。²⁴⁵衛星

Leon David Leonhardt、「A City Under Siege」、ニューヨークタイムズ、2022年3月17日、次の場所で。
<https://www.nytimes.com/2022/03/17/ブリーフィング/mariupol-siege-russia-invasion-ukraine.html>; 'ウクライナ：安全な通過を確保する、援助

マリウポリ民間人、HRW、2022年3月31日、次の場所で。
<https://www.hrw.org/news/2022/03/21/ukraine-ensure-safe-パッセージエイド-マリウポリ-民間人>。

²³⁸衛星画像、2022年3月22日：マリウポリと北キーウ、マクサー、<https://www.giscafe.com/nbc/articles/1/1910752/Maxar-Satellite-Images-22-March-2022-Mariupol-Northern-Kyiv>。

²³⁹公式によれば、マリウポリの80-90%がロシアの砲撃、空爆によって破壊または損傷した、キーウ独立、2022年3月17日、次の場所で。
<https://kyivindependent.com/uncategorized/official-says-80-90-of-mariupol-ロシアの砲撃による破壊または損傷-空爆/>。

²⁴⁰国連人権高等弁務官事務所、'人権状況に関する最新情報ウクライナ'、報告期間：2022年2月24日から3月26日、2022年3月28日：
[https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-](https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-03/HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf)

03 / HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf、パラ25。

ウクライナのウクライナ戦争：マリウポリの荒廃した都市の内部-ブーチンの残忍なものによって認識できないままにされた

侵略」、SkyNews、

2022年3月19日：

<https://news.sky.com/story/ukraine-war-inside-the-devastated-city-of-mariupol-left-buchin-byon-recognition-inability-cruel-invasion-12569437>。

ウクライナ「ウクライナ：2万人の民間人が戦争で荒廃したマリウポリの街から逃げる-それが起こったとき」、DW、2022年3月15日、

で：

<https://www.dw.com/en/ukraine-20000-civilians-flee-war-torn-city-of-mariupol-as-it-happened/a-61126783>;

<https://www.reuters.com/world/ukraine-unable-get-supplies-mariupol-civilians-unable-leave-mayors-aid-e-2022-04-01/>。

²⁴³国連、OHCHR、「ウクライナの人権状況に関する最新情報」、報告期間：2月24日–6
行進

2022年、2022年3月28日、https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-03/HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf、パラ25;「ウクライナ：安全な通過を確保し、マリウポリの民間人を支援する」、HRW、2022年3月31日、

で：

<https://www.hrw.org/news/2022/03/21/ukraine-ensure-safe-passage-aid-mariupol-civilians>。

ウクライナウクライナ：ロシア軍からの絶え間ない攻撃の後、限界点にあるイジュームの困窮した町
- 新着

証言」、アムネスティインターナショナル、2022年3月16日、次の場所で。

<https://www.amnesty.org/en/latest/news/2022/03/ukraine->

困惑したイジュームの町-破壊点-後-一定の攻撃-ロシア軍-新しい-証言/

; 国連、

人権高等弁務官事務所、「ウクライナの人権状況に関する最新情報」、

報告期間：2022年2月24日から3月26日、2022年3月28日：

https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-03/HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf。

ウクライナウクライナ：ロシア軍からの絶え間ない攻撃の後、限界点にあるイジュームの困窮した町
- 新着

証言」、アムネスティインターナショナル、2022年3月16日、次の場所で。

<https://www.amnesty.org/en/latest/news/2022/03/ukraine->

困惑したイジュームの町-破壊点-後-一定の攻撃-ロシア軍-新しい-証言/

。も参照してください

IHLの下では、敵軍のみが存在するエリアを占領したり、ブロックしたりすることは禁止されていません。飢餓による降伏を達成することを含む、彼らの強化または補給。IHL
敵の軍隊を包囲することの合法性を尊重し、
3つの方法で民間人を保護します。まず、包囲者が区別に関する規則を尊重する場合、
比例と予防策と防御者は人間の盾として民間人を使用せず、
軍の標的と民間人を分離し、民間人は彼らの家にとどまることができなければなりません
逃げる義務はありません。IHLの基本的なアプローチは、民間人を避難させて許可することではありません
軍隊は邪魔されずに敵対行為を行うが、軍隊に敵対行為を行うことを義務付ける
民間人の存在を考慮に入れます。第二に、包囲者は人道主義者に任せなければなりません
支援を介して、しかし一般市民の利益のためにのみ、それは困難を伴う
交渉と取り決めどのようにそして誰によって民間人への援助の分配
人口のみを監視する必要があります。第三に、民間人は包囲された地域を離れることを許可されなければなりません。

これはいくつかの障害に遭遇します。包囲された町のような強制的な環境では、そのような選択は
多くの場合、無料ではありません。これは、民間人の強制的な移送が禁止されていることを意味する場合があります。
あります。このレポートは扱った

上記の民間人の大量強制送還の疑いで、²⁴⁷のほとんどが包囲された地域を去り、
ロシア。さらに、包囲された部隊は、すべての民間人が去るのを見ることに関心がありません。
これは、残っているすべての人がいるので、包囲された場所の捕獲を大いに促進するでしょう
正当な攻撃の標的が存在するでしょう。したがって、ロシアはウクライナもそうではないと主張している
避難に同意するか、同意を尊重しない。

Leave.²⁴⁸最後に、包囲者は理論的には民間人が去る関心を持っていますが、
練習

そして、敵国の全人口に対して戦争が行われるとき、それはありません
モダリティに同意することをいとわない。したがって、ウクライナと多くのNGOやメディアは、ロシアが
避難に同意しなかったり、または避難しようとしている人々への攻撃を通じてそのような合意に違反してい
る

²⁴⁹民間人を奪うことにより、戦争の方法として意図的に民間人の飢餓を利用する
救援物資を故意に妨害することを含む、彼らの生存に不可欠な物の
IHLの下で規定されているものは戦争犯罪を構成します。²⁵⁰

人道回廊は、人道支援の両方の参入を促進する必要があります
民間人の人口とそのように望む民間人の出発。しかし、そのようなために
人道回廊が機能するためには、双方の軍隊の真の同意が必要です。期限
使用される武器（大砲、ミサイル）に対して、合意は広いスペースをカバーする必要があります。
人道回廊は遠くから砲撃することができます。さらに、最低限の信頼が必要です
当事者間で、一方の当事者が軍事目的で停戦を利用しないこと。

「ウクライナ：ロシアの残酷な包囲戦術が民間人を不法に殺害する-新しい証言と
調査」、

アムネスティ・インターナショナル、2022年4月1日、次の場所で。
<https://www.amnesty.org/en/latest/news/2022/04/ukraine-russias-cruel-包囲戦-戦術-不法殺害-民間人-新しい-証言-そして-調査/>

ウクライナウクライナ：ロシア軍からの絶え間ない攻撃の後、限界点にあるイジュームの困窮した町

- 新着

証言」、アムネスティインターナショナル、2022年3月16日、次の場所で。

<https://www.amnesty.org/en/latest/news/2022/03/ukraine->

困惑したイジュームの町-破壊点-後-一定の攻撃-ロシア軍-新しい-証言/

。

²⁴⁷ 上記のIV.F.5.fを参照してください。

²⁴⁸ たとえば、マリウポリからの避難については、調査委員会の報告書を参照してください。

ロシア、

<https://en.sledcom.ru/news/item/1664708/?pdf=1>および<https://en.sledcom.ru/news/item/1667432/?pdf=1>。

ウクライナ「ウクライナ：イジュームにおける人道的大惨事」、アムネスティインターナショナル、2022年3月22日、

で：

<https://www.amnesty.org/en/wp-content/uploads/2022/03/EUR5053822022ENGLISH.pdf>; ウクライナ：

ロシアの攻撃から逃れる民間人のための人道回廊は安全を提供しなければならない-新しい

証言」、恩赦

インターナショナル、2022年3月10日、

<https://www.amnesty.org/en/latest/news/2022/03/ukraine-humanitarian->

民間人のための回廊-逃げる-ロシアの攻撃-提供しなければならない-安全-新しい-証言/; の避難

マリウポリ

再び失敗し、包囲された民間人を座礁させた」、ロイター、2022年3月6日、次の場所で。

<https://www.reuters.com/world/>

ヨーロッパ/ロシア-ウクライナ-非難-お互い-マリウポリ-避難-失敗-再び-2022-03-06/。

²⁵⁰ ICC法令、アート。8（2）（xxv）。

33

ウクライナでは、そのような交渉はまだマリウポリにとって散発的にしか成功していませんが、いくつかは何千人もの民間人が去ることができました

Sumy.²⁵¹

4.個々の民間人に対する標的型攻撃

ミッションは、自転車に乗ったり歩いたりする民間人に対する攻撃のいくつかの申し立てを受けました

公共の場では、²⁵²が車で運転や電車での移動で、そのうちの4つが影響を受けました

ジャーナリスト、²⁵⁴意図的に例として説明するよりも、他の方法で説明することはできません。

民間人を標的にする（これは戦争犯罪です）²⁵⁵民間人の家での民間人の死者よりも

仮に軍事目的に変わったか、偶然に破壊された可能性があります

または誤って。同じことが、ジャーナリストのような民間人の処刑にも当てはまります。

障害、自分の家や庭での²⁵⁶。²⁵⁷確認された場合、それらは戦争犯罪です。

5.民間人の武装

ロシアの侵略の当初から、ウクライナ当局はすべてを奨励しました

ロシア人との戦いに参加する住民（または少なくとも18歳から60歳までの男性）

force.²⁵⁸そのような人がウクライナ軍に組み込まれる場合、これは合法です

IHLの下で（そのような人々はまたIHLの下でロシアの攻撃の合法的な標的に変わります）。

そうでなければ、民間人への武器の配布²⁵⁹は彼らを攻撃の合法的な標的にします（彼らは彼らに戦闘員の特権を与えずにそれらを使用します。ロシア軍の接近について、民間人は、IHLの下で、侵略軍に抵抗するために「自発的に」武器を取ることもできます。彼らは武器を持っていれば、「通常の武装ユニットを形成する時間はありませんでした」

²⁵¹「ロシアの砲撃が続く中、数千人がスミーを避難させる」、アルジャジーラ、2022年3月15日、次の場所
で。

<https://www.aljazeera.com/news/2022/3/15/thousands-evacuate-sumy-as-russia-bombardment-continues>。

²⁵²ウクライナ検察庁、ニュース：乗った年金受給者数名の砲撃

自転車に

病院-スームィ地域で手続きが開始されました'（翻訳）、2022年3月22日、次の場所で。

<https://gp.gov.ua/>

ua/投稿/obstril-podruzzya-pensioneriv-yaki-yixali-na-velosipedax-u-likarnyu-na-sumshhini-rozpocato-provadzennya; Diana Krechetva、'ブチャで、占領者は彼の息子の前で父親を撃った-少年

奇跡的に

生き残った'（transl）、Zhitzya、2022年3月22日、[https://life.pravda.com.ua/society/2022/](https://life.pravda.com.ua/society/2022/03/22/247925/)

03/22/247925/。

²⁵³ウクライナ検察庁、公式Facebookページ：

[https://www.facebook.com/](https://www.facebook.com/pgp.gov.ua/posts/335290821967091)

pgp.gov.ua/posts/335290821967091;「ハリコフ地域では、敵の戦車が家族と一緒に車を撃墜しました
中身、

9歳の少女を含む3人を殺害'（transl）Ukrinform、2022年3月22日、

で：

<https://www.ukrinform.net/rubric-ato/3436598-russian-tank-shoots-dead-family-in-kharkiv-region.html>;

「ロシア軍がウクライナの難民避難列車を攻撃する」、The Daily Observer、2022年3月13日、次の場所で。

<https://www.observerbd.com/news.php?id=357131>。

²⁵⁴国連人権高等弁務官事務所、'人権状況に関する最新情報

ウクライナ'、

報告期間：2022年2月24日から3月26日、2022年3月28日：

[https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-](https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-03/HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf)

03 / HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf、パラ54。

²⁵⁵国連人権高等弁務官事務所、'人権状況に関する最新情報

ウクライナ'、

報告期間：2022年2月24日から3月26日、2022年3月28日：

[https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-](https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-03/HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf)

03 / HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf、パラ35。

国際「国際構造はウクライナ人を誘拐や処刑から保護しなければならない」、ZMINA、14

2022年3月、

で：

<https://zmina.ua/statements/mizhnarodni-struktury-mayut-zahystyty-ukrayincziv-vid-vykraden-ta-strat-gromadskist/>。

²⁵⁷ウクライナ検察庁、スームィ地域では、占領者が自分で年金受給者を撃ったヤード-

調査は2022年3月22日に次の場所で開始されました。

<https://gp.gov.ua/ua/posts/na-sumshhini-okupanti-rozstrilyali-pensioneriv-na-vlasnomu-podviryi-rozpocato-rozsliduvannya>。

ウクライナの「ウクライナ大統領が人口の一般的な動員に関する法令に署名-Interfax」、ロイター、24 2022年2月、

<https://www.reuters.com/world/europe/ukrainian-president-signs-decree-general-mobilisation-population-interfax-communication-2022-02-24/>。

²⁵⁹ZhannaBezpiatchuk、'ウクライナの紛争：市民のボランティアがロシアと戦うために武装する侵略」、BBCニュース、

2022年2月27日、<https://www.bbc.com/news/av/world-60546011>; アンナ・ルディク、'当局は与えるウクライナを保護するためのすべての人への武器-Zelensky'、Ukranews.com、2022年2月24日、次の場所で。
[https://ukranews.com/](https://ukranews.com/news/836335-dlya-zashchity-ukrainy-vlasti-budut-vydavat-oruzhie-vsem-zelenskij)

ニュース/836335-dlya-zashchity-ukrainy-vlasti-budut-vydavat-oruzhie-vsem-zelenskij; ジェームズマーソンと
ドリュー

ヒンショウ、「ロシアから祖国を守るための通常のウクライナ人集会」、ウォールストリートジャーナル、26 2022年2月、

で：

<https://www.wsj.com/articles/ordinary-ukrainians-rally-to-defend-homeland-from-russia-11645900464>。

34

公然と戦争の法律と慣習を尊重します。²⁶⁰「国民皆兵」のそのような参加者

彼らがロシアの権力に陥った場合、捕虜の地位から利益を得るが、彼らはまた保護を失う

攻撃に対する民間人の。しかし、ウクライナ当局が民間人に

武器を見つけて、ロシアの侵略者と戦うためにモロトフカクテルを準備します。²⁶¹そのような民間人
形成する時間がなくても、「自発的に」武器を手にしたとは考えられません。

通常の武装ユニットに自分自身を」。したがって、そのような呼び出しはIHLでは適切ではありませんでした
それはそれらの人々が戦闘員の地位を得ることなく攻撃に対する保護を失うようにしたからです。

ロシア軍がすべての民間人がモロトフでそれらを受け取る準備ができていることを期待しなければならなかつ
た場合

カクテル、これは他の民間人や民間人も入れました

攻撃の危険にさらされている住居。

6.人間の盾

民間人がその攻撃の影響を受けているという明白な事実を正当化するために、ロシアは次のように主張してい

る

ウクライナ軍は人間の盾を使用しています。²⁶²ウクライナの主張によると、ミッションは確認しないでください、ロシア軍は2022年2月24日以来彼らが占領した領土で民間人を使用しますウクライナの攻撃から彼らを保護します。²⁶³場合によっては、個々の民間人またはそれらのグループは、保護するために彼らの攻撃でロシア軍によって使用されましたそれらはウクライナ軍の抵抗からです。他の場合では、「人間の盾」という用語はロシアの支配する村を辞めることを許可されていないウクライナの民間人を指名するウクライナの攻撃が計画されておらず、その存在がウクライナに伝えられていない場合議定書Iの第51条（7）の違反に必要となる力。そのような行為ロシア軍の、例えば彼らが建物の住民に彼ら自身にとどまることを強制したときロシア軍が建物を支配し、狙撃兵を設置している間、地下室位置、²⁶⁴それにもかかわらず、によって規定された受動的な予防策の明らかな欠如を構成しますIHL²⁶⁵と彼らの自由の違法な制限。それがへの要求を伴う場合関係者または第三者、それはまた人質の禁止された取ることを構成します。

7. 防御側がとるべき受動的な予防措置

ウクライナには、地下深くの地下鉄駅を含む、十分に発達した避難所システムがあります。表面、²⁶⁶これは確かに殺された民間人の数が比較的少ないことに貢献しています破壊の量と比較して、キーウやハリコフのような町。ウクライナそれによってIHLに基づく防御者の義務を尊重します。²⁶⁷このような受動的な予防措置は特に刑務所の場合に重要であり、刑務所は可能な限りの手段を使用して敵対行為中の被拘禁者と囚人の安全保障（そして食糧へのアクセスを提供し続けるために、飲料水と薬）。刑務所に対する攻撃中に、明らかに違反しているIHL、刑務所職員と囚人が爆弾と一緒に隠れていた

²⁶⁰アート。4（A）（6）GCIII。

²⁶¹サミュエル・オズボーン、'ウクライナの侵略：民間人がモロトフカクテルを作ってロシア人と戦うのを手伝える力」、

SkyNews、2022年2月27日、at：

<https://news.sky.com/story/ukraine-invasion-civilians-help-make-molotov-cakitel-from-ukrainian-army-12552181>。

メジンスキーは、ロシア連邦が人道主義者について話し合うためにもう一度試みるだろうと言ったウクライナとの回廊'

（transl.）、Tass、2022年3月7日、<https://tass.ru/politika/13993799>; の恒久的な使命ロシア連邦

国連へ、国連安保理決議後のワシーリー・ネベンジア常駐代表による投票の説明ドラフト

ウクライナに関する決議、2022年2月25日、<https://russiaun.ru/en/news/250222nu>。

²⁶³AnnaRudyk、'侵入者は住宅の庭に機器を置き、後ろに隠れます

人間としての民間人

盾-内務省（transl.）、Ukranew、2022年3月8日、次の場所で。

[https://ukranews.com/news/839544-](https://ukranews.com/news/839544-okkupanty-stavyat-tehniku-vo-dvorah-zhilyh-domov-prikryvayas-mirnymi-lyudmi-kak-zhivym-shhitom-mvd)

[okkupanty-stavyat-tehniku-vo-dvorah-zhilyh-domov-prikryvayas-mirnymi-lyudmi-kak-zhivym-shhitom-mvd。](https://ukranews.com/news/839544-okkupanty-stavyat-tehniku-vo-dvorah-zhilyh-domov-prikryvayas-mirnymi-lyudmi-kak-zhivym-shhitom-mvd)

²⁶⁴ブレンナ・スミスとマーシャ・フロリアック、「ロシアの兵士が彼らの街を占領し、次に彼らの家を占領した」、ニューヨーク

タイムズ、20

2022年3月：

<https://www.nytimes.com/2022/03/20/world/europe/russian-soldiers-video-kyiv-invasion.html>。

²⁶⁵API、アート。58。

ウクラ「ロシアの脅威の中でキエフメトロにウクライナ人が避難する」、Euronews、2022年2月25日、で：

<https://www.euronews.com/2022/02/25/ukrainians-shelter-in-kyiv-metro-amid-russia-threat>

²⁶⁷API、アート。58。

35

避難所。ミル民間人でいっぱいの包囲された都市を軍事的に守るには、必然的に戦闘員と民間人の混ざり合い。ただし、必ずしも禁止されているわけではありません。

民間人と民間人を保護するために実行可能な措置を講じることを擁護者に要求するIHLによる攻撃の影響に対して制御下にあるオブジェクト。

正当な標的、これが軍事的、事後的、人道的観点から可能である場合のみ

view。²⁶⁹上記の民間人の武装、²⁷⁰は、しかし、それらに違反しています

関係する民間人が敵がいる間彼らの民間の家にとどまり続けるならば、義務

彼らの町を占領しようとします。同様に、ロシア軍は、次のように配置した場合、それらの義務に違反します人口密集地域での砲兵の位置が報告されています。

8. 特別に保護されたオブジェクト

a. 医療ユニットと輸送

病院などの医療ユニット、および軍隊か民間かを問わず、救急車などの輸送機関、

武力紛争の際に最も重要であるため、IHLによって特別に保護されています。

公衆衛生を維持し、武力紛争によって引き起こされた負傷者や病人の世話をするため。

具体的には、それらは尊重され（つまり、攻撃されない）、保護される必要がありますが、そうではない場合があります

軍事目的または軍事目的を保護するために使用されます。この特別な保護は、次の場合に失われます。

彼ら

人道的機能の外で、敵に有害な行動をとるのに使用されますが、

警告が設定された後、適切な場合はいつでも、妥当な時間制限と

そのような警告が無視された後。²⁷¹特別な保護が失われた場合でも、

上記のIHLの一般規則²⁷²が適用され、比例評価は次のようになります。

攻撃者に有害な行為を阻止するという軍事的利点と

医療関係者の予想される死亡および負傷および

現在および将来の患者。

ウクライナでは、破壊された医療施設に関するデータを収集するデータベースが影響を受けた52を数えます
2022年2月24日から2022年3月22日までの施設。²⁷³現場に存在するHRMMU、
医療施設がさまざまな程度で影響を受けた74件の事件を検証しました
46の病院、7つの精神神経学的施設、21のその他の医療施設を含む被害
設備。その結果、54の医療機関が被害を受け、10が破壊され、2つが
略奪した。医療施設に損害を与えた61件の攻撃が政府で発生しました-
管理された領域。これらには、イジューム、マリウポリ、オヴルチ、
Volnovakha、およびVuhledar。自称によって支配されている領域で9回の攻撃が発生しました
「共和国」、および争われた場所の4つ。²⁷⁴ミッションは多くの報告を受けています
この情報を裏付ける。²⁷⁵

²⁶⁸国連人権高等弁務官事務所、'人権状況に関する最新情報
ウクライナ'、

報告期間：2022年2月24日から3月26日、2022年3月28日：
[https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-](https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-03/HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf)

03 / HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf、パラグラフ33-34。

²⁶⁹API、アート。58。

²⁷⁰上記のIV.F.5を参照してください。

²⁷¹API、Arts12および13。

²⁷²上記のIV.F.2を参照してください。

²⁷³マウントサイナイ医科大学人口健康科学政策学部
シナイ、タイムライン

ウクライナのヘルスケアと重要な民間インフラへの攻撃の概要：

https://cdn.knightlab.com/libs/timeline3/latest/embed/index.html?source=1b83yp199fFCNYB-8zsFUa9-zbbDI3Hoj5ZM75rkFo&font=Default&lang=en&initial_zoom=2&height=650。

²⁷⁴国連人権高等弁務官事務所、'人権状況に関する最新情報
ウクライナ'、

報告期間：2022年2月24日から3月26日、2022年3月28日：
[https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-](https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-03/HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf)

03 / HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf、パラ17。

²⁷⁵たとえば、WHO、ウクライナの緊急事態：外部状況レポート#2：レポート期間：3月4～11日を参照してください。

2022、11

2022年3月、<https://www.who.int/publications/i/item/WHO-EURO-2022-5152-44915-63876>; 国連、ウクライナ
医療施設は「限界点まで伸びている」と、2022年3月14日にWHOに警告している。

<https://news.un.org/en/story/2022/03/1113902>; アンナ・ルディク、'過激派は病院を砲撃しました
Vuhledar、ドネツク

地域、-Podoliak' (transl.)、Ukranews、2022年2月24日、at：
<https://ukranews.com/news/836475-boeviki->

obstrelyali-bolnitsu-v-ugledare-donetskoj-oblasti-podolyak; ウクライナ：ロシアのクラスター爆弾ヒット病院、

36

公衆衛生大学院、ロシア軍は確かに広範囲に従事しており、
無差別砲撃によるウクライナの医療施設への被害の体系的なパターン
場合によっては意図的なターゲティング。²⁷⁶医療施設に対する1つの特定の攻撃、
2022年3月9日のマリウポリマタニティハウスと小児病院について話し合う
今後。²⁷⁷

一部の攻撃が、有害な行為に従事する施設に対して向けられたと仮定しても、
敵または合法的なターゲットに対する攻撃によって偶然に危害を加えられた、これは説明できません
影響を受ける施設の数が多い。さらに、たった1つのケースでロシアが漠然としています
必要な警告を発したと主張しました²⁷⁸。しかし、時間制限はなく、
特別な保護を維持するために何をしなければならなかったかを示します。したがって、
ケースは失われた特別な保護でした。病院や場所に対する意図的な攻撃
病人と負傷者が集められる場所は、彼らが軍隊でない限り、戦争犯罪です
目標。²⁷⁹

b. 原子力発電所

1986年の原発事故後の閉鎖後も、元チェルノブイリ原子力発電所
ステーションは、IHLによって特別に保護された、危険な力を含む施設のままです。そのような
インストールは（ここでは関係のないいくつかの例外を除いて）攻撃されない場合があります。
そのような攻撃が危険な力の解放を引き起こす可能性がある場合、軍事目標を構成します。²⁸⁰
そのような施設またはその近くにある他の軍事目的は行われなくてもいいかもしれません
そのような攻撃が危険な力の解放を引き起こす可能性がある場合の攻撃の対象。²⁸¹さまざまなものから
オープンソース、²⁸²、国際原子力機関の局長による声明を含む
エージェンシー（IAEA）、²⁸³ミッションは、2022年2月24日にロシア軍が
インストールを制御しますが、攻撃しませんでした。周辺の除外区域の押収中
インストール、しかし、ロシア軍はそのような攻撃を脅かしたとされています。²⁸⁴一度
設置は彼らの管理下にあり、ロシア軍はウクライナの専門家が続行することを許可しました

HRW、2022年2月25日、場所：

<https://www.hrw.org/news/2022/02/25/ukraine-russian-cluster-munition-hits>-
病院 #；

[https://ukranews.com/news/837895-rossijskie-vojska-snova-obstrelyali-harkov-povrezhdjena-bolnitsa-](https://ukranews.com/news/837895-rossijskie-vojska-snova-obstrelyali-harkov-povrezhdjena-bolnitsa-maykrolyayon-dzozh)
マイクロライオン鍛造; Dmitriy ponomarenko、'ロシア軍は再びハリコフを砲撃した。損傷した病院と
microdistrict-media' (transl.)、Ukranews、1 March 2022、at：

[https://ukranews.com/news/839705-rossijskie-](https://ukranews.com/news/839705-rossijskie-vojska-unichtozhili-tsentralsnuyu-gorodskuyu-bolnitsu-v-izyume-harkovskoj-oblasti)
vojska-unichtozhili-tsentralsnuyu-gorodskuyu-bolnitsu-v-izyume-harkovskoj-oblasti; 'ウクライナは非難します
のロシア

精神病院を襲う」、アルジャジーラ、2022年3月11日、次の場所で。

[https://www.aljazeera.com/news/2022/3/11/ukraine-](https://www.aljazeera.com/news/2022/3/11/ukraine-attack-psychiatric-hospital-near-izyum)
告発-ロシアの打撃-精神科病院-イジュームの近く; ウクライナ検察庁、

ニュース：

ロシア軍は病院を爆撃し、医師と患者を人質にした-

調査はされています

2022年3月15日、発売（翻訳）：

<https://gp.gov.ua/ua/posts/zbroini-sili-rf-bombarduvali-primishhennya-likarni-i-zaxopili-u-zarucniki-likariv-i-pacijentiv-rozpocato-rozsliduvannya>。さらに詳しい情報

ハリコフで

精神科病院とムィコラーイウがん病院が提供されました

ミッション。

²⁷⁶公衆衛生大学院、人道研究所、広範囲にわたる体系的な証拠
ウクライナの医療施設への砲撃、2022年4月1日、ミッションに提出。

²⁷⁷以下のIV.G.12.aを参照してください。

ポリ「ポリアンスキーはマリウポリの病院での民間人へのストライキについての偽物を指摘した」、RIAニュース、

2022年3月10日、

で：<https://ria.ru/20220310/mariupol-1777388570.html>。

²⁷⁹ICC法令、アート。8（2）（b）（ix）および（xxiv）。

²⁸⁰アート。56API。

²⁸¹ICRCCIHLデータベース、規則42。

²⁸²国連、OHCHR、「ウクライナの人権状況に関する最新情報」、報告期間：2月24日–26日
行進

2022年、2022年3月28日、https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-03/HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf、パラグラフ20-23；「ロシア軍がチェルノブイリ原子力発電所を押収」、BBCニュース、2月25日
2022年：

<https://www.bbc.com/news/world-us-canada-60514228>；Volodymyr Zelenskiy（@ZelenskiyyUA）、Twitter、24
2022年2月、<https://twitter.com/ZelenskyyUa/status/1496862540957114370>。

²⁸³例えば、IAEA、更新8を参照-ウクライナの状況に関するIAEA局長の一般声明、3月3日
2022年：

<https://www.iaea.org/newscenter/pressreleases/update-8-iaea-director-general-statement-on-situation-ukraine>で。

Uck Tuckler Reals、「ウクライナは、ロシアのプーチンが「テロ攻撃の準備を命じた」と述べています
チェルノブイリについて

原子力発電所」、CBSニュース、2022年3月11日、次の場所で。

<https://www.cbsnews.com/news/ukraine-chernobyl-russia-putin-注文-テロリスト-攻撃-原子力発電所-キーウ-言う/>。

近くのスラヴィティチの町はウクライナの支配下にあり、
人質の奪取。²⁸⁶スラヴィティチ自体は、その支配のための戦いの間に砲撃されました。
専門家の命を脅かし、したがって設備の安全な運営を脅かしました。26日
2022年3月、それはロシアの支配下に置かれたが、2022年3月28日にロシア軍は撤退した
再び。²⁸⁷

インスタレーションのスタッフは、2022年3月20日にのみ最終的にローテーションできました。²⁸⁸さらに、
敵対行為は、設備への電源リンクの中断につながります。²⁸⁹は、そのために不可欠です。
安全に稼働し、一時的に発電機に交換することしかできません。また、の動き
インスタレーションの周りのロシアの軍用車両は、
放射線レベル。²⁹⁰最後に、敵対行為とロシア軍の存在が絶滅をもたらしました
森林火災の発生はより困難であり、放射性粒子を動員する恐れもありました。
35年前に寄託された。²⁹¹2022年3月31日、ロシア軍はチェルノブイリから撤退した。²⁹²それ
その後、ロシア軍が高放射性の赤い森に塹壕を掘ったことが発見されました
かなりの線量の放射線を受けました。²⁹³

その他の機能している原子力発電所はZaporozhskayaにあります。ミッション
2022年3月4日にロシア軍が施設を支配したが、しなかったことを理解している
損傷した場合、危険な力を解放する可能性のある建物²⁹⁴を攻撃します。彼らは攻撃し、

トブ・ベン・トビアス、「ウクライナ戦争：チェルノブイリ労働者のロシアの監視下での12日間の試練」、
BBSニュース、7
2022年3月、
で：<https://www.bbc.com/news/world-europe-60638949>。

²⁸⁶GulTuysuzとTamaraQiblawi、'ロシア軍がチェルノブイリ原子力発電所の制御を掌握し、
スタッフを保持
人質：ウクライナ当局者、CNN、2022年2月25日、場所：
<https://edition.cnn.com/2022/02/24/europe/ukraine-chernobyl-rosia-intl/index.html>; Joris Fioriti、「チェルノブイリ労働者が」恐怖の中で「人質」を開催
原子炉の安全性、
モスクワタイムズ、2022年3月16日、次の場所で。
<https://www.themoscowtimes.com/2022/03/16/chernobyl-workers-held-persons-amid-fears-for-reactor-safety-a76963>。

²⁸⁷IAEA、更新38-ウクライナの状況に関するIAEA局長の一般声明、2022年3月31日、次の場所で。
<https://www.iaea.org/newscenter/pressreleases/update-38-iaea-director-general-statement-on-situation-of-ukraine>;
IAEA、更新39-ウクライナの状況に関するIAEA局長の一般声明、2022年4月1日、
で：
<https://www.iaea.org/newscenter/pressreleases/update-39-iaea-director-general-statement-on-situation-of-ukraine>。
ウクライナ。

²⁸⁸IAEA、更新29-ウクライナの状況に関するIAEA局長の一般声明、2022年3月22日、次の場所で。
<https://www.iaea.org/newscenter/pressreleases/update-29-iaea-director-general-statement-on-situation-of-ukraine>。

ウクライナ。

²⁸⁹IAEA、更新17-ウクライナの状況に関するIAEA局長の一般声明、2022年3月10日、次の場所で。
<https://www.iaea.org/newscenter/pressreleases/update-17-iaea-director-general-statement-on-situation>
-の-
ウクライナ。

²⁹⁰ベン・ターナー、'チェルノブイリの放射線レベルは、施設'、ライブ科学、2022年2月25日、で：
<https://www.livescience.com/chernobyl-radiation-levels-rise-after-fighting>; IAEA、更新1-ウクライナの状況に関するIAEA局長の一般声明、2022年2月25日、で：
<https://www.iaea.org/newscenter/pressreleases/update-iaea-director-general-statement-on-situation-in>
-ウクライナ-
2022年2月25日。

²⁹¹オリバー・ミルマン、「ウクライナのチェルノブイリ原子力発電所周辺で山火が発生」、ガーディアン、22歳
2022年3月、
で：<https://www.theguardian.com/world/2022/mar/22/chernobyl-forest-fires-ukraine-nuclear-plant>。

²⁹²IAEA、更新38-ウクライナの状況に関するIAEA局長の一般声明、2022年3月31日、次の場所で。
<https://www.iaea.org/newscenter/pressreleases/update-38-iaea-director-general-statement-on-situation>
-の-
ウクライナ; IAEA、更新39-ウクライナの状況に関するIAEA局長の一般声明、2022年4月1日、
で：
<https://www.iaea.org/newscenter/pressreleases/update-39-iaea-director-general-statement-on-situation>
-の-
ウクライナ。

²⁹³ジェイク・ラフット、ケイラ・エプスタイン、ダレン・サミュエルソン、「ロシア軍は」かなりの量の掘削後の放射線'
チェルノブイリ周辺の塹壕、ウクライナの電力当局は言う'、ビジネスインサイダーアフリカ、2022年3月31日、
で：
<https://africa.businessinsider.com/military-and-defense/russian-troops-got-significant-doses-of-radiation-after-digging-trenches-around>
掘る-塹壕-周り/ntcedmw。

²⁹⁴IAEA、更新11-ウクライナの状況に関するIAEA局長の一般声明、2022年3月4日、次の場所で。
<https://www.iaea.org/newscenter/pressreleases/update-11-iaea-director-general-statement-on-situation>
-の-
ウクライナ; 国連、OHCHR、「ウクライナの人権状況に関する最新情報」、報告期間：24
2月– 26

しかし、解放できる人々に影響を及ぼした可能性のある攻撃によって近くの建物が損傷した放射性崩壊。²⁹⁵HRMMUは、ロシア軍の約50ユニットが重いと報告している機械、約400人の人員、そして「たくさんの」爆発物と弾薬が現在あります施設にいる。2022年3月14日、ロシア軍は原子炉の近く、それらを処分すると言われています。これらすべてが施設を危険にさらし、そのスタッフは、しかし放射線レベルに影響を与えませんでした。²⁹⁶ウクライナの核規制当局オフサイトおよびオンサイトの放射線モニタリングに関する施設からの通信の喪失しかし、IAEAは、設置された監視システムからリモートデータを受信していると報告しているそこに。²⁹⁷

最後に、ウクライナ東部の都市ハリコフにある核研究施設が建設に苦しんだ2022年3月26日の砲撃中の損傷。しかし、IAEAはその少量が報告している放射性核物質の量は無傷のままでした。核を含む中性子源研究用の中性子を生成するために使用される材料と同位体生成、損傷はありませんでした。²⁹⁸

結論として、ミッションはロシアが持っていると考えするのに十分な要素を持っていません原子力発電所に関する特定の義務に違反した。結論として、上記の原子力施設周辺の活動がそうではなかったかどうかを判断する必要があります放射性崩壊のリスクを回避する方法で計画および実施されます。

c. 文化遺産と礼拝所

ミッションは、文化遺産を保護および保存するためのかなりのウクライナの努力に気づきました

-ロシアの文化遺産を含む²⁹⁹-擁護者のIHLの義務に準拠文化財を保護するため。³⁰⁰これらの努力にもかかわらず、ミッションは武力紛争中に被害を受けた文化遺産の印象的で憂鬱なリスト。³⁰¹

2022年3月、2022年3月28日、場所：

https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-03/HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf、パラグラフ21-23、およびに提供された公開情報から供給された分析データミッション。

²⁹⁵IAEA、更新10-ウクライナの状況に関するIAEA局長の一般声明、2022年3月4日、次の場所で。
[https://www.iaea.org/newscenter/pressreleases/update-10-iaea-director-general-statement-on-situation-of-](https://www.iaea.org/newscenter/pressreleases/update-10-iaea-director-general-statement-on-situation-of-ukraine)

ウクライナ; 国連、人権高等弁務官事務所、'人権に関する最新情報の状況

ウクライナ'、報告期間：2022年2月24日から3月26日、2022年3月28日：

https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-03/HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf、パラグラフ21-23;

²⁹⁶国連、人権高等弁務官事務所、'人権状況に関する最新情報ウクライナ'、

報告期間：2022年2月24日から3月26日、2022年3月28日：

<https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022->

²⁹⁷IAEA、更新37-ウクライナの状況に関するIAEA局長の一般声明、2022年3月30日、次の場所で。
<https://www.iaea.org/newscenter/pressreleases/update-37-iaea-director-general-statement-on-situation>
-の-
ウクライナ。

²⁹⁸IAEA、更新35-ウクライナの状況に関するIAEA局長の一般声明、2022年3月28日、次の場所で。
<https://www.iaea.org/newscenter/pressreleases/update-35-iaea-director-general-statement-on-situation>
-の-
ウクライナ。

²⁹⁹スチュアート・ブラウン、「ウクライナは文化遺産を破壊から救うために急いでいる」、DW、2022年3月17日、
で：
<https://www.dw.com/en/ukraine-rushes-to-save-cultural-heritage-from-destruction/a-61158291>。

³⁰⁰HR、アート。27; AP I、アート。53。

³⁰¹文化財への被害を記録したリストをご覧ください。
<https://mkip.notion.site/mkip/e9a4dfe6aa284de38673efedbe147b51?v=f43ac8780f2543a18f5c8f45afdce5f7>。見る
<https://ukranews.com/news/838345-iz-za-vrazheskih-obstrelov-v-harkove-postradal-svyato-uspenskij-sobor-upts-mp-tam-pryatalis-lyudi>;
<https://www.ohchr.org/en/press-releases/2022/03/ukraine-un-expert-says-war-against-multi-ethnic-population-must-stop-calls>;
<https://gur.gov.ua/content/okupatsiini-viiska-vyluchaiut-ta-znyshchuiut-ukrainsku-literaturu-ta-pidruchnyky-istorii.html>; <https://www.aljazeera.com/news/2022/3/12/ukraine-says-russia-shelled-mosque-in-besieged-city-of-mariupol>;
<https://gp.gov.ua/ua/posts/pid-cas-obstrilu-kiyivshhini-okupanti-vbili-mirnix-meskanciv-ta-znishchili-istoricnu-pamyatku-rozpocato-rozsliduvannya>;
<https://www.nurnberg2022.org/en/post/russian-army-destroys-orthodox-church>。
<https://gp.gov.ua/ua/posts/pid-cas-obstrilu-kiyivshhini-okupanti-vbili-mirnix-meskanciv-ta-znishchili-istoricnu-pamyatku-rozpocato-rozsliduvannya>。

39

メディアの報道によると、ユネスコは少なくとも53の文化的に重要な被害を確認しています
サイト。³⁰²これには、キリスト教の正教会、モスク、ユダヤ人の墓地が含まれます。

2022年3月12日、1,000人近くの民間人がいたSvyatogorsk修道院の砲撃
避難所は特筆に値する。ウクライナの検察庁によると、

(他の情報源の大砲によると) 航空機を使用しているロシア軍は、聖なる休眠を打った
Svyatogorsk Lavra、Svyatogorskの町の近くの主要なキリスト教正教会の修道院
ドネツク。200人の子供を含む929人に避難所を提供した施設は

破損しています。伝えられるところによると、30人以上が負傷しました。³⁰³ほぼすべての人が窓が壊れ、教会の建物がさまざまな程度で破壊されました。³⁰⁴省ロシア連邦国防総省は、「大隊の過激派」「アイダール」と述べたLavraに装備された発砲位置、「約300人の民間人と僧侶を人質にした」、そして「解放の間に」、ロシア軍は「民族主義者の一部を破壊した」が、それは修道院の人質や建物は影響を受けませんでした」。³⁰⁵ミッションは所有していませんこの主張を実証する要素。

個々のケースでは、そのような文化財の破壊はIHLの下でのみ正当化することができました文化財自体がウクライナによって軍事目的で使用された場合-これは合法です緊急の軍事的必要性の場合、または文化財への付随的影響の場合のみ合法的な軍事目標に対する攻撃の割合が不均衡であるとは予想されておらず、すべてそれらを回避するために実行可能な措置が取られました。³⁰⁶ミッションは、それが非常にありそうもないと考えています。

これらの非常に例外的な状況は、2022年3月25日現在の専門ウェブサイト。³⁰⁷文化財の意図的なターゲティング保護を失っていないIHLに違反し、戦争犯罪を構成します。³⁰⁸

d. 学校

ミッションは、写真と心理神経学的寄宿学校を含む破壊された学校についてのビデオ画像とリハビリテーションセンターと大学の建物。³⁰⁹2022年3月26日、検察官-ウクライナの将軍は、570の教育機関と40の子供のための機関を報告しました攻撃によって損傷を受けました。³¹⁰同じ日に、HRMMUは35に対する攻撃を確認しました。3つの大学、8つの幼稚園、23の学校、1つの学校を含む教育施設

³⁰²「ウクライナで少なくとも53の文化的に重要な遺跡が被害を受けた-ユネスコ」、ガーディアン、2022年4月1日、
で：

[https://www.theguardian.com/world/2022/apr/01/at-least-53-culturally-important-sites-damaged-in-ukra](https://www.theguardian.com/world/2022/apr/01/at-least-53-culturally-important-sites-damaged-in-ukraine)
伊根
ユネスコ。

³⁰³検察庁、公式電報チャンネル、https://t.me/pgov_gov_ua/3154。

³⁰⁴アンドリューE.クレイマー、'砲撃は元に戻った修道院に損害を与え、避難所を探している人を負傷させますそこに'、ニューヨークタイムズ、2022年3月13日、：

<https://www.nytimes.com/2022/03/13/world/europe/monastery-shelling-ukraine.html>。

³⁰⁵準共和国KhNR"、チェルニーヒウとリボフ地域の砲撃と交渉に関するニュース。
重要なこと

3月13日の朝までに、ブマガ、2022年3月13日、<https://paperpaper.ru/papernews/2022/3/13/kvazirespublika-hnr-obstrely-chern/>。

³⁰⁶API、アート。53; 武力紛争の際の文化財保護のためのハーグ条約

競合、14

1954年5月、アート。4 (1) - (2) 。

³⁰⁷文化財への被害を記録したリストを参照してください。

<https://mkip.notion.site/mkip/e9a4dfe6aa284de38673efedbe147b51?v=f43ac8780f2543a18f5c8f45afdce5f7>

³⁰⁸ICC法令、アート。8 (2) (b) (ix) 。AP I、Artも参照してください。85 (4) (2) 。

³⁰⁹国連、OHCHR、「ウクライナ：重大な懸念」、記者会見ノート、2022年3月12日、次の場所で。

<https://www.ohchr.org/en/>

記者会見-メモ/2022/03/ウクライナ-墓-懸念; Valeria Dragomirova、'Zhytomyrでは、

占領者が攻撃した

学校-建物の半分以上が破壊された' (transl。) 、 Ukrnews.com、2022年3月4日、

で :

[https://ukranews.com/news/838659-v-zhitomire-okkupanty-nanesli-udar-po-shkole-polovina-zdaniya-](https://ukranews.com/news/838659-v-zhitomire-okkupanty-nanesli-udar-po-shkole-polovina-zdaniya-razrushena)

[razrushena](https://ukranews.com/news/838659-v-zhitomire-okkupanty-nanesli-udar-po-shkole-polovina-zdaniya-razrushena); Nikolay Savenko、'占領者は州財政大学の建物を襲った

イルペンでのサービス

ロケットで' (transl。) 、 Ukrnews.com、2022年3月5日、 :

[https://ukranews.com/news/838945-okkupanty-popali-](https://ukranews.com/news/838945-okkupanty-popali-rocket-v-zdanie-university-gosudarstvennoj-fiscalnoj-sluzhby-v-irpene)

[rocket-v-zdanie-university-gosudarstvennoj-fiscalnoj-sluzhby-v-irpene](https://ukranews.com/news/838945-okkupanty-popali-rocket-v-zdanie-university-gosudarstvennoj-fiscalnoj-sluzhby-v-irpene)。

³¹⁰検察庁、公式電報ページ、https://t.me/pgov_gov_ua/3380。

40

科学センター。³¹¹専門のNGOは、2022年3月21日までに爆弾と激しい爆弾が発生したと報告しました。

砲撃により、全国で460以上の学校が被害を受け、60以上の学校が完全に被害を受けました。

破壊されました。³¹²

IHL条約法は、教育施設に特別な保護を提供していません。しかし、学校は

民間のオブジェクトであり、そのように扱われる必要があります

疑わしい場合でも（それらが

軍事目的）。³¹³さらに、軍隊に変わった学校を対象とする場合でも

客観的または近くの目標、民間人のままである子供たちの存在は、取られなければなりません

比例評価で考慮に入れます。長期的な効果も議論されるかもしれませんが

子どもたちの教育に関する学校の破壊の影響を考慮に入れなければなりません。ようではない

他の特別に保護されたオブジェクトに規定されているもの、IHL条約法は禁止していません

防衛目的で学校の建物を使用する防御者、その場合、彼らは軍隊に変わります

目的。ただし、ウクライナは安全な学校を受け入れた114の州の1つです。

宣言、武装中の教育を保護するための政府間政治的コミットメント

アルゼンチンとノルウェーの政府が主導する紛争。³¹⁴これには、

武力紛争中の軍事利用から学校や大学を保護する、³¹⁵

とりわけ、機能している学校を、学校を

軍事目標（および標的型攻撃を回避するための特定の予防措置を規定する）

軍事目標に変わった学校でさえ）。ミッションにはその兆候はありません

ウクライナはその約束を果たしておらず、ロシアはどの学校もその約束を果たしていないと主張していません。破壊されたものは軍事目的で使用されていました。したがって、その可能性を認めても一部の学校は、軍事目的を狙った合法的な攻撃中に偶発的に被害を受けました。ミッションは、被害を受けた、または破壊された学校の数、ロシア軍が敵対行為を行った無差別な方法。

9. 武器の使用

人口密集地域でのロシアの攻撃の大部分は議論の余地がなく、十分に文書化されています。多連装ロケット砲から発射されることが多い無誘導砲で実施された、またはガイドなしの航空爆弾で。³¹⁶

a. クラスター爆弾

多くの十分に文書化されたケースで（ミッションは134人の個人の分析を受けました事件）、クラスター爆弾が使用されました。³¹⁷これは、HRMMUは、ロシアとその代理人による、ウクライナが同様にそのようなものを使用したという報告にも言及しています。

³¹¹国連人権高等弁務官事務所、'人権状況に関する最新情報
ウクライナ'、

報告期間：2022年2月24日から3月26日、2022年3月28日：
[https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-](https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-03/HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf)

03 / HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf、パラ16。

³¹²ウクライナに閉じ込められた600万人の子供たちは、学校や病院への攻撃として深刻な危険に直面しています

急上昇、保存

子供たち、2022年3月21日、で：

<https://www.savethechildren.net/news/six-million-children-trapped-ukraine-顔-墓-危険-攻撃-学校-そして病院-急上昇>。

³¹³API、アート。52（3）。

³¹⁴：<https://ssd.protectingeducation.org/>; ウクライナはコミットする100番目の国になります
学校を維持する

武力紛争中の安全、セーブ・ザ・チルドレン、2019年11月20日、次の場所で

<https://www.savethechildren.net/>
ニュース/ウクライナ-なります-100th-country-commit-keeping-schools-safe-during-armed-conflict。

³¹⁵武力紛争中の軍事利用から学校や大学を保護するためのガイドライン：

https://protectingeducation.org/wp-content/uploads/documents/documents_guidelines_en.pdf。

³¹⁶国連人権高等弁務官事務所、'人権状況に関する最新情報
ウクライナ'、

報告期間：2022年2月24日から3月26日、2022年3月28日：
[https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-](https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-03/HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf)

³¹⁷HRWレポートを参照してください。

<https://www.hrw.org/news/2022/02/25/ukraine-russian-cluster-munition-hits-hospital#>;
<https://www.hrw.org/news/2022/03/18/ukraine-deadly-attacks-kill-injure-civilians-destroy-homes>;
<https://www.hrw.org/news/2022/03/17/ukraine-cluster-munitions-repeatedly-used-mykolaiv>;
<https://www.hrw.org/news/2022/03/04/ukraine-cluster-munitions-launched-kharkiv-neighborhoods>。

41

軍需品。³¹⁸クラスター爆弾は空中で開き、最大数百の小さなサブ弾薬を分散させます。エリアへの弾薬。一般的に爆発性であるサブ弾薬は、通常、地面との衝突で爆発するように設計されています。それらはまた、爆発またはエアバーストするために融合される可能性があります。地面から所定の高さで。有害または有害な目的は、爆風と断片化の組み合わせ。オスロ条約の締約国ではない国の場合、ロシアとウクライナでは、クラスター爆弾の使用は禁止されていません。一部の人は、しかし、それは、不発弾を含む、歴史的に証明された無差別効果によるものです。戦争の爆発的な残骸として後の民間人を殺す爆弾、彼らはによって禁止されています一般的なルール。この論争の立場をとらなければ、ミッションは信じることはできません（軍事目標が標的にされたと仮定します;そうでなければ、武器の使用は違法）民間人の死傷者および破壊の範囲は、それらの弾薬の証明された広域効果と人口密集地域でのそれらの使用に対して、いずれの場合も、予想される軍事的優位性と比較して過度ではありません。それらの使用したがって、この比例規則が尊重されなかったそれぞれの場合に構成され、IHLの違反と戦争犯罪。³¹⁹さらに、場合によっては規則が区別と比例性が尊重された上で、ミッションはロシア人がどのように人口密集地域の標的にに対してクラスター爆弾を使用する司令官は、準拠することができます「手段と方法の選択において実行可能なすべての予防策を講じる」という彼または彼女の義務を伴う攻撃の[軍事目標を対象とし、比例規則を遵守する]民間人の生命の偶発的な損失、傷害を回避し、いずれにせよ最小限に抑えることを視野に入れて民間人と民間物への損害」。³²⁰国の軍隊でさえ非合法化されていないクラスター爆弾は、クラスター爆弾の使用は広範囲に従事するためにのみ正当化されると考えていますまたは、軽装甲車、軍隊の集中、軍用車両などの分散したターゲットと他の軍のオブジェクトといくつかの種類の鎧。

b. 特定の焼夷弾における他の物議を醸す武器兵器

同じ結論は、GRAD複数ロケットの使用に関するミッションによって引き出されます

IACの両当事者によって使用されたランチャー、対人地雷に関する³²¹

ロシアによる、それらを禁止するオタワ条約の当事者ではない³²²、および

ロシアによる熱気化爆弾、少なくとも米国はそのような使用が禁止されているとは考えていないので、³²³

³²⁴同じことが、白リン弾の両当事者による使用の疑いにも当てはまります。

一部の西側軍はそうに禁止されていないと見なしている。³²⁵ロシアは

³¹⁸国連人権高等弁務官事務所、'人権状況に関する最新情報
ウクライナ'、

報告期間：2022年2月24日から3月26日、2022年3月28日：
[https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-](https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-03/HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf)

03 / HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf、パラ9。

³¹⁹API、アート。51 (5) (b) AP; ICC法令、アート。8 (2) (b) (iv)。

³²⁰API、アート。57 (2) (a) (ii)。

³²¹Irina Venediktova、Facebookページ、<https://www.facebook.com/irina.venediktova.31/>
投稿/5253762707969955; 「ザハロフは、ウクライナ軍が継続的に実施していると述べた
砲撃

人口密集地域から」(翻訳)、TASS、2022年3月9日、次の場所で。
<https://tass.ru/politika/14010819>。

ウクライナ「ウクライナ：ロシアは禁止された対人地雷を使用している」、HRW、2022年3月29日、次の場所
で。
<https://www.hrw.org/news/2022/03/29/ukraine-russia-uses-banned-antipersonnel-landmines>

ウクライナ「ウクライナ米国大使はロシアが真空爆弾を使用したと言う」、ブルームバーグ、2022年3月1日、
次の場所で。
[https://www.bloomberg.com/news/videos/2022-03-01/ukraine-us-ambassador-says-russia-used-vacuum-bomb](https://www.bloomberg.com/news/videos/2022-03-01/ukraine-us-ambassador-says-russia-used-vacuum-bomb-video)
-
ビデオ; ジャック・デッチ、「それは恐ろしい」：ロシアはウクライナの電撃戦に真空爆弾を準備する」、外
国人
ポリシー、1

2022年3月、<https://foreignpolicy.com/2022/03/01/russia-thermobaric-weapons-ukraine/>; 英国
省
防衛 (@DefenceHQ)、Twitter、2022年3月9日、<https://twitter.com/DefenceHQ/status/1501621370614173701>

³²⁴Matt Montazzoli、「熱気化兵器は合法ですか?」、戦争条項、2022年3月23日、次の場所にあります。
<https://lieber.westpoint.edu/are-thermobaric-weapons-lawful/>。

³²⁵Matthew J. Aiesi、「白リン弾のベロのジュス：法を正しくする」、ローフェア、26
11月
2019年、<https://www.lawfareblog.com/jus-bello-white-phosphorus-getting-law-correct>。

42

そのような使用はそうのように禁止されていると考えてください、³²⁶ミッションが同意する立場。もっと
一般的に、焼夷兵器に関しては、その使用が主張されており、多くの場合、
さらなる仕様、³²⁷時には重火炎放射器システムを明示的に参照
TOS-1A、³²⁸、そして白リン弾の使用もカバーする可能性があるため、ICRCは次のように考えています。
慣習的なIHLは、焼夷兵器を使用する交戦者が回避するために特別な注意を払うことを要求します

民間人に付随的な危害を引き起こし、またそのような兵器の対人使用を禁止します
戦闘員に対して「そのような使用が不必要な苦痛を引き起こす場合」、言い換えれば、「
害の少ない兵器を使用して戦闘員を戦闘から外することが可能です。」³²⁹CCWプロトコル
IIIは、焼夷兵器が危険にさらされる可能性のある状況での使用を制限します
民間人。³³⁰焼夷兵器を「主に
物体に火をつけたり、炎の作用により人に火傷を負わせるように設計されています。
熱、またはそれらの組み合わせ。」³³¹議定書は、単なる偶発的な兵器を対象としていません。
光源や煙システムなどの発火効果。弾薬も禁止していません
「ペネトレーション、ブラスト、またはフラグメンテーション効果を追加の焼夷弾と組み合わせるように設計
されています
火傷を引き起こすように発火効果が特別に設計されている場合を除き、
人」。³³²

10.違法な戦争方法

ミッションは、写真による証拠を伴うこともあるいくつかの報告を受けました。
軍の非医療をマークするために赤十字のエンブレムをロシア軍が使用したと主張する
車両、ウクライナの旗の³³³、軍隊または警察の制服または車両、³³⁵白旗、³³⁶民間人
衣服、³³⁷およびOSCEシンボル³³⁸は、軍事作戦を容易にします。

Kad'Kadyrovは、Kyivが白リン弾を使用したと非難しました' (transl.)、Radio Sputnik、2022年3月25日、次の
場所で。

<https://radiosputnik.ria.ru/20220325/kadyrov-1780057140.html>。

³²⁷OleksiyBeloshitskiy、Facebook、次の場所：

<https://www.facebook.com/1609570575/videos/493393615709946/>; Rohit

Kachroo (@RohitKachrooITV)、Twitter、<https://twitter.com/RohitKachrooITV/status/1506702632253022213>;

Aldin (@tinso_ww)、twitter、https://twitter.com/aldin_ww/status/1507418336904171522。

³²⁸Zvezdanews、Telegramチャネル、<https://t.me/zvezdanews/71770>。

³²⁹ICRCCIHLデータベース、規則84-85。

³³⁰焼夷兵器に関するCCWプロトコルIII。

³³¹CCWプロトコルIII。美術。1 (1) 。

³³²CCWプロトコルIII。美術。1 (1) (b) (ii) 。

³³³NazarSteporuk、'赤い旗のある白いKAMAZトラック：チェルノブイリの近くで占領者が着飾った
なので

「平和維持軍」、UNIAN、2022年2月24日、：

<https://www.unian.net/society/na-belyh-kamazah-s-krasnymi-flazhkami-vozhle-chernobylya-okkupanty-naryadilis-v-mirotvorcevo-novosti-ukrainy-11716645.html>;
アリソン

クイン、「白い平和モニターのシンボルとウクライナの制服を装った軍隊に送られたプーチン、
キーウは言う、

デイリービースト、2022年2月24日、次の場所で。

<https://www.thedailybeast.com/putin-sent-in-troops-disguised-with-ocse-white-peace-monitor-symbols-and-ukrainian-uniforms-says-kyiv>。

³³⁴ウクライナ国防省、公式Facebookページ、次の場所にあります。

[https://www.facebook.com/photo?](https://www.facebook.com/photo?fbid=266315935680866&set=pb.100069073844828.-2207520000)

[fbid = 266315935680866 & set=pb.100069073844828.-2207520000](https://www.facebook.com/photo?fbid=266315935680866&set=pb.100069073844828.-2207520000)。

³³⁵アリソン・クイン、「白い平和モニターのシンボルとウクライナ語を装った軍隊に送られたプーチンユニフォーム、

Kyiv'、The Daily Beast、2022年2月24日、次の場所で述べています。

<https://www.thedailybeast.com/putin-sent-in-troops-disguised-with-ocse-white-peace-monitor-symbols-and-ukrainian-uniforms-says-kyiv>; Mia Jankowicz、'ウクライナ告発

キーウに入るために制服や車両を盗んだロシアの兵士'、インサイダー、25

2022年2月：

[https://www.businessinsider.com/ukraine-says-russia-soldiers-stole-uniforms-trucks-to-reach-kyiv-2022-2-2-](https://www.businessinsider.com/ukraine-says-russia-soldiers-stole-uniforms-trucks-to-reach-kyiv-2022-2-2-2-2-2)

[2 ? R = US & IR=T](https://www.businessinsider.com/ukraine-says-russia-soldiers-stole-uniforms-trucks-to-reach-kyiv-2022-2-2-2-2-2)。

³³⁶ウクライナ国防省、公式Facebookページ、次の場所にあります。

[https://www.facebook.com/photo?](https://www.facebook.com/photo?fbid=266315935680866&set=pb.100069073844828.-2207520000)

[fbid = 266315935680866 & set=pb.100069073844828.-2207520000](https://www.facebook.com/photo?fbid=266315935680866&set=pb.100069073844828.-2207520000)。

³³⁷アレクサンダー・サヴィツキー、「ロシア軍が接近するにつれて、キーウの住民は恐れ、無力」、DW、3月1日

2022年：

<https://www.dw.com/en/daily-life-in-kyiv-between-fear-and-frustration/a-60974789>。

³³⁸アリソン・クイン、「白い平和モニターのシンボルとウクライナ語を装った軍隊に送られたプーチンユニフォーム、

Kyiv'、The Daily Beast、2022年2月24日、次の場所で述べています。

<https://www.thedailybeast.com/putin-sent-in-troops-disguised-with-ocse-white-peace-monitor-symbols-and-ukrainian-uniforms-says-kyiv>。

43

医療ユニットのマーキング、輸送、および

職員または赤十字組織はIHLに違反しています。³³⁹したがって、IHLは井戸で違反されました-

ほとんどマークされていない軍需品を輸送するロシアの軍用車両の文書化されたケース

目に見える赤い十字、³⁴⁰、そしてロシア軍が使用して子供たちを避難させたとされる場合

赤十字のエムブレム。³⁴¹ただし、このような赤十字の使用は、禁止されている背信行為のみを構成します。

使用の目的が負傷者を殺したり、敵を捕らえたりすることであった場合、

赤十字または妨害工作員の検出を回避するための民間服の使用（それにもかかわらず、妨害工作員）

捕虜の地位を失う）。しかし、そのような特定の目的は、白い旗、³⁴³を使用する場合に主張されています

これは戦争犯罪になります。³⁴⁴ロシアによるウクライナの旗と記章の使用

軍隊も禁止されており、³⁴⁵だけでなく、UN³⁴⁶やおそらく他の国際的な軍隊も禁止されています

OSCEのような組織。

11. 海戦

a. 密輸品リストの公開

海戦法の下で、商船（M / Vs）に対して交戦権を行使するには、当事者は密輸品リストを公開する必要があります。ロシアは課す3つの法令を採用しましたすべての外国に適用される、ロシアからの商品の輸出に関する禁止および制限いくつかの例外を除いて。³⁴⁸密輸品は管理下の領土に向けられた商品であるため武力紛争で使用されやすい敵の、中立的な目的地が来る³⁴⁹の商品好戦的な港からは禁制品を構成しません。³⁵⁰結論として、ロシアは公表していません海軍戦争の法則によって予見される禁制品リスト。

b. 中立船の破壊

に基づくことができない中立的なM/Vに対する無差別かつ恣意的な制御手段「合理的な疑惑の根拠」は違法です。³⁵¹しかし、彼らは合法的な軍隊である可能性があります目的であり、軍事目的を構成する場合は攻撃される可能性があります。³⁵²2022年2月24日以降、伝えられるところによると、ロシアでは中立的なM/Vに対して力を行っている例がいくつかあります。ウクライナの領海、³⁵³の一部は沈没船と負傷をもたらしました

³³⁹API、アート。38（1）。

³⁴⁰Violetta Orlova、「戦争犯罪：占領者は弾薬を輸送するために医療輸送を使用する」（翻訳）、UNIAN、3

2022年3月：

<https://www.unian.net/war/voennoe-prestuplenie-okkupanty-ispolzuyut-medicinskiy-transport-dlya-perevozki-boepripasov-novosti-donbassa-11727307.html>。

³⁴¹Kotznews、Telegramチャネル、<https://t.me/sashakots/29764>; アレクサンドルコッツ、'家を保存し、人々の生活。

Kyivへの攻撃はどのように進んでいますか？」、KP.ru、2022年3月13日、次の場所で。<https://www.kp.ru/daily/27375.5/4557542/>

³⁴²API、アート。37（1）。

³⁴³API、アート。37（1）（a）；HR、アート。23（f）。

³⁴⁴ICC法令、アート。8（2）（b）（xi）。

³⁴⁵API、アート。39（2）。

³⁴⁶API、アート。38（2）。

³⁴⁷サンレモマニュアル（SRM）、パラ149。

³⁴⁸Wilhelmina Shavshiva、「ロシアが輸出禁止と許可手続きを導入」、EY.com、3月14日

2022年：

[https://www.ey.com/en_ru/tax/tax-alert/2022/03/ey-russia-introduces-export-bans-and-permit-procedures-14-](https://www.ey.com/en_ru/tax/tax-alert/2022/03/ey-russia-introduces-export-bans-and-permit-procedures-14-2022年3月-tax-eng。)

2022年3月-tax-eng。

³⁴⁹SRMパラ148; ヘルシンキの原則、5.2.3項。

³⁵⁰5.2.5のヘルシンキ原則。「ロシアの港に寄港する際のリスクの増加」、ノルウェー語海事局、

2022年3月25日：

<https://www.sdir.no/en/news/news-from-the-nma/increased-risk-when-calling-at-russian-ports/>。

³⁵¹SRM、パラ118。

³⁵²APIアート。52 (2) ; SRM、アート67 (f) も参照してください。

³⁵³海上での人権戦争犯罪のための国際パートナーシップ：商船の砲撃
ウクライナの

領海、TruthHounds、at：

https://truth-hounds.org/wp-content/uploads/2022/02/war-crimes-at-sea-final_vs.pdf。

44

乗組員。³⁵⁴これには、ミレニアルスピリットケミカルタンカーに対する攻撃が含まれていました。
大規模な環境につながる可能性のある化学物質の漏洩のリスクが高い
ダメージ。³⁵⁵

商船を巻き添え被害から保護する義務に従い、³⁵⁶機雷

交戦者によって置かれたものは無害なものにならなければなりません

それらの制御を失った1時間後。³⁵⁷レポート

漂流してから数時間後の「無力化に取り組んでいる当局」について

この規則に違反したこと、³⁵⁸はウクライナの内水域と領海であったとされています。³⁵⁹

c. 敵の商船に対する対策

敵のM/Vは、敵の軍事行動に貢献し、従わない場合に標的にされる可能性があります

訪問、搜索、捕獲を停止し、抵抗する命令。³⁶⁰2022年2月27日、ロシア海軍

船舶は、から18海里 (nm) のウクライナの旗の下で航行している2つのM/Vを押収しました。

ターカンカット岬の南にあるクリミア半島、

ウクライナのニコラエフから穀物を輸送する

ルーマニアのコンスタンツァ。³⁶¹彼らはミサイルで船を破壊すると脅した。

止まる。敵のM/Vを拘束して捕獲することは、IHLの下で許可されていますが、プロパティは許可されていません

賞品が捕獲審検所によって非難されるまで、捕獲者に渡してください。³⁶²表示はありません

そのような捕獲審検所が存在し、ロシアで賞を裁定したこと。

d. ブロックされた

合法であるためには、封鎖が宣言され、中立かどうかにかかわらず、すべての勢力に通知されなければなりません

敵、³⁶³開始、期間、場所、範囲の仕様を含む

封鎖および中立国の船舶が封鎖されたままになる可能性のある期間

海岸線。ミッションの知る限り、ウクライナの海岸線全体を封鎖することはありません

宣言されました。2月24日、ロシア国防省は

アゾフ海の商用船は、追って通知があるまで。³⁶⁴ロシアは明示的に

封鎖を宣言しました、海事と川のための連邦機関による関連する発表

輸送はそのような宣言として適格である可能性があります。³⁶⁵一方、ケルチ海峡は

アゾフ海に北を通過する船舶のために閉鎖され、南に向かう船舶は許可されています

トランジット。³⁶⁶ロシア海運・河川輸送庁によると、

ケルチ海峡での航行は中断されませんでした、「船舶は

³⁵⁴「ウクライナ沖で爆発が発生し、2隻の貨物船が死亡した」、アルジャジーラ、2022年3月3日、次の場所
で。

<https://www.aljazeera.com/news/2022/3/3/two-cargo-ships-hit-by-explosions-around-ukraine-one-killed>。

³⁵⁵API、Arts 35 (3) および55; SRMパラ94; ローマ法、芸術。8 (2) (b) (iv) 。

³⁵⁶SRM、パラグラフ82-86。

³⁵⁷SRM、パラ82 (b) 。

³⁵⁸「ウクライナの戦争-海事状況への影響」Gard、2022年3月29日、次の場所で。

<https://www.gard.no/web/updates/content/33328301/war-in-ukraine-impact-on-maritime-situation>;

'のリスク

北西部、西部、および南西部の黒海における巻き添え被害'、NSC、2022年3月30日、次の場所で。

<https://shipping.nato.int/nsc/operations/news/-2022/risk-of-collateral-damage-in-the-north-western-b>

不足海-2

³⁵⁹ロシアは黒海のウクライナの鉱山について警告している、AlArabiya News、2022年3月19日、次の場所で。

<https://english.alarabiya.net/News/world/2022/03/19/Russia-warns-of-Ukrainian-mines-in-Black-Sea->。

³⁶⁰ロンドン議定書、第2項。SRM、パラ60。

「ロシアがウクライナを占領-黒海のフラグ付きタンカーとバルカー」、Ship & Bunker News Team、28
2月

2022年 :

<https://shipandbunker.com/news/emea/402595-russia-seizes-ukraine-flagged-tanker-and-bulker-in->

黒海。

³⁶²1913オックスフォードマニュアル、アート。110。

³⁶³SRM、パラ93。

ロシア「ロシアはアゾフ海での商用船の移動の停止を確認-インテルファクス通信」、
ロイター、24

2022年2月：

<https://www.reuters.com/article/ukraine-crisis-russia-shipping-grains-az-idAFR4N2U2026>。

RosRosmorrechflotは、2022年2月24日、InterfaxのSea of Azov'での航行停止を確認しました。

<https://interfax.com/newsroom/top-stories/73960/>。

³⁶⁶ジェイミーウォレス、「ウクライナ/ロシア-港の更新」、スタンダードクラブ、2022年2月25日、次の場所
で。

[https://www.standard-](https://www.standard-club.com/knowledge-news/ukraine-russia-port-update-4179/#)

[club.com/knowledge-news/ukraine-russia-port-update-](https://www.standard-club.com/knowledge-news/ukraine-russia-port-update-4179/#)

4179 / # : ~ : text = Navigation%20in%20the%20Sea%20of、allowed%20within%20the%20port%20limits。

45

クリミア半島の港とクラスノダール地方の間を地元で航海します。」これは可能性があります
ウクライナの都市ベルジャンシクとマリウポリに対する封鎖を構成します。³⁶⁷

e. 中立船とその乗組員の可能性

離れる

2022年2月24日、ウクライナは出入国のために港を閉鎖すると発表しました。

中性の船。³⁶⁸ロシアの主張によると、68カ国の乗組員は

「ウクライナの港からの外国船の出港は、

即時の洪水の脅威にさらされているウクライナ当局。」国際海事

組織は、最大2,000人の船員が影響を受ける可能性があると推定していますが、一部の船員は影響を受ける可
可能性があります

本国送還されました。組織は、青い安全な海上回廊の作成を求めています

船員の安全な避難のために。³⁶⁹ロシアは人道主義者の創設で応えた

ウクライナによって争われている回廊。³⁷⁰

12. 特定の攻撃

ミッションは、包囲された事件と

約150,000~300,000人の民間人が閉じ込められたままの、ひどく破壊されたマリウポリの街、
耐え難い状態で生活しています。これらの事件は特に十分に文書化されており、両方
当事者は、彼らに関する彼らの立場を明確にしました。

a. マリウポリマタニティハウスと小児病院

2022年3月9日、390床のマリウポリマタニティハウスアンドチルドレンズホスピタルは
攻撃により深刻な被害を受け、3人が死亡、17人が負傷（少なくとも1人）

負傷した妊婦とその後出産した赤ちゃんは、後にこれらの負傷で死亡しました）。³⁷¹

ロシア以外のすべての情報源は、病院が明確に識別可能であり、

ヒットした時間。³⁷²これは、HRMMU³⁷³といくつかの証言によって確認されています。
ソーシャルメディアやその他のメディア、および付随する画像のジオロケーションがこれを裏付けています。
³⁷⁴In

³⁶⁷AlexanderLott、Marine Traffic、「Global Ship Tracking Intelligence」(AIS) Marine Traffic、at :
<https://www.marinetraffic.com/en/ais/home/centerx:36.4/centery:45.1/zoom:8>。

³⁶⁸ウクライナ政府からのIMO通信 (Circular Letter No.4518) 2022年2月24日、
で : <https://wwwcdn.imo.org/localresources/en/MediaCentre/HotTopics/Documents/Black%20Sea%20and%20Sea%20of%20Azov%20->

[Member%20States%20and%20Associate%20Members%20Communications / Circular%20Letter%20No.4518%20-%20Communication%20From%20The%20Government%20Of%20Ukraine%20（事務局）.pdf](https://wwwcdn.imo.org/localresources/en/MediaCentre/HotTopics/Documents/Black%20Sea%20and%20Sea%20of%20Azov%20-Member%20States%20and%20Associate%20Members%20Communications/Circular%20Letter%20No.4518%20-%20Communication%20From%20The%20Government%20Of%20Ukraine%20（事務局）.pdf)。

³⁶⁹IMO、黒海とアゾフ海の状況に関するIMO評議会の決定、2022年3月11日、次の場所で
<https://www.imo.org/en/MediaCentre/PressBriefings/pages/ECSStatement.aspx>。

³⁷⁰IMO、「ロシア連邦政府からの連絡」 (Circular Letter No.4543)
3月28日
2022年、[https://wwwcdn.imo.org/localresources/en/MediaCentre/HotTopics/Documents/Black Sea and
海の
アゾフ-加盟国および準会員コミュニケーション/サーキュラーレターNo.4543-コミュニケーション
から
ロシア連邦政府（事務局）.pdf; およびIMO、'からの通信
政府
ウクライナの' \(Circular Letter No.4544\) 、2022年3月31日、\[https://wwwcdn.imo.org/localresources/
en / MediaCentre / HotTopics / Documents / Black Sea and SeaofAzov-加盟国および準会員
コミュニケーション/サーキュラーレターNo.4544-ウクライナ政府からのコミュニケーション
（事務局）.pdf\]\(https://wwwcdn.imo.org/localresources/en/MediaCentre/HotTopics/Documents/Black%20Sea%20and%20Sea%20of%20Azov%20-\)](https://wwwcdn.imo.org/localresources/en/MediaCentre/HotTopics/Documents/Black%20Sea%20and%20Sea%20of%20Azov%20-)

³⁷¹国連人権高等弁務官事務所、「ウクライナ：重大な懸念」、プレス
ブリーフィングノート、12
2022年3月、<https://www.ohchr.org/en/press-briefing-notes/2022/03/ukraine-grave-concerns>。

³⁷²たとえば、Katie Polglase、Gianluca Mezzofiore、Livvy Doherty、「マリウポリの解剖学」を参照してくださ
い。

病院攻撃、
CNN、2022年3月17日、次の場所で。
[https://edition.cnn.com/interactive/2022/03/europe/mariupol-maternity-hospital-
攻撃/index.html](https://edition.cnn.com/interactive/2022/03/europe/mariupol-maternity-hospital-attack/index.html)。も参照してください
[https://www.reuters.com/world/mariupol-hospital-bombing-killed-three-people-
含む-子供-ウクライナ-大統領-2022-03-10/;](https://www.reuters.com/world/mariupol-hospital-bombing-killed-three-people-including-children-ukraine-president-2022-03-10/)
[https://ukranews.com/news/840022-rossijskie-okkupanty-
sovershili-aviaudar-na-detskuyu-bolnitsu-i-roddom-v-mariupole](https://ukranews.com/news/840022-rossijskie-okkupanty-sovershili-aviaudar-na-detskuyu-bolnitsu-i-roddom-v-mariupole)。

³⁷³国連人権高等弁務官事務所、'人権状況に関する最新情報
ウクライナ'、

報告期間：2022年2月24日から3月26日、2022年3月28日：

<https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022->

03 / HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf、パラ18。

³⁷⁴SputnikNewsATO (@SputnikATO)、Twitter、2022年3月9日、次の場所にあります。

<https://twitter.com/SputnikATO/status/1501570825803161610?s=20&t=qwvZoLqRXce2VC0cAkVOog;>

46

攻撃の直前と直後に撮影された追加の画像は、それが運営病院であったことを証明しています
攻撃によってひどく損傷したこと。³⁷⁵

ロシアは最初にこの事件を偽のニュース³⁷⁶と認定し、ウクライナがそれを上演したと非難した。
後にロシアは、建物はアゾフ大隊によって使用され、すべての患者が
とりわけロシアからの警告を受けて避難した。³⁷⁷この警告は伝えられるところでは
3月7日の安全保障理事会でのロシア代表による宣言で構成されていた
2022。³⁷⁸

この軍事利用を裏付けようとしているメディアの報道は、戦車と武装した写真を示しています
産科病院だったとされる建物の前の人、³⁷⁹しかしこの建物
と比較した場合、病院から1km以内のどの建物とも整列していません
衛星画像。建物の形は非常に独特で、上から見ることができます。
同様に、記事に埋め込まれたビデオ³⁸⁰は、反抗的な兵士のように見えるものを描いています
建物の屋上にある戦車誘導ミサイルは、1km以内のどの建物とも一致しません。
病院。しかし、ロシアの国連常駐代表は3月11日に示した
できなかったと主張する病院の写真
ロケットに打たれた：彼は写真を見せた
クレーターの、「すべての兆候によって、植えられた鉱山の爆発の結果として形成されました
したがって、ミッションは、病院がロシア人によって破壊されたと結論付けています。
攻撃。ロシアの説明に基づく、攻撃は意図的なものだったに違いありません。効果がない
警告が出され、時間制限は設定されていません。したがって、この攻撃は明らかに違反となります
IHL³⁸²とその責任者は戦争犯罪を犯しました³⁸³。

b. マリウポリ劇場

ミッションは、メディア³⁸⁴といくつかのウクライナ政府³⁸⁵とNGOによって通知されました
情報源³⁸⁶3月16日、マリウポリの中心部にある演劇劇場が破壊された

Volodymyr Zelenskiy (@ZelenskyyUA)、Twitter、2022年3月9日、次の場所にあります。

https://twitter.com/ZelenskyyUa/status/1501579520633102349?s=20&t=n0e7DjsQ2_x1CaVdbyqnXw; スプートニク

ニュースATO (@SputnikATO)、Twitter、2022年3月9日、次の場所にあります。

<https://twitter.com/SputnikATO/status/1501619569122856968/photo/1>; AP通信、Youtybe

チャンネル、で：

<https://www.youtube.com/watch?v=6-NC-QOhhv4>。

³⁷⁵MikeEckel (@Mike_Eckel)、Twitter、2022年3月12日、次の場所にあります。

https://twitter.com/Mike_Eckel/status/1502735991379042315。

Elizaveta Lukaschukova、'マリウポリの産科病院の爆撃は、偽。これが

すべての写真とビデオの失敗と矛盾」、Yamal News、2022年3月11日、<https://yamal-media.ru/narrative/roddom-v-mariupole>。

³⁷⁷バレンティン・アルフィモフ、「マリウポリの小児病院を実際に爆撃したのは誰か」、KP.ru、3月9日2022年：

<https://www.kp.ru/daily/27374/4556142/>。

ポリ「ポリアンスキーはマリウポリの病院での民間人へのストライキについての偽物を指摘した」、RIAニュース、

2022年3月10日、

で：<https://ria.ru/20220310/mariupol-1777388570.html>。

³⁷⁹バレンティン・アルフィモフ、「マリウポリの小児病院を実際に爆撃したのは誰か」、KP.ru、3月9日2022年：

<https://www.kp.ru/daily/27374/4556142/>。

³⁸⁰WarGonzo、Youtubeチャンネル、https://www.youtube.com/watch?v=s4-zYV_6Tgk。

³⁸¹ロシア連邦の国連政府代表部、常駐代表による声明
ヴァシリ

2022年3月11日、ウクライナの生物学研究所に関するUNSCブリーフィングでのネベンジア：

https://russiaun.ru/en/news/110322n_u。

³⁸²GCI、Arts 19、21、35; AP I、Arts12および13。

³⁸³ICC法令、アート。8 (2) (b) (ix) 。

³⁸⁴たとえば、HugoBachegaとOrysiaKhimiakを参照してください。

どのように一人の女性

生き残った」、BBCニュース、2016年3月22日、<https://www.bbc.com/news/world-europe-60835106>; '大統領 Zelenskyy：「マリウポリ劇場爆撃後の私の心が痛む」、Euronews、2022年3月17日、

で：

<https://www.euronews.com/2022/03/17/president-zelenskyy-my-heart-breaks-after-mariupol-theatre-bombing>。

³⁸⁵マリウポリ市議会、電報チャンネル（公式チャンネル）、<https://t.me/mariupolrada/8880>;

Dmytro

Kuleba (@DmytroKuleba)、Twitter、2022年3月16日、<https://twitter.com/DmytroKuleba/status/1504141027879313412>。

ウクライナ「ウクライナ：ロシアの攻撃に襲われたマリウポリ劇場数百人」、HRW、2022年3月16日、場所：
<https://www.hrw.org/news/2022/03/16/ukraine-mariupol-theater-hit-russian-attack-sheltered-hundreds>。

ロシアの空爆によるとされる強力な爆発物（議論の余地のない）による。それは両側の標識によって子供を収容することとして明確にマークされた劇場の破壊、そして、多くの民間人が避難した場所で、意図的に行われたことも同様に議論の余地がありません。³⁸⁷ロシアそれが正当な標的であったとは主張していませんが、それはウクライナのアゾフによって爆破されたと主張しています

大隊。³⁸⁸ミッションは、これが当てはまる可能性があるという兆候を受け取っていません。最大1,300伝えられるところによると、人々は劇場の地下と床の両方に避難所を探していました。³⁸⁹

襲撃後、子供を含む約150人が手段を使って立ち去ることができた。

300人が死亡したと判断されました。³⁹⁰これらは、

劇場、それは完全に破壊されました。残りの人々の運命についての情報の欠如

マリウポリの包囲と生存者のトラウマによってミッションに説明されました、

そのため、彼らの多くにインタビューすることは不可能でした。この事件はおそらく

IHL³⁹¹のひどい違反とそれを命じたり実行したりした人々は戦争犯罪を犯しました。³⁹²

G. 結論

結論として、状況の中でIHLのほとんどの主張の詳細な評価

特定の事件に関する違反や戦争犯罪は不可能でした、ミッション

調査された問題のほとんどについて、ロシア軍によるそのような違反の明確なパターンを発見した。

ウクライナの慣行に関してもいくつかの違反と問題が確認されましたが

ロシアではなくウクライナが死、負傷または破壊の一部を引き起こしたという主張

ロシアに起因するものは確認できませんでした。

ウクライナ「ウクライナ：ロシアの攻撃に襲われたマリウポリ劇場数百人」、HRW、2022年3月16日、場所：
<https://www.hrw.org/news/2022/03/16/ukraine-mariupol-theater-hit-russian-attack-sheltered-hundreds>;

「ゼレンスキー大統領：マリウポリの劇場爆撃後の「私の心が痛む」」、ユーロニュース、2022年3月17日、
で：

<https://www.euronews.com/2022/03/17/president-zelenskyy-my-heart-breaks-after-mariupol-theatre-bombing>。

ウクライナ「ウクライナは、ロシアが住民を保護するマリウポリ劇場を攻撃し、モスクワは攻撃を否定すると述べている」、

ロイター、3月16日

2022年：

<https://www.reuters.com/world/russian-bombing-hits-theatre-mariupol-sheltering-residents-city-評議会-2022-03-16/>。

マリ「マリウポリ市当局者：避難所として使用された劇場の爆撃で300人が死亡」、VOAニュース、3月25日
2022年：

<https://www.voanews.com/a/mariupol-city-officials-300-killed-in-bombing-of-theater-used-as-shelter->

[/6501265.html](https://www.voanews.com/a/mariupol-city-officials-300-killed-in-bombing-of-theater-used-as-shelter-/6501265.html); 国連、人権高等弁務官事務所、'人権に関する最新情報

状況

ウクライナで、報告期間：2022年2月24日から3月26日、2022年3月28日、で：

https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-03/HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf、パラ26。

マリ「マリウポリ市当局者：避難所として使用された劇場の爆撃で300人が死亡」、VOAニュース、3月25日 2022年：

<https://www.voanews.com/a/mariupol-city-officials-300-killed-in-bombing-of-theater-used-as-shelter-/6501265.html>。

³⁹¹API、Arts 48、51 (2) および52 (1)。

³⁹²API、アート。85 (3) (a) ; ICC法令、アート。8 (2) (b) (i) - (ii)。

48

V. 国際的な違反および虐待の申し立て 人権法

A. 一般的な問題

1. 適用される法的基準

ウクライナは、欧州人権条約 (ECHR) の締約国です。

欧州社会憲章 (RESC)、市民的および政治的権利に関する国際規約

(ICCPR)、経済的、社会的および文化的権利に関する国際規約 (ICESCR) および
国際条約を除く他のすべての国連人権文書

すべての移民労働者とその家族 (CMW) の権利の保護について。

また、事実上すべてのオプションを批准しています

OPを除くこれらの規則に対するプロトコル (OP)

ICESCRおよびRESC議定書 (集団的苦情) へ。

ロシア連邦は、RESC、ECPT、CIS人間条約の締約国です。

権利と基本的自由 (CHRFF)、ICCPR、ICESCRおよびその他すべての国連人間
CMWおよび国際条約を除く権利文書

強制失踪 (ICPPED) からのすべての人の保護。それは最初のOPを批准しました

ICCPR、子どもの権利に関する国連条約 (CRC) の最初の2つのOP、および

女性に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約へのOP

(CEDAW)。欧州評議会からの追放の結果として、³⁹³ロシアは「

2022年9月16日にECHRの高締約国になる」。³⁹⁴ただし、ECtHRは

申し立てられた違反に関連してロシアに向けられた申請に対処する能力を維持する

2022年9月16日より前に発生したECHRの報告 (ECHRの第58条 (2))。

両国は、OSCEの人間の下で認められた基準にコミットしています

寸法。³⁹⁵

人権の解釈を支援する拘束力のない手段も数多くあります

条約に含まれる義務、または

そのような条約が存在します。これらの手段は、とりわけ、内部に関する指導原則を網羅しています。

強制退去、³⁹⁶強制からの人の保護に関する宣言

失踪、³⁹⁷法執行官のための行動規範³⁹⁸または基本
グロスの犠牲者のための救済と修理の権利に関する原則とガイドライン
国際人権法の違反と国際人権の重大な違反
人道法。³⁹⁹

いわゆるドネツクとルハンシクの「人民共和国」は国際的に認められていません
州。事実上の実体と非国家主体がもっと
広く、少なくともある程度は、IHRLに起因する義務に拘束されます。⁴⁰⁰

³⁹³決議CM/Res（2022）2ロシア連邦のメンバーシップの停止に関する
評議会
ヨーロッパ、2022年3月16日。

³⁹⁴決議CM/Res（2022）3
ロシア人
欧州評議会の連盟、2022年3月23日、パラ7。

³⁹⁵OSCE Human Dimension Commitments、Vol. I テーマ別編集、第3版、Vol. II。
年代順
コンパイル、Vol. III、OSCE-ODIHR、ワルシャワ、2012年。

³⁹⁶国連文書。E / CN.4 / 1998/53 / Add.2、内部変位に関する指導原則、1998年2月11日。

³⁹⁷国連文書。A / RES / 47/133、強制失踪からの人の保護に関する宣言、18
1992年12月

³⁹⁸国連文書A/RES / 34/169、法執行官のための行動規範、1979年12月17日。

³⁹⁹国連文書。A / RES / 60/147、救済および修理の権利に関する基本原則とガイドライン
犠牲者のために
国際人権法の重大な違反と国際人権の重大な違反
人道主義者
法律、2005年12月16日。

⁴⁰⁰Yael Ronen、非承認、管轄権、および欧州司法裁判所でのTRNCを参照してください。
権利、62

Cambridge LJ（2003） 、534-537; スティーブン・ウィートリー、アンソニー・カレン、個人の人権
デファクト

49

ミッションは、この議論においていかなる立場も取りません。によって採用されたアプローチに従う
イベントに関する人権団体は、他の事実上の実体の領域で発生しました
（アブハジア、南オセチア、ナゴルノカラバフ、北キプロストルコ共和国）、
ミッションは、人権文書の締約国が負う義務に焦点を当てています。

2.人権の下での義務からの委任 楽器

国際的な武力紛争など、国民の生命を脅かす緊急事態の際には、州は、委任条項に基づく人権を確保する義務から委任することができますいくつかの人権文書に含まれている（ICCPRの第4条、ECHRの第15条、RESHの第F条、CHRFFの第35条）。誹謗中傷は一時停止に相当します公共の緊急事態を克服するために必要な期間の特定の人権保証の。

国家は、緊急事態によって厳密に要求される範囲で、IHRLの義務から逸脱する可能性があります状況の。誹謗中傷の措置は、州の他の措置と矛盾していない可能性がありますIHLに基づくものなどの国際債券。彼らは差別だけを伴わないかもしれませんが人種、肌の色、性別、言語、宗教、社会的起源を理由に。特定の人権、生存権や拷問の禁止などは、非難されないと見なされます。州誹謗中傷の権利を利用することは、非常事態を公式に宣言するものとする。国連事務総長（ICCPR）および欧州評議会（ECHR、RESC）デロゲーションの範囲と内容、その理由、およびその後の変更または撤回。

ロシア連邦は、領土内の紛争に関していかなる非難もしていません。ウクライナの。したがって、それによって批准されたすべての人権文書は引き続き有効である。ウクライナ以来、いくつかの事例でICCPRおよびECHRに基づく義務を放棄している2014.古い非難（2015-2019）は、自治共和国の状況に関連していますクリミア半島とセヴァストポリ市、およびドネツクとルハンシク地域。最近のウクライナに対するロシアの攻撃とウクライナのほとんどの地域での非常事態宣言の30日間の紹介（23月）およびウクライナ全土の戒厳令（2月24日、3月26日からさらに30日）。最近の非難は、幅広い人権に関係しています。すなわち、ICCPRの第2条（3）、第3条、第8条（3）、第9条、第12条から第14条、第17条、第19条から第22条、第24条から第27条によって付与されたもの。ECHRの4（3）、5-6、8-11および13-14、ECHRの追加議定書の第1-3条、およびECHRの議定書4の第2条⁴⁰¹

3.武力紛争におけるIHRLの適用

IHRLは、武力紛争の際にも引き続き適用されると一般に認められています。このビューには国際司法裁判所（ICJ）、⁴⁰²国連人権によって一貫して支持されてきました

欧州人権条約に基づくレジーム、13 HRLR（2013）、691-728; ダロン・タン、ラクナを埋める：国際人権法における事実上の制度と有効な権力、51国際L.&Politics（2019）、435-492。

⁴⁰¹条約の状況、国連条約コレクション、以下：

https://treaties.un.org/Pages/ViewDetails.aspx?chapter=4&clang=_en&mtdsg_no=IV-4&src=IND; 条約第005号、理事会の予約と宣言ヨーロッパ、で：

<https://www.coe.int/en/web/conventions/full-list?module=declarations-by-treaty&numSte=005&codeNature=0>。

⁴⁰²ICJ、核兵器の脅威または使用の合法性、勧告意見、1996年7月8日、パラ25; ICJ、法務占領下のパレスチナ自治区における壁建設の結果、勧告的意見、2004年7月9日、106まで。

50

評議会、⁴⁰³国連人権委員会（HRC）、⁴⁰⁴欧州人権裁判所（ECtHR）⁴⁰⁵および他の多くの国際機関。

武力紛争の存在は、その管轄の範囲に影響を与える可能性がありますこの紛争の当事者を述べ、その中で彼らは人間を確保する義務を負っている権利。人権団体の確立された判例法の下では、管轄は主に領土ですが、「自国の領土境界外の締約国による管轄権の行使」。⁴⁰⁶

これらの例外的な状況の1つは、合法的なまたは国家が直接または部下の地元住民を通じて行使する違法な軍事行動国の領土外の地域での行政。⁴⁰⁷これらの場合、管轄この支配が持っているかどうかに関係なく、領土に対する事実上の支配から生じます有効な法的根拠。ある地域を効果的に管理している国には責任がありますこの地域内の個人に、認められた人権の全範囲を確保すること。

ミッションは、ウクライナの領土のいくつかの部分が実際に別の州、ロシア連邦の効果的な管理。これは自律型の場合ですクリミア共和国とセヴァストポリ市は一時的に占領されており、（違法に）2014年以来ロシアによって併合されました。ロシアはこれらに対する管轄権を持つことを否定していませんただし、これらの地域は国土の一部であると主張しています。ウクライナv. ロシア（Re クリミア）、ECtHRは、予備的ではあるが、「/ロシア/以上の管轄権クリミア半島は、「地域を効果的に管理する」という形や性質ではなく、管轄区域の性質」。⁴⁰⁸

ドネツクとルハンシク地域の特定の部分も、効果的な管理下にあります2014年以降のロシア。この統制は、いわゆるドネツクとルハンシクの「人民共和国」、その行為についてロシアは（少なくとも）全体的な制御。さらに、2022年2月24日以降、ロシアは徐々に進歩しているようです。の特定の他の領域に対する安全な（そして時には失われた）効果的な制御ウクライナの領土、特にドネツクとルハンシク地域の他の部分とヘルソン領域。

ミッションは、ジョージア対でそれを指摘します。ロシアII（2021）、ECtHRは非領土の主権者による効果的な統制がまだ行われていない敵対行為の活発な段階

確立され、敵対行為の活発な段階の終了後の占領段階、そのような場合
統制はすでに実施されています。⁴⁰⁹この区別に沿って、ロシアは管轄権を持っています。
それらの
敵対行為の活発な段階がすでに終わっているウクライナの領土の一部。

ミッションはまた、イラシュクとその他でv。モルドバとロシア（2004）、ECtHR
領邦は、「
効果的なコントロールがない、/.../まだポジティブ

⁴⁰³国連文書。A / HRC / RES / 9/9、解像度9/9。武装した民間人の人権の保護
紛争、18
2008年9月。

⁴⁰⁴国連文書CCPR/C / 21 / Rev.1 / Add.13、一般的コメント番号 31、一般法の性質
義務
規約の締約国に課せられた、2004年5月26日、パラ11。CCPR / C / CG / 36、一般的コメントNo.
36
（2018）生存権について、2018年10月30日、パラ64。

⁴⁰⁵ECtHR、Hassanv。英国、アプリケーション番号 29750/09、ジャッジメント（GC）、2014年9月16日、
104の場合。

⁴⁰⁶ECtHR、Al-Skeiniおよびその他v。英国、アプリケーション番号 55721/07、ジャッジメント（GC）、7月7日
2011年、パラ
132。

⁴⁰⁷ECtHR、Loizidouv。トルコ（予備的異議）、申請番号 15318/89、判断、23
1995年3月、
パラ62; キプロスv。トルコ、アプリケーション番号 25781/94、判断（GC）、2001年5月10日、パラ76。

⁴⁰⁸ECtHR、ウクライナv。ロシア（クリミア半島）、出願番号20958/14および38334/18、判決（GC）、16
2020年12月、349項。

⁴⁰⁹ECtHR、ジョージアv。ロシア（II）、申請番号 38263/08、ジャッジメント（GC）、2021年1月21日、パラ
73.も参照してください
国連文書 CCPR / C / 21 / Rev.1 / Add.13、一般的コメントNo. 31、一般的な法的義務の性質
規約の締約国に課せられた、2004年5月26日、パラ10。

51

義務/.../それが権力を握っている外交的、経済的、司法的または他の措置を講じること
申請者に権利を確保するために国際法を遵守し、
/ ECHR /⁷によって保証されています。⁴¹⁰この前向きな義務は、
人権の全範囲を確保します。むしろ、ある程度努力することは残余の義務です
与えられた状況で可能であり、事実上の支配の外の領域に対する支配を取り戻すために
状態の。状況に関するウクライナの非難ノートでなされた声明
クリミア半島とドネツクおよびルハンシク地域の一部では⁴¹¹これに照らして読む必要があります

積極的な義務。

Bekoyeva対の最近の決定で。ジョージア（2021）、⁴¹²さらに、ECtHRは提案しました国家が特定の分野に対してその権限を行使することを妨げられる可能性があることこれらの地域は、別の州の効果的な管理下にありますが、戦争行為の際にも、混沌の文脈、そこで発生します。州の「関連するものに対して州の権限を行使することができない」敵対行為の活発な段階にある領土は、戦争に襲われた国に対する被告国の管轄権の通常の行使領土」。⁴¹³残余責任、その具体的な範囲はコンクリートに依存状況は、ここでも適用可能なままです。

エリアの効果的な管理に加えて、領土外の国家による管轄権の行使は、いわゆる国家であるエージェント制御と権限。この状況は、「国家の代理人による力の使用がその領土の外で活動する/.../個人を連れてきて、それによって州の/.../管轄権に対する州の当局」。⁴¹⁴これは通常、人が国家の代理人、例えば国家の軍隊のメンバーによって、その州の領土。その場合、人権を確保する義務は、「その個人の状況に関連している」。⁴¹⁵

ECtHRは、活発な敵対行為の分野では、「武装の現実そのものがの支配を確立しようとしている敵の軍隊間の対立と戦い混沌とした状況での領域/.../「国家機関の権限と管理」のあらゆる形態を除外する個人」。⁴¹⁶ただし、この声明は、拘留された者またはその他の対象者に関して行われたものではなく、積極的な敵対行為紛争の当事者による権力に。ミッションはインスタンスに関する情報を受け取りました個人（ウクライナ軍のメンバーまたはウクライナの民間人）がロシアの効果的な管理下にある地域の外で捕獲または拘留された。に沿って州の代理人の管理と権限の原則、そのような個人はの管轄内にあります彼らの捕獲または拘留の瞬間から彼らの解放までのロシア。

ミッションはまた、国連人権理事会（HRC）によって表明された見解に留意します「締約国は、国際法で定義されているように侵略行為に従事し、その結果、生命の剥奪、規約の事実上第6条に違反する」。⁴¹⁷正しければ、この結論

⁴¹⁰ECtHR、Ilașkuおよびその他v. モルドバとロシア、申請番号 48787/99、判決、7月8日2004年、331項。

UNDocも参照してください。CCPR / C / MDA / CO / 2（2009）、モルドバに関する総括所見、2009年11月4日、パラ5。

⁴¹¹「ロシア連邦は、侵略国および占領国として、全責任を負います。

の尊重のために

国際人道法の下で一時的に占領されたウクライナの領土における人権、だけでなく

国際人権法に従って。」ウクライナのVerkhovna Radaの宣言

デロゲーション

2015年7月16日、ICCPRおよびECHRに基づく特定の義務から。

⁴¹²ECtHR、Bekoyevav。ジョージア、アプリケーション番号 48347/08、判決、2021年10月5日、パラ38。

⁴¹³ECtHR、Bekoyevav。ジョージア、オペアンプ。引用、パラ39。

⁴¹⁴ECtHR、Al-Skeini、op。引用、パラ136。国連文書も参照。CCPR / C / CG / 36、前掲書、パラ63。

⁴¹⁵ECtHR、Al-Skeini、op。引用、パラ137。

⁴¹⁶ECtHR、ジョージアv。ロシア（II） 、op。引用、パラ126。

⁴¹⁷国連文書。CCPR / C / CG / 36、op。引用、パラ70。

52

他の多くの人権の侵害をもたらす行為に潜在的に適用できるようです、
間に直接の因果関係がある限り
これらの行為と攻撃行為。

4.IHRLとIHLの関係

武力紛争の状況では、いわゆるIHRLは、IHLと並行して適用されます。
同時または二重の適用性。HRCによって規定されているように、「一方、特定の/.../に関して
権利、国際人道法のより具体的な規則は、特に関連する可能性があります
/.../権利の解釈の目的は、両方の法の領域が補完的であり、
相互に排他的」。⁴¹⁸2004年の勧告的意見では、ICJは3つの可能性を区別しました
2つの領域間の関係の状況：「一部の権利は排他的に問題になる可能性があります
国際人道法の; その他は、もっぱら人権法の問題である可能性があります。まだ
他のものは国際法のこれら両方の分野の問題かもしれません」。⁴¹⁹これらの重複は説明します
このレポートのIHLとIHRLの両方の部分にいくつかのインシデントが表示される理由。

Lex specialis derogat legi generaliは、一般的に認められている国際法の原則であり、使用されています
法的な解釈と規範的な対立の解決において。また、従来から使用されています
IHLとIHRLが重複している場合は、2つの関係を判断します。

ブランチ。⁴²⁰国際的な文脈でのlexspecialis原則の適用

武力紛争はしばしばIHLを優先します。ただし、これはすべての場合にそうである必要はありません。
国連人権高等弁務官事務所（OHCHR）が保持しているように、「
人や領土を効果的に管理すればするほど、人権法は
適切な参照フレームワーク」。⁴²¹一方、ターゲティングのプロセスは主に通知されます
IHLの規則により、公正な裁判の保証はIHRL基準に照らして解釈する必要があります。⁴²²これ
このアプローチは、IHRLフレームワークを設定していない人権団体の実践に反映されています
武力紛争の文脈では完全に脇に置きますが、この枠組みをと調和して解釈しようとします
該当するIHL規則。ミッションはこのアプローチも採用しています。

5.IHRL違反と犯罪との関係

人道に対する罪

IHRLの違反と人道に対する罪との関係はやや似ています

IHLの違反と上記の戦争犯罪の間のそれへ。⁴²³IHRLの違反、法的に言えば、州によってコミットされます。それどころか、人道に対する罪は個人によってコミットされます。前者は国家の責任を生じさせ、後者は国家の責任を生じさせます個人の刑事責任。人道に対する罪のカタログはたくさんありますIHRLの違反よりも短く、最も深刻な違反のみが含まれます。IHRL。戦争犯罪とは異なり、人道に対する罪は明示的に列挙されておらず、言及された、IHRL条約で。人道に対する罪に関する特別な手段也没有ありません。そのような。⁴²⁴

人道に対する罪の最も包括的なカタログは、1998年のローマによって提供されています国際刑事裁判所（ICC）の法令（RS）。ウクライナとロシアはそうではありませんが

⁴¹⁸国連文書。CCPR / C / 21 / Rev.1 / Add.13、一般的コメント番号 31、一般法の性質義務規約の締約国に課せられた、2004年5月26日、パラ11。

⁴¹⁹ICJ、法的結果、op。引用、パラ106。

⁴²⁰ICJ、核兵器、op。引用、パラ25; ICJ、壁の建設、op。引用、パラ106。

⁴²¹OHCHR、武力紛争における人権の国際的な法的保護、Doc。HR / PUB / 11/01、11月2011年、p。63。

⁴²²ヤコブ・ケレンバーガー、国際人道法およびその他の法制度：相互作用の状況暴力、IHLの現在の問題に関する第27回年次円卓会議への声明、イタリア、サンレモ、4-6 9月2003年。

⁴²³上記のIVを参照してください。D。

2019 2019年、国連国際法委員会は2回目の読書で、防止と人道に対する罪の罰。国連文書を参照してください。A / 74/10、国際法の報告手数料、2019年、pp。22-140。

53

RSの締約国、どちらも人道に対する罪の定義に異議を唱えていません第7条に祀られています。実際、国際法委員会での議論の中で、ロシアは、「人道に対する罪の定義の逐語的複製/.../」を明示的に支持した。

ローマ法に見られる人類」。⁴²⁵ウクライナは、この定義に対する支持を表明しました。暗黙のうちに、とりわけ人道に対する罪に対するICCの管轄権を認めることによって2013年11月21日以来、その領土でコミットしました。

RSは、人道に対する罪を、人道に対する罪を第7条に定められている行為の1つと定義しています。行為は「民間人に対して向けられた広範囲にわたるまたは体系的な攻撃の一部として行われる人口、攻撃の知識を持つ」。これらの行為には、殺人、絶滅、奴隷化、国外追放または人口の強制移送、違法な投獄、レイプおよび他の形態の性的暴力、迫害、強制失踪、アパルトヘイト、同様の性格の他の非人道的な行為は、故意に大きな苦痛または重傷を引き起こします身体または精神的または肉体的健康に。「民間人に対する攻撃」は「民間人に対するそのような行為の複数の委員会を含む行動の過程人口、そのようなことを行うための州または組織の方針に従って、またはそれを促進する攻撃」（RS第7条（2））。確立された判例法によれば、「広範囲」とは攻撃の大規模な性質と標的となる人物の数、そして「体系的」暴力行為の組織化された性質とそれらのランダムの可能性を説明します発生。⁴²⁶

人道に対する罪と戦争犯罪のカテゴリーは完全に論理和ではありません。それなししたがって、個人は1つの行為によって両方のカテゴリーの犯罪を犯す可能性があります。

B.紛争が公民権および政治的権利に与える影響

ウクライナの領土での紛争は、市民と市民の楽しみに大きな影響を与えました生存権や

拷問の禁止。この分野では、IHRLはIHLおよびIHRL基準と大きく重複しています。したがって、IHLのlexspecialisに照らして解釈する必要があります。ICCPRの多くの規定そしてECHRは、ロシアの攻撃の後、ウクライナによって非難されました。削除不可ただし、規定と同様に、権利および権利の侵害不可能な部分は引き続き有効です。およびデロゲーションを許可しない、またはデロゲーションされていない楽器。

ミッションは、IHRLが実質的義務と手続き的義務の両方を生じさせることを想起します。州これらの権利を妨害することを控え、私的なものを含む他の行為者を防ぐ必要がありますエンティティ、

そのような権利を侵害することから、そしてこれらの権利を享受するための積極的な措置を講じる可能。さらに、彼らは人間の違反の申し立てを効果的に調査する必要があります権利、そのような違反の責任者に説明責任を負わせ、救済策を提供または促進すると犠牲者への補償。公民権および政治的権利の重大な違反、特に非卑劣な権利は、人道に対する罪および/または戦争犯罪を構成する可能性があります。

ミッションは、多くの市民的および政治的権利を示唆する広範な情報を受け取りました紛争の最初の5週間は、影響を受けただけでなく、直接違反した。

このような違反の大部分は、効果的な管理下にある地域で発生しています。

ロシアのまたはそうでなければこの状態に帰することができます。これらの違反の多くは同時に発生しますIHLの時間違反とその中で最も深刻なものは、戦争犯罪を構成する可能性がありますおよび/または人道に対する罪。ミッションはこれらの違反のいくつかを特定することができました、

特に、負の義務の違反を伴うもの（例えば、民間人の標的殺害）。
ポジティブな絆がどの程度あるかを言うのはもっと難しいです（例えば、
調査）

⁴²⁵国連文書 A / C.6 / 70 / SR.23、第6委員会。2015年11月27日、第23回会議の要約記録
18のため。

⁴²⁶ICTR、検察官v. Gatete、Judgement、ICTR-2000-61-T、2011年3月31日、パラ63; 検察官v.
Ndindiliyimana et al.、Judgement、ICTR-00-56-T、17 May 2011、para 2087; 検察官v. にらますすこ
et al.、
判決、ICTR-98-42-T、2011年6月24日、パラ6040。

54

そのような義務の履行に期間が必要となる可能性があるという条件で、軽視されてきた
ミッションの任務によってカバーされるものを拡張します。

このレポートの焦点は、最も厳しくされてきた市民のおよび政治的権利にあります
紛争の影響を受けました。ただし、これは他の権利が残ることを示唆するものではありません
影響を受けません。

1.生存権

生存権は、ICCPRの第6条とECHRの第2条に定められています。この権利
ICCPRの下では委任できませんが、「結果として生じる死亡に関しては、委任することができます。
ECHRの下での合法的な戦争行為から」（第15条（2））。ウクライナもロシアも持っていません
そのような非難をしました。しかし、IHRL機関は、
誹謗中傷の欠如、人間の規定
権利条約は、以下に照らして解釈されなければなりません
該当するlexspecialisとしてのIHL。⁴²⁷IHL規則は、「任意の」に相当するものを明確にするのに役立ちます
ICCPR第6条（1）で禁止されている「生命の剥奪」および力の使用が「
の第2条（2）に記載されている目的の1つを達成するために「絶対に必要以上」
ECHR。IHLによって設定された基準を満たさない行為は、違反と見なされます。
生存権。犯されたときの民間人の殺害という形での生存権の剥奪
民間人を対象とした広範囲にわたるまたは体系的な攻撃の一環として、
この攻撃の知識は、人道に対する罪に相当します（RSの第7条（1）（a））。

ミッションは、紛争で殺された人の総数が多いことを懸念して、両方とも
民間人の間および軍人の間。2022年3月28日までに、ウクライナ軍
報告された1,300人の軍の死傷者（米国の推定は2〜3倍高い）とロシア軍
1,350人の軍の死傷者を報告した（NATOの推定値は5-10倍高い）。民間人死傷者、
国連によって提供された控えめな数字によると、
国連（ウクライナの推定値は3〜4倍高い）。⁴²⁸これらの死の例のいくつかは、
特に軍人の間では、IHLの下で合法であるかもしれませんが、彼らはすべて残念です。The
ミッションは、HRCが表明した「戦争のリスクを回避するための努力/.../は
生存権のための最も重要な保護手段の1つ」⁴²⁹

違法な戦争は、少なくとも政治的および道徳的に、法的にはないにしても、そのような不法な戦争の過程で起こります。

超法規的（標的）殺人と死刑執行は、生存権。それらは、通常、またはによって、司法手続きの外で犯された殺人で構成されています。公務員の同意を得て。IHLに準拠して行われた生命の剥奪、敵の戦闘員のインスタンス殺害は、超法規的殺害または処刑ではありません。違反武力紛争中の生存権、特に民間人やその他の非戦闘員は、国際人道法に反して、「⁴³⁰は逆にそのように適格です。

ミッションは、超法規的殺人の特徴を明らかにするロシア軍。2022年3月7日、ユーリイ・プリリプコ、キエフ地域のゴストメル村の地方自治政府の長と2人ボランティアのRuslan KarpenkoとIvan Zoryaは、ロシアの兵士に射殺されました。地元住民に食べ物や薬を届ける。プリリプコの遺体は採掘されたとされている彼の死後。⁴³¹2022年3月13日、障害のある親ウクライナ人活動家、オレクサンドル・コノノフ

⁴²⁷ICJ、核兵器、op。引用、パラ25; ECtHR、ハッサン、op。引用、パラ103。

⁴²⁸ウクライナ：民間人死傷者の最新情報2022年3月28日、OHCHR、2022年3月28日：
<https://www.ohchr.org/en/news/2022/03/ukraine-civilian-casualty-update-28-march-2022>

⁴²⁹国連文書。CCPR / C / CG / 36、前掲書、パラ69。

⁴³⁰国連文書を参照してください。A / HRC / 47/3、超法規的、要約または恣意的な特別報告者の報告死刑執行、2021年6月7日、パラ7。

⁴³¹人権擁護家、ジャーナリスト、市民社会を標的とした深刻な人権侵害活動家、そして地域コミュニティの代表者、OMCTによる提出、2022年3月31日、著者と。

55

ルハンシク地方から、自宅で車椅子でロシアの兵士に射殺された。⁴³²これらの事件は、軍事的必要性によって説明するのは難しいようです。

ウクライナ検察庁はさらに、申し立ての調査を開始しました。チェルニーヒウの町でパンを手に入れるために列に並んでいる民間人への意図的な攻撃の例、その結果、10人が死亡した。⁴³³ロシア国防省この事件への関与を否定し、「チェルニーヒウにはロシア軍はいない。

「.../そして攻撃的なものではありませんでした」。⁴³⁴いくつかの調査も開始されました。個人、通常は家族または年配のカップルが射殺された、または深刻な事件。彼らの村、町または地域を旅行中に負傷した。そのような事件の1つで、3月19日に2022年、ロシアの兵士が乗車中に年配の女性を殺害し、夫を負傷させた。スームィ地方のトロステアネッツにある地元の病院への自転車。⁴³⁵別の事件では、家族

ハリコフの高速道路で車に乗っているときに、3人のうち3人がロシアの兵士に射殺された地域。⁴³⁶これらの事件についてより詳細な調査が必要ですが、軍事的必要性によって説明し、超法規的殺人の事例を提案します。

さらに、2022年4月1日、非常に多くの民間人が殺害されたという最初の報告がありました。キエフ地域のブチャの村がメディアに登場し始めました。⁴³⁷ロシア軍伝えられるところによると、村からの撤退で16〜60歳のすべての地元の男性を殺害した。確認された場合、これ事件は、大規模な形で生存権の侵害に相当するだけではありません超法規的殺人だけでなく、間違いなく人道に対する罪を構成します。

ウクライナ国籍の何人かの個人が、略奪者、裏切り者、または親族であると疑われています。ロシアのスパイもまた、不明確で疑わしい状況で亡くなりました。1つはデニスキレーエフです元ウクライナの銀行家であり、ウクライナとロシアの間の初期の交渉に参加した伝えられるところによると、2022年3月5日にセキュリティサービスによる逮捕中に射殺された。盗聴防諜作戦後のウクライナ。彼の死の状況、ただし、不確実なままです。⁴³⁸いくつかのメディアは、プロのVolodymyr Strukがルハンシク地方のクレムニーナの町でロシアの市長が拉致され、射殺された2022年3月2日に未知の個人によって。彼の死に応じて、アントン・ゲラシュチェンコ、ウクライナ内務省の顧問は、StrukがTelegramに投稿した「公の法廷によって判断され、明らかに下の裏切り者として未知の愛国者によって撃たれた

⁴³²「ロシア人」が片方の腕と片方の足を持っていたウクライナのボランティアを射殺車椅子、デイリーメールオンライン、2022年3月13日、次の場所で。
<https://www.dailymail.co.uk/news/article-10608825/Russians-shoot-dead-disabled-ukrainian-language-volunteer-one-arm-one-leg-wheelchair.html>。

ウクライナチェルノブイリ州の菊の木にある抹消されたトカゲ-合計10オンス、検察庁、2022年12月13日、次の場所にあります。
<https://gp.gov.ua/ua/posts/u-vernigovi-roziiski-viiska-obstriliali-lyudei-v-cerzi-za-xlibom-zaginulo-10-osib>。

ロシアの住宅は、2022年3月16日、インテルファクス通信のヴィーンヌイツヤの居住者と取引しています。
<https://www.interfax.ru/world/829618>。

年金の最も重要な部分は、自転車を同時に使用できるようになることです。プロビデンス、司法長官事務所、2022年2月22日、
<https://gp.gov.ua/ua/posts/obstril-podruzzya-pensioneriv-yaki-yixali-na-velosipedax-u-likarnyu-na-sumshhyni-rozpocato-provazhennya>。

Hアーカイブがロディンの根付いた車を占有している場合、死骸の償還、検察庁、2022年2月27日、次の場所にあります。
<https://gp.gov.ua/ua/posts/vorog-zavdav-novix-udariv-ponaselenim-punktam-donecchini-rozpocato-6-kriminalnix-provazhen-2>。

ロシアのロシア軍は、ブチャ、他のキエフ郊外で数百人の民間人を処刑します。ボディリター

通り

後ろで縛られた手で」、サンタモニカオブザーバー、2022年4月1日、で：

<https://www.smbobserved.com/story/>

2022/04/01/ニュース/russian-army-shot-all-men-aged-16-to-60-in-bucha-7000-civilians-killed-if-true-biggest-war-

戦争の犯罪/6642.html。

ローマのクラブ、SBUは拘留中にホメリで死んだウクライナの交渉者を撃った、ウクライナ・プラウダ、3月5日

2022年：

https://www-pravda-com-ua.translate.goog/rus/news/2022/03/5/7328458/?_x_tr_sl=auto&_x_tr_tl=および&_x_tr_hl=および&_x_tr_pto=wapp。

56

戦時国際法」。⁴³⁹しかし、正確に未知の個人が誰であったかは明確ではありませんでしたこれまでに設立されました。これらの2つ、およびその他同様に、インシデントは適切に調査する必要があります。

略奪者とされる者の死をもたらす「文民の正義」の事例もまた、報告。たとえば、2022年3月5日、以前に拘束されていた37歳の男性何回か盗難やアルコール乱用の責任を負い、「柱」にさらされた後に死亡した恥の」とボリン地域のノボボルインスクの町で、公共のスパニングの対象。The事件は調査中であると報告されています。⁴⁴⁰事実が確認された場合、関係者裁判にかけられなければならないでしょう。

2.拷問および人的および劣化の禁止 処理

拷問およびその他の非人道的で品位を傷つける扱いの禁止は、第7条に定められています。ICCPR、ECHRの第3条、国連拷問禁止条約の第2条、その他の残酷で非人道的で品位を傷つける扱いまたは罰（CAT）。それは数少ないものの1つです武力紛争の時でさえ、それからの非難が不可能である絶対的な権利。

拷問は、「肉体的であれ精神的であれ、激しい痛みや苦痛が人または第三者から取得するなどの目的で人に故意に負わせた情報または告白、彼または第三者が犯した、またはしている行為に対して彼を罰する彼または第三者を犯した、または脅迫したり、強要したりした疑いがある、またはあらゆる種類の差別に基づく理由、そのような痛みや苦しみが公務員またはその他の人物の扇動または同意または黙認公式の能力」（CATの第1条（1））。

ローマ法は、広範囲にわたるまたは体系的な攻撃の一部として行われた場合、拷問をランク付けしますに対する犯罪の中で、この攻撃の知識を持つ一般市民に対して向けられた人類は、それを「激しい痛みや苦しみの故意による精神的苦痛、身体的または精神的、拘留中または被告人の管理下にある人に」（記事

7 (2) (e))。拷問もIHLの下で禁止されており、ジュネーブ条約では、それは戦争犯罪を構成します (RSの第8条 (2) (a) (ii))。

非人道的で品位を傷つける扱いや罰は、肉体的な程度によって拷問とは異なりますまたは人に課せられた精神的苦痛。非人道的な扱いや罰は「計画的」です

/.../、何時間も適用/.../および原因/ing/実際の身体的傷害または激しい身体的および精神的苦痛」。⁴⁴¹品位を傷つける治療または罰は、個人を屈辱または卑劣にする彼または彼女の人間の尊厳に対する敬意の欠如または低下を示し、個人の道徳的および肉体を破壊する可能性のある恐怖、苦痛および劣等感抵抗。⁴⁴²IHLで禁止されている3つの行為の1つとしての資格を得るには、虐待が達成されなければなりません。

重大度の最小レベル。このレベルの評価は、「治療期間、その身体的および精神的影響、そしていくつかの場合などの場合ケース、被害者の性別、年齢、健康状態」。⁴⁴³

ミッションは、拷問またはその他の形態の使用の疑いについて心配な情報を受け取りましたロシアによって拘束された軍隊のメンバーと民間人に関する虐待のそして、程度は少ないが、ウクライナによる。

地元のジャーナリストで人権擁護家のOlehBaturinは、12日にヘルソン地域のカホフカで拉致されてから8日間のロシア軍

⁴³⁹で：https://t.me/Pravda_Gerashchenko/1565。

НВаВлініпомермародер, якого затримали напередодні, Волинь. UA, 27 березня 2022, at : <https://volynua.com/posts/na-volini-pomer-maroder-yakogo-zatrimali-naperedodni>。

⁴⁴¹ECtHR, Kudlav. ポーランド、申請番号 30210/96、判決、2000年10月26日、パラ92

⁴⁴²ECtHR, Prettyv. 英国、アプリケーション番号 2346/02、判決、2002年4月29日、パラ52。

⁴⁴³ECtHR, カラシニコフv. ロシア、申請番号 47095/99、判決、2002年7月15日、パラ95。

57

2022年3月、拘留中に殴打され、屈辱を与えられ、死を脅かされたと伝えられている。⁴⁴⁴

スームィ地方のトロステアネツの町の占領中、ロシア軍

伝えられるところによると、残酷に虐待され、最終的に地元の住民を殺害しました。

彼のガレージでの人身傷害。⁴⁴⁵拷問に反対する世界組織 (OMCT) 、監視

ウクライナの状況は、拷問の多数の事件の報告を受けたことを示しています

ロシアの管理下にあるヘルソンの一時拘置所。そこに拘留された人々、

主にウクライナ東部の軍事作戦のウクライナの退役軍人と民間人は、いくつかあります

殴打され、模擬死刑に処せられ、食料、水、医療へのアクセスが拒否された。⁴⁴⁶

ミッションは、確認された場合、これらの事件が拷問および/または非人道的であることに疑いの余地はありません

戦争犯罪および/または人道に対する罪を扱い、構成します。

2022年3月27日、ロシア人に対する虐待の疑いを示すビデオがインターネットに投稿されました。ハルキウ地域のVilkhivka村のウクライナ兵による捕虜。

ビデオによると、囚人は殴打され、足を撃たれた。この事件は現在下にありますロシアとウクライナの両方での調査。⁴⁴⁷確認された場合、同じ結論は次のようになります。

ここに適用されます。紛争の初期以来、ウクライナは公開チャンネル（Telegram、Facebook、Twitter、Youtube、Instagram）に投稿された動画ロシアの捕虜は、このようにして国民の好奇心にさらされます。⁴⁴⁸そのような行為は、拷問を構成しないが、それでもなお、品位を傷つける扱いとみなされる可能性がある。

さらに、虐待を示す多くの報告やビデオがあります。

略奪者、海賊版、槍、親ロシアの支持者、または夜間外出禁止令違反者であると考えられていますウクライナの支配下にある領土。⁴⁴⁹警察官による虐待、

領土防衛のメンバーまたは民間人、

通常、ダクトであるそのような個人で構成されています-

電柱や樹木にテープで留め、部分的または完全に剥ぎ取り、殴打します。

棒で、ペンキをスプレーするか、体や服に略奪者という言葉を書いてもらいます。The OHCHRは、45を超えるそのような事例を文書化しています。⁴⁵⁰ミッションは、すべてのことをもう一度思い出します。

そのような事件は、関係者の適切な調査と適切な罰を要求します。

公務員の参加が確認された場合、これらの事件は、虐待の深刻さ、拷問または非人道的で品位を傷つける扱い。

3.自由と安全に対する権利

自由と安全に対する権利は、ICCPRの第9条および

ECHR。ウクライナは、法律の採択に関連してこれらの規定を無視しました

いいえ。2111-IXは、ウクライナの刑事訴訟法と裁判前の法律を改正します

拘禁。⁴⁵¹ただし、自由と安全の権利によって提供される特定の保証は、そうではない場合があります。

" Oleh Baturin : ロシア人に8日間拘束されたウクライナのジャーナリストが釈放された、国際的

Business Times、2022年3月22日、次の場所で。

<https://www.ibtimes.sg/who-oleh-baturin-ukrainian-journalist-who-was-held-ロシア人による捕虜-8日解放-63506>。

3ボウルをmで振る。受託者-再配置、司法長官室、27

березня

2022年 : <https://gp.gov.ua/ua/post/zakatuvali-colovika-um-trostryanec-rozpocato-slidstvo>。

⁴⁴⁶ウクライナ : ロシアの領土における民間人の拉致と拷問に対する懸念

コントロール、OMCT、29

2022年3月 :

<https://www.omct.org/en/resources/statements/ukraine-concern-over-the-abduction-and-torture-ロシアの支配下にある領土内の民間人>。

⁴⁴⁷ウクライナ：見かけの捕虜虐待は戦争犯罪、HRW、2022年3月31日、次の場所で行われます。
<https://www.hrw.org/news/2022/03/31/ukraine-apparent-pow-abuse-would-be-war-crime>。

⁴⁴⁸ウクライナ：捕虜の権利を尊重する、HRW、2022年3月16日、次の場所で。
<https://www.hrw.org/news/2022/03/16/ukraine-respect-rights-prisoners-war>。

⁴⁴⁹ナタリア・アダモビッチ、殉教者を参照してください：この世界に住む人々の視点は何ですか？、ズミナ、
21
березня
2022年： <https://zmina.info/articles/pokarannya-maroderiv-pid-chas-vijny-chy-ye-zakonna-mezha/>。

⁴⁵⁰OHCHR、ウクライナの人権状況に関するHRMMUの最新情報、2月24日～3月26日、3月28日
2022年、
41に。

⁴⁵¹ウクライナ法№2111ウクライナの刑事手続法と法律を参照する必要があります
「校正」アプリケーションは、指定されたデータ駆動型の構成アイテムです
生活宇宙植物の実験体、2022年12月3日。

58

⁴⁵²恣意的拘禁の禁止、禁止事項が含まれます
人質や誘拐の奪取に対して、そしての自由を保護する手続き上の保証
人。「公共の緊急事態の存在と性質/.../は、
特定の逮捕または拘禁が恣意的であるかどうかの決定」。⁴⁵³
武力紛争の場合、ICCPRに基づくそのような決定にはIHLの規則が使用されます。⁴⁵⁴

自由の合法的な剥奪の事例のリストを含むECHRの下で、IHLの規則
捕虜と民間人の抑留者の拘留が
心配している。ハッサン対で開催されたECtHRとして。英国（2014）、「共同の理由により
国際人道法および条約によって提供される保障措置の存在
武力紛争の際、許可された自由の剥奪の理由は/第5条/に定められています。
可能な限り、捕虜と
ジュネーブ第3条約および第4条約の下で治安に危険を及ぼす民間人の拘留
規約」。⁴⁵⁵これは、正式な非難が行われていない場合でも同様です。⁴⁵⁶

ローマ法の下では、「刑務所またはその他の身体的自由の深刻な剥奪
国際法の基本規則の違反」は、
の知識を持つ一般市民に対して向けられた広範囲または体系的な攻撃
この攻撃-人道に対する罪（RSの第7条（1）（e））。

自由と自由の権利の重要性と恣意的拘禁の禁止
OSCE参加国からも強調されています。モスクワ会議（1991年）では、彼らは
「自由を奪われたすべての人を人道的に、そして
人間の固有の尊厳と国際的に認められた基準を尊重します
司法行政と被拘禁者の人権に関連するもの」（ポイント23）。

ミッションは、ウクライナの民間人の数に関する憂慮すべき報告を受けました。ロシア人またはロシア人支配下に拘束、誘拐、誘拐されたとされる力。OHCHRは、ジャーナリスト、人権の15件の拘留を文書化した。擁護者、および他の活動家および公務員および公務員の拘留の24件地方自治体。⁴⁵⁷ほとんどの場合、これらの人々は知らされないまま拘留された。彼らの拘禁の理由と彼らの所在についての情報なし。彼らの家族に伝えた。彼らはアクセスできませんでした。弁護士またはICRCに、そして開催中。連絡が取れないため、彼らはさまざまな形の虐待や脅迫を受けました。いくつかのこれらの人々は釈放されたが、他の人々の所在は不明のままであり、したがって強制失踪の申し立てにつながる。

強制失踪は、人権に対する最も深刻な脅威の1つです。それはで構成されています「逮捕、拘留、誘拐、またはその他の形態の自由の剥奪の代理人による州、または許可、支援、または黙認をもって行動する個人または個人のグループ国家の、その後の自由の剥奪または隠蔽を認めることの拒否が続く失踪した人の運命や行方の法の保護」。⁴⁵⁸ロシアはICPPEDの締約国ではありませんが、強制失踪は、生命の自由と安全、そして家族への権利からも生じます。人生と拷問の禁止。

⁴⁵²国連文書。CCPR / C / GC / 35、一般的コメントNo. 35.第9条（人の自由と安全）、16 12月 2014年、パラグラフ64-66。

⁴⁵³国連文書。CCPR / C / GC / 35、op。引用、パラ66。

⁴⁵⁴国連文書 CCPR / C / GC / 35、op。引用、パラ64。国連文書も参照。A / RES / 43/173、一連の原則 the 1988年12月9日、あらゆる形態の拘禁または投獄の下でのすべての人の保護。

⁴⁵⁵ECtHR、Hassan、op。引用、パラ104。

⁴⁵⁶ECtHR、Hassan、op。引用、パラ103。

⁴⁵⁷OHCHR、HRMMUアップデート、op。引用、パラグラフ36-40。

⁴⁵⁸ICPPEDの第2条。RSの第7条（2）（i）も参照してください。

59

拉致の最もよく記録された事例の1つは、メリトポリ市長のイヴァン・フェドロフに関するものです。2022年3月11日に彼の事務所から連れ去られ、10人のグループによって拘留されたフェドロフロシア軍によって5日間保持され、ルハンシク地方に持ち込まれ、その後解放された捕獲された9人のロシアの徴集兵と引き換えに。拘留されている間、検察総長はいわゆるルハンシク人民共和国は、彼に財政的および

ナショナリスト組織の右派セクターへの他の支援（テロリストの財政的支援組織。フェドロフは拷問されませんでした。心理的な圧力と脅威を経験しました。⁴⁵⁹

メリトポリからの他の4人-地元の活動家オルガ・ハイスモフ、地区会長評議会SergiyPrima、警察官Dmitry Stoikov、WorldLifeの司教ChurchDmitryBodya-拉致された。⁴⁶⁰Haisumovaは8日後に釈放された。しかし、彼女はロシア軍と協力するために彼女の書面による同意を与えなければなりませんでした。彼女は次のように報告しました
拘禁中、彼女は冷たい建物の中で頭に鞆をかぶせて拘留されていた。⁴⁶¹
他の3人の所在は不明です。他のいくつかの市長または公務員（Evhen MatveevまたはDniprorudne、⁴⁶²Viktor TereshchenkoまたはVelykoburlutsk、⁴⁶³Oleksandr SkadovskのYakovlyev、⁴⁶⁴StaraZburivkaのViktor Maruniak、⁴⁶⁵、およびYuriy Fomichev Slavutych⁴⁶⁶）も行方不明と報告されました。それらのうちの2つ（ヤコブレフとフォミチェフ）はそれ以来リリースされました。ミッションは、これらの事件が恣意的な特徴を明らかにすると結論付けました。自由の剥奪と一部は失踪を強制することになりそうなので、自由と安全に対する権利の侵害だけでなく、おそらく、人類。

同様に憂慮すべきは、多数のウクライナ人の拘留疑惑に関する報告です。民間人とロシアの効果的な管理下にある地域への彼らの大規模な移動または、でも、ロシア自身の領土に。ウクライナ人によって提供された情報によると人権のための議会コミッショナーLyudmilaDenisova、40万人以上のウクライナ人市民はロシアに強制的に追放されました。⁴⁶⁷ミッションは、国外追放と広範囲にわたるまたは体系的な攻撃の一部として行われた場合の、人口の強制的な移動。この攻撃の知識を持つ一般市民に対して向けられた、犯罪を構成します人道に対する罪（RSの第7条（1）（d））。

OHCHRはまた、300人以上の個人がウクライナの国家安全保障に対する犯罪の疑いに関するウクライナ当局と

ウクライナ人'ロシアの兵士に誘拐されたウクライナの市長は、他の捕虜が拷問されているのを聞いたと言っています'、

独立した、

2022年4月1日：

<https://www.independent.co.uk/news/world/europe/ivan-fedorov-kidnapped-melitopol-mayor-kidnapped-b2048749.html>。

⁴⁶⁰メリトポリでは、ロシアの侵略者が生命の言葉教会の司教を誘拐した'、宗教情報

ウクライナの奉仕、2022年3月21日、次の場所で。

https://risu.ua/en/in-melitopol-russian-invaders-kidnapped-the-bishop-of-the-word-of-life-church_n127432。

これは、21週間前にウクライナのドキュメントに送られたメリトポリタンの活動家を含むページです。

2022年：

<https://www.ukrinform.ua/rubric-regions/3436000-u-poloni-vid-melitopolskoi-aktivistki-vimagali->

pidpisati-dva-dokumenti.html。

⁴⁶²イザベル・フルシュディアン、アナベル・ティムシット、ティモシー・ベラ、'2人の市長を誘拐したロシアの報告

信号

ウクライナ侵攻の不吉な新段階'、ワシントンポスト、2022年3月13日、[https://www.](https://www.Washingtonpost.com/world/2022/03/13/ukraine-mayor-abduction-kidnapping-dniprorudne-yevhen-matveev/)

Washingtonpost.com/world/2022/03/13/ukraine-mayor-abduction-kidnapping-dniprorudne-yevhen-matveev/

⁴⁶³ブラッドドレス、「ウクライナ当局は、ロシア軍が別の市長を誘拐したと述べている」、ヒル、17 2022年3月、

で：

<https://thehill.com/policy/international/598700-ukrainian-officials-say-russian-forces-have-abducted>

-第3-

市長/。

⁴⁶⁴ロシアのスカドフスカヤ州と別の集落。賃貸することを選択した場合、ウクライナ語

Правда、21日2022年、<https://www.pravda.com.ua/news/2022/03/16/7331848/>。

⁴⁶⁵ウクライナ：民間人の誘拐と拷問に関する懸念、op。引用。

⁴⁶⁶RuslanRehimov、「ウクライナはロシアがウクライナ北部の都市の市長を誘拐したと言う」、AA、3月26日 2022年：

<https://www.aa.com.tr/en/russia-ukraine-war/ukraine-says-russia-kidnapped-mayor-of-northern-ukrainia>

n-city-

/2546772。

⁴⁶⁷ShonaMurray、「40万人以上のウクライナ人がロシアに強制的に追放された」とウクライナは主張している ombudswoman'、

Euronews、2022年3月20日、[https://www.euronews.com/my-europe/2022/03/30/more-than-400-000-](https://www.euronews.com/my-europe/2022/03/30/more-than-400-000-ukrainians-forced-to-flee-russia-claim-ukrainian-ombuds-woman)

ウクライナ人-ロシアに強制的に追放された-主張-ウクライナ-s-オンブズウーマン。

60

ロシア軍を支援するため。⁴⁶⁸これらの逮捕は、以下に準拠して行われたとされている。

関連する法律によって予見される規則（法律第2111号によって修正される）。があった

ただし、国家安全保障局に拘留されている約3人の情報

家族は彼らの親戚の運命についての情報なしで残されました。表示中のビデオ

逮捕された人の何人かは、ソーシャルメディアにも投稿されたとされています。そのような事件

自由への権利の侵害を伴う可能性があるため、適切に調査する必要があります。

安全。

自由が制限されている人を収容する施設の状況

（刑務所、精神病院など）も懸念の理由を示しています。より多い

10の刑務所（Dykaniv矯正コロニー№12、Pokrov矯正コロニー

№17、Kholodnohirskaya矯正コロニー№18、Oleksiyivskaya矯正コロニー№25、

ハリコフ矯正コロニー№43、ハリコフ矯正センター№140、ハリコフ差し戻し
刑務所、ムィコラーイウ差し戻し刑務所5スニグ、マリウポリ裁判前拘置所、アゾフ
矯正コロニー№107、マリウポリ矯正センター№138)の影響を受けています
死傷者は報告されていませんが、砲撃。ミッションは、
緊急事態では、州は、
彼らの管理下にある機関は、可能な限り、彼らの安全とアクセスを確保しなければなりません
食べ物、水、薬に。ウクライナ人がメディアで報道されている
当局は、戦闘経験のある囚人を刑務所から釈放する計画を立てている。
ロシア軍と戦うために」そして「最も暑い場所で彼らの罪悪感を補償するために」。⁴⁶⁹そのような
「条件付きリリース」は、IHRLとほとんど互換性がないように思われます。

4.公正な裁判を受ける権利

公正な裁判を受ける権利は、ICCPRの第14条とECHRの第6条に定められています。
ウクライナは、法律第No. 2111-

IX。しかし、公正な裁判の基本的な保証は、取り壊せないものと見なされます。⁴⁷⁰この状況では
さらに、武力紛争の場合、国は公正な裁判を受ける権利の要素を非難することはできません。
これはIHLの下で明示的に保証されています。⁴⁷¹したがって、州は行動するために非難を使用することはでき
ません

「人道法に違反して/.../、例えば人質をとることによって、集団を押し付けることによって
自由の恣意的な剥奪による、または基本的なもののからの逸脱による罰
無罪の推定を含む公正な裁判の原則」。⁴⁷²

公正な裁判を受ける権利は、OSCE参加国によって繰り返し確認されています。⁴⁷³

ミッションは、司法制度の運用を示す情報を受け取っていません
深刻な混乱を招いたり、公正な裁判への保証が尊重されなかったりする
ウクライナの支配下にある領土。司法施設は免れていませんが
紛争に起因する破壊、検察官、裁判所、その他の法律
職業は過半数で活動を停止しており、司法手続きは
国内法（法律第2111-IX号により改正）に従って行われる。The

⁴⁶⁸OHCHR、HRMMUアップデート、op. 引用、パラ40。

⁴⁶⁹LamiatSabin、'戦闘経験のあるウクライナの囚人は、刑務所から釈放されます。
身を守ります

ロシア、インデペンデント2022年2月28日、[https://www.independent.co.uk/news/world/europe/](https://www.independent.co.uk/news/world/europe/ukraine-army-)
ウクライナ-軍-

ロシア-囚人-刑務所-b2024985.html; また：David Averre、Daily Mail、Zelenskyがウクライナ語を明らかに
と囚人

戦闘経験は、ロシアの侵略から国を守るのを助けるためにリリースされます、毎日
メール、2月28日

2022年、

[https://www.dailymail.co.uk/news/article-10559879/Zelensky-reveals-prisoners-combat-experience-](https://www.dailymail.co.uk/news/article-10559879/Zelensky-reveals-prisoners-combat-experience-release-help-defend-Ukraine.html)
リリース済み-help-defend-Ukraine.html。

⁴⁷⁰国連文書。CCPR / C / 46 / D / 263/1987、ミゲルゴンザレスデルリオv。ペルー、コミュニケーション番号 263 / 1987、2

1992年11月、5.1項。

⁴⁷¹国連文書。CCPR / C / 21 / Rev.1 / Add.11、一般的コメント番号 29.非常事態（第4条）、31 2001年8月、

16の場合。

⁴⁷²国連文書。CCPR / C / 21 / Rev.1 / Add.11、op。引用、パラ11。

⁴⁷³決定番号 刑事司法制度における人権と法の支配の支持に関する12/05

（リュブリャナ 2005）；または：決定番号 OSCE地域における法の支配のさらなる強化に関する7/08（ヘルシンキ 2008）。

61

ミッションは、2022年4月1日にウクライナのVerkhovna Radaが下した決定に注目します。

2019⁴⁷⁴で廃止された軍事検察官の事務所を復元し、ヨーロッパ人が
検察局の運営に関する基準は、民間および軍の両方に適用されます
検察官。⁴⁷⁵

ロシアの効果的な支配下にある地域では、状況はより複雑であり、
司法当局の一部が削除され、親ロシア人に置き換えられました。
ロシアの法的秩序、またはいわゆるドネツクとルハンシクの法的秩序
共和国」は、IHLの規則に違反して、すでに導入されているか、導入されています。
IHRL。効果的な管理下にある地域で逮捕された人の裁判の報告もあります
ロシアの、特にクリミア半島で、通常はロシアの裁判所の前で、十分なものなしで行われている
そのような人に提供される公正な裁判の保証。⁴⁷⁶

2022年3月30日までに、ウクライナ検察庁は3,568人の犯罪者を開設しました。
国際法に基づく犯罪に関連する事件および故意の殺害に関連する4,649件の事件。の
これら、3,175は戦争犯罪に関係し、41は侵略行為、8は戦争宣伝、62は
その他の犯罪。戦争犯罪の告発はすべて反対されたと報告されています
ロシア軍のメンバー。⁴⁷⁷それはウクライナが
持っている主張されているすべての人を捜索し、裁判所に持ち込む義務を順守する
国籍に関係なく、戦争犯罪を犯した、または犯したことを命じた。⁴⁷⁸
自国民が犯したとされる戦争犯罪の調査に失敗すると、
この義務の違反を構成します。法律と同じ懸念がロシアにも当てはまります
その管理下にある地域の執行機関
疑惑の戦争にのみ焦点を当てているようにも見える
紛争の相手方が犯した犯罪。

5.言論の自由の権利

ICCPRの第19条および第10条に定められている言論の自由の権利
ECHR。ウクライナはこれらの2つの規定から逸脱しました。OSCE参加国
言論の自由と特別な権利の重要性を繰り返し認識している
メディアの役割（ヘルシンキ1975、イスタンブール1999、アスタナ2010）。意見の自由と
表現には、意見を保持し、情報やアイデアを受け取り、伝える権利が含まれます
干渉なし。

武力紛争の文脈では、ジャーナリストの安全に特に重点を置く必要があります。
ECtHRの判例法の下では、州は
仕事に干渉しない義務と義務を含むジャーナリスト
違法行為を効果的に調査し、保護するための措置を講じる
非国家主体による暴力を含む、または
サードパーティ。⁴⁷⁹

OSCE参加国は、「[...]/すべての実行可能な措置を採用する」ことを約束しました。
特に危険なプロの任務に従事するジャーナリストを保護するため

IUrinaFisogor、Verkhovna Radaは、弁護士の権利、LB.ua、1つの領収書2022との取引を確認します。
で：
https://lb.ua/pravo/2022/04/01/511916_verhovna_rada_vidnovila_diyalnist.html。

⁴⁷⁵ヴェネツィア委員会、調査N°494/2008、独立性に関する欧州規格に関する報告
の
司法制度：パートII-検察局、CDL（2010）112、2011年1月3日。

別の「クリミアタタール人活動家の別のグループがロシアで長期の刑期を手渡した」、ラジオ無料
ヨーロッパ/ラジオリバティ、2022年3月18日、場所：
<https://www.rferl.org/a/crimean-tatars-jailed-russia/31760056.html>

ウクライナ検察庁は、ロシア軍に対して3,457件の刑事訴訟を起こしました。
デイリーニュース、
2022年3月31日：
<https://www.txtreport.com/news/2022-03-31-the-ukrainian-prosecutor-s-office-has-opened-3-457-criminal-cases-against-the-russian-military.rJg4UjWmmq.html>。

⁴⁷⁸Article49GCI、Article 50 GCII、Article 50 GCIII、Article 129 GCIV、Article145API。

⁴⁷⁹ECtHR、Dinkv。トルコ、アプリケーション番号 2668 / 07、6102 / 08、30079 / 08、7072 / 09、7124 / 09、
判断、14
2010年9月; オズギュル・ギユンデムv。トルコ、アプリケーション番号 23144/93、判決、2000年3月16日、ゴン
ガゼ
v。
ウクライナ、アプリケーション番号 34056/02、判決、2006年2月8日。

2018年、ジャーナリストの安全に関する決定⁴⁸¹が採択されました。それはすべての暴力行為を非難します
ジャーナリストに対する「殺害、拷問、強制失踪、恣意的逮捕など」
恣意的拘禁および恣意的追放、脅迫、嫌がらせ、およびあらゆる形態の脅迫、
物理的、法的、政治的、技術的または経済的など、彼らの仕事を抑制するために使用され、および/または
紛争の状況を含め、事務所を不当に強制的に閉鎖する」（第3項）
恣意的に逮捕されたすべてのジャーナリストの即時かつ無条件の釈放または
拘留された、人質にされた、または犠牲になった人
強制失踪」（第5項）。

世界レベルでユネスコはジャーナリストの安全を促進し、不処罰と闘っています
OHCHRもこの問題に焦点を当てている間、攻撃のために。欧州評議会
ジャーナリストの安全に関するプラットフォームを確立しました。このプラットフォームは、
その能力の下でジャーナリスト、ウクライナに強い焦点を当てています。非のレベルで
政府機関には、委員会のようないくつかの主要な組織があります
ジャーナリストの保護、定期的に報告する欧州ジャーナリスト連盟またはIFEX
ジャーナリストの権利の侵害と安全性の問題について。

2022年2月27日、報道の自由に関するOSCE代表、テレサ・リベイロ、
ロシアの文脈におけるジャーナリストの安全性についての彼女の深刻な懸念を表明した
ウクライナに対する軍事行動。彼女はまた、民間人として考慮し、保護する必要性を強調しました
武力紛争の分野のメディア専門家。彼女は「ジャーナリストに対する暴力
紛争を含むあらゆる状況下で
状況は、受け入れられません」。⁴⁸²

ミッションは、保護の基準が
ジャーナリストは現在の紛争で繰り返し違反されています。2022年2月24日以降、5
ジャーナリストはロシア軍によって殺害され、さらに多くの負傷者が出た。の詳細が
個々のインシデントが常に利用できるとは限りません。レポートによると、少なくとも一部のインシデントに
は
ジャーナリストの意図的なターゲティングが含まれていました。ジャーナリストが持っている多くの場合もあり
ます
ロシア軍によって拘束または拉致された。それらのいくつかは後でリリースされました、
他の所在は不確かなままです。ジャーナリスト保護委員会によると、
定期的に状況を監視している、何人かのジャーナリストがロシア人に撃たれました
彼らは明らかに報道機関としてマークされていたが、軍隊と彼らの所持品を奪った。数回で
事件では、報道機関として明確にマークされたジャーナリストの車が撃たれた。⁴⁸³

報告された事件のうちの4つは、ジャーナリストの死に関係しています。⁴⁸⁴2022年3月1日、
ウクライナのジャーナリストYevhenii Sakunは、キーウのテレビ塔がロシアの砲撃に見舞われたときに亡くなり
ました。

2022年3月13日、米国のドキュメンタリー映画製作者であるブレントルノーが致命的に撃たれました。
イルピンと彼に同行した米コロンビアのジャーナリスト、フアン・アレンドはひどく
怪我した。2022年3月14日、ウクライナのジャーナリストOleksandra KuvshynovaとFoxNews
カメラマンのピエール・ザクルツウェスキが殺害された。フォックスニュース特派員ベンジャミンホールは
彼らが走行していた車両がロシア軍によって発砲された後、負傷した。23日

2022年3月、独立した調査のために働いているロシアのジャーナリスト、オクサナ・バウリーナウェブサイトTheInsiderは、ロシアの砲撃によってキーウで殺害されました。

その他の報告された事件には、ジャーナリストへの攻撃または誘拐が含まれます。2022年2月26日デンマークのジャーナリストStefan Weichertと写真家EkstraのEmil Filtenborg Mikkelsen ウクライナのスームィ州にある町、オクティルカの近くで勤務中にブレードが負傷した。

⁴⁸⁰モスクワ、1991年、34項。

⁴⁸¹MC.DEC/3/18、決定番号 3/18ジャーナリストの安全、2018年12月7日。

⁴⁸²OSCE、紛争の状況ではジャーナリストの安全を確保する必要がある、とOSCE Media Freedomは述べています
代表、

2022年2月27日。

⁴⁸³参照

<https://cpj.org/2022/03/reporters-shot-shelled-robbed-while-covering-russian-invasion-of-ukraine/>
と
いくつかの事件の詳細。

⁴⁸⁴ロシア-ウクライナ戦争、ジャーナリスト保護委員会、2022年3月31日、次の場所で。
<https://cpj.org/invasion-of-ukraine/>。

63

伝えられるところによると、両方とも入院している。2022年3月5日、ラジオフランスのフィクサーは彼が拷問され服従したロシア軍によって誘拐され、9日間拘束された

⁴⁸⁵2022年3月8日、ウクライナのジャーナリストViktoria Roshchinaが働いていた
独立系テレビチャンネルのフロマドスケはベルジャンシクで姿を消した。彼女は10日間金曜日でした後に、ロシアの兵士が「彼女の命を救った」と言ってビデオを録画することを余儀なくされた後そして彼女は「よく扱われた」と。2022年3月12日、ジャーナリストのOleg Baturinは、すでにセクションVB2で言及されており、ジャーナリストで活動家のNovaのSerhiy Tsyhipa カホフカは両方とも誘拐され、後者は行方不明のままです。いくつかのケースもありますロシアの武装した男たちがメリトポリのような彼らの支配下にある地域でジャーナリストを拘束した彼らの装備を探し、占領軍と協力するよう圧力をかけます。⁴⁸⁶

これらのインシデントはすべて適切に調査する必要があります。一部の人は関与することが判明するかもしれませんが

敵対行為の舞台にいるジャーナリストの意図的でない殺害または負傷、その他のように思われる意図的な標的または恣意的拘禁の事例となること。そのようなインスタンスは構成します言論の自由の権利（およびサブセクションでカバーされる権利）の侵害
1-4) そして、おそらく、人道に対する罪および/または戦争犯罪。

メディアの自由は、個々のジャーナリストへの攻撃だけでなく、圧力にさらされてきましただけでなく、メディアインフラストラクチャの人々によって。ウクライナの8つの地域に少なくとも10のテレ

ビ塔

(Melitopol、Kyiv-Vynarivka、Kharkiv、Rivne、Vinnytsa、Korosten、Lysychanks、Bilopillya)

破壊または損傷している。その結果、ウクライナの放送は完全にまたはこれらの地域から部分的に姿を消した。⁴⁸⁷これらのテレビ塔のそれぞれが合法的な軍事目標は適切に確立されなければなりません。

クリミア半島やヘルソンなど、ロシアの効果的な管理下にある地域では、地元メディア親ロシアのプロパガンダを放送するために操作または使用されることを妨げられました。特定メディアアウトレット、例えば、Pushkinskaya、Dumskaya、048、Media-Inform、Reporter、Third Digital、VolnorenzとAll.newsは、彼らの反抗を放棄するように彼らに呼びかける匿名の手紙を受け取りましたロシアの活動。⁴⁸⁸BBCニュース、ラジオ無料などの特定の外国チャンネルへのアクセスヨーロッパ/ラジオリバティまたはボイスオブアメリカは、ロシアの決定によってブロックされましたRoskomnadzorであり、ロシアの効果的な管理下にある地域からはアクセスできません。⁴⁸⁹メディアに加えて、ソーシャルネットワークにも大きな制限が課せられていますロシアの効果的な管理下にある領土。2022年3月初旬、ロシアはへのアクセスをブロックしましたFacebookとTwitter。これらすべてのステップの結果として、効果的な地域の住民ロシアの支配は現在、ウクライナの他の地域とは異なる情報空間に住んでいます市民。ミッションは、言論の自由に対する権利には、言論の自由に対する権利が含まれることを想起します。情報を受け取り、この権利は絶対的なものではありませんが、すべての制限はICCPRの第19条（3）およびECHRの第10条（2）に定められた条件であり、結果として生じてはならない容認できない検閲で。

2022年3月初旬に刑法（CC）と刑法への新しい犯罪の導入

ロシア連邦の行政違反コード（CoAO）、

クリミア自治共和国とセヴァストポリ市および事実上、同様に

ウクライナ/ウクライナ：'ラジオフランス'ロシア軍に誘拐され拷問されたフィクサー'、IFEX、2022年3月21日、
で：

<https://ifex.org/ukraine-radio-france-fixer-kidnapped-and-tortured-by-russian-troops/>。

⁴⁸⁶「武装した男たちに拘束された4人のウクライナ人ジャーナリスト」、ジャーナリストプラットフォームの安全性、3月23日

2022年：

<https://fom.coe.int/alerte/detail/107637315?langue=en-GB>。

ロシアは、ウクライナでジャーナリストとメディアに対して148件の犯罪を犯しました。

大規模

侵略」、大量情報研究所、2022年3月24日、次の場所で。

<https://imi.org.ua/en/news/russia-committed-148->

ジャーナリストとウクライナのメディアに対する犯罪は、その大規模な44608以降の1か月間です。

⁴⁸⁸「ロシア人は拉致、人質取りを使用して、占領地域のウクライナ人ジャーナリストを脅迫している」、なしの記者

Borders、2022年3月25日、at：

<https://rsf.org/en/news/russians-use-abduction-hostage-taking-threaten-ukrainian->

ジャーナリストが占領しているゾーン。

⁴⁸⁹ 「ロシアはいくつかの西側メディアのウェブサイトへのアクセスを制限している」、アルジャジーラ、3月4日

2022年：

<https://www.aljazeera.com/news/2022/3/4/russia-restricts-access-to-several-western-media-websites>。

64

いわゆるドネツクとルハンシクの「人民共和国」の言葉で表現されたコードも真剣にそれらの地域に住む個人の表現の自由に対する権利を妨げた。新しい犯罪には、「軍隊の使用の信用を傷つけることを目的とした公の行動が含まれます。ロシア連邦とその市民の利益を保護するためのロシア連邦、国際の平和と安全を維持する」（CCの第280.3条およびCoAOの第20.3.3条）そして「ロシア連邦、ロシア市民に対する制限措置を求める連邦またはロシアの法人」（CCの第284.2条およびCoAOの第20.3.4条）。ウクライナ当局によって提供された情報によると、少なくとも4人の住民占領下のクリミア半島は、CoAOの第20.3.3条に違反したとしてすでに罰金を科されています。⁴⁹⁰このような起訴は、萎縮効果をもたらすリスクがあります。公開討論。

ミッションはまた、ウクライナ政府がすべてを統合するという決定に留意しています主に情報と分析を1つのチャンネルに放送する全国テレビチャンネル（ユナイテッドニュース）誤った情報の拡散をよりよく防止し、「ウクライナの戒厳令期間中の戦争」。⁴⁹¹この決定は適切かもしれないが紛争の極端な状況では、戒厳令がすぐに再評価されるべきですメディアの多元論は民主主義国家の基盤の1つであるため、中断されます。

6. その他の公民権および政治的権利

ウクライナの領土での紛争は、他の多くの市民の楽しみに影響を与えました政治的権利。効果が特に強いものの中には、とりわけ集会の自由の権利、結社の自由の権利、運動、私生活や家族生活への権利、または財産権。これらの権利はすべてウクライナは、ICCPRとECHRの下で、非難され、すべてが実際に非難されてきました。

集会の自由の権利は、ICCPRの第21条、ECHRおよびOSCEのコミットメント（パリ1990、コペンハーゲン1990）。この権利は「個人が集合的に自分自身を表現し、社会の形成に参加する」。⁴⁹²これは、「論争の的となるアイデアを追求するために使用されるものを含む平和的な集会に適用されます。目標」。⁴⁹³アセンブリは分散する場合がありますが、関連する場合は例外的な状況でのみ、十分な理由が必要です。⁴⁹⁴法執行機関は銃器の使用を避ける必要があります。催涙ガスや放水砲など、広範囲に影響を与える致死性の低い武器は、無差別な効果。そのような兵器が使用される場合、すべての合理的な努力がなされるべきであるリスクを制限する/.../。このような兵器は、次の最後の手段としてのみ使用する必要があります。

口頭での警告、および議会の参加者が解散するための十分な機会が与えられている」。⁴⁹⁵

ミッションは、該当する基準かどうかについて疑問を投げかけるレポートとビデオを受け取りました特定の新たに開催されたいくつかのデモンストレーションの過程でロシアから尊敬されてきた占領された町。2022年3月6日、1人の男性が射殺され、7人が負傷したとされています。

ノーバカホフカで開催された平和的なデモ中。⁴⁹⁶2022年3月21日、抗議中ヘルソンで行われた占領に反対して、ロシアの軍隊は催涙ガス、手榴弾を気絶させたとされている

ウクライナに対するロシア連邦の全面的な攻撃から混乱しているイムクリミア半島、
の使命

2022年3月16日、クリミア自治共和国のウクライナ大統領。

⁴⁹¹Chris Dziadul、「ウクライナがすべての全国テレビチャンネルを統合する」、BroadBandTVNews、2021年3月21日

で：

<https://www.broadbandtvnews.com/2022/03/21/ukraine-to-combine-all-national-tv-channels/>。

⁴⁹²国連文書。CCPR / C / GC / 37、一般的コメントNo. 平和的集会の権利に関する37（2020）（記事21）、17

2020年9月、パラ1。

⁴⁹³国連文書。CCPR / C / GC / 37、op. 引用、パラ7。

⁴⁹⁴国連文書。CCPR / C / GC / 37、op. 引用、パラ85; ECtHR、イブラヒモフおよびその他v. アゼルバイジャン、

アプリケーション番号

69234 / 11、69252/11および69335/11、判決、2016年2月11日、パラ80。

⁴⁹⁵国連文書。CCPR / C / GC / 37、op. 引用、パラ87-88。

⁴⁹⁶「占領下のノーバカホフカで数千人がロシア人に抗議した」、24UkraineNews、3月6日

2022年：

https://en.24tv.ua/thousands-protested-against-russians-in-the-occupied-nova-kakhovka_n1893707。

65

そして、抗議に対する実弾さえも、いくつかの怪我を引き起こしました。⁴⁹⁷2022年3月26日、ロシアの兵士は、スラヴィティチで行われた同様の抗議を解散させようとし、空中で射撃し、群衆にスタングレナードを投げ、再びいくつかの怪我を負わせた。⁴⁹⁸ミッションは回想する平和的な集会を分散させ、さらに、それを行うために不釣り合いな力を使用すること、集会の自由の権利の侵害に相当します。

結社の自由の権利は、ICCPRの第22条、

ECHR、ICESCRおよびOSCEのコミットメントの第8条（パリ1990、コペンハーゲン1990）。それ

協会に参加または協会を脱退し、この中で集団行動をとる権利を含みます

協会。協会とは、「組織化された、独立した、非営利団体であり、

共通の関心、活動、または目的を持つ人の自発的なグループ化」。⁴⁹⁹これには以下が含まれます。

政党、労働組合、宗教団体、および非政府組織。

アソシエーションを解消することは可能ですが、そのような解消は常に最後の尺度でなければなりません。協会が「暴力を使用したり、市民を脅迫したりする場合に頼られる可能性があります。平和と国の民主的な憲法秩序」。⁵⁰⁰

いわゆる外国エージェントに対する法律が、

新たにロシアの効果的な支配下にあり、深刻な懸念を引き起こしている。立法は

政治活動に従事し、受け取る市民社会の特定の関係者に対して向けられた

外国からの資金提供。そのような俳優は登録し、すべてに特別なラベル「外国エージェント」を使用する必要があります。

それらの出力。また、さまざまな管理上の障害に直面しています。もともと2012年に導入され、

法律は徐々に拡大され、NGOだけでなくメディアやメディアも対象になりました。

個人。市民に対する萎縮効果について国際的に広く批判されている法律

社会、⁵⁰¹はすでにクリミアで適用されています。⁵⁰²

ウクライナでは、紛争の勃発以来、野党を含む11の政党

Verkhovna Radaに代表されるPlatform for Lifeは停止されました。⁵⁰³これらの当事者

親ロシアの同情、戦争プロパガンダで非難されており、

憲法上の秩序、国家主権または協力主義への脅威。法務省

現在、これらの当事者の解散につながる措置を講じています。いくつかの疑問がありました

これらのステップの合法性について提起されました。⁵⁰⁴そのような措置は、実際に、

司法機関であり、上記の条件が満たされた場合にのみ発生する可能性があります。The

ウクライナと親ロシア人によって発表された意図に関しても同じことが当てはまります

それぞれ、ウクライナ人の活動を禁止するための占領下のクリミアの管理

K人事部で抗議者の馬車を占領した：幹部スワビル、ポリテカ、12月21日

2022年、

で：

<https://politeka.net/uk/incidents/371701-okkupanty-otkryli-ogon-po-protestuyushchim-v-hersone-kadry-bespredela>。

ロシアのベラルーシ政府は、Slovoidiloを含むスラブ人との契約を締結する計画を発表しました（26）。

2022年：

<https://www.slovoidilo.ua/2022/03/26/novyna/bezpeka/rosijski-vijskovi-namahalysya-rozihnaty-mitynh-slavutychi-ye-poraneni>。

⁴⁹⁹ヴェネツィア委員会、研究番号 706/2012、結社の自由に関する共同ガイドライン、

CDL-AD（2014）046、

2014年12月14日、パラ7。

⁵⁰⁰議会議会、決議1308（2002）、政党の制限

欧州評議会

加盟国、2002年11月18日、パラ11。

⁵⁰¹ヴェネツィア委員会、意見番号を参照してください。1014/2020、国際との互換性に関する意見

人間

10から23の間にロシア下院によって導入された一連の法案の権利基準

2020年11月

「外国エージェント」に影響を与える法律を改正するために、CDL-AD（2021）027、2021年7月6日。

⁵⁰²МинюструссииобъявилКрым.Reali«иностраннымагентом», EuromaidanPress、2017年5月5日：
<https://euromaidanpress.com/2021/07/20/agents-undesirable-extremists-how-modern-russia-combats-disse-nt/>。

⁵⁰³PjotrSauer、「ウクライナはロシアとのつながりを持つ11の政党を停止」、The Guardian、30
2022年3月：
<https://www.theguardian.com/world/2022/mar/20/ukraine-suspends-11-political-parties-with-links-to-ru-ssia>。

⁵⁰⁴ヴォロディームイル・イシュチェンコ、「なぜウクライナは11の「親ロシア」政党を停止したのか?」、ア
ルジャジーラ、3月21日
2022年：
<https://www.aljazeera.com/opinions/2022/3/21/why-did-ukraine-suspend-11-pro-russia-parties>。

66

モスクワ総主教庁の正教会⁵⁰⁵とウクライナ正教会-キーウ
総主教⁵⁰⁶そして彼らの財産を没収する。

ICCPRの第12条および第2条で認められている移動の自由の権利
ECHRの議定書第4号には、自由に移動し、1つの内に居住する権利が含まれています
国、および彼女/彼自身の国を離れる権利。紛争の発生
ウクライナの領土は、この権利の享受に深刻な影響を及ぼしています。
国。それは実質的にロシアの効果的な支配下にある地域を他の地域から切り離しました
ウクライナの領土の。ウクライナ当局から提供された情報によると、
2022年2月24日、クリミア半島とその他のウクライナ領土との間のすべてのチェックポイント
破壊され、国境を越えて移動することが不可能になりました。⁵⁰⁷報告された
ロシアの効果的な管理下にある地域へのウクライナの民間人の大規模な移動
または、ロシアの領土でさえ、移動の自由の権利の享受に影響を及ぼします
人道に対する罪を構成する可能性があります（RSの第7条（1）（d））。

ICCPRの第23条および第8条によって付与された私生活および家族生活の権利
ECHRもまた、紛争の影響を深刻に受けています。一部の家族は彼らのいくつかを失いました
活発な敵対行為によるメンバー。女性と子供たちと、さらに多くの人々が分離されました
ウクライナの他の地域に移動したり、国境を越えて他の国や男性に移動したりする
ウクライナ軍で戦うために遅れをとっている。⁵⁰⁸男性の強制募集中18-
60年はそれ自体が私生活や家族生活の権利を侵害するものではなく、深刻な問題を引き起こします
家族の混乱は多くの世帯に住んでいます。ウクライナには、
家族への紛争の影響を最小限に抑えますが、当然のことながら、この内容
国が直面している深刻な緊急事態に照らして、義務を解釈する必要があります。任意
拘留、拉致および強制失踪、以下の地域で報告

ロシアの効果的な支配は、それ自体が私生活や家族生活の権利を侵害する可能性があります。

財産権はICCPRには存在しませんが、追加の第1条に存在します

ECHRへの議定書。財産権もOSCEのコミットメントの一部です（Bonn 1990、

コペンハーゲン1990、パリ1990）。財産権はすべての人に財産を所有する権利を与えます

そして彼または彼女の所有物を使用します。公共の必要がない限り、誰も財産を奪われてはならない。

要求し、公正な補償が提供されない限り。行為に起因する財産の破壊

IHLの下で合法である戦争のこの規則と互換性があります。財産の破壊

IHLの下で合法ではない戦争行為に起因するものは、財産権を侵害し、

戦争犯罪に相当する可能性があります（RSの第8条（2）（b）（ii）（iv）（v））。

現在の紛争は、民間人（公的および私的）の大規模な破壊をもたらしました

IHLの下で正当化できない破壊を含む財産。⁵⁰⁹報告もあります

金銭的補償なしでの略奪と民間財産の没収。10日

March 2022, Russian soldiers allegedly pillaged a convoy of humanitarian aid directed to the

⁵⁰⁵ ‘Ukraine might Ban the Russian Orthodox Church and Take All of its Property and Money’,
Novinite, 1 April

2022, at: <https://www.novinite.com/articles/214547/Ukraine+might+Ban+the+Russian+Orthodox+Church+and+Take+All+of+its+Property+and+Money>.

⁵⁰⁶ Михаил Метцель, Аксенов поручил разработать проект о национализации имущества украинских олигархов в РФ, ТАСС, 30 марта 2022, at: https://tass.ru/politika/14229709?utm_source=jpost.com&utm_medium=referral&utm_campaign=jpost.com&utm_referrer=jpost.com.

⁵⁰⁷ Brief on the Situation in the Occupied Crimea Within the Large-Scale Russian Aggression,
Mission of the
President of Ukraine in the Autonomous Republic of Crimea, sine data, p. 3.

⁵⁰⁸ Natalia Liubchenkova, 'ウクライナ戦争：写真は引き裂かれた家族の悲痛な別れを明らかにする
離れて

ロシアの侵略」、EuroNews、2022年3月8日、

<https://www.euronews.com/2022/03/08/ukraine-war-pictures->

悲痛な家族の別れを明らかにする-ロシアによって引き裂かれた-s-; アルフレッドハッケンズバーガー、
'ウクライナ語

男性がロシアの侵略と戦うために後ろにとどまるので、家族は引き裂かれています」、ビジネス
インサイダー、2022年3月3日、

で

[https://www.businessinsider.com/ukrainian-families-being-ripped-apart-as-men-stay-fight-russia-2022-](https://www.businessinsider.com/ukrainian-families-being-ripped-apart-as-men-stay-fight-russia-2022-3.3)
3.3。

ウクライナ：致命的な攻撃による殺害、民間人の負傷、家屋の破壊、HRW、2022年3月18日、
で

<https://www.hrw.org/news/2022/03/18/ukraine-deadly-attacks-kill-injure-civilians-destroy-homes>。

67

マリウポリの包囲された町。⁵¹⁰2022年3月21日、ロシアはガソリンスタンドを略奪しました。

Kherson for food.⁵¹¹このような行為は、IHLとIHRLの両方に違反します。

さらに、クリミアとドネツクとルハンシクの一部の継続的な占領のために地域、および特定の他の地域の新しい占領、多くのウクライナの民間人はこれらに位置する彼らの財産へのアクセスと管理、使用と楽しみを奪われたエリア。財産を確保するための代替手段によって補償されない場合のそのような剥奪権利は、権利の侵害を構成します
プロパティ。⁵¹²

2022年3月3日、法律番号。2116のオブジェクトの強制的な押収の基本原則についてロシア連邦とウクライナの居住者の所有権⁵¹³は、ウクライナ。法律は、財産権のどの対象が可能であるかを政府に提案する権利を与えています没収された。ウクライナの安全保障理事会の承認を受けて、そのような所有権オブジェクトは、補償なしでウクライナに渡されます。財産権の対象には以下が含まれます動産および動産、資金、銀行預金、有価証券、会社の権利、およびその他ウクライナにあり、直接またはロシアが関連会社を通じて所有している不動産。2022年4月1日、法律の適用は、国籍に関係なく、自然人および法人に拡大されました。ロシアと密接な関係があります。⁵¹⁴ ミッションは、法律。しかし、2022年4月1日に改正された法律のあいまいな表現は、財産権の保証との互換性に関する懸念。さらに憂慮すべき占領下のクリミアでも財産の没収が行われるべきであるという報告です。ウクライナの選挙で選ばれた政府に忠誠を誓う人々に関して。⁵¹⁵

C.紛争が経済的、社会的、文化的に与える影響 権利

拘留された民間人の殺害、ジャーナリストの標的殺害、市長の誘拐または強制多数の民間人の失踪は、最も明白で最も直接的な違反です。IHRLは現在の紛争中にコミットしました。それでも、紛争はの楽しみに影響を与えています人権は直接的で目立たないものですが、それほど深刻ではありません。引き起こすことによって高レベルの破壊と何百万人もの人々の家を離れることを余儀なくされ、紛争は社会の正常な機能に不可欠なサービスの提供を妨害し、教育、医療、社会保障制度など。それはまた食糧を脅かしそして水の安全と環境の状態に長続きする痕跡を残しました。害の発生紛争のこれらすべての影響から、実際のファインディング。そのため、見落としてはなりません。⁵¹⁶

市民的および政治的権利と同様に、経済的、社会的および文化的（ESC）の権利は両方を生じさせます負と正の結合。ただし、前者とは異なり、プログレッシブの対象となります利用可能なリソースに応じて、実現。この実現のスピードと量国の具体的な状況に照らして、利用可能な資源の割合を決定する必要があります。

⁵¹⁰John Psaropoulos、「ウクライナでの戦争の第3週に人件費が増加」、アルジャジーラ、3月16日2022年：
<https://www.aljazeera.com/news/2022/3/16/human-costs-mount-in-the-third-week-of-war-in-ukraine>。

⁵¹¹David Averre、「ロシア軍は、「道徳的問題」の中でガソリンスタンドを略奪するために戦車を使用してい

ます。

「絶望的な」将軍は試してみます

停滞した前進を再開し、ウクライナの大使館は彼らの供給ラインで大混乱を引き起こします」、デイリーメール、

2022年3月21日、

で：

<https://www.dailymail.co.uk/news/article-10636193/Russian-troops-use-tank-loot-gas-station-amid-morale-issues.html>。

⁵¹²ECtHR、Chiragovおよびその他v。アルメニア、アプリケーション番号 13216/05、ジャッジメント（GC）、2015年6月16日、
パラグラフ192-201。

ウクライナの目的の目的の推定の存在の種のタイプ2116-IX
値

ロシア居住者連盟、2022年12月3日。

⁵¹⁴詳細については、こちらをご覧ください。

<https://itd.rada.gov.ua/billInfo/Bills/Card/39237?fbclid=IwAR2DsqrRwS2gR9t8ldE4cTri1n1-GL64xOoeh0AxcJzKUMKSpJte8EURE>。

⁵¹⁵MikhailMetscel、Accsenovウィザード、op。引用。

⁵¹⁶GillesGiacca、オックスフォード大学の武力紛争における経済的、社会的、文化的権利を参照
プレス、2014年。

68

他人の違法な攻撃によって引き起こされた国際的な武力紛争などの緊急事態
状態、この決定に影響を与えます。それにもかかわらず、国家は、可能な範囲で、
個人、特に脆弱な人々に対する緊急事態の悪影響を減らすため
グループ。⁵¹⁷さらに、完全な実現を段階的に達成するための「措置を講じる」義務
ESCの権利を尊重し、ESCの権利を尊重し、最小限のコンテンツを保証する
コアボンドの、そして無差別の原則を遵守することは引き続き適用可能です
戦争の時でさえ。

ミッションは、ESCの権利の直接侵害のいくつかの事例を再び特定することができました
通常、ロシアの効果的な管理下にある地域で。これらの違反の一部は、
同時に、IHLの違反を構成し、戦争犯罪または人道に対する罪にさえる可能性があります
人類（人口の飢餓、医療へのアクセスの拒否など）。ミッションは
また、上記の理由により、戦争が娯楽に及ぼすより広範な影響をマッピングすることも求められました。
ESCの権利を評価し、これを実現するためにウクライナが採用した、または採用すべき措置を特定する
武力紛争という極端な状況でも楽しむことができます。繰り返しますが、焦点はにあります
紛争によって最も深刻な影響を受けたESCの権利。

1.教育を受ける権利

教育を受ける権利は、ICESCRの第13条、追加の第2条に定められています。ECHRの議定書、および特定のカテゴリーの個人については、第10条CEDAW、CRCの第28条と第29条、およびCRPDの第24条。ウクライナは非難しました追加議定書の第2条からECHRへ。すべてのレベルにアクセスすることを保証します教育もOSCEコミットメントに含まれています（ウィーン1989、コペンハーゲン1990）。

2021年、国連安全保障理事会は全会一致で決議2601を採択しました。武力紛争における教育を受ける権利の保護。⁵¹⁸決議は軍隊を非難する学校の使用とIHLに違反する学校への攻撃は、すべての州に「保護し、武力紛争を含め、教育を受ける権利を保護し、尊重し、促進する」（第3項）。の2014年、学校や大学を軍の使用から保護するための拘束力のないガイドライン武力紛争⁵¹⁹は専門家によって発行されました。

ミッションは、ウクライナの領土での紛争が非常に悪影響を及ぼしたことを嘆きます教育を受ける権利について。すでに2022年3月3日に、ユネスコは「教育施設、過去1週間に少なくとも7つの教育機関に損害を与えた」。⁵²⁰それも「学校と教育施設の全国的な閉鎖は全体に影響を及ぼした学齢期の人口-3歳から17歳までの600万人の学生、および1.5人以上高等教育機関に登録された百万人」。⁵²¹2022年3月26日までに、OHCHRは記録した3つの大学、8つの幼稚園、23の学校を含む35の教育施設への攻撃

⁵¹⁷国連文書。E / CN.12 / 1997/8、一般的なコメント番号 8（1997）：経済との関係制裁と経済的、社会的および文化的権利の尊重、1997年12月12日、パラ10。

⁵¹⁸国連文書。S / RES / 2601（2021）、子供と武力紛争、2021年10月29日。

ドキュメントドキュメントはオンラインで入手できます。

https://protectingeducation.org/wp-content/uploads/documents/document_guidelines_en.pdf。

⁵²⁰ウクライナ。国連総会決議、ユネスコ、3の採択後の声明

2022年3月、

で

<https://www.unesco.org/en/articles/ukraine-unesco-statement-following-adoption-un-general-assembly->解像度？ハブ=701。

⁵²¹ウクライナ。養子縁組後の声明、op. 引用。

69

1つの科学センター。⁵²²ウクライナの情報源から提供された数はさらに多い。⁵²³いくつかのケースはNGOによって十分に文書化されています。⁵²⁴

ミッションは、教育施設のある程度の破壊は可能であると述べています

残念ながら、活発な敵対行為の過程で発生することが予想され、比較的多数

そのような施設の砲撃と爆撃に関連する事件の

あらゆる軍事目標の近くに位置する⁵²⁵は、そのようなことを示唆しているため、懸念を引き起こします。施設が意図的に標的にされているか、または次の原則に十分な注意が払われていない可能性があります。違い。このレポートのセクションIV.F.8.dで確立されたように、いくつかのインシデントは非常にIHLの違反と戦争犯罪を構成する可能性があります（RSの第8条（2）（b）（ix））。彼らもまた決議2601の規定に違反する。

ミッションはまた、紛争が教育を受ける権利に与える影響が大きいことを指摘しています。で

戒厳令の宣言、ほとんどの教育施設のすべてのタイプで教えています

ウクライナの地域は一時的に停止されました。2022年3月中旬以来、教育は

ウクライナのほとんどの地域で少なくとも部分的に再開されています。⁵²⁶通常、リモートで実行されます。

ウクライナのどこからでも、あるいは外からでもクラスにログインできる子供たち

国。彼らはまた、オンライン教育のための特別なプラットフォームである全ウクライナ語を利用することができます

オンラインスクール、それはCovid-19危機の文脈で設置されました。⁵²⁷すでに

紛争の初期段階で、ウクライナの教育科学省は概念を採用しました

戒厳令中およびさらに

徐々に更新されているロシアの侵略に関連する再建期間。⁵²⁸

ミッションは、ウクライナが

武力紛争の困難な状況においても教育を受ける権利を享受すること。

ミッションは同時に、最初から

紛争、ロシアの効果的な管理下にある地域の学校は、場所に変えられました

プロパガンダの。このような学校は、ロシア省から教師向けのマニュアルを受け取っています。

ウクライナへのロシアの攻撃を正当化する方法についての指示を伴う教育。⁵²⁹それはまたされている

クリミアでは、地元の学校がウクライナ語または

クリミアタタール人。⁵³⁰そのような慣行は、教育を受ける権利だけでなく、

言論の自由の権利と少数民族の権利。

⁵²²OHCHR、ウクライナの人権状況に関するHRMMUの最新情報、2月24日～3月26日、3月28日
2022年

⁵²³次のWebサイトを参照してください：<http://saveschools.in.ua/en/>。

⁵²⁴InsecurityInsight、ウクライナ2022年2月24日～3月2日。教育への攻撃、危険な教育
ニュースレター、2022年3月、次の場所にあります。

<https://www.insecurityinsight.org/wp-content/uploads/2022/03/Attacks-on->

ウクライナでの教育-2022年2月24日-2022年3月; ウクライナ：クラスター爆弾が子供と2人を殺害
他の

2022年2月27日、アムネスティインターナショナルの幼稚園に避難する民間人

<https://www.amnesty.org/en/latest/news/>

2022/02 / ukraine-cluster-munitions-kill-child-and-two-other-civilians-

就学前の避難所/; 教育を攻撃から守るための世界連合、ウクライナ：

致命的な攻撃

殺し、民間人を傷つけ、家を破壊します。HRW、2022年3月18日、

<https://protectingeducation.org/news/ukraine-致命的な攻撃-殺害-負傷-民間人-破壊-家/>。

⁵²⁵学校番号への攻撃については、詳細を参照してください。108、ウクライナ：致命的な攻撃は殺し、負傷民間人、オペアンプ。引用。

YmSchoolsTrinityOrganized Distancing News、Screenform、2022年12月30日、at :
<https://www.ukrinform.ua/rubric-society/3441869-u-skolah-trinadcati-oblastej-organizovane-distancijn-e-navcanna.html>。

⁵²⁷次のWebサイトを参照してください：<https://lms.e-school.net.ua/about>。

⁵²⁸MoESは、教育と科学を支援する国際連合の創設を開始します。

ウクライナ、省

ウクライナの教育と科学、2022年3月18日、次の場所で。

<https://mon.gov.ua/eng/news/mon-iniciyuye-stvorenniya-mizhnarodnoyi-koalitsiyi-na-pidtrimku-osviti-ta-nauki-ukrayini>。

А併合クリミアの学校では、保護リースのロシア帝国-防腐剤

ウクライナ大統領、Krym.Realii、2022年3月1日、次の場所で。

<https://ru.krymr.com/a/news-propaganda-v-krymskih-shkolah/31730858.html>。

⁵³⁰AgnieszkaPikulicka-Wilczewska、クリミアタタール人に対するロシアの取り締まりはより広い前兆抑圧、

アルジャジーラ、2022年3月12日、

<https://www.aljazeera.com/news/2022/3/12/russia-ukraine-crimean-tatars-dissent-抑圧>。

70

2.健康への権利

健康に対する権利は、ICESCRの第12条およびRESCの第11条で認められており、特定のカテゴリーの人については、CEDAWの第12条、CRCの第24条、および第25条またはCRPD。ヘルスケアの問題もOSCEのコミットメントに含まれています（Vienna1989）。The健康への権利は、管理する自由を伴う

自分の健康と体と持つ権利

個人に平等な機会を提供する健康保護システムへのアクセス

達成可能な最高レベルの健康。⁵³¹

2016年、国連安全保障理事会は決議2286を採択しました。

負傷者や病人、医療関係者に対する暴力、攻撃、脅迫、

専ら医療業務に従事する人道的要員、その輸送手段および

機器、病院、その他の医療施設」（パラグラフ1）。また、パーティーを呼びかけます

武力紛争に対して「国際法に基づく義務を完全に遵守する/.../

すべての医療関係者と人道主義者の尊重と保護のみ

医療業務、その輸送手段および設備、ならびに病院およびその他の医療施設」（第2項）。まだ2016年、決議の第13項に従い、国連事務総長は、に対する暴力行為を防止するための措置に関する勧告を発表した医療従事者と施設。⁵³³ウクライナを含む約50州が医療の保護に関する政治宣言による2つの文書への支援2017年に発行された武力紛争のケア。⁵³⁴

現在の紛争により、ウクライナでは医療制度が運用され、緊張の下で、ウクライナの住民による健康への権利の享受。期間24 2022年2月から3月29日、WHOのヘルスケア攻撃監視システム（SSA）健康資源に対する74の検証済み攻撃を報告しました-そのうち60は医療施設に影響を与えました10人の影響を受けた患者、11人の影響を受けた輸送、17人の影響を受けた人員、8人の影響を受けた医療供給、および1つの影響を受けた倉庫。⁵³⁵番号はgrossomodoに対応していますOHCHRによって提供されます。⁵³⁶ミッションは、医療機関が意図的に標的にされているか、不十分なケアが運用の計画。このレポートですでに確立されているように、これらのインシデントのいくつかは、マリウポリの産科病院への攻撃などは、IHLの明らかな違反を構成します。戦争犯罪（RSの第8条（2）（b）（ix））。⁵³⁷また、決議2286の規定に違反している。

ミッションはさらに、紛争が健康に及ぼしたより大きな影響を指摘しています人と医療制度の運用について。OHCHRは、「包囲された多くの都市の民間人の一般的な死亡率」直接の戦いだけでなく、「/.../健康と/.../の混乱または不在へのストレス

⁵³¹国連文書。E / CN.4 / 2000/4、一般的なコメント番号 14：達成可能な最高水準の権利健康、11 2000年8月、パラ8。

⁵³²国連文書。S / RES / 2286（2016）、武力紛争における民間人の保護、2016年5月3日。

⁵³³国連文書S/2016/722、事務総長の勧告、パラグラフ13に従って提出の安全保障理事会決議2286（2016）、暴力行為、攻撃およびに対する脅威負傷者および病人、医療関係者および人道主義者は専ら医療に従事している義務、彼らの輸送手段や設備、病院やその他の医療施設、そして確認説明責任とその保護の強化、2016年8月18日。

テキストテキストは次の場所で入手できます。
https://onu.delegfrance.org/IMG/pdf/political_declaration_-_31_october_2017_-_protection_of_medical_care_in_armed_conflicts.pdf。

⁵³⁵ヘルスケアへの攻撃の監視システム（SSA）、WHO、2022年3月29日、次の場所にあります。
<https://extranet.who.int/ss/>

Index.aspx# : ~ : text = Launched%20in%20December%202019%2C%20the、
about%20attacks%20on%20health%2
0ケア。

⁵³⁶OHCHR、HRMMUアップデート、op。引用、パラ17。

⁵³⁷神話と現実：戦争犯罪、真実としてのマリウポリの産科病院へのロシアの攻撃
ハウンド、16

2022年3月：

<https://truth-hounds.org/en/myths-and-reality-russias-attack-on-a-maternity-hospital-in-mariupol-war-crime-as/>。このレポートのセクションIV.F.12.aも参照してください。

71

医療援助の提供」。⁵³⁸ヨーロッパのWHO地域事務所は、多くの人が
医療従事者は自分自身を追放されているか、働くことができません。1000近くの医療施設があります
競合線に近い、制御の変更された領域にあります。その結果-限られたまたは
医薬品、施設、医療専門家へのアクセスがない-慢性の治療を意味する
状態はほぼ停止しました」。⁵³⁹

これらの困難に対応して、ウクライナ保健省はさまざまな資料を発行しました
それは、個人が自分の健康に対する脅威のいくつかを克服するのに役立つはずで（「対処する方法
戦時中のストレス？」、「心血管疾患がある場合、どうやって自分の世話をするのですか？」、
「HIV感染者向け」、「戦時中の定期予防接種」など）。

Telegramの特別なチャンネルで、これらすべての資料と最新情報が掲載されています。

医療制度に関する情報は人々に伝えられます。⁵⁴¹ミッション、
武力紛争の際に健康への権利の享受を認めることの難しさ、歓迎
これらのイニシアチブ。

ミッションは同時に、いくつかの分野で効果的な
ロシア、特にクリミアの支配、地元住民はアクセスを拒否されたと言われています
病気の治療のために予約されている病院（アルムヤンスク、クラスノペレコプスク、ジャンコイ）
そして負傷したロシアの兵士。占領国は、IHLの下で、民間人を要求することができますが
病院では、そのような措置は、民間人のニーズがによって世話をされている場合にのみ合法です
代替手段（GCIVの第57条）。ヘルスケアへのアクセスの拒否またはこのアクセスの作成
民間の診療所や遠く離れた病院に行くことを民間人に要求することは困難です
彼らの
居住地は、この規定に違反するだけでなく、ヒースへの権利にも違反します。

3. 社会保障の権利

社会保障の権利は、ICESCRの第9条と第10条、第12条で認められています。

RESC、および特定のカテゴリーの人については、CRCの第26条、

CEDAWおよびCRPDの第28条。権利はOSCEのコミットメントでも呼び出されます

（ヘルシンキ1975、ウィーン1989、ヘルシンキ1992）。権利は「アクセスする権利を含み、
とりわけ（a）からの保護を確保するために、利益を維持する/.../差別なく

病気、障害、出産、雇用傷害による仕事関連の収入の不足、失業、老齢、または家族の一員の死亡。(b) 医療への手ごろな価格のアクセス。

(c) 特に子供と成人の扶養家族に対する不十分な家族支援」。⁵⁴²

特に人口の大規模な移動による現在の紛争は、社会保障部門の通常の運営は非常に困難です。紛争前、ほとんど政府支出の25%は社会保障に費やされ、老齢年金がありますこの数字の半分を占めています。したがって、ウクライナの多くの人々は社会に完全に依存していますセキュリティがあり、代替の収入源はありません。Covid-19危機の間、2021年秋にウクライナは、すべての受信者の単一のリストとアプリケーションのオンラインシステムを確立しました。それでも、大きいデジタルリテラシーのレベルが低いため、高齢者などの人口の一部は、郵便局や銀行を通じて引き続き給付金を徴収します。

紛争の初期には、ウクライナの社会政策省は住民、特に戦争の被害を受けた地域に住む人々に利益を支払うこと。その中で2022年3月1日に発行された報告書、国連人道問題調整事務所(OCHA)は、「.../社会的移転/.../などの主要なサービスが

⁵³⁸OHCHR、HRMMUアップデート、op。引用、パラ15。

ウクライナ：28日間の戦争、64の医療に対する攻撃が確認され、1,800万人が影響を受けました。WHO、3月24日2022年、
<https://www.euro.who.int/en/media-centre/sections/press-releases/2022/ukraine-28-days-of-war,-64-check-up-of-the-health-care-attack,-and-about-18-million-people-affected>。検証済みのヘルスケアへの攻撃、および1,800万人の影響を受けています。

⁵⁴⁰で：<https://moz.gov.ua/>。

⁵⁴¹：<https://t.me/mozofficial>。

⁵⁴²国連文書。E / C.12 / GC / 19、一般的なコメントNo19。社会法の権利、2008年2月4日、2のために。

72

影響を受ける”。⁵⁴³最も影響を受けたのは、高齢者などの最も脆弱な人でした。HelpAge Internationalは、「深刻な所得不足のリスク/高齢者向け、影響を受けたほぼすべての高齢者（99%）が主な収入源として年金に依存していたため、支払いポイントにアクセスできない場合、これは中断される可能性があります」。⁵⁴⁴

それ以来、社会保障制度の運用は大幅に回復したようです。の2022年2月26日に閣僚会議によって発行された特別法に沿って⁵⁴⁵そして後で他の法律によって補完され、⁵⁴⁶ウクライナは確実にするためのメカニズムを導入しました古い支払いといくつかの新しい利点を導入します。社会保障の支払いは銀行に送られますアカウントまたはウクライナの郵便局の地方支部を通じて配布されます。特別な新しいe-

ポータルはまた、緊急に助けを必要としている人々のために設置されており、すでに約23,000人。⁵⁴⁷それでも、戦争で被災した地域の人々と一部の避難民
社会保障給付へのアクセスを得るのに困難に直面している。

特に東部で、ロシアの効果的な管理下にある地域の住民
ウクライナの、特に脆弱な状況にあります。すでに紛争の前に彼らは持っていた
彼らはウクライナの領土でそうしなければならなかったのも、彼らの利益を集めるのは難しい
コントロール。⁵⁴⁸このモデルは機能しないことが判明したため、
ウクライナの領土のどこに住んでいても、社会保障制度の受益者。

4.食糧と水の権利

食糧の権利はICESCRの第11条で認められています。それは「すべての人が
女性と子供は、単独で、または他の人と共同で、物理的および経済的なアクセスをまったく持っていません
十分な食料またはその調達手段への時間」。⁵⁴⁹したがって、食料は入手可能である必要があります、
適切で、アクセスしやすい。食糧への権利には、「安全な場所へのアクセス権も含まれます
飲料水」。⁵⁵⁰

2022年3月25日に発表されたウクライナの食料安全保障に対する戦争の影響に関するメモの中で、
国連食糧農業機関（FAO）は、「即時の食料安全保障
この対立の側面は、食料の入手可能性ではなく、食料へのアクセスに関連しています。」⁵⁵¹また、予測
「食糧不足はすぐに、または今後3か月で40%以上になると予想されています。
ケースの数、そして食料の供給とアクセスはすべての取引で重要な問題です
セクター」。⁵⁵²主な制約は、燃料の入手可能性やその他の不足の可能性に由来します。
農産物（種子、窒素肥料、農薬および設備）。水へのアクセス
ウクライナの特定の地域でも障害があります。国連難民高等弁務官

⁵⁴³フラッシュアピール。ウクライナ人道プログラムサイクル、2022年3月から5月、2022年3月1日、OCHA、次の
場所で。
<https://reliefweb.int/report/ukraine/ukraine-flash-appeal-march-may-2022-enukru>。

⁵⁴⁴HelpAgeInternational、ウクライナ：高齢者は、
ロシア
2022年2月24日、次の場所で激化。
<https://www.helppage.org/newsroom/latest-news/ukraine-older-people-face->
ロシアとの紛争としての放棄と孤立は/を激化させる。

⁵⁴⁵ウクライナの大臣の内閣、162の設立資金と手当の提供のために、ペニー
その地位の期間の日付、26 ltogo 2022（2022年3月21日に修正された）。

ウクライナの大臣の内閣、ポストNo. 204、食料品の配達に関する情報を提供します
期間中の「マラカイト悪性腫瘍」の自然な欠陥を補う
、 тапу、21日2022年。

⁵⁴⁷ : [https : //edopomoga.gov.ua/](https://edopomoga.gov.ua/)。

⁵⁴⁸国内避難民および東部の政府によって管理されていない地域に住む人々のための年金

ウクライナ、国連
ブリーフィングノート、2020年1月。

⁵⁴⁹国連文書。E / C.12 / 1999/5、一般的意見12、適切な食物に対する権利、1999年5月12日、パラ6。

⁵⁵⁰国連文書E/C.12 / 2002/11、一般コメント番号を参照してください。15.水への権利（第11条および第12条コヴナント）、

2003年1月20日; A / RES / 64/292、水と衛生に対する人権、2010年8月3日。

⁵⁵¹FAO、ウクライナ。ウクライナの食料安全保障に対する戦争の影響に関する注記、2022年3月25日、p. 5、<https://doi.org/10.4060/cb9171en>。

⁵⁵²ウクライナ。ウクライナの食糧安全保障に対する戦争の影響に関する注記、FAO、2022年3月25日、次の場所で。

<https://doi.org/10.4060/cb9171en>。

73

（UNHCR）は、次のように報告しています。
ドネツク州のいくつかの地域」。⁵⁵³包囲された都市では、不足がさらに深刻です。
マリウポリやスミーなど、状況は「非常に悲惨で、
重大で潜在的に致命的であることに直面している居住者
食糧、水、薬の不足」。⁵⁵⁴

ミッションは、ウクライナの紛争で飢餓が発生したことを示す情報を受け取っていません
民間人の割合は、意図的な戦略として使用されます。しかし、それは大規模なことに注意してください
民間人の生存または長引く包囲に必要な物の破壊
民間人の避難を許可することを拒否することを伴う町/都市
安全な人道回廊を介して、安全な配達を提供または可能にする
この人口への人道支援は、そのような戦略が持っていることの兆候として役立つかもしれません
に頼られた。ミッションは、飢餓はIHLの違反だけではない可能性があることを想起します
戦争犯罪（RSの第8条（2）（b）（xxv））だけでなく、食糧の権利の侵害および
水と人道に対する罪（RSの第7条（1）（b））。

ミッションはさらに、武力紛争の極端な状況においてさえ、国家は
権利の享受を妨害することを差し控えるという負の義務だけでなく
食品だけでなく、可能な限り干渉を防ぐための積極的な義務
これ

第三者による権利と「飢餓を緩和し緩和するために必要な行動を取る」。⁵⁵⁵

食料への通常のアクセスから切り離された場所にいる人々のニーズに特別な注意を払う必要があります
と水と妊娠中の女性、小さな子供や
国内避難民。

5.健康的な環境への権利

健全な環境への権利は、人権文書に明確に定められていません。まだ、2021年、国連人権理事会（ロシアによる棄権を含むいくつかの棄権）清潔で健康的で持続可能な環境を持つことは自律的な人間であることを認識しました。右。⁵⁵⁶環境問題はOSCEのコミットメントの一部です（ヘルシンキ1992、イスタンブール1999またはAstana2010）。健康的な環境への（新たな）権利の間には密接な関係があります生存権や健康権などの他の人権。認識されていますこれらの権利は、環境に関連する特定の義務を生じさせること健康的な環境に対する自律的な権利の存在（または存在しない）。⁵⁵⁷

OCHAは、2022年3月1日に発行された報告書の中で、ウクライナでの紛争は「爆発物を含む、公衆衛生に対する重大な環境問題を引き起こす兵器汚染、チェルノブイリと燃焼油からの放射線レベルの上昇Vasylkyvのストレージデポ」。⁵⁵⁸2022年3月3日、902人の個人と156の組織が75カ国が環境平和構築協会を通じて公開書簡を採択したウクライナの領土における紛争が環境と人々の健康。⁵⁵⁹活発な敵対行為やロシアによるウクライナ領土の一部の占領は、同様の悪化をもたらすでしょう

ウクライナ「ウクライナの侵略：都市が「致命的な不足」に直面しているため、ニーズは高まり続けています。国連としてのブレイクスルー

コンボイが到達

Sumy'、国連ニュース、2022年3月18日、<https://news.un.org/en/story/2022/03/1114232>。

⁵⁵⁴ウクライナ侵攻、op。引用。

⁵⁵⁵国連文書 E / C.12 / 1999/5、op。引用、パラ6。

⁵⁵⁶国連文書。A / HRC / RES / 48/13、清潔で健康的で持続可能な環境への人権、18
10月
2021年

⁵⁵⁷国連文書を参照してください。A / HRC / 25/53、人権問題に関する独立専門家の報告
関連する義務
安全で、清潔で、健康で持続可能な環境を楽しむために、ジョンH.ノックス、マッピング
レポート、30
2013年12月、セクションIV。

⁵⁵⁸OCHA、フラッシュアップ。ウクライナ人道プログラムサイクル、2022年3月から5月、2022年3月1日、
p。24。

⁵⁵⁹ロシアのウクライナ侵攻の環境的側面に関する公開書簡、環境
平和構築協会、2022年3月3日、次の場所で。
<https://www.environmentalpeacebuilding.org/conferences/2nd-international-environmental-peacebuilding/>。
国際会議-環境平和構築/。

ドネツクと

ルハンシク地域。⁵⁶⁰アナリストは、「ロシアの侵略は/.../土地、水、および居住環境の汚染につながります、この紛争よりもはるかに長い寿命で存続できる場所」。⁵⁶¹

ミッションは、「そのような攻撃がそのような攻撃であるという知識の中で意図的に攻撃を開始することを思い出します

/.../自然環境に広範囲にわたる長期的かつ深刻な被害をもたらす

具体的かつ直接的な全体的な軍事的優位性に関して明らかに過剰になるだろう

予想される」は戦争犯罪を構成します（第8条（2）（b）（iv））。そのような行為はまた違反するでしょう

健康的な環境への権利と健康への権利⁵⁶²IHRLは間違いなくより広い範囲を生み出す

少なくとも、以下の行為を差し控える義務を含む義務の範囲

環境に長期的な悪影響を及ぼし、

決定を採用する際に考慮に入れる環境への配慮

軍事行動のコース。

D.脆弱なグループに対する紛争の影響

現在の紛争は、ウクライナの人口全体に影響を及ぼしています。それでも、それは特定のものを持っています
また、特定の脆弱なグループに属する個人に特に大きな影響を与えることもあります。

これらのグループには、女性、子供、高齢者、

障害者、少数民族および少数民族、LGBTQの人々または番犬（人権

擁護者および他の活動家）。さらに、紛争自体が新たな脆弱性を生み出しました

グループ、特に国内避難民（IDP）と難民。⁵⁶³特別なニーズと

これらすべての脆弱なグループに属する個人が直面する問題は注目に値します。の

危機の時には、脆弱な人々はさらに脆弱になりますが、彼らはしばしば見落とされます

無視されます。ウクライナではそうではないはずです。

脆弱なグループに属する個人に適用される主要な原則は、原則です

無差別の。この原則は、ICCPRの第26条、

ECHR、ECHRの議定書12、RESCの第E条、およびCHRFFの第20条。これ

原則は、脆弱なグループに属する人々を扱わない義務を国家に課します

他の人よりも不利であり、そのような個人の特別なニーズを考慮に入れること

人生のすべての分野。非差別の原則は、非難されません。委任条項

緊急時に採用される措置が差別を伴うことは決してないことを明確に規定します。

国家はまた、可能な限り、ネガティブなものを最小限に抑えることを求めるポジティブな義務を負っています。

武力紛争などの緊急事態が脆弱なグループに与える影響。この内容

義務は、具体的な状況を考慮してのみ決定することができます。と同様

ESCの権利については、この部分の使命は、IHRLの明らかな違反への注意を制限するものではありません。

しかし、脆弱なグループの状況に対する紛争のより広範な影響をマッピングします。

1.女性

女性の権利は、一般的な人権文書と条約によって保護されています
女性に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する研究（CEDAW）。両方のウクライナ

⁵⁶⁰DonbasEnvironment：Invisible Front、Report、Truth Hounds、2021を参照してください。
donbas-ecology-report-2021-真実-
hounds_en.pdf。

⁵⁶¹クリスティーナフック、リチャード「ドリユー」マルカントニオ、'霧の中で環境リスクに取り組む
戦争」、会報
原子力科学者会報、2022年3月10日、
<https://thebulletin.org/2022/03/grappling-with-environmental-risks-in-the-fog-of-war/>。

⁵⁶²国連文書も参照してください。E / CN.4 / 1992/26、イラク下のクウェートの人権状況に関する報告
職業
氏によって準備されました。WalterKálin、1992年1月16日、208項。

⁵⁶³ミッションの任務の範囲はウクライナの領土に限定されているため、
レポートには含まれていません
難民に関する特定のセクション。

75

およびロシアは、CEDAWおよびその選択議定書の締約国です。CEDAW助成金
女性はある人権を擁し、差別から女性を守ります。

2000年、国連安全保障理事会は女性と平和に関する決議1325を採択しました。
安全保障、⁵⁶⁴これは「武力紛争のすべての当事者が完全に国際法を尊重することを促す
特に民間人としての女性と女児の権利と保護に適用される」（第9項）および
「ジェンダーに基づく女性と女児を保護するための特別な措置を講じること」を彼らに呼びかけます。
暴力、特にレイプやその他の形態の性的虐待、およびその他すべての形態の暴力
武力紛争の状況」（パラ10）。

これらの基準は、OSCEのコミットメントにも反映されています。決定番号 8/01
（ブカレスト2001）、参加国は「特に女性の脆弱性
紛争と紛争後の状況」（パラ3）。決定番号 15/05予防と
女性に対する暴力と闘い（リュブリャナ2005）、彼らは「すべてを奪う」ことを約束しました。
中および後の女性と少女に対するジェンダーに基づく暴力を防ぐために必要な措置
武力紛争/.../、犯罪の加害者の裁判への持ち込みを含む/.../」（パラ7）。

現在の紛争の発生以来、武力紛争の警告がありました
従来、ジェンダーに基づく暴力の急増につながりました。紛争のある日、
アムネスティ・インターナショナル・ウクライナのディレクター、オクサナ・ポカルチャックは、紛争は「
国の女性に悪い影響を与えます。家庭内暴力と性的暴力は
その後の戦争」その後の開発は、この予測を確認しました。レポートによると
レイプ、性的暴力、性的暴力など、紛争に関連するジェンダーに基づく暴力の事例

嫌がらせ。女性はまだ、人身売買のリスクの増加にさらされており、性別固有の医療にアクセスしようとすると、困難に直面しました。

紛争の勃発以来、ウクライナはジェンダーに基づく暴力の増加を目撃してきました。

ウクライナ外務大臣ドミトロ・クレバ、⁵⁶⁶とウクライナ国会議員レシアの両方

バシュレンコ、⁵⁶⁷はレイプやその他の形態の性的暴力の告発を平準化した

ロシア軍。事件の1つは、キーウに近いボヴァリーの村で発生しました。

酔っ払ったロシアの兵士が民家に侵入し、所有者を殺害し、レイプしたとされる

彼の妻は、彼女の小さな子供の前で数回。⁵⁶⁸レイプの申し立てがあります、

ウクライナの他の多くの地域でロシアの兵士によって犯された集団レイプを含む。⁵⁶⁹

ミッションは、レイプまたはその他の形態の性的暴力が構成または犯罪となる可能性があることを想起します
人類（RSの第7条（1）（g））または戦争犯罪（RSの第8条（2）（b）（xxii））。

そのような行為の申し立ては適切に調査される必要があり、有罪とされたものは
罰せられた。

性的暴力に加えて、武力紛争はしばしば国内の増加をもたらします

暴力。ドネツクの状況に関する2020年アムネスティ・インターナショナルの報告によると
とルハンシク地域では、紛争の影響を受けた地域での家庭内暴力が急増しました。

⁵⁶⁴国連文書 S / RES / 1325（2000）、女性と平和と安全、2000年10月31日。

⁵⁶⁵マヤ・オッペンハイム：「ロシアの侵略後に上昇する「戦争の武器」としての性的暴力、
キャンペーン参加者は警告します」、

独立、2022年2月25日、<https://www.independent.co.uk/news/world/europe/>

性的暴力-女性-

ロシア-b2023618.html。

外務大臣は、ロシアの兵士をウクライナの都市でレイプしたと非難している」、ロイター、2022年3月4日、
で：

<https://www.reuters.com/world/foreign-minister-accuses-russian-soldiers-rape-ukrainian-cities-2022-03-04/>。

⁵⁶⁷「戦争の道具」としてレイプを使用しているロシア軍のロリー・サリバンは、ウクライナの検察官を主張し
ている

一般的な、

独立、2022年3月25日、次の場所で。

<https://www.independent.co.uk/news/world/europe/russian-troops-rape-ukraine->
申し立て-b2043534.html。

⁵⁶⁸MiaJankowicz、'ウクライナ検察総長は、ロシアの兵士が壊れた後に女性をレイプしたと言います
彼女の家に

そして彼女の夫を殺す'、ビジネスインサイダー、2022年3月23日、で：

<https://news.yahoo.com/ukraine-prosecutor-general-says-russian-114537176.html>。

Cora Engelbrecht、「ロシアの兵士が関与する性的暴力の報告は増え続けている、
ウクライナ当局者

言う'、ニューヨークタイムズ、2022年3月29日、で：
<https://www.nytimes.com/2022/03/29/world/europe/russian-soldiers-sexual-violence-ukraine.html>。

76

ドネツク地域では76%の増加があり、ルハンシク地域では158%の増加がありました。過去3年間の平均と比較したそのようなケースの数で。」⁵⁷⁰同じウクライナの他の地域では増加が発生する可能性があります、男性の強制採用による家族18〜60歳はまだ見られません。

女性はまだ、紛争が引き起こされました。24年以来家を追われた1000万人のうち2022年2月、大多数は女性でした。追放された女性は、彼らはしばしばほとんどすべてを置き去りにするので、非常に脆弱な立場は、彼らの親戚と戦争のトラウマに対処します。国際機関は次のように警告しています人身売買業者は、一人でいる女性と少女の状況を悪用し、彼らを誘惑しています強制売春、奴隷制または強制労働の罠に陥る。⁵⁷¹試みられたという報告がある他国との国境での人身売買と強制売春。⁵⁷²女性と移動中または一時的な避難所にいる女の子も、ジェンダーに基づく犠牲者になる傾向があります暴力。⁵⁷³

ウクライナに滞在する女性も、しばしば悲惨な状況に陥ります。アクセスの欠如学校や混乱したコミュニティネットワークなどの社会福祉は、ケアを増やしています子ども、障害者、高齢者の家族の世話を担当する地元の女性の負担メンバー。さらに、国連人口基金（UNFPA）⁵⁷⁴は約80,000人の女性を推定していますウクライナでは、今後3か月で出産します-それらの多くは不適切ですウクライナのヘルスケアセンターがアクセスできなくなるための条件。適切なへのアクセスの欠如ケアは、分娩中だけでなく、母親とその新生児の生命を危険にさらしますその後。マリウポリの産科病院など、一部の医療機関では、標的にされ、母親とその新生児が死亡した。⁵⁷⁵紛争母親や新生児の身体的健康だけでなく、精神的健康にも影響を及ぼします。もう1つの問題は、女性の衛生製品へのアクセスが制限されていることです。

2. 子供

子どもは一般的な人権文書と国連条約によって保護されています子どもの権利（CRC）。ウクライナとロシアはどちらもCRCとその最初の2つの締約国ですオプション議定書（OP）-武力紛争への子どもの関与と子供、児童買春、児童ポルノ。これらの下での非難は不可能です楽器。CRCの第38条によると、国家は「尊重し、尊重しなければならない。武力紛争において彼らに適用される国際人道法の規則子供に関連する」。

1999年以来、国連安全保障理事会は子供たちの保護のために積極的に押収されてきました

武力紛争で。このトピックに関する最初の決議では、次のような主なリスクのいくつかを特定しました。
「殺害と不具、性的暴力、誘拐」などの武力紛争に端を発する子供たち
武力紛争における子どもの強制移動、徴兵および使用。
国際法、および場所を含む国際法の下で保護されているオブジェクトへの攻撃

⁵⁷⁰私的な問題ではない：アムネスティ、ウクライナ東部の女性に対する家庭内および性的暴力
国際的、
2020年12月11日、<https://www.amnesty.org/en/documents/eur50/3255/2020/en/>。

ティーン「ウクライナから逃げるティーンは、CAの名付け親から助けを得て、人身売買業者との慣らしを説明します」、
ABC7ニュースベイ
エリア、2022年3月19日、場所：
<https://abc7.com/ukraine-war-teen-refugee-human-trafficking-poland/11665097/>。

⁵⁷²Katy Fallon、Antonia Cundy、Rosabel Crean、'自警行為者がウクライナ国境をセックスとしてストーキング
人身売買業者のターゲット
逃げる女性と子供たち」、The Guardian、2022年3月24日、<https://www.theguardian.com/global-development/2022/3/24/self-defence-ukraine-border-sex-human-trafficking-targets-escaping-women-and-children>
子供
⁵⁷³ジェンダーに基づく暴力、人道的対応、2022年3月10日。

⁵⁷⁴人道的ニーズのスパイラル、UNFPA、
3月22日
2022.、<https://www.unfpa.org/ukraine-war>。

ウクライナ「ウクライナ戦争：病院が砲撃された後、妊娠中の女性と赤ちゃんが死ぬ」、BBC、2022年3月14日、次の場所で
<https://www.bbc.com/news/world-europe-60734706>。このレポートのセクションIV.F.12.aも参照してください。

77

通常、学校や病院などの子供たちがかなりの存在感を示しています。」⁵⁷⁶
国連安全保障理事会と子供に関する作業部会の主な焦点は
2015年にそれによって確立された武力紛争は、少年兵にあり、彼らはまた対処しました
武力紛争で子供たちが直面する他の問題のいくつか。

OSCE参加国は、「子どもの権利を積極的に促進し、
特に紛争および紛争後の状況における利益」（イスタンブール1999、ポイント28）および
性的搾取を含む、あらゆる形態の子供に対する暴力と闘う（決定番号
子どもの性的搾取との闘いに関する15/06-ブリュッセル2006）および人身売買
子供（労働のための人間の人身売買との闘いに関する決定No.8 / 07
搾取-マドリード2008）。

ミッションは、現在の紛争が多くの子供たちに影響を及ぼしていることを確認することができました
違う方法。第一に、子供たちは紛争の直接の犠牲者の一人です。最低の見積もり

国連によって提供されたものは、最初の間に78人の子供が殺され、105人が負傷したことを示しています戦争の月。⁵⁷⁷最初に報告された子供の犠牲者は兄弟のポリーナ（10歳）と家族への襲撃で負傷して死亡したセミヨン（5歳）クドリニー2022年2月27日の車。⁵⁷⁸紛争の最年少の子供犠牲者は死んだ赤ちゃんでしたマリウポリへの攻撃で負傷した女性が帝王切開で出産中2022年3月9日の産科病院。⁵⁷⁹そのようなすべての事件の合法性はIHLの適用される規則によって決定されるように、子供の死傷者の数が多いと、ロシア軍がから生じる義務をどの程度尊重するかについての懸念CRCの第38条。直接犠牲にならない場合でも、多くの子供たちは自分自身を失います紛争中の親戚。そのような子供たちは彼らの家族生活を永遠に混乱させるでしょう。

第二に、国連の数字によると、18歳未満のウクライナの人口の半分以上2022年2月24日以降、750万人のうち4.3歳が避難している。詳細180万人以上が国境を越え、残りの250万人はその地域の国内避難民です。ウクライナの。⁵⁸⁰ほとんどの子供は家族と一緒に去りますが、同伴者のいない場合もあります自分たちで安全を確保した未成年者⁵⁸¹紛争前は、ほぼ10万人ウクライナの子供たちは施設（在宅ケアと寄宿学校）といくつかの施設に住んでいましたそれ以来、それらは放っておかれています。大規模な移動は子供たちを多数にさらしますリスク：避難中に死亡または負傷するリスク、人身売買のリスク-搾取、児童労働のリスク、強制採用のリスク、またはジェンダーのリスク-ベースの暴力。⁵⁸²これらから子供を保護するために適切な措置を講じる必要があります可能な限りのリスク。

第三に、紛争は大規模な破壊と重要なサービスの混乱をもたらします。食料、水、電気の供給、またはヘルスケアの提供として。ユニセフはすでにはしかなどの小児免疫に対するワクチン接種率の低下が観察されたとポリオ、そしてワクチンで予防可能な病気の発生のリスクに対して警告しました、

⁵⁷⁶国連文書。S / RES / 1261（1999）、子供と武力紛争、1999年8月30日、パラ2。

⁵⁷⁷「ウクライナの子供たちの半数以上が1か月の戦争後に避難した」、国連ニュース、3月24日2022年：
<https://news.un.org/en/story/2022/03/1114592>。

⁵⁷⁸David Mercer、'ウクライナの侵略：5歳の少年、姉と両親が亡くなった後、病院で亡くなりました撃ち殺されたロシア軍-報告書'、Sky News、2022年3月4日、次の場所で。
<https://news.sky.com/story/ukraine-invasion-boy-5-dies-hospital-days-sister-and-parents-were-shoot-killed-by-russian-army-12557343>。

⁵⁷⁹アレックス・スタンバウ、「マリウポリ産科病院の爆撃で妊婦と赤ちゃんが亡くなる」、CNN、14
2022年3月、<https://edition.cnn.com/2022/03/14/europe/mariupol-pregnant-woman-baby-death-intl/index.html>。

⁵⁸⁰ユニセフ、半分以上、op。引用。

⁵⁸¹人身売買と搾取のリスクが高いウクライナで戦争から逃れた子供たち、ユニセフ、19
2022年3月、

で：

<https://www.unicef.org/press-releases/children-fleeing-war-ukraine-heightened-risk-trafficking-and-exploitation>

⁵⁸²逃げる子供たち、op。引用。

78

特に避難所で。⁵⁸³上記のように、紛争は教育へのアクセスにも影響を及ぼします。
セクションVC1。さらに、その発生以来、養子縁組手続きは大幅に中断されました。
ウクライナ国外のカップルに養子縁組された数十人の子供たちが世話をしている
機関。同時に、戦争の孤児が提供されているという報告があります
養子縁組。⁵⁸⁴ウクライナは、
管理手順。約2,000～2,500人の赤ちゃんが生まれると推定されています
毎年そこに代理出産があります。⁵⁸⁵紛争の勃発以来生まれた赤ちゃんのほとんどは現在
両親がウクライナに入国したくない、または入国できないため、ウクライナで立ち往生しています。⁵⁸⁶

第四に、ロシア連邦が採用を検討しているという主張があります。
ウクライナでの軍事展開の目的、18歳未満の少年、ロシアから
おそらくクリミアからも。⁵⁸⁷そのような募集が行われた場合、明らかに違反となるでしょう。
州が最低年齢を設定することにより、CRCに対するOPの第1条から第3条の
18歳で国軍への強制的かつ自発的な採用。
「実行可能なすべての措置を講じて、軍隊のメンバーが
18歳に達した場合、敵対行為に直接参加しないでください」（第1条）。⁵⁸⁸

3.高齢者

高齢者は特定の人権条約によって保護されていません。それにもかかわらず、一般
人権文書はそれらに完全に適用され、それらの規定は次のように解釈されるべきです。
国連の高齢者のための原則など、高齢者に関するソフトロー文書の光。⁵⁸⁹
高齢者はウクライナの人口のほぼ4分の1を占めています。ミッションは
それらの多くが持っていることを示すレポートを受け取りました
紛争の影響を大きく受けました。

一部の高齢者は紛争の直接の犠牲者になっています。いくつかの状況
これらの事件は、高齢者が意図的に標的にされた可能性があることを示唆しています。
超法規的殺人。伝えられるところによると、2022年2月28日、爆破された車の中で老夫婦が死亡した。
キーウに近いマカリヴの町の装甲柱によって。⁵⁹⁰2022年3月19日、
自転車に乗ってロシア兵に女性が殺され、夫が負傷した
スームィ地方のトロステアネッツにある地元の病院⁵⁹¹2022年3月26日、別の年配のカップル
伝えられるところによると、マリンカの村を車で出ようとしたときに射殺された。⁵⁹²さらに、

⁵⁸³ウクライナの子供たちの半数以上、op。引用。

⁵⁸⁴キャサリン・ジョイス、「ウクライナの子供たちと養子縁組：醜い歴史は繰り返されるのか?」、サロン、22歳

2022年3月：

<https://www.salon.com/2022/03/22/ukraines-kids-latest-target-for-the-christian-adoption-industry/>。

⁵⁸⁵カースティ・ホージー、ザイナ・マフムード、「ウクライナの代理人：驚くべき沈黙」、BioNews、3月7日
2022年：

https://www.bionews.org.uk/page_162770。

⁵⁸⁶RebeccaWrightとOlhaKonovalova、'困惑したキーウの下で、外国人の両親から生まれた赤ちゃん
經由

地下室の代理シェルター'、CNN、2022年3月15日、次の場所で。

<https://edition.cnn.com/2022/03/14/europe/ukraine-salogaat-baby-shelter-intl-cmd/index.html>。

スターマイケルスター、「ウクライナはロシアが青年運動から徴兵する準備をしていると非難している」、エルサレムポスト、20

2022年3月、<https://www.jpost.com/international/article-701802>。

⁵⁸⁸OPが批准されると、ロシア連邦は次のように宣言しました。

の立法

ロシア連邦では、18歳未満の市民は兵役に採用されない可能性があります

武装

ロシア連邦の軍隊と兵役契約は彼らと締結されないかもしれません」。

⁵⁸⁹国連文書。A / RES / 46/91、高齢化および関連する国際行動計画の実施
活動、

1991年12月16日。

E'高齢の民間人ウクライナ人カップルは、完全に挑発されていない攻撃で車の中で爆破されました
ロシア語'スペシャル

平和維持軍の「戦車」、DailyMail、2022年3月8日、次の場所で。

<https://www.dailymail.co.uk/news/article-10590863/ウクライナ-戦争-高齢者-民間人-カップル-吹き飛ばされた-車-ロシア語-tank.html>。

年金の最も重要な部分は、年末に自転車を使用できるようになることです。

プロビデンス、司法長官事務所、2022年12月22日、次の場所にあります。

<https://gp.gov.ua/ua/posts/obstril-podruzzya-pensioneriv-yaki-yixali-na-velosipedax-u-likarnyu-na-sumshhini-rozpocato-provadzennya>。

最も重要なポイント車爆弾と反応性砲兵を寄付する-ポイント12

刑事手続、検察庁、2022年2月27日、<https://www.gp.gov.ua/>

ua/投稿/obstrili-naselenix-punktiv-doneccini-aviabombami-i-reaktivnoyu-artilerijeyu-rozpocato-12-kriminalnix-provaden.

2022年3月11日、ルハンシク地方のクレミンナの町にある高齢者の住居
ロシアの戦車に襲われ、56人が死亡した。生き残った15人は
占領地にある地域の老人ホームに移住。⁵⁹³これらすべて
IHLの該当する規則に照らして、インシデントを再度調査および検討する必要があります。

さらに多くの高齢者が紛争の間接的な犠牲者の中にいます。健康が弱い
状態と動きの困難さ、彼らはしばしば安全に逃げるのが困難であると感じて、残されます
それらの世話をする人なしで一人で。それらのいくつかは避難を拒否します。滞在する人または
取り残されたままで、食料、飲料水、重要な薬、ヘルスケアを利用できません。
彼らのほとんどは彼らの収入の主な源として老齢年金に依存しているので、混乱は
社会保障制度の、または支払いポイントへのアクセスを取得することが不可能であるということは、
自分たちの生活に深刻な脅威を与える。⁵⁹⁴複合的な脆弱性を持つ高齢者（例：高齢者）
障害のある人）は、特に困難な状況に陥ります。

3月上旬にウクライナ東部でHelpAgeが実施した調査によると
2022年、インタビューを受けた高齢者の91%が食糧援助を必要としていました。79%が困難を抱えていた
十分なきれいな飲料水を利用できるようにする。75%が衛生用品を必要としていました
（歯磨き粉、石鹸、大人用おむつ、トイレットペーパー）；91%が電力供給の中断に直面しました
十分な加熱の欠如。そして34%は慢性のための緊急の薬を必要としていました
病気。⁵⁹⁵これらの人々が住んでいる地域を支配している国は前向きである
これらのニーズを可能な限り満たそうとする義務。

4.障害のある人

障害者は一般的な人権文書と国連によって保護されています
ウクライナと障害者の権利に関する条約（CRPD）
ロシアは締約国です。ウクライナはまた、OPをCRPDに批准しています。CRPDはしません
誹謗中傷を許可します。その第11条は、州に「義務に従って、取る」ことを義務付けています。
国際人道法および国際人道法を含む国際法の下で
権利法、人の保護と安全を確保するために必要なすべての措置
武力紛争の状況を含む、リスクのある状況での障害/.../」。

2019年、国連安全保障理事会は、全会一致の投票（ロシアの投票を含む）で採択されました
紛争中の障害者の保護に関する決議2475（2019）⁵⁹⁶想起
CRPDの第11条では、決議は武力紛争のすべての当事者に「
それらを含む民間人を保護するために適用される国際法の義務に従って
障害を持ち、武装した状況での民間人に対する暴力や虐待を防ぐため
殺害と不具、誘拐と拷問を含む紛争。レイプだけでなく
紛争および紛争後の状況におけるその他の形態の性的暴力」（第1項）。の締約国
武力紛争には、安全でタイムリーで妨げられないことを可能にし、促進する義務もあります
支援を必要としているすべての人々への人道的アクセス（パラ3）。さらに決議
差別をなくすためにすべての適切な措置を講じる国の義務を強調する
武力紛争の状況における障害に基づく疎外（パラ8）。

紛争前は、ウクライナには270万人以上の障害者が住んでいました。

2022年2月24日以降、彼らはさらに別の脆弱なグループになり、

"ロシアの攻撃により、ウクライナ東部の介護施設の56人の高齢者が死亡したと地域は述べています
公式'、CNN、20

2022年3月：

https://edition.cnn.com/europe/live-news/ukraine-russia-putin-news-03-20-22/h_d4e310461013be01dd92f2da81c24314。

ウクライナ：ロシアとの紛争が激化する中、高齢者は放棄と孤立に直面しています。

HelpAge、2月24日

2022年：

<https://www.helpage.org/newsroom/latest-news/ukraine-older-people-face-abandonment-and-isolation-as-conflict-with-russia-激化/>、

ウクライナ東部：高齢者のニーズ-2022年3月4日、HelpAge、at：

<https://www.helpage.org/silo/files/rapid-needs-assessment-of-older-people-in-eastern-ukraine.pdf>。

⁵⁹⁶国連文書。S / RES / 2475（2019）、紛争中の障害者の保護、2019年6月20日。

80

紛争。同様に高齢者は、危険な場所に置き去りにされることがよくあります。

残りの人口は、彼らが逃げるのを望まないか、（しばしば）逃げることができないので、去ります
安全性。

NGOから受け取った情報によると、「障害のある成人の避難は

ケースごとに、アドホックベースで、NGOとボランティアによってのみ実施されます。

人々を一斉に避難させるのに十分な資金と能力」。⁵⁹⁷一部の障害者

避難所に移動することはできますが、多くの避難所はそのような人々のニーズに適応していません。

そのようなものは、それらの多くにはアクセスできません。音声による警告は、

DEAF。障害者の超法規的殺害の少なくとも1つのケースがあります（セクションVB1）。

避難していない障害者、特に活発な敵対行為の地域に滞在している人、

顔の孤立、食べ物、飲料水、薬や暖房へのアクセスの欠如は、奪われています

電気と社会的利益を得るのに苦労しています。これは、上に住んでいる人の両方に適用されます

自分自身と在宅介護施設に滞在している人。⁵⁹⁸これらの施設のいくつか、

ハルキウ地域のオスキル精神神経学的住居として、標的にされました。⁵⁹⁹人

精神障害のある人は、理解する能力が限られているため、特定の課題に直面しています。

状況と助けをもたらす人々と協力すること。緊急情報は提供されません

知的障害のある人が読みやすい形式やその他の形式でアクセスできます。不足

いくつかの場所では、医療、医薬品、および医療スタッフの数が重要です。ヤニス

国際障害同盟の議長であるVardakastanisは、この状況を「

危機の中で差し迫った人道的危機」。⁶⁰⁰

一部の障害者は居住地にとどまっていますが、他の障害者はそれらを離れています

場所。報告によると、国内避難民の世帯の約5分の1に少なくとも1人の人がいます。障害のある人。⁶⁰¹同様のシェアは、国境。ただし、チェックポイントと出入国管理はめったにアクセスできず、情報もありません。移転と人道支援については、適切な形式で提供されていません。最初に紛争の数週間、障害のある男性または障害のある親戚の世話をしている男性は伝えられるところによると、義務的な男性徴兵のために国境で止められた（18-60歳）そして、この徴兵の例外に関連する不確実性。この不確実性は2022年3月中旬に新しい法律が採択されたことで大部分が消滅しました。⁶⁰²

5. 国および民族のマイノリティ

少数民族の権利はICCPRの第27条で認められており、そこからウクライナが少数民族保護のための枠組み条約において、ロシアではなくウクライナが一党制です。定められた無差別の原則IHRLでは、少数民族および少数民族の権利を解釈するための鍵となります。The少数民族の保護もOSCEのコミットメントの中で高い特徴です（ウィーン1989年、コペンハーゲン1990年、ジュネーブ1991年、ブダペスト1994年、イスタンブール1999年）。OSCE

⁵⁹⁷NGO連合から報告書の作成者に提出された情報。

⁵⁹⁸レベッカ・トーマス、'数百人のホームレススタッフと精神病院に住む患者ウクライナ'、独立、2022年3月14日、次の場所で。
<https://www.independent.co.uk/news/health/homeless-staff-hospitals-ukraine-b2034089.html>。

⁵⁹⁹ホリー・バンクロフト、「ウクライナは、ロシアが330人の精神病院を爆撃したと主張している」、The独立、2022年3月11日、次の場所で。
<https://www.independent.co.uk/news/world/europe/russia-ukraine-psychiatric-Hospital-latest-b2033633.html>。

⁶⁰⁰Alena Bieling、「ウクライナの障害者は「危機の中の危機」に直面している」、Euractiv、2022年3月15日。

OM IOM、ウクライナIDPの数値-2022年3月の一般人口調査予備調査結果、3月16日2022年

⁶⁰²ウクライナ大臣内閣、郵便局264永続的なシステムを維持するためクロアチアのクロマジウムコード、2022年3月15日。212-IX 212-IX Officeは使用時間を指定します無効なユーザーと参照しているユーザーによって提供されたバージョンのウクライナ語バージョン2022年12月15日、無効とハリケーンが影響を受けます。

さらに、参加国は、保護の重要性を繰り返し強調してきました。ウクライナを含む多くのヨーロッパ諸国の領土に住むロマとシンティの人口。⁶⁰³

ウクライナには、多くの少数民族や少数民族が住んでいます。最初の（そして今のところ唯一の）全国ウクライナの国勢調査は2001年に行われました。⁶⁰⁴その結果によると、人口の17%がロシア人と特定され、国勢調査では、他の16の少数民族および少数民族がベラルーシ人、クリミアタタール人、ギリシャ人、ユダヤ人、またはモルドバ人として、人口シェアは以下1%。人口構成は2001年以降、特に2014年から2022年にロシアがクリミア半島とドネツクおよびルハンシク地域を占領した。の2021年、ウクライナは先住民に関する法律を制定しました。クリミアタタール人、カライ派、クリムチャク人、これらすべて主にクリミアに住んでいます。

ウクライナの領土での紛争は、国内および少数民族に影響を及ぼしました。軍隊少数の人口が密集している多くの地域で事業が行われていますマイノリティ。彼らはこれらの人々の生活と彼らの独特の文化の両方を危険にさらしていますと言語。さらに、文化的遺跡や歴史的遺物は、オペレーション。南東部には少数民族や少数民族が住んでいます。激しい戦いを経験した国。たとえば、マリウポリのより広いエリア約80,000人のギリシャ人が住んでいます。それらの少なくとも10はの結果として死んでいると報告されています2022年2月のロシアの爆撃。それ以来、死傷者の数は増加しました。地域マリウポリのは、チュルク語を話すウルム人の故郷でもあります。それらの多くはに囲まれています避難の可能性が最小限またはまったくない地域。⁶⁰⁶ドネツクのヴォルノヴァーハの町砲撃によってほぼ完全に破壊されたこの地域には、ウクライナ人が住んでいます。ロシア人、アルメニア人、ギリシャ人、ユダヤ人。軍事作戦は主に影響を及ぼしましたハリコフ、ヘルソン、メリトポリなどのロシア語圏の都市。

国や少数民族、そして先住民の権利が侵害されているロシアの効果的な管理下にある領土。つまり、クリミア半島とドネツクの一部でルハンシク地方。違反は2014年以降に発生しており、特にウクライナ人やクリミアタタール人など、ウクライナの統一を促進します。これらの抑圧紛争の発生後、数人の代表者とともに激化した国家的または少数民族が逮捕されている、通常は反逆罪または経済的理由によるテロリストグループへの支援。⁶⁰⁷ローマに対する差別についての報告もあります。しかし、それらは主に、ロマ難民がウクライナを離れて直面している状況に言及しています個人識別の欠如による困難。⁶⁰⁸

6.LGBTQの人

LGBTQの人は、一般的な人権文書によって保護されています。非の原則差別は、性的指向または性同一性に基づく差別を禁止します。

⁶⁰³決定番号を参照してください。ロマとシンティの状況を改善するための行動計画に関する3/03 OSCE内

エリア（マーストリヒト2003）、決定番号 アクションを実施するためのOSCEの取り組みの強化に関する6/08 計画する

OSCEエリア内のロマとシンティの状況の改善（ヘルシンキ2008）と決定番号。

8/09に

ロマとシンティの持続可能な統合を確実にするためのOSCEの取り組みの強化（Athens2009）。

⁶⁰⁴全ウクライナ人口調査'2001、ウクライナ国家統計委員会、以下：

<http://2001.ukrcensus.gov.ua/eng/results/>。

⁶⁰⁵⁶⁰⁵3iY№№Y№№№№№№№№№№№№№№38kopo.....Hhap...、 、 、 、 、

⁶⁰⁶戦争に巻き込まれたウクライナの少数民族、カテリーナ・ハーテル：ギリシャ人の事例と

ブルガリア人、ECMIマイノリティブログ、2022年3月23日、次の場所にあります。

[https://www.ecmi.de/infochannel/detail/ecmi-minorities-](https://www.ecmi.de/infochannel/detail/ecmi-minorities-blog-ukraines-national-minorities-trapped-by-the-war-the-cases-of-ethnic-greeks-and-bulgarians)

[blog-ukraines-national-minorities-trapped-by-the-war-the-cases-of-ethnic-greeks-and-bulgarians。](https://www.ecmi.de/infochannel/detail/ecmi-minorities-blog-ukraines-national-minorities-trapped-by-the-war-the-cases-of-ethnic-greeks-and-bulgarians)

混乱の中でイムクリミア半島、オペアンブ。引用。

⁶⁰⁸AndreiPopoviciu、「ウクライナのロマ難民は安全への道のりで差別について語る」、アルジャジーラ、3月7日

2022年：

<https://www.aljazeera.com/news/2022/3/7/ukraines-roma-refugees-recount-discrimination-on-route-to-safety>。
安全性。

82

「その他の地位」（ICCPR第26条、ECHR⁶⁰⁹第14条）。ジョグジャカルタの原則
2006年に発行されたものは、事件における一般的な人権条項の解釈の有用なツールです。
LGBTQの人に関連しています。⁶¹⁰これらの原則は、とりわけ、「誰もが
性的指向や性別に基づく差別なしにすべての人権を享受する
アイデンティティ」（原則2）と「性的指向や性同一性に関係なく、誰もが
個人の安全を確保し、暴力や身体から国家が保護する権利を有します。
政府関係者によるものであれ、
個人またはグループ」（原則5）。

LGBTQの人々は、ロシアの攻撃に特に懸念を抱き、脅迫している
ウクライナ。ウクライナでは、彼らの法的地位は何年にもわたって徐々に改善されてきましたが、
ロシアは反対の道を歩み、そのような人々に課せられた制限を着実に厳しくしている。
2013年以降、宣伝を促進するいわゆるプロパガンダを禁止する新しい法律の結果として
非伝統的な性的関係、ロシアのLGBTQの人々の法的状況は急速に
悪化しました。⁶¹¹2014年以降、反LGBTQ法の適用が延長されました。
ロシアの効果的な支配下にある領土、すなわちクリミア、ロシア
立法

が施行されており、いわゆるドネツクとルハンシクの「人民共和国」が採用されています
実質的に同一の法律。⁶¹²さらに、ロシアの管理下にあるすべての地域で、
同性愛嫌悪に動機付けられた暴力行為は増加しており、大部分は容認されているようです。

ウクライナに対するロシアの攻撃は、ウクライナのLGBTQコミュニティを警戒させました。あります

新たにロシアの支配下に入る地域が養子縁組を見る可能性があるという一般的な恐れ
または反同性愛者の法律。LGBTQの人々がリストに載っているという噂も広まっています
ロシア軍が連れてきたとされる殺害または収容所に送られる人の数
⁶¹³さらに、2022年3月6日に行われた彼の説教で、モスクワ総主教キリルは次のように述べています。
ロシアに特別な軍事行動を強いる主な「罪」の中でのゲイパレード
ウクライナでの活動。⁶¹⁴この状況により、LGBTQコミュニティの多くのメンバーが生まれました。
ウクライナの軍隊に参加するか、国を離れようとします。LGBTQの人たちのために
国に残り、軍隊に参加しない人、特別な避難所はされています
ウクライナのいくつかの都市に設立されました。ただし、これらのシェルターは視認性と
LGBTQコミュニティの脆弱性。2022年3月1日、（キーウの）避難所の1つは
攻撃され、そこにいる4人のLGBTQの人が、不特定の個人に殴打されました。⁶¹⁵これ
事件は適切に調査され、加害者は裁判にかけられなければなりません。

トランスジェンダーの人も特別な困難に直面しています。当初から報告されています
紛争の中で、何百人もの人々がウクライナの国境を越えようとしました。⁶¹⁶一部の人々は、
しかし、そうすることを妨げられ、合法であるにもかかわらず軍隊に加わることを余儀なくされた
彼らの文書における女性としての地位。書類を紛失したトランスジェンダーの人、または

⁶⁰⁹ECtHR、Frettévを参照してください。フランス、申請番号 36515/97、判決、2002年2月26日、パラ32;
イデントバと
その他v. ジョージア、アプリケーション番号 73235/12、判決、2015年5月12日、パラ96; 国連文書
CCPR / C / 119 / D / 2172/2012、G. v. オーストラリア、2017年6月28日、7.12。

テキストテキストは次の場所で入手できます：<http://yogyakartaprinciples.org/>、

ヘイリー・オット、「ロシアが留まると、一部のLGBTQウクライナ人は人権侵害を恐れる：「私たちは戦
う」、

CBSニュース、

2022年2月24日：

<https://www.cbsnews.com/news/ukraine-lgbtq-fear-human-rights-abuses-if-russia-invades/>

⁶¹²ルハンシク行政犯罪法第6.22条（第6.22条プロパガンダ

非伝統的

性的に露骨な資料（）。

クーパーアレックスクーパー、「国務省：ロシアにはLGBTQ+ウクライナ人を含む可能性のある「キルリス
ト」があります」、

提唱者、22

2022年2月：

[https://www.advocate.com/world/2022/2/22/state-dept-russia-has-kill-lists-may-include-lgbtq-](https://www.advocate.com/world/2022/2/22/state-dept-russia-has-kill-lists-may-include-lgbtq-ukrainians)

ウクライナ人。

モスクワの第一大司教のオフィスでの緊急サービス典礼の分野での家父長制

総主教区、2022年3月6日、で。<http://www.patriarchia.ru/db/text/5906442.html?fbclid=IwAR364NBBGQmorRmudkkzXIVaceABe6WQtuFJ-vq58lWFDEJXc9QiGKgRdwQ>。

⁶¹⁵Michael K. Lavers、「4人のウクライナLGBTQ活動家がKyivオフィス内で攻撃」、ワシントン

ブレード、3月1日

2022年：

<https://www.washingtonblade.com/2022/03/01/four-ukraine-lgbtq-activists-attacked-inside-kyiv-office/>

⁶¹⁶ネルソンCJ、「精神的に、私はまだウクライナにいます」：戦争の通行料の3人のトランスウクライナ人、それら、3月18日

2022年、<https://www.them.us/story/trans-ukranians-war-refugees>。

83

長い官僚的な手続きに、彼らの新しいものを反映する文書をまだ持っていません
ジェンダー、同様の困難に直面しています。それはトランスジェンダーのBorysKruglovの場合でした
（歌手Zi Famelu、Zianzha）、男性の性別マーカーのために国境で立ち往生した
彼女のパスポートで、しかし最終的にウクライナから出ることに成功しました。⁶¹⁷
国境、トランスジェンダーの人は、場合によっては身体検査を受ける可能性があると報告しています
屈辱的な治療に相当します。また、薬局の閉鎖や不足により
薬、特定のトランスジェンダーの人はホルモンを使い果たし始めました、それは持っているかもしれませんが
彼らの健康に有害な影響。⁶¹⁸

7.ウォッチドッグス（人権擁護家およびその他の活動家）

脆弱な人々のさらに別のカテゴリーには、人権擁護家（HRD）などが含まれます
平和の時だけでなく、戦争の時も監視役を務める活動家。彼らのメイン
タスクは、状況を監視し、争われているイベントについての真実を確立して明らかにし、描くことです
彼らが明らかにするかもしれない不規則性への注意。このタスクにより、当局に人気がなくなります
報復と抑圧の措置に対して脆弱です。脆弱性が増しているため、
ウォッチドッグは特別なIHRL保護を必要としています。

1998年、国連総会は人権擁護家に関する宣言を採択しました
宣言は、「誰もが、個別に、そして
その他、人権の保護と実現を促進し、努力すること
国内および国際レベルでの基本的な自由」（第1条）。のリストが含まれています
HRDに付与された権利。また、国家は「必要なすべての措置を講じなければならない」と明確に述べていま
す。
管轄当局によるすべての人の保護を確保するために、/.../あらゆる暴力から、
脅迫、報復、事実上のまたは正当な不利な差別、圧力またはその他の恣意的
現在言及されている権利の彼または彼女の合法的な行使の結果としての行動
宣言」（第12条（2））。

ウォッチドッグが果たす重要な役割とその強化された保護の必要性は
OSCE参加国によって繰り返し確認された（ヘルシンキ1975、マドリッド1983、ウィーン
1989年、ブダペスト1994年）。

現在の紛争は、HRDや他の活動家、特に生きている人々の立場を変えました。
ロシアの効果的な支配下にある地域では難しい。クリミアでは、いくつかのクリミアタタール人
活動家は、反逆罪や財政的支援などの疑わしい理由で逮捕されました
テロ。OHCHRは、次のように述べています。

とロシア軍が占領している地域のHRDに対する報復」。⁶²⁰これらの懸念いくつかのHRDやその他のように、十分に根拠があるようです新たに占領された地域の活動家はすでに行方不明または死亡が報告されています（セクションVB1）。OHCHRはまた、次のように述べています。

進行中の敵対行為と大規模な避難に対して、多くの人権擁護家（HRD）彼らの人権活動を遂行することができず、それは彼らがサポートする脆弱なグループ」。⁶²¹

⁶¹⁷「有名なトランスジェンダー歌手はウクライナを離れることができません」、ジェネリコ、2022年3月6日、で：

<https://generico.ru/2022/03/06/famous-transgender-singer-not-allowed-to-leave-ukraine/>。

Enz Lorenzo Tondo、"私は囚人にされません": トランスジェンダーの女性はウクライナに引き返しました国境、

アイリッシュタイムズ、2022年3月22日、で：

<https://www.irishtimes.com/news/world/europe/i-will-not-be-held-prisoner-the-transgender-women-turned-back-at-ukraine-s-borders-1.4833204>。

⁶¹⁹国連総会、個人、グループ、およびの臓器

普遍的に認められた人権と基本的自由を促進し保護する社会、3月8日1999年、国連文書。A / RES/53/144。

⁶²⁰OHCHR、HRMMUアップデート、op。引用、パラ1。

⁶²¹OHCHR、HRMMUアップデート、op。引用、パラ1。

84

8.国内避難民（IDPS）

国内避難民とは、「強制または義務付けられた人または人のグループ」です。

逃げたり、家や場所を離れたりする

常居所、特に結果として、または

武力紛争の影響、一般化された暴力の状況、

人権または自然災害または人為的災害、および国際的に横断していない人

認められた国境」。⁶²²それらは一般的な人権文書と

内部変位に関する国連指導原則。指導原則は合法ではありませんが

拘束力のあるOSCE参加国は、「

OSCEの仕事」。⁶²³指導原則は、IDPが完全に平等に享受することを強調している。

国際法および国内法の下で、他の人と同じ権利と自由

国」（原則1（1））。

国際移住機関（IOM）の調査によると、3月25日までに⁶²⁴

2022年、紛争の直接の結果として、ウクライナでは約648万人が避難しました。

IOMはまた、新たに避難した人々の13.5%がすでに2014年から2015年までの変位。国内避難民の53%以上が女性であり、多数の国内避難民もいます子供、高齢者、障害者、その他の脆弱なグループの約186,000 IDPは第三国国民です。

国連指導原則の原則6は、恣意的な移動を禁止しています。の状況で武力紛争、恣意的な移動は、治安部隊が必要としない移動に相当します関与する民間人または命令的な軍事的理由の。からの民間人の避難人道回廊を介して包囲された都市や町は、この条件を満たす可能性があります。Theただし、避難は原則8で予見される条件の下で行われなければならない。

「生存権を侵害するような方法で移動を行ってはならない。影響を受ける人々の尊厳、自由、安全」。繰り返され、ほとんどを示すレポートがあります人道回廊を通過する民間人に対するおそらく意図的な攻撃。⁶²⁵また、高齢者や人などの脆弱なグループのメンバーが障害があると、安全を確保するのがますます困難になります。⁶²⁶国外追放と強制送還上記の条件を満たさない民間人の割合は、原則6に違反し、また人道に対する罪を構成する(RSの第7条(1)(d))。セクションVB3で述べたように、効果的な管理下にある地域へのウクライナの民間人のそのような国外追放についての報告ですロシアの、あるいはロシアへ。

IDPは、移動の過程を通じてIHRL基準の保護下にあります。彼らは、殺人、直接または無差別を含むあらゆる暴力行為から保護されなければなりません。攻撃、戦闘方法としての飢餓、人間の盾としての使用、または彼らに対する攻撃キャンプと集落(原則10)。多くのウクライナのIDPは、ホストされている暫定的な避難所に滞在しています学校、教会、劇場、ミュージックホール、地下鉄の駅で。そのようなものに対するいくつかの大規模な攻撃マリウポリ劇場と生神女就寝スヴィアトゴルスクへの攻撃を含む避難所

⁶²²国連文書。E / CN.4 / 1998/53 / Add.2、op. 引用、パラ2。

⁶²³OSCE、決定番号 寛容と非差別に関する4/03、マーストリヒト、2003年、パラ13。

⁶²⁴「ウクライナで国内避難民となった約650万人」、IOM、2022年3月21日、
で：
<https://www.iom.int/news/almost-65-million-people-internally-displaced-ukraine-iom>。Aも参照してください
から1か月
戦争の始まり、ウクライナの人口のほぼ4分の1が避難している、UNHCR、2022年3月25日、
で：
<https://www.unhcr.org/news/briefing/2022/3/623da5894/month-since-start-war-quarter-ukraines-population-replaced.html>。
置き換えられた.html。

⁶²⁵Dmitry Zaks、Dave Clark、'ウクライナは、ロシアが人道回廊を攻撃したとして非難している民間人は都市から逃げる」、
タイムズオブイスラエル、2022年3月8日、次の場所で。
<https://www.timesofisrael.com/ukraine-accuses-russia-of-attacking-humanitarian-citizens-fleeing-cities/>。
人道回廊-市民として-逃げる都市/。

⁶²⁶UNHCR、ウクライナシチュエーションフラッシュアップデート # 4、2022年3月18日：
<https://reliefweb.int/sites/reliefweb.int/files/resources/Ukraine%20situation%20flash%20update%20No%204%20%2018%2003%202022.pdf>。

85

Lavraは、報告されており⁶²⁷、戦争犯罪を構成する可能性があります（セクションIV.F.12.b）。保護は、差別なくすべてのIDPが利用できるものとします（原則4）。三
ウクライナに居住許可を持っている外国人など、特定のIDPが
低い優先度で扱われます。⁶²⁸同時に、脆弱なIDPなどを優先します。
子供、妊娠中の女性、または高齢者は、この原則に違反するものではありません。

IDPは、市民的、政治的、およびECSの権利の完全なカタログを享受するものとします。
権利は侵害されておらず、状況が許すものである（原則10-23）。いくつかの
集合的な避難所、特に
包囲された都市と活発な敵対行為の地域（避難所が最初にあるべきではない場所）
場所）。そのような避難所はしばしば混雑していて、食糧、水、暖かい布の不足に直面しています。
と医療用品。プライバシーと性別の分離が欠如しているため、リスクが高まります
ジェンダーに基づく暴力とCovid-19を含む感染症の伝染の。IDP
人道支援への妨げのないアクセスがなければなりません（原則24-27）。

IDPは、「自発的に、安全に、尊厳を持って、自宅や場所に戻ることを許可されなければなりません。
常住の、または国の別の場所に自発的に再定住すること」（原則28（1））
そして、それらを管轄する州の国家当局は、彼らを促進しなければならない。
戻る
または可能な限り再定住。帰国または再定住の際、IDPは返還を受ける権利があります
彼らの財産と所有物の、またはそのような返還が不可能な場合は、国家当局
しなければならない
それらを提供するか、補償または単なる補償の別の形式を取得するのを支援します
（原則29（2））。

ウクライナでは、IDPの法的地位は、権利の確保に関する法律によって規制されています。
2014年10月20日に採択された内部避難民の自由。⁶²⁹
第4条（1）、「内部変位の事実は、登録証明書によって証明されるものとする。
内部避難者の」。登録は内閣の決議によって規制されています
大臣の 内部避難者の登録に関する509。⁶³⁰この規則には
最近、IDPとして登録する資格のある人のリストを去る人に拡大するために修正されました
2月24日のロシアの攻撃と武道の宣言に続く彼らの家
2022。⁶³¹法と規制の個人的な範囲は、もはや市民に限定されていません
ウクライナですが、領土に恒久的に居住する無国籍者と外国人を含みます
ウクライナの。法律は、権利と自由に基づく行使における差別を禁止しています
内部変位について。IDPが他のIDPと同じ権利と自由を持っていることを確認します
人口の。これにより、IDPは一時的な居住地を解放し、医療にアクセスし、
毎月の対象を絞った支援（2〜3,000 hrivnas）。また、支援者にメリットをもたらします

IDP、通常はIDPを採用している起業家。

2021年に実施された国連の調査では、この法的枠組みとその法的枠組みの欠陥が明らかになりました。実装。⁶³²特定のメリットとサービスへのアクセスをIDP登録、フレームワークはこの登録を永続的なステータスに変えるリスクがありました。またIDPの雇用率は他の人口よりも大幅に低いことに留意しました。

Hugo Bachega、「ロシアは民間人を保護する劇場を攻撃する-ウクライナは言う」、BBC、2022年3月17日、で：

<https://www.bbc.com/news/world-europe-60772331>; ステファニー・マーティン、'ロシアの福音派指導者お詫び申し上げます

1,000人が攻撃した修道院としてのウクライナのキリスト教徒'、教会指導者、2022年3月14日、次の場所で。<https://churchleaders.com/news/419497-russian-evangelical-leader-christians-in-ukraine-monastery.html>。

⁶²⁸ウクライナ：ブロック、遅延のパターンから逃げようとする外国人に対する不平等な扱い非ウクライナ人、

HRW、2022年3月4日、場所：

<https://www.hrw.org/news/2022/03/04/ukraine-unequal-treatment-foreigners-trying-to-escape>。

ウクライナのアイコン№1706-VII発効日と発効日を確認するために、6月20日2014年。

⁶³⁰ウクライナ閣僚会議、ポストNo. 509受賞歴のある賞の提供、2014年6月1日。ウクライナ大臣内閣、ポストNo.269この記事は文部科学省に提出されます。
ородкпро..13..13 13131313н...1313 13 13 13 ... 13

⁶³²国連、国内避難民の包含、ブリーフィングノート、2021年6月。

86

住宅を見つけるのに長引く困難に直面していて、物理的および補償へのアクセスを得るための官僚的なハードル。これらを確認することが重要です。欠陥は現在の状況では再現されておらず、すぐに修正されます。状況は許します。

ウクライナ>IDPも、ロシアの効果的な管理下にある地域に住んでいます。ミッションこれらの人物の法的地位および事実上の状況に関する情報を受け取っていません。それらの人々の強制送還と強制移送についての憂慮すべき報告は別としてロシアまたはロシアの効果的な管理下にある領土。

E.結論

ミッションは、現在の紛争がIHRLに与える影響を検討しました。されていない間IHRLの違反を含む可能性のある報告されたすべての事件を検証することができ、それは発見した基本的な人間の違反を含む、そのような違反を示唆する信頼できる証拠

権利（生存権、拷問およびその他の非人道的で品位を傷つける扱いの禁止および罰）は、主にロシアの効果的な管理下にある地域で行われている。ミッションはまた、紛争が人間の楽しみに与える影響についても結論付けています。権利は、これらの権利の直接の侵害を超えています。高レベルの破壊し、重要なサービス（教育、医療など）の提供を妨害することにより、ロシアによるウクライナへの不法な攻撃によって始まった紛争は、ウクライナは、住民の人権を効果的に尊重し、保護し、履行する。最後に、ミッションは、紛争がウクライナの人口全体に影響を及ぼしている一方で、それは、次のような脆弱なグループに属する個人に特に悪影響を及ぼしました。女性、子供、高齢者または障害者。

ミッションは、ウクライナに対するロシアの攻撃自体が可能性があるかどうかを結論付けることができませんでした

民間人を対象とした広範囲または体系的な攻撃と見なされます。しかしそれは繰り返し行われているIHRLに違反する暴力行為のいくつかのパターンが標的殺害、強制失踪、またはジャーナリストや地方公務員を含む民間人の誘拐は、これに会う可能性が高い資格。この種の攻撃の一部として行われた、この種の単一の暴力行為その知識は、人道に対する罪を構成します。

VI. IHLと人権の説明責任を確保する 違反、戦争犯罪および人道に対する罪

A.説明責任に関連する義務

時間、リソース、紛争地域へのアクセスに関する制約のため、ミッションは違反を個人に帰するものではありません。ミッションは、しかし、ロシア、ウクライナを思い出させますそして、この点での義務のすべての参加国との概要を提供します既存および提案されている国際的なメカニズム。

1.調査する義務

IHRLの下では、生存権が尊重されるためには、あらゆる暴力的な死を調査する必要があります。IHLの下では、これは戦争犯罪があったという合理的な疑いが存在する場合にのみ必要です。関与する。しかし、予備的な事実調査は民間人が殺害された可能性がある、または負傷した、または少なくともこの結果がなかった場合期待されます。⁶³³

⁶³³国連文書。A / 68/389、昇進と保護に関する特別報告者ベン・エマーソンの報告人間のテロリズムに対抗する際の権利と基本的自由、2013年9月18日、パラグラフ42、45、78。ICRCと

2.戦争犯罪および犯罪に対する抑圧の義務

人類

国際的な武力紛争におけるほとんどの戦争犯罪は、ジュネーブの「重大な違反」を構成します。条約と議定書I.IHLは、そのような墓を罰するための法律を制定することを国に要求している違反、そのような犯罪を犯したとされる人物を捜索し、それらを前に連れて行くこと。彼ら自身の裁判所または起訴のために彼らを別の州に引き渡すために。⁶³⁴ ミッションは注意を払ったウクライナ検察庁が持っている情報に満足して

2月24日以来、3100件以上の戦争犯罪調査を開始しました。それは合法ですが

また、IHLは、そのような調査が不利な立場にある人にも関係することを要求しています。

党、ミッションは、これらの調査のどれもウクライナの兵士に関係していないようだと述べています。

戦争犯罪を起訴する義務は、強制的な普遍的管轄権の対象となります。⁶³⁵

ミッションは、ウクライナでの出来事に続いて、いくつかのヨーロッパの州が始まったことを歓迎します。状況に関する刑事調査または予備調査を行い、

普遍的管轄権の原則の下での義務は真剣に。ミッションも歓迎します

ICC検察官カリムAAカーンQCが調査の開始を発表したこと

受け取った41の州の紹介に基づくウクライナの状況。これには戦争犯罪が含まれます

ウクライナの領土で2月24日以降に犯された人道に対する罪。The

ミッションは、ウクライナ大統領がまだ採択された法律に署名していないことを遺憾に思う

2021年5月、犯罪の犯罪化を含む、ローマ法を施行するVerkhovna Radaによる

人道に対する罪とすべての戦争犯罪に対して。そのような法律は、

ICCとウクライナの間の相補性の原則。

人道に対する罪に関しては、国際法廷および国内法廷の権限にあります。

そのような犯罪が起こったかどうかを調査し、最終的に見つけるため。このレポートは

そのような犯罪が犯された可能性が高いといういくつかの兆候（セクションVを参照）。によると

制定法第7条、国際刑事裁判所はそのような存在を調査することができます

犯罪。さらに、普遍性の原則により、いくつかの国の管轄区域は

人道に対する罪の加害者を連れてくる可能性のための彼らの刑法の法的根拠

たとえ犯罪が彼らの領土で起こらなかったとしても、正義に。ほとんどの場合、これには

裁判を受ける人は、それぞれの国で裁判に立つことができます。一部の国でも

欠席裁判も可能です。

3.修理

国家責任法の下で、IHLまたはIHRLの違反に責任のある国は

違法行為をやめ、適切な保証と非反復の保証を提供し、

賠償、補償または満足を含む完全な補償を行います。IACの場合、記事

ハーグ条約IVの3と議定書の第91条私は特に財政について言及します

補償。IHLの下で違反の犠牲者が個人を持っているかどうかは物議を醸しています

責任ある国からの賠償を請求する権利、しかしそのような権利と対応する権利

IHRLを等しく構成するIHL違反の救済策は確かに存在します

違反。この点で、救済と修理の権利に関する国連基本ガイドライン

2005年の国際人権法に対する重大な違反の犠牲者⁶³⁶をとる必要があります

考慮に入れます。

ジュネーブ国際人道法と人権アカデミー、調査に関するガイドライン
違反

of IHL : 法律、政策、グッドプラクティス、2019年、16-25。

⁶³⁴PI、Art 85 (1) が参照しているGC、Common Arts 49 (2) / 50 (2) / 129 (2) / 146 (2) を参照してください。

⁶³⁵GC、Common Arts 49 (2) / 50 (2) / 129 (2) / 146 (2) を参照してください。これは、PI、Art 85 (1) が参照しています。

⁶³⁶国連文書。A / RES / 60/147、救済および修理の権利に関する基本原則とガイドライン
犠牲者のために

国際人権法の重大な違反と国際人権の重大な違反

人道主義者

法律、2005年12月16日。

88

4.IHLを尊重し保証するための州の義務

私が読むジュネーブ条約と議定書に共通する第1条 : '高契約

締約国は、すべての[関連条約]を尊重し、尊重することを約束します

状況。' ICJは、この義務は慣習法にも存在すると判断しました。⁶³⁷

尊重する義務は、ウクライナとロシアがIHL違反に責任があることを意味します

彼らの軍隊、他の臓器や人、そして

それらに起因するもの（政府によって制定および/または管理されている職員など）

ルハンシクとドネツクの自称「共和国」内のロシア連邦）。の

さらに、州には、全人口によるIHLの尊重を確保するためのデューデリジェンスの義務があります

彼らの管理下にあります。これらの義務を超えて、関与していない国を含むすべての国

武力紛争では、防止し、もたらすために彼らの力の範囲内ですべてを合理的に行わなければなりません

ロシアとウクライナによって犯されたIHL違反を終わらせる。これは負の義務を意味します

そのような違反の実行および積極的な義務を奨励、支援、または支援すること

そのような違反を防止または終わらせるために、集合的または個別に対策を講じること。⁶³⁸

ミッションは、ロシアの

地域組織や国連総会を含む、IHLの違反

解像度。そのような義務は、ロシアを許可しているベラルーシによって等しく尊重されるべきです

その領土を使用してウクライナで軍事作戦を実施する。ミッションは次のことを確信しています

武器の供給を含め、ロシアの侵略に立ち向かうためにウクライナを支援している国は、

ウクライナのIHLの尊重を確保し、違反に終止符を打つために彼らの影響力を利用する

このレポートで言及されています。

5.IHLの違反を調査する必要性

中立で合法的な機関による公平で独立した信頼できる事実の確立

IHLとIHRLのより良い尊重を確実にすることに大きく貢献します。それはするために必要な基礎です。個人の説明責任と国家責任を確保する。それはウクライナ人とロシア人を許可します、真実を知るために、将来の世代を含みます。また、噂を防止または抑制するのに役立ちます、IHLが常に（少なくともそれぞれの敵によって）侵害されているという認識または宣伝、すべてそのうち、過去にさらなる違反につながっています。そのような事実調査はまた第三国を提供します状況に関する信頼できる情報を持ち、彼らが光の中で適切な決定を下せるようにしますIHLの尊重を確保するための前述の義務の。

ミッションは、そのような事実発見をするという前例のない意欲を満足して記しています。ウクライナでのIHLとIHRLの違反に。OSCEにおけるミッション自身の取り組みは別としてフレームワーク、例えば、国連人権理事会はの委員会を設立しました問い合わせ。

B.説明責任メカニズムの概要

重大な違反、特にこの国際人道法の間に行われたIHLへの対応

武力紛争、ウクライナ国内の多くの公的機関および民間のイニシアチブおよび国際的には、IHLの違反の疑いに関する証拠を収集することを約束しました。

戦争犯罪の可能性、IHRLの違反、人道に対する罪の可能性。の

ほとんどの場合、これらのイニシアチブは公開情報を使用します。公開情報はオープンから豊富に入手できます。

ソーシャルネットワークやパブリックおよびプライベートレコーディングなどのソース。レムキンのようなもの

ワルシャワのセンターは難民から情報を収集し、データベースを開発し、提供するものもあります分析。さまざまなイニシアチブのコラボレーションが増えていますが、

⁶³⁷ICJ、ニカラグア内外の軍事および準軍事活動に関する事件を参照（ニカラグアv。

アメリカ合衆国）、判決、1986年6月27日、パラグラフ220、255-6。

⁶³⁸ICRC、捕虜の扱いに関するジュネーブ条約IIIの解説、2020年、第1条

一般的な、パラグラフ186-206。

89

ウクライナの戦争犯罪調査のためのプラットフォーム-午前5時の連立、余地があります回避するためのより良い調整のために複製し、これらの取り組みをより効果的にします。

1.グローバルレベル

ウクライナでの出来事をすでに追跡しているいくつかの説明責任メカニズムがあります。

国際レベルでは、国連人権理事会は

2022年3月4日の決議により、独立国際委員会が設立されました。

人権侵害とIHLの乱用に対する説明責任を確保するためのウクライナに関する問い合わせ

ウクライナに対するロシアの侵略と免責を終わらせることに関連している。⁶³⁹その幅広い使命調査と証拠の収集、および対策に関する推奨事項が含まれます説明責任。これは、ウクライナの国連人権監視ミッションによってサポートされています。すでに2014年に設立され、私たちのミッションと貴重な情報を共有しました。⁶⁴⁰

ローマ規程の41の締約国からの紹介に基づく国際刑事裁判所そして2015年のウクライナによる宣言は調査を開始しました。⁶⁴¹これらもまたに基づいていますウクライナの2つの宣言を考慮して行われた予備調査。ウクライナが承認した2014年と2015年のローマ法の締約国戦争犯罪および人道に対する罪に対するICCの管轄権テリトリー。⁶⁴²

国家間の紛争を管轄する国際司法裁判所（ICJ）は、ジェノサイド条約の下で問題に押収され、2022年3月16日に示された暫定措置。ICJは、ロシア連邦に「直ちに停止するよう命じたウクライナの領土で2月24日に開始された軍事作戦」と「それによって指示または支援される可能性のある軍隊または不規則な武装部隊を確保し、その管理または指示の対象となる可能性のある組織および個人と同様に、軍事作戦を促進するためのステップはありません」。⁶⁴³残念ながら、この命令は軽蔑。ケースは続行することです。

IHLは、議定書の第90条で、国際人道的事実調査を規定しています。委員会（IHFFC）。IHFFCは、犯された重大な違反の申し立てを調査する場合があります事前または臨時でその管轄権を受け入れた州間のIACで。72の州がすでに必要な事前宣言を行っています。ウクライナと最近までロシアはIHFFCに事前に問い合わせる権利を与えるために必要な第90条（2）宣言IHL違反の申し立て。ロシアが2019年に宣言を撤回したことは残念です。現在紛争は、IHFFCがその紛争当事者へのサービス。条約の義務の外で、IHFFCは2017年にOSCEから要請を受けた、1人の救急救命士の死亡を調査するための調査

⁶³⁹国連人権理事会、ウクライナに関する独立国際調査委員会、4を参照

2022年3月、

<https://www.ohchr.org/en/hr-bodies/hrc/iicshr-ukraine/index>およびHRC-Resolで。49/1

人間の状況

ロシアの侵略に端を発するウクライナの権利。

⁶⁴⁰たとえば、2月24日から3月26日までのウクライナの人権状況に関する最新情報を参照してください。

https://www.ohchr.org/sites/default/files/2022-03/HRMMU_Update_2022-03-26_EN.pdf。

⁶⁴¹ウクライナの状況については、ICC、ICC検察官の声明、Karim AA Khan QCを参照してください：領収書紹介の

2022年3月2日、39の締約国と調査の開始から：[https://www.icc-](https://www.icc-cpi.int/Pages/item.aspx?name=2022-prosecutor-statement-referrals-ukraine)

[cpi.int/Pages/item.aspx?name=2022-prosecutor-statement-referrals-ukraine](https://www.icc-cpi.int/Pages/item.aspx?name=2022-prosecutor-statement-referrals-ukraine)。

⁶⁴²予備の結論については、ICC、検察官の声明、ファトゥ・ベンスーダを参照してください

での試験

ウクライナの状況、2020年12月11日、次の場所で。

<https://www.icc-cpi.int/Pages/item.aspx?name=201211-otp-statement-ukraine>。

⁶⁴³ICJ、犯罪の防止と処罰に関する条約の下でのジェノサイドの申し立て
またはジェノサイド
(ウクライナ対ロシア連邦)、命令、2022年3月16日。

90

ウクライナへのOSCE特別監視ミッションの2人のメンバーの負傷。⁶⁴⁴

ウクライナ、ロシア、OSCEは、この先例に基づいて構築することができます。

インターナショナルが主催する2つの会議からの提案もありました
国際的に強化するための法律家とオランダ王国の委員会
説明責任のメカニズム、拡張および永続的なメカニズムへの変換なしで
地理的な制限のような他の事実発見メカニズムからの経験
シリア (IIM) と独立のための国際的、公平かつ独立したメカニズム
ミャンマーの調査メカニズム (IIMM) は、
国際および国内の刑事手続。⁶⁴⁵これらすべてのメカニズムの主な目的の1つ
犯された犯罪に対する免責を防ぐことです。

2. ヨーロッパレベル

専門家の使命の報告書の調査結果は、提起された事件にも関連する可能性があります
関連する規則に従って、欧州人権裁判所の前に
欧州人権条約の非難は、16年までその管轄権を維持します
2022年9月。ロシアはECHRの下での義務を放棄していません。によると
欧州人権裁判所の法学 (例: Al-Skeini 対 英国、
Ilascu および その他 v. モルドバ と ロシア) で起こっている違反に対する説明責任があります
海外の締約国の効果的な管理下にある地域。⁶⁴⁶

ウクライナとウクライナ人のグループの要請に応じた欧州人権裁判所
2022年3月1日、4日、10日の市民は、ロシアが要求する緊急の暫定措置を示した
民間人および民間人 (住宅を含む) に対する軍事行動を控えること
施設、緊急車両、および学校や
病院、および医療機関、職員および
ロシア軍による攻撃または包囲下にある領土内の緊急車両 (2022年3月1日)。
2022年4月1日、暫定措置が拡大され、ロシア政府に次のように命じた。
避難経路は、民間人がウクライナのより安全な地域に避難することを可能にするべきです。⁶⁴⁷
残念ながら、これまでの暫定措置はほとんど無視されてきたようです。

2022年3月16日に欧州評議会からロシア連邦が撤退した後、
裁判所は、事実が発生するまでロシアに対して提起された事件に対処する能力を維持しています。

2022年9月16日。それまでは、次のような州間高速道路のアプリケーションの可能性もあります。それらのウクライナは過去にすでにロシアに反対している。

効果的な訴追を確実にするために、欧州連合加盟国は、
欧州逮捕状。それはすべての欧州連合加盟国が逮捕し、転送することを要求します
犯罪容疑者または有罪判決を受けた者。ヨーロッパの州および機関
証拠を得るために協力することもできます。そのような協力はまたするために確立することができます
第三国を支援します。ウクライナの場合、Eurojustはasの設立を支援しています
戦争中の調査を容易にするためのリトアニア、ポーランド、ウクライナの共同調査チーム
犯罪、人道に対する罪およびその他の中核犯罪。⁶⁴⁸

⁶⁴⁴に関連する独立した法医学調査の報告書のエグゼクティブサマリー
影響を与えるインシデント

2017年4月23日（2017年）のウクライナへのOSCE特別監視ミッション（SMM）パトロール。

⁶⁴⁵ICJ、レポートの発表：説明責任メカニズムの未来-20の推奨事項、15

11月

2021年：

<https://www.icj.org/report-launch-the-future-of-accountability-mechanisms-twenty-recommendations/>。

⁶⁴⁶セクションVA3を参照してください。

⁶⁴⁷特にECtHR、暫定措置の拡大に関する2022年4月1日のプレスリリース116を参照してください。

関係で

ウクライナでのロシアの軍事行動に。

⁶⁴⁸欧州連合刑事司法協力庁を参照、Eurojustは共同をサポート
調査チーム

2022年3月28日、ウクライナでの主要な国際犯罪の申し立て：

<https://www.eurojust.europa.eu/news/eurojust-support-joint-investigation-team-alleged-core-international-crimes-ukraine>。

91

3.全国レベル

国の管轄のレベルでは、ウクライナ検事総長室は
戦争犯罪および人道に対する罪の申し立てに関する調査を開始しました
ロシア人。⁶⁴⁹また、ウクライナの犯罪に対する説明責任に関する法務タスクフォースを設立しました。⁶⁵⁰
ロシアは、さまざまな刑事手続を開始する調査委員会を設立しました
ウクライナの砲撃の疑惑の事例。⁶⁵¹ミッションは、両国が
自分の党に属する容疑者への調査。また、他の検察官は
ドイツ語、リトアニア語、またはポーランド語は、それぞれに基づいて調査を開始しました
国内法。⁶⁵²

関心を持ってウクライナに対する侵略のための特別法廷を設立する提案があります
州。⁶⁵³ただし、このアプローチのメリットについてはさまざまな見解があります。⁶⁵⁴

同様に、いくつかの非政府組織が不処罰の防止に取り組んでいます
ジャーナリストへの攻撃のためのIFEX「免責キャンペーンなし」など。

説明責任には、裁判所などで使用される違反事件の確実な準備が必要です。
フォーラム。デンマークのリーダーシップの下でいくつかの州が「機能するグローバルプラットフォーム」を
立ち上げました
ウクライナに対するロシアの侵略に続く説明責任のために」。⁶⁵⁵それは恩恵を受けることができます
デンマークで設立された「ベラルーシの国際説明責任プラットフォーム」の経験
主要な人権を文書化するために、いくつかの国の支援を受けて専門のNGOによって運営されています
ベラルーシに関する報告書の勧告に応じたベラルーシでの違反
2020年のモスクワメカニズム。⁶⁵⁶ドキュメントを調整し、安全な保管を保証します
司法機関やその他の調査機関が使用できるような品質の犯罪に関するデータの
国連のベラルーシに関する調査ミッションのようなメカニズム
犠牲者と目撃者の適切な保護の。

⁶⁴⁹ウクライナの検察庁のホームページを参照してください。

<https://gp.gov.ua/ua/categories/novini>。

⁶⁵⁰「ウクライナ政府が責任に関する法務タスクフォースの創設を発表」を参照

犯罪

ウクライナでコミットされた'、Doughty Street Chambers、2022年3月29日、次の場所で。

[https://www.doughtystreet.co.uk/news/government-ukraine-announces-creation-legal-task-force-accounta](https://www.doughtystreet.co.uk/news/government-ukraine-announces-creation-legal-task-force-accountability-crimes-ukraine)
能力-

犯罪-コミット-ウクライナ。

⁶⁵¹ : <https://en.sledcom.ru/press/cases/item/1019984/>。

⁶⁵²たとえば、「ドイツがウクライナで疑わしい戦争犯罪の調査を開始」、アルジャジーラ、8を参照してくだ
さい。

2022年3月、

で :

<https://www.aljazeera.com/news/2022/3/8/germany-launches-probe-into-suspected-war-crimes-in-ukraine>;

および : 「戦争犯罪を試みるためのリトアニア人、ポーランド人、ウクライナ人の検察官」、LRT、2022年3
月29日、 :

[https://www.lrt.lt/en/news-in-english/19/1656900/lithuanian-polish-ukrainian-prosecutors-to-probe-wa](https://www.lrt.lt/en/news-in-english/19/1656900/lithuanian-polish-ukrainian-prosecutors-to-probe-war-crimes)
r-犯罪。

⁶⁵³Rtを参照してください。Hon Gordon Brown et al、特別法廷の創設を求める声明

の罰

ウクライナに対する侵略犯罪、2022年3月4日、次の場所で。

[https://www.eurointegration.com.ua/files/a/a/aad78ad-](https://www.eurointegration.com.ua/files/a/a/aad78ad-結合されたステートメントと宣言-1-.pdf)
結合されたステートメントと宣言-1-.pdf。

⁶⁵⁴ケビン・ジョン・ヘラーを参照してください。

アイデア、で :

[https://opiniojuris.org/2022/03/07/creating-a-special-tribunal-for-aggression-against-ukraine-is-ab](https://opiniojuris.org/2022/03/07/creating-a-special-tribunal-for-aggression-against-ukraine-is-abad-idea/)
ad-idea/。

⁶⁵⁵「参照」を参照デンマークは、ロシアの侵略に続く説明責任のために機能するグローバルプラットフォームを立ち上げました

に対して

ウクライナ⁶、外務省、2022年3月25日、次の場所で。

<https://via.ritzau.dk/pressemeddelelse/denmark-launches-global-platform-to-work-for-accountability-following-russias-aggression-against-ukraine?publisherId=13560888&releaseId=13646957>。

⁶⁵⁶OSCE、ベラルーシに関する報告書、2011年5月28日、<https://www.osce.org/files/f/documents/6/b/78705.pdf>、
のために

国際説明責任プラットフォームは、<https://iapbelarus.org>を参照してください。

92

VII. 一般的な結論

結論として、現在の状況下では、ほとんどの主張の詳細な評価

IHL違反の件数と戦争犯罪および人道に対する罪の特定

特定の事件は不可能でした、ミッションはIHL違反の明確なパターンを発見しました

調査された問題の多くについてロシア軍によって。これは特に彼らの懸念です

敵対行為。非常に多くの民間人が殺され、

家、病院、文化財、学校、

高層住宅、管理棟、刑務所、警察

ロシアが

区別、比例、および予防措置の観点から、IHLの義務を尊重していました。

ウクライナで敵対行為を行っています。マリウポリの包囲の実施は極端な例です。

ウクライナの一部でのロシア軍の行動の多くは、24の前後に占領しました

2022年2月、その代理人を通じて、ドネツクと自称「共和国」を含む

ルハンシクは、同様に軍事占領のIHLに違反しています。

ウクライナの慣行に関しても、いくつかの違反と問題が確認されました。ミッション

もともと考えられていた捕虜の扱いについて特に懸念している

犯罪者であり、ジュネーブ条約IIIと互換性のない方法で扱われます。一般的、

ロシアではなくウクライナが死、負傷または破壊の一部を引き起こしたという主張

メディアによると、ウクライナ当局とロシアへのNGOは確認できなかった。

ミッションはまた、によって認められた少数の捕虜に驚いています

両党とも、ジュネーブが規定したICRC訪問の恩恵をまだ受けていないことを後悔している

コンベンションIII。

ミッションはまた、現在の紛争が人権に与える影響についても検討しました。それが

IHRLの違反を伴う可能性のある報告されたすべての事件を検証することができなかった。

それは、そのような違反を示唆する信頼できる証拠を発見しました。

基本的人権（生存権、拷問およびその他の非人道的で品位を傷つけることの禁止

治療と罰）、主に効果的な領域の下でコミットされています

ロシアの支配。ミッションはまた、紛争が
人権の享受は、これらの権利の直接の侵害を超えています。を引き起こすことによって
高レベルの破壊と重要なサービス（教育、
ヘルスケア）、ロシアによる不法な攻撃によって開始された紛争は、
ウクライナは、住民の人権を効果的に尊重し、保護し、履行する。

ミッションはまた、紛争が
ウクライナ、それは脆弱なグループに属する個人に特に悪影響を及ぼしました、
女性、子供、高齢者、障害者など。

ミッションは、ウクライナに対するロシアの攻撃自体が次のように適格であるかどうかを結論付けることができません。

民間人を対象とした広範囲にわたるまたは体系的な攻撃。しかしそれは成り立つ
IHRLに違反する暴力行為のいくつかのパターンは、
標的殺害、強制失踪、拉致などの紛争の過程
ジャーナリストや地方公務員を含む民間人は、この資格を満たす可能性があります。どれでも
この種の単一の暴力行為は、そのような攻撃の一部として、
それは、人道に対する罪を構成します。

このレポートの調査結果は、一部は短期間であるため、必然的に予備的なものです。
進行中の武力紛争の文脈での調査の結果、彼らは他の機関の詳細を知らせることができます
法的説明責任に関する詳細な調査。調査結果はまた確立に貢献するかもしれません
政治的説明責任。IHLとIHRLの違反に関しては、責任は両方です
ロシア連邦とウクライナがそれぞれの義務を遵守することについて。このレポートとして

93

ショー、違反はウクライナ側だけでなくロシア側でも発生しました。違反
しかし、ロシア連邦によってコミットされた
規模と性質がはるかに大きいです。

説明責任の原則の実施に関して、ミッションはいくつかの点に注意します
グローバル、リージョナル、および
公的および私的アクターの両方による全国レベル。それは最初に貢献することができましたが
事実の収集と分析、特に以下の場合、より詳細な調査が必要です。
戦争犯罪に対する個人の刑事責任を確立することに関して。これは裁判所の任務です
これは、専門家組織による証拠の収集と
によるパターンと特定のインシデントの評価
私たち自身のような探究の使命。

94

専門家の使命の報告に対するウクライナのコメント、

国際人道主義の違反に対処するために設立されました
人権法、戦争犯罪、人道に対する罪
ロシアのウクライナに対する侵略戦争中に犯された

ウクライナは、途方もない仕事をしてくれた専門家の使命に感謝の意を表します
国際人道主義の違反を調査するために達成された
そして人権法、戦争犯罪および人道に対する罪によって犯された
進行中の侵略戦争中のロシア連邦とその軍隊
ウクライナに対して。

専門家のミッションのレポートで強調されているように、「ミッションは明確なパターンを見つけました
調査された問題の多くに関するロシア軍によるIHL違反。これ
特に敵対行為の懸念。そんなに多くの人がいるとは考えられません
民間人は殺されたり負傷したりしていたでしょうし、
住宅、病院、文化財、学校、高層住宅、
管理棟、刑務所、警察署、給水所
ロシアが持っていたら、電力システムは損傷または破壊されていただろう
区別、比例、予防措置の観点からIHLの義務を尊重しました
ウクライナで敵対行為を行う際に。マリウポリの包囲の行為は
極端な例。ウクライナの一部でのロシア軍の行動の多くはそれ
2022年2月24日の前後に占領され、その代理人を通じて、自己
ドネツクとルハンシクの宣言された「共和国」は、軍のIHLに等しく違反します
職業。 "

レポートを包括的に読むだけで、
ロシアが犯した膨大な量の残虐行為の全体像
ウクライナ、特定された違反と調査結果のいくつかに注意を向けたいと思います
専門家の使命による：

-ロシアは侵略者であり、したがって、
ウクライナ;

-そのような違反を示唆する信頼できる証拠
基本的人権（生存権、拷問およびその他の非人道的権利）
と品位を傷つける扱いと罰）、主に
ロシアの効果的な管理下にある地域。

-クラスター爆弾のロシア軍による議論の余地のない使用、
大きな爆弾やミサイル、無誘導ミサイル、大砲などの大きな爆風半径
迫撃砲、多連装ロケットシステム（MLRS）、およびによってリリースされたダム爆弾
航空機および焼夷兵器、白リン弾および
人口密集地域での熱気化爆弾または真空爆弾。

-ロシア軍が民間人を逮捕したという信頼できる報告
ジャーナリストは、何の手続きもなしに、
拷問;

-多くのロシアの兵士によって犯された集団レイプを含むレイプの申し立て
ウクライナの他の地域。ミッションは、レイプまたは他の形態の性的行為を想起します
暴力は、人道に対する罪または戦争犯罪を構成する可能性があります。

-繰り返し文書化されているIHRLに違反する暴力行為のパターン
標的殺害、強制失踪、または
ジャーナリストや地方公務員を含む民間人の拉致。

-ミッションは、紛争がすべての住民に影響を及ぼしていることを発見しました
ウクライナの、それはに属する個人に特に悪影響を及ぼしました
女性、子供、高齢者、
障害;

-ほとんどの場合、攻撃角度、使用された弾薬、およびヒットしたオブジェクトが明確に示されます
そのような攻撃はロシアに起因すること。

2

-ロシア連邦による申し立ては、ウクライナが確認できなかった
ロシア軍ではなく、死、負傷、破壊の一部を引き起こした
ロシアに起因する;

-ミッションは、写真を伴うこともあるいくつかの報告を受けました
証拠、マークするために赤十字のエンブレムのロシア軍による使用を主張する
ウクライナの旗、軍隊または警察の制服または車両の軍用非医療車両、
軍事作戦を容易にするための白旗、民間服、OSCEシンボル。

ウクライナは、OSCEとその参加国の個別の注意を
真剣な国際調査の必要性に関するミッションの結論、その場で、
「ロシアでの多数の民間人の即決処刑」を調査する
キーウの近くの村、特にブチャと
ロシア軍の撤退の機会。の写真やビデオがあります
民間人が一部手を縛られて路上で殺害され、1人または
より多くの集団墓地。この証拠は、主要な戦争犯罪と
ロシア軍によってコミットされた人類。」

ウクライナはまた、いくつかの追加の説明と情報を提供したいと考えています
以下に記載されているレポートの規定。

1. 「2022年2月24日、ロシア連邦がウクライナを侵略した」 [
報告する]。ウクライナのコメント：ロシアがウクライナを侵略した（自治共和国
クリミア）2014年2月20日。欧州司法裁判所の決定による。
ウクライナの場合の権利v。ロシア（クリミア半島）ECHRは、ロシアが
以来、クリミア自治共和国を効果的に管理してきました。
2014年2月27日。2014年4月、ロシアは東部で武力攻撃を開始しました。

ウクライナとドネツクおよびルガンスク地域の占領地。

2. 「クリミア半島とセヴァストポリ、およびドネツクとルハンシク地域の一部。

ドネツクとルハンシクの自称「共和国」によって支配されていた

2022年2月24日より前にすでに占領された領土：クリミア、ロシアが直接、

そして他の2つの領土-主に「共和国」の当局を通じて、

ロシアが全体を支配している」。[レポートの18ページ]。コメント

ウクライナ：ウクライナは、モスクワメカニズムの専門家が明確に

ドネツクの特定の地域の占領の事実を明確に認識し、

2014年以降のロシア連邦によるウクライナのルハンシク地域。

「いわゆるドネツク共和国とルハンシク共和国」、いわゆるドネツクという用語の使用

とルハンシク「人民共和国」、ドネツクの自称「共和国」と

ルハンシク」と報告書の同様の用語、ウクライナは正しいことを強調している

用語は「ドネツクとルハンシク地域の一時的に占領された地域」です

ウクライナの」。

3. 「ベラルーシは、その領土を使用してロシアの攻撃を開始することを許可していますが

ウクライナ、ミッションは4月1日の時点で、IACの当事者ではないと見なしています。」[ページ

レポートの5]。ウクライナによるコメント：米国の第3条によると

侵略の定義に関する国連総会決議3314（XXIX）、

「国が自由に使えるようにした領土を許可する際の国家の行動

別の州、攻撃行為を実行するために他の州によって使用される

第三国に対して」は、侵略行為としての資格があります。との緊急会議で

ウラジーミル・プーチン、オレクサンドル・ルカシェンコは、彼らが維持することに同意したと発表しました

ベラルーシに駐留するロシア軍。また、確認済みの商品が多数あります

ロシアによるベラルーシの領土の使用を実証した事実

ウクライナの領土への彼らの違法な攻撃を排除します。特に、ロシアの戦車は

歩兵戦闘車、およびロシアの重火炎放射器システムが移動されました

3

ベラルーシ南西部からウクライナの領土に、センキフカで渡ります

チェックポイント; ロシアはモギリョフ地域からウクライナに向けてミサイルを発射した。

2022年2月23日（前日）に公開されたマクサー衛星画像

攻撃）は、ロシアが100台以上の車両を配備したことを示しました

ベラルーシ南部のポリショイボコフ飛行場にある数十の部隊シェルター

マズィルの。この新しい展開は、ウクライナから20km未満です。

国境。前述のほかに、ベラルーシ軍も

ベラルーシからの以前の主張にもかかわらず、ウクライナに対する攻撃に参加する

ベラルーシはいかなる軍隊にも参加しないとのリーダーOleksandr Lukashenk®

国に対する行動。'さらに、ベラルーシの報告書の比較-

ロシアへの「援助」と呼ばれ、実際にはウクライナに対する攻撃を構成し、

NATOのウクライナへの支援は無効です。

4. 「ミッションはロシアが持っていると考えするのに十分な要素を持っていません

原子力発電所に関する特定の義務に違反した」[39ページ報告する]。ウクライナのコメント：ロシア連邦は強制的に支配権を握った核物質が配置されている核施設と損傷した建物のウクライナの核サイト、それによって彼らの安全で確実な運用を損なう原子力事故や事故のリスクを大幅に高めます。によって引き起こされるリスクロシアの侵略は、ウクライナ、その近隣諸国の人口を危険にさらしますそして国際社会。挑発されていない、正当化されていない軍隊ウクライナに対するロシア連邦の侵略は重大な違反を構成します特定の原子力関連の義務を含む国際法の。特に、IAEA総会全会一致の決定GC（53）2009年12月13日「平和に捧げられた核施設に対する武力攻撃と脅威目的は、国連憲章の原則の違反を構成します、国際法と序の法令」。その解像度でGOV/2022/17または2022年3月3日IAEA理事会は、ロシアに「直ちに停止するよう求めたチェルノブイリ原子力発電所およびその他の原子力発電所に対するすべての措置管轄のウクライナ当局が保存またはウクライナの国際的なすべての核施設の完全な制御を迅速に取り戻す認識された国境とその安全で確実な運用を確保するために、そしてエージェンシーは、以下を含むセーフガード検証活動を完全に再開します。重要な会計と管理の必要な検証」。ロシアも違反しています原子力安全の分野におけるいくつかの基本原則が国際的に認められたIAEA勧告（IAEA安全基準）、18の特定の違反のリストを含みます。修正された前文も思い出します核物質の物理的保護に関する条約（A / CPPNM）国連憲章の第2条に、「すべてのメンバーは彼らの国際関係において、に対する脅迫または武力の行使を控えなければならない。領土保全または国家の政治的独立、またはその他の方法国連の目的と矛盾している」。さらに、思い出しますA / CPPNMの第2.4条（c）は、「この条約のいかなる規定も核に対して力を使用する、または使用すると脅迫する合法的な許可として解釈される平和目的で使用される物質的または核施設」。軍の駅チェルノブイリ原子力発電所の工業用地にあるロシア軍の車両ザボリージャ原子力発電所は議定書第59条の重大な違反を構成します1949年8月12日のジュネーブ条約に加えて、1977年6月8日の国際武力紛争の犠牲者の保護（プロトコルI）。

4a) 「ミッションは、2022年2月24日にロシア軍が支配権を握ったことを理解しているインストールを超えましたが、攻撃しませんでした。ロシア軍はウクライナ人を許可した

¹https://twitter.com/Phil_Lewis_/status/1496720862053076995

ウクライナによる：2022年2月24日、ロシア連邦の軍隊
ベラルーシの領土からウクライナの国境を越え、すべての核を押収した
国家専門企業「チェルノブイリ原子力発電所」の施設、
除外ゾーン内にあります。チェルノブイリ原子力発電所の運転員（
合計92人）とウクライナ国家親衛隊の兵士（合計約
130人）はロシア軍によって人質になりました。のシングルシフト
職員は2022年3月20日まで現場に留まり、職務を遂行し続けました
銃を突きつけて。これは、NPPの既存のすべての安全規制に対する露骨な違反です。
手術。のかかなりの数の重軍機械の動き
除外ゾーンを通過するロシア軍は、
ガンマ線線量率。この事実は、関連する検出によって広く観察されました
多くのヨーロッパ諸国のシステム。28-29.03.2022の期間中の山火事
チョルノービリの地域で高度に汚染された「赤い森」は、
グリーンピースを含むいくつかの国際機関とNGO。起源として
現在、ウクライナの管轄当局によって山火事の調査が行われています。
除外ゾーンでの山火事が引き起こされたことを示す多くの兆候でした
ロシアの軍事活動によって。ロシアの占領下で、ウクライナの火事
サービスが完全に機能していないため、迅速に対応できませんでした
火を消すか制限するため。その結果、発電所の労働者とその家族
スラヴィティチ市と除外外の発電所の近くに住む人々
ゾーンは、再懸濁された汚染の影響を受けるリスクがあります。
火事とロシア軍の車両が高度に汚染されたゾーンを横切っています。
したがって、ロシアからの暴力の巨大なストレスと脅威に加えて
チェルノブイリ原子力発電所の現場での軍隊、その職員は
放射性森林火災による追加のリスク。

4b) 「ミッションは、2022年3月4日にロシア軍が支配権を握ったことを理解している
設置を超えたが、危険を解放した可能性のある建物を攻撃しなかった
損傷した場合、力。」[レポートのpp.38-39]。ウクライナによるコメント：3月4日
2022年ロシア軍がザポリージャ原子力発電所を意図的に砲撃した
NPPのあらゆる側面から火災を引き起こします。長い間、ウクライナ国
救急隊は、止められない砲撃のために停戦することができませんでした。にもかかわらず
ウクライナ当局によって特徴づけられた安定した放射線レベルについて
「通常」とは、ロシアによる違反特有の義務がないことを意味するものではありません。
ザポリージャ原子力発電所との関係。

5. 「同じことが白リンの両当事者による主張された使用にも当てはまります。」[pp.42-

レポートの43]。ウクライナによるコメント：ミッションの主張、
カディロフの声明を引用したロシアのプロパガンダ情報源「ルディオ・スプートニク」
ウクライナの白リン弾の使用法は正しくありません。の禁止
白リン弾の使用は、特定の条約によってカバーされています
ロシアとウクライナが関係する通常兵器。ウクライナはしませんでした
白リンを使用してください。それどころか、ロシアは積極的に白を使用していました

13日のルガンスク地域（ポパスネ）の民間人に対するリン弾薬
2022年3月、ドネツク地方（Maryinka、Krasnogorivka、Novomykhaylivka）で
2022年3月30-31日、2022年3月27日にAvdiivkaで。

6.捕虜の拘留について[報告書のp.10]。コメント

ウクライナ：1) 囚人の追跡と釈放のための合同センター、
2022年2月28日に設立され、2022年3月18日にのみ運用可能になりました。
確かに、セキュリティの囚人の追跡と解放のための合同センター
ウクライナのサービスは2022年2月28日にオープンしました。しかし、それはに基づいて動作します

5

搜索調整合同センター、不法に奪われた者の釈放
国家安全保障と防衛のための措置の実施の分野では、
ドネツクにおけるロシア連邦の武力侵略の撃退と抑止
とルハンシク州、2015年に設立されました。同時に、
国家情報局は、ウクライナ国立センターによって実行されます
平和構築、ウクライナ一時占領省傘下の国営企業
ウクライナの一次的に占領された地域。これらの機能の割り当て
本当に2022年3月17日に大臣の内閣の命令を採用することによって起こりました
ウクライナの、そして同じ日に国家情報局のホットラインは
立ち上げ、設立に関する政府機関とのコミュニケーション
協力が始まりました。さらに、2022年3月11日までに
ウクライナ閣僚会議、調整本部の決定
捕虜の治療のために設立された
中央および地方の行政機関、他の州の機関、地方の調整
法律、法律に従って形成された政府および軍隊
捕虜の治療のための執行機関および公的団体。

2) ロシアの捕虜に関するすべての情報は、国民によって送信されます
中央調査機関の関連局への情報局
赤十字国際委員会は、そのような移管が行われるとすぐに
可能。遅延は許可されていません。3) ウクライナは、
赤十字国際委員会の代表者から捕虜へ
彼らの拘禁場所です。

7.「機雷の中和に取り組んでいる当局」に関する報告

漂流したことは、ウクライナが内部でこの規則に違反したことを示しています
水と領海。」[レポートの45ページ]。ウクライナによるコメント：ミッションの
「AlArabiyaNews」によって複製されたロシアのフェイクニュースに基づく申し立ては、
正しくない。また、これらの主張はNAVAREAで確認されていません
マップとメッセージ。この問題に関するウクライナの公式見解は29日に発表されました
ウクライナ外務省の声明の2022年3月
黒海でのロシア海軍の違法行為
(<https://mfa.gov.ua/en/news/statement-ministry-foreign-affairs-ukraine-illegal->

活動-ロシア-海軍-黒海）。

8.「組織は、
船員の安全な避難。ロシアは人道主義の創造で応えました
ウクライナによって論争されている回廊。」[レポートの46ページ]。コメント
ウクライナ：まず第一に、IMOは青い安全な海事の創設を呼びかけました
事務局長の調停による船員の安全な避難のための回廊
全般的。（IMO評議会の決定からの引用：「この点に関して、評議会は、
問題の敏感さを考慮に入れて、事務総長を
関係者と協力し、必要な即時の行動を取る
設立を開始し、青い安全な海事の実施を支援する
黒海とアゾフ海の回廊と加盟国に情報を提供し続ける
開発と評議会の次のセッションへの報告。事務総長
ブルーセーフを実現するために即座に行動を起こすという彼のコミットメントを示しています
関係者の協力と協力による海事回廊
沿岸国を含む。」）。コリドーは、次のいずれかによって独立して作成することはできません。
別の当事者（ウクライナ）を関与させず、同意なしに当事者（ロシア）
IMO、および適切な交渉プロセス。いわゆる「人道主義者の創造」
ロシアによる「回廊」は明らかに不適切な方法で開催されました。

2022年4月12日